

平成 30 年 度

専門科目教育要項

東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科

口腔保健工学専攻

まえがき

本冊子は、皆さんが歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻の授業を受けるうえで、知っておいていただきたい事項をまとめたものです。本専攻での履修を円滑かつ充実したものにすするため、内容を理解し、活用するようにしてください。

なお、教育要項（シラバス）は電子化され冊子体は配布致しませんので、教育内容に関する情報はインターネットを利用して本学ホームページから入手してください。各科目のシラバスおよび授業スケジュールは教育支援システム（ドリームキャンパス）に、それぞれアクセスして参照してください。また、授業に関するお知らせや資料等も随時 e-learning システムの WebClass に掲載されますので、日々のチェックを心掛けるようお願いいたします。

平成 30 年 4 月

歯学部口腔保健学科教育委員会

基本理念、教育理念、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー等

●基本理念

「知と癒しの匠を創造し、人々の幸福に貢献する」

学問と教育の聖地、湯島・昌平坂に建つ本学は、医療系総合大学として「知と癒しの匠」を創造し、東京のこの地から世界へと翼を広げ、人々の健康と社会の福祉に貢献します。

・教育について

幅広い教養と豊かな人間性、高い倫理観、自ら考え解決する創造性と開拓力、国際性と指導力を備えた人材を育成します。

・研究について

さまざまな学問領域の英知を結集して、時代に先駆ける研究を推し進め、その成果を広く社会に還元します。

・医療について

心と身体を癒す質の高い医療を、地域に提供するとともに、国内さらに世界へと広めていきます。

この理念に基づき、本学の全構成員がそれぞれの役割を自覚し、自らの使命を果たします。

●教育理念

1. 幅広い教養と豊かな感性を備えた人間性の涵養を目指す

病める人と向き合う医療人は、患者の痛みが分かり、そして患者を取り巻く様々な状況をも理解しなければなりません。それには豊かな教養と人間への深い洞察力、高い倫理観と説明能力を備えなければなりません。

2. 自己問題提起、自己問題解決型の創造力豊かな人間を養成する

学業あるいは研究に当たっては、何事も鵜呑みにすることなく、疑問を投げかけ、種々の情報を収集、解析し、自ら解決する能力が求められます。そうしてはじめて、独創的な研究を推進できる人材が育まれます。

3. 国際感覚と国際競争力に優れる人材を養成する

研究成果が即座に世界に伝播する現代において、医療の分野でもその情報と時間の共有化が益々進んでいます。このような状況の中で、立ち遅れない、むしろ最先端に行く人材の養成に努めます。そのために海外教育研究拠点、海外国際交流協定校への派遣を積極的に推進します。

歯学部口腔保健学科

●教育理念

温かく豊かな人間性を有し、口腔保健・福祉の立場から、人々の健康で幸せな生活の実現のため、専門的知識および技術をもって広く社会貢献し、指導的役割を果たすことのできる人材を育成します。

●教育目標

〈口腔保健工学専攻〉

1. 生命の尊厳と基本的な科学原理・概念を理解し、生命科学の知識を修得する。
2. 深い人間理解と医療人としての高い倫理観、豊かな感性を身につける。
3. 社会における口腔保健・福祉の果たす役割とその重要性を理解する。
4. QOLの向上に関わるものづくりの専門家として、自らの高度な知識と技術を社会に還元する意欲を養う。
5. 科学的探究心と問題解決能力を身につけ、生涯学習への意欲を培う。
6. 保健・医療・福祉等の関連職種と連携して活動できる能力を身につける。
7. 口腔保健の立場から国際貢献ができる能力を修得する。

◆ディプロマ・ポリシー

歯学部口腔保健学科では、教養部および各専攻における、基礎から臨床、実践に統合する体系的学習を行い、進級要件（東京医科歯科大学全学共通科目履修規則及び東京医科歯科大学専門科目履修規則）を満たし、卒業までに、所定の単位を修得し、以下の要件を満たしている者に学位を授与する。

1. 幅広い教養と豊かな感性

全学共通科目から専門の臨床・臨地実習に至る全教育課程を通して、口腔保健・医療・福祉領域の専門職に必要とされる幅広い教養ならびに人々の心情と行動を理解できる豊かな感性と高い倫理観を身につけている。

2. 問題提起、解決能力

口腔保健・医療の急速な進歩ならびに口腔保健・医療・福祉への多様なニーズに対応できるよう、科学的根拠に基づいた論理的思考力と、主体的に問題を提起、解決する能力を有している。

3. 国際性

口腔保健・医療・福祉分野における国際貢献への高い関心を有し、国際活動・協力を実践するための基礎力を備えている。

歯科衛生および歯科技工の領域において指導的役割を担えるよう、専門職としての高度な知識と技能を有していることが求められる。また、近年は関連他職種と連携した口腔保健の実践が求められており、チームとしての保健・医療・福祉活動に専門職として参加できる基礎力を修得していることが必須である。

◆カリキュラム・ポリシー

〈口腔保健工学専攻〉

東京医科歯科大学の教育理念、および歯学部口腔保健学科の教育理念に基づき、口腔保健工学専攻の教育目標をふまえて、ディプロマ・ポリシーを実現するためのカリキュラムの策定方針を以下のとおり定める。

1. 全学共通科目の人文・社会科学、専門科目の医療倫理、コミュニケーション学、PBL テュートリアルで行うヘルスプロモーション等の履修をとおして、歯科医療人としての倫理観ならびにコミュニケーション能力を育てる。
2. 全学共通科目の自然科学、専門課程の基礎歯科医学を学び、さらに統合力を必要とする卒業研究、再建工学包括臨床実習等の履修をとおして、学際的科学の視点と問題提起、解決能力を育成する。
3. 歯科医療の進歩に応じた歯科技工に関する知識と技術を基礎から応用まで段階的に学ぶことにより、最新の情報工学を駆使した歯科補綴装置作成の理論と実際への理解を深め、新たな技術開発への基礎力を培う。
4. 高齢者歯科工学等の履修をとおして、疾患により失われた機能回復を促し、患者の QOL 向上に寄与できる能力を育成するとともに、人々の健康を支援する使命感を養う。
5. 全学共通科目の外国語、専門科目の科学英語、グローバル口腔保健工学実習等の履修により、国際協力に関心を持ち、海外の文化、社会への理解を深め、国際貢献への姿勢と能力を培う。

歯学部長あいさつ

歯学部長 興地 隆史

口腔保健学科口腔保健工学専攻では、「造形と製作加工の技術を科学的に裏付けされた匠の技として発展させ、人々の健康に寄与する」ことを謳っています。口腔保健工学専攻は、平成23年4月に歯学部附属歯科技工士学校を改組して新設されました。新時代の歯科技工士の未来を拓く、世界のリーダーとなりうる人材の輩出を目指し、歯科技工の技術だけに偏るのではなく、幅広い知識と専門的スキルを有し、多方面で活躍できる人材の育成を図っています。

本専攻の歴史は、昭和4年、本学の前身である東京高等歯科医学校に設置された技工士養成科にまで遡ります。この間、多くの人材を輩出し、国内はもとより、国際的に活躍する諸先輩も多く、歯科技工士養成校として本学は高く評価されています。皆さんはすでに業界での地位の確立された大学に入学し、専門教育を受けるのですから、卒業時には当然、皆さんに対する社会的な期待も大きなものになります。その期待にこたえるべく、教育内容は十分に検討したものです。世界中どこと比較しても、胸を張れる教員組織、環境、設備、そして教育内容です。ひとつひとつの科目に真剣に取り組み、達成すべき項目をすべて修得すれば、本学科の卒業生として、どこに出ても自信を持って活躍できるはずです。

グローバル化する社会においても、皆さんに対する期待は増すばかりです。社会の期待にこたえて専門職業人として、歯科医療に貢献する、歯科保健工学に貢献する、そして業界のリーダーとして、業界の未来を築いていってくださることを願っています。皆さんの将来は輝かしい可能性に満ちています。どうか先生方を信頼し、同胞とともに助けあいながら、力いっぱい勉学に励み、自分の人生を切り開く基盤を形成してください。

目 次

| | |
|------------------------------------|----|
| まえがき | |
| 基本的理念 | |
| 一般教育目標 | |
| 口腔保健学科のディプロマポリシー | |
| 口腔保健工学専攻のカリキュラムポリシー | |
| 歯学部長あいさつ | |
| 東京医科歯科大学学部専門科目履修規則（平成27年度以降入学者） | 1 |
| 東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科専門科目履修内規 | 12 |
| 東京医科歯科大学学部教育におけるGPA制度取り扱いに関する要項 | 14 |
| 東京医科歯科大学試験規則 | 16 |
| 東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科試験内規 | 19 |
| ユニット試験（筆記試験）時の注意事項 | 20 |
| 学生周知事項 | |
| 歯科技工士国家試験について | 22 |
| 学生周知事項 | 24 |
| 災害関係連絡事項 | 28 |
| 学生・女性支援センター（5号館3階）について | 30 |
| 保健管理センター（5号館2階）について | 31 |
| 実習要件（抗体検査・ワクチン接種）について | 32 |
| 図書館（M&Dタワー3・4階）について | 34 |
| 国立美術館キャンパスメンバーズについて | 36 |
| 1号館西・2号館・7号館の管理、使用について | 37 |
| 湯島キャンパス案内 | 40 |
| 1号館西6～8階平面図 | 41 |
| 2号館見取り図 | 42 |
| 7号館平面図 | 43 |
| 平成30年度歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻専門課程科目授業計画表 | 44 |
| 歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻科目責任者連絡先一覧 | 45 |

第 1 学年 履修ユニット

| | |
|------------------|----|
| 口腔保健工学概論..... | 47 |
| メディア情報学基礎..... | 49 |
| 造形美術概論実習..... | 51 |
| 早期臨床体験実習..... | 52 |
| 人体の構造と機能 I | 54 |
| 加工技術基礎..... | 57 |
| 口腔機材開発工学..... | 58 |

第 2 学年 履修ユニット

| | |
|--------------------|-----|
| 科学英語 I | 61 |
| ヘルスプロモーション | 63 |
| グローバル口腔保健工学実習..... | 65 |
| 感染予防..... | 68 |
| う蝕と歯周病..... | 69 |
| 人体の構造と機能 II | 70 |
| 歯の形態実習..... | 76 |
| 歯の形態修復演習..... | 78 |
| 咬合学..... | 80 |
| 口腔保健理工学..... | 82 |
| 口腔保健理工学実習 | 84 |
| 精密鑄造学演習 | 88 |
| プロセスデバイス工学..... | 90 |
| 全部床義歯工学 | 92 |
| 全部床義歯工学実習 | 94 |
| 部分床義歯工学 | 97 |
| 部分床義歯工学実習 I | 99 |
| 歯冠修復工学基礎..... | 103 |
| 歯冠修復工学基礎演習 | 105 |
| 歯冠修復工学基礎実習 | 107 |

第3学年 履修ユニット

| | |
|-----------------------|-----|
| 科学英語Ⅱ | 113 |
| コミュニケーション学 | 115 |
| 歯科技工士と法律 | 116 |
| 口腔保健工学管理学 | 117 |
| 口腔外科工学 | 118 |
| 高齢者歯科工学 | 120 |
| 口腔保健工学特論 | 122 |
| 臨床咬合学 | 123 |
| 顎補綴工学 | 125 |
| 顎補綴工学実習 | 127 |
| 部分床義歯工学実習Ⅱ | 130 |
| 歯冠修復工学応用 | 133 |
| 歯冠修復工学応用演習 | 134 |
| 歯冠修復工学応用実習 | 136 |
| 審美修復工学 | 138 |
| 審美修復工学実習 | 140 |
| インプラント工学実習 | 145 |
| 小児歯科工学 | 148 |
| 発育口腔工学 | 150 |
| 矯正歯科工学 | 152 |
| 再建工学包括臨床実習Ⅰ | 154 |
| 医療倫理 | 158 |
| 卒業研究Ⅰ | 160 |
| 口腔保健工学エクスターンシップ | 163 |

第4学年 履修ユニット

| | |
|-----------------------|-----|
| 画像解析学 | 165 |
| スポーツ歯科工学 | 167 |
| オーラルアプライアンス工学 | 169 |
| CAD/CAMシステム工学実習 | 171 |
| 再建工学包括臨床実習Ⅱ | 173 |
| 卒業研究Ⅱ | 181 |
| 卒業製作 | 184 |
| 口腔保健工学エクスターンシップ | 186 |

東京医科歯科大学学部専門科目履修規則

平成22年3月30日
規則第41号

(趣旨)

第1条 東京医科歯科大学における専門に関する教育科目(以下「専門科目」という。)の履修に関しては、東京医科歯科大学学則(平成16年規程第4号。以下「学則」という。)定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

(専門科目の単位数及び履修学年)

第2条 専門科目の単位数及び履修学年については、別表1に定めるとおりとする。

2 前項の単位数及び履修学年は、医学部教授会又は歯学部教授会の意見を聴いて学長が定めるものとする。

(授業)

第3条 専門科目の授業は、講義、演習若しくは実習により行い、必修科目、選択科目又は自由科目とする。

(授業時間)

第4条 学則第36条に定める1単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。

- (1) 講義及び演習については、15時間から30時間
- (2) 実習については、30時間から45時間

2 前項の授業時間の設定においては、次の事項に配慮しなければならない。

- (1) 学習目標を十分に満たすこと
- (2) 履修時間及び自主的学修時間の確保

(編入学者、転入学者の単位認定)

第5条 学則第12条から第18条の2までの規定により編入学及び転入学の許可をするときは、既修得単位を全学共通科目及び専門科目に相当する単位として、一部又は全部を認定するものとする。

2 前項の認定は、全学共通科目に相当する科目については教養部において、専門科目に相当する科目については、当該学生が在籍する学部(以下「在籍学部」という。)において行うものとする。

3 在籍学部は、入学を許可する学年及び履修方法等について、教養部と協議するものとする。

(再入学の単位認定)

第6条 学則第19条の規定により再入学を許可された者の当該学部における既修得単位は、全学共通科目及び当該学部専門科目の単位として、一部または全部を認定する。

(編入学者、転入学者、再入学者の在学年限)

第7条 学則第12条から第19条の規定により、編入学、転入学及び再入学を許可された者の在学年限は、学則第32条第1項に定める在学年限から入学を許可されたまでの経過学年数を減じた年数とする。

(試験及び単位)

第8条 履修した授業科目については、試験を行う。ただし、試験を行うことが困難な授業科目等については、試験によらず、学修の成果をもって、又は指定した課題についての報告をもって試験に替えることがある。

2 前項の試験に合格したときは、所定の単位を与える。

3 実習を伴わない授業科目については、試験に合格したときは所定の単位を与える。ただし、一授業科目の試験を分割して実施する科目については、そのすべての試験に合格しなければ単位を修得することができない。

4 実習を伴う授業科目については、試験に合格し、かつ、その授業科目の実習修了の認定が行われなければ所定の単位を修得することができない。

- 5 学習の評価は、別表2のとおりとする。
- 6 単位の認定は、医学部教授会又は歯学部教授会の議を経て当該学部長がこれを行う。
- 7 試験の方法に関しては別に定める。

(進級要件)

- 第9条 学生は、別表3に示す要件を満たさなければ、進級又は所定の授業科目の履修をすることができない。
- 2 医学部医学科にあっては、休学期間を除き、同一学年の在籍は2年までとし、なお成業の見込みがないと認められたときは、学則第33条第1号の規定により退学を命ずる。

(卒業認定)

- 第10条 学生の卒業認定は、学則第39条により行うものとする。

(補足)

- 第11条 この規則に定めるもののほか履修に関し必要な事項は各学部教授会の議を経て別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 東京医科歯科大学医学部履修規則（平成16年規則第201号）は、廃止する。
- 3 東京医科歯科大学歯学部履修規則（平成16年規則第213号）は、廃止する。
- 4 平成22年3月31日において現に医学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成22年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学するものについては、改正後の別表の規程にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学医学部履修規則の例による。
- 5 平成22年3月31日において現に歯学部在学する者（以下「在学者」という。）及び平成22年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学する者については、改正後の別表の規程にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学歯学部履修規則の例による。

附 則（平成23年3月4日規則第15号）

- 1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 平成23年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成24年2月3日規則第19号）

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成24年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成24年3月30日規則第60号）

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成24年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成25年3月29日規則第56号）

- 1 この規則は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 平成25年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成25年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表1（3）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成25年5月30日規則第73号）

この規則は、平成25年5月30日から施行し、平成25年4月17日から適用する。

附 則（平成26年3月25日規則第8号）

(施行期日等)

- 1 この規則は、平成26年4月1日から施行する。

(在学する者等に関する経過措置)

- 2 平成25年10月1日の在学者については、平成25年度に医学部又は歯学部1年次に入学した

- 1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 前項の規定にかかわらず、別表1（2）の「

| | | | | | | | |
|--------------------------|--|--|--|---|---|---|--|
| Learning Medical English | | | | ○ | ○ | ○ | |
|--------------------------|--|--|--|---|---|---|--|

」は、平成28年4月1日から適用する。

附 則（平成28年3月31日規則第71号）

- 1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成28年3月31日規則第73号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 2 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（2）及び（3）のうち次に掲げる科目並びに（7）及び（8）を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1（2） 国際保健福祉Ⅰ、国際保健福祉Ⅱ及び国際保健福祉Ⅲ

別表1（3） アドバンスド生理機能検査学、短期海外研修（Ⅰ）、短期海外研修（Ⅱ）、短期海外研修（Ⅲ）及びLearning Medical English

- 3 平成28年3月31日において現に本学に在学する者が履修した科目の学習の評価については、次のとおり読み替えるものとする。

| 評価区分 | 評価 |
|------|----|
| 秀 | A+ |
| 優 | A |
| 良 | B |
| 可 | C |
| 不可 | D |

附則（平成28年11月7日規則第159号）

- 1 この規則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 前項の規定にかかわらず、別表1（2）の「

| | | | | | | | |
|--------|--|--|--|--|--|---|--|
| 実践看護英語 | | | | | | ○ | |
|--------|--|--|--|--|--|---|--|

」は、平成29年4月1日から適用する。

附 則（平成29年3月30日規則第50号）

- 1 この規則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（2）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

別表1（2）実践看護英語Ⅰ、実践看護英語Ⅱ及び実践看護英語Ⅲ

附 則（平成29年3月31日規則第54号）

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則（平成29年6月1日規則第68号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、平成29年6月1日から施行し、平成29年4月1日から適用する。
（在学する者等に関する経過措置）

- 2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（1）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1（1） 研究実践プログラムⅠ、研究実践プログラムⅡ、研究実践プログラムⅢ、
研究実践プログラムⅣ及び研究実践プログラムⅤ

附 則（平成29年7月6日規則第101号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、平成29年7月6日から施行し、平成29年4月1日から適用する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表3（1）医学科（7）及び注3を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成29年12月27日規則第137号）

この規則は、平成29年12月27日から施行し、平成29年4月1日から適用する

(6) 口腔保健学科(口腔保健工学専攻) 教育課程

| 区分 | 授業科目 | 単位数 | | 履修学年 | | | | | | | | | | |
|------------|------------------|----------|----|------|----|----|----|----|----|----|----|----|--|--|
| | | | | 1年 | | 2年 | | 3年 | | 4年 | | | | |
| | | 必修 | 選択 | 自由 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | | |
| 基礎分野 | 口腔保健工学概論 | 1 | | | ○ | | | | | | | | | |
| | 科学英語Ⅰ | 1 | | | | | ○ | | | | | | | |
| | 科学英語Ⅱ | 1 | | | | | | | ○ | | | | | |
| | ヘルスプロモーション | 2 | | | | | ○ | | | | | | | |
| | メディア情報学基礎 | 1 | | | | ○ | | | | | | | | |
| | コミュニケーション学 | 1 | | | | | | | ○ | | | | | |
| | 造形美術概論実習 | 1 | | | | ○ | | | | | | | | |
| | グローバル口腔保健工学実習 | 1 | | | | | | ○ | | | | | | |
| 専門基礎分野 | 歯科技工士と法律 | 1 | | | | | | | ○ | | | | | |
| | 感染予防 | 1 | | | | | ○ | | | | | | | |
| | 口腔保健工学管理学 | 1 | | | | | | | | ○ | | | | |
| | 早期臨床体験実習 | 1 | | | ○ | ○ | | | | | | | | |
| | 口腔外科工学 | 1 | | | | | | | | ○ | | | | |
| | う蝕と歯周病 | 1 | | | | | ○ | | | | | | | |
| | 高齢者歯科工学 | 2 | | | | | | | | ○ | | | | |
| | 口腔保健工学特論 | 1 | | | | | | | | ○ | | | | |
| | 人体の構造と機能Ⅰ | 2 | | | | ○ | | | | | | | | |
| | 人体の構造と機能Ⅱ | 5 | | | | | | ○ | ○ | | | | | |
| 歯・口腔の構造と機能 | 画像解析学 | | 1 | | | | | | | | | ○ | | |
| | 歯の形態実習 | 1 | | | | | ○ | | | | | | | |
| | 歯の形態修復演習 | 1 | | | | | | ○ | | | | | | |
| | 咬合学 | 1 | | | | | ○ | | | | | | | |
| | 臨床咬合学 | 1 | | | | | | | ○ | | | | | |
| | 歯科材料・歯科技工機器と加工技術 | 加工技術基礎 | 1 | | | | ○ | | | | | | | |
| | | 口腔機材開発工学 | 1 | | | | ○ | | | | | | | |
| 口腔保健理工学 | | 2 | | | | | | ○ | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------------------|-------------|------------------|--------|---|--|--|---|---|---|---|---|---|--|
| | | 口腔保健理工学実習 | 2 | | | | ○ | | | | | | |
| | | 精密鑄造学演習 | 1 | | | | ○ | | | | | | |
| | | プロセスデバイス工学 | | 2 | | | | ○ | | | | | |
| 専 門 分 野 | 有床義歯 技工学 | 顎補綴工学 | 1 | | | | | | | ○ | | | |
| | | 顎補綴工学実習 | 2 | | | | | | | ○ | | | |
| | | スポーツ歯科工学 | | 1 | | | | | | | | ○ | |
| | | オーラルアプライアンス工学 | | 1 | | | | | | | | ○ | |
| | | 全部床義歯工学 | 2 | | | | ○ | | | | | | |
| | | 全部床義歯工学実習 | 3 | | | | ○ | | | | | | |
| | | 部分床義歯工学 | 2 | | | | ○ | ○ | | | | | |
| | | 部分床義歯工学実習Ⅰ | 4 | | | | | ○ | | | | | |
| | | 部分床義歯工学実習Ⅱ | 1 | | | | | | ○ | | | | |
| | 歯冠修復 技工学 | 歯冠修復工学基礎 | 2 | | | | | ○ | | | | | |
| | | 歯冠修復工学基礎演習 | 1 | | | | | ○ | | | | | |
| | | 歯冠修復工学基礎実習 | 4 | | | | | ○ | | | | | |
| | | 歯冠修復工学応用 | 1 | | | | | | ○ | | | | |
| | | 歯冠修復工学応用演習 | 1 | | | | | | ○ | | | | |
| | | 歯冠修復工学応用実習 | 2 | | | | | | ○ | | | | |
| | | 審美修復工学 | 1 | | | | | | ○ | | | | |
| | | 審美修復工学実習 | 3 | | | | | | ○ | | | | |
| | | CAD/CAM システム工学実習 | 1 | | | | | | | | | ○ | |
| | | インプラント工学実習 | 1 | | | | | | | | ○ | | |
| | | 小児歯科 技工学 | 小児歯科工学 | 2 | | | | | | | | ○ | |
| | 発育口腔工学 | | 1 | | | | | | | | ○ | | |
| 矯正歯科 技工学 | 矯正歯科工学 | 3 | | | | | | | ○ | | | | |
| 歯科技工 実習 | 再建工学包括臨床実習Ⅰ | 4 | | | | | | | | ○ | | | |
| | 再建工学包括臨床実習Ⅱ | 10 | | | | | | | | | ○ | ○ | |
| | | 医療倫理 | 1 | | | | | | | ○ | | | |
| | | 卒業研究Ⅰ | 2 | | | | | | | ○ | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------|--------------|---------------------|----|---|---|--|--|--|--|--|--|---|---|---|
| 統 合 分 野 | 総合口腔保健 工学 | 卒業研究Ⅱ | 3 | | | | | | | | | ○ | ○ | |
| | | 卒業製作 | 3 | | | | | | | | | | | ○ |
| | | 口腔保健工学エクスター ンシップ | | | 1 | | | | | | | ○ | ○ | ○ |
| | 計 | | 97 | 5 | 1 | | | | | | | | | |

※ 選択科目から3単位以上修得する。

(7) 全学科共通自由科目

| 授業科目 | | 単 位 数 | 履修対象学年 | | | | | |
|------------------|--|-------------|--------|----|----|----|----|----|
| | | | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 |
| 自 由 科 目 | Moral and Political Philosophy for Medicine | 1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | Introduction to Medical Anthropology | 1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | Bio-social Research Methods | 1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | Decision-making in the Health Sciences | 1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | Problem-solving in the Health Sciences (※) | 1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | Contemporary Japanese Society | 1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | Applied Critical Thinking for Health Sciences | 1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | Fundamentals of Global Health | 1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 計 | 8 | | | | | | |

※ 医学部医学科及び歯学部歯学科に在籍する学生に限り履修することができる。

別表 2

| 評価基準 | 評価 | 単位認定 |
|---------------------------|-----|------|
| 当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した | A + | 合格 |
| 当該科目の到達目標を全て達成した | A | |
| 当該科目の到達目標を概ね達成した | B | |
| 当該科目の到達目標のうち最低限を達成した | C | |
| 当該科目の到達目標を達成していない | D | 不合格 |
| 到達目標の達成度を評価できない | F | |

別表3 (1)～(4)省略

(5) 口腔保健学科(口腔保健工学専攻)

| |
|---|
| <p>(1) 第1学年の末までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第2学年に進級することができない。</p> <p>口腔保健工学概論、メディア情報学基礎、造形美術概論実習、早期臨床体験実習、人体の構造と機能Ⅰ、加工技術基礎、口腔機材開発工学</p> |
| <p>(2) 第2学年の末までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第3学年に進級することができない。</p> <p>科学英語Ⅰ、ヘルスプロモーション、グローバル口腔保健工学実習、感染予防、う蝕と歯周病、人体の構造と機能Ⅱ、歯の形態学実習、歯の形態修復演習、咬合学、口腔保健理工学、口腔保健理工学実習、精密鑄造学演習、全部床義歯工学、全部床義歯工学実習、部分床義歯工学、部分床義歯工学実習Ⅰ、歯冠修復工学基礎、歯冠修復工学基礎演習、歯冠修復工学基礎実習</p> |
| <p>(3) 第3学年の前期までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第3学年後期以降の授業科目を履修することができない。</p> <p>部分床義歯工学実習Ⅱ、歯冠修復工学応用演習、歯冠修復工学応用実習、審美修復工学実習</p> |
| <p>(4) 第3学年の末までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第4学年に進級することができない。</p> <p>科学英語Ⅱ、コミュニケーション学、歯科技工士と法律、口腔保健工学管理学、口腔外科工学、高齢者歯科工学、口腔保健工学特論、臨床咬合学、顎補綴工学、顎補綴工学実習、歯冠修復工学応用、審美修復工学、インプラント工学実習、小児歯科工学、発育口腔工学、矯正歯科工学、再建工学包括臨床実習Ⅰ、医療倫理、卒業研究Ⅰ</p> |

東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科専門科目履修内規

平成23年12月7日
歯学部長制定

(趣旨)

第1条 この内規は、東京医科歯科大学学部専門科目履修規則（平成22年規則第41号。以下「履修規則」という。）第11条に基づき、歯学部口腔保健学科における専門に関する教育科目の履修に関し、必要な事項を定めるものとする。

(学習の評価)

第2条 定期試験及び追試験の成績については、担当教員が100点満点で採点し、授業科目ごとに履修規則別表2のとおり学習の評価を行う。

- 2 第1項の学習の評価に、平常の学習の成果を加味することができる。
- 3 学習の評価について異議がある学生は、所定の期日までに別に定める「成績評価異議申し立て書」を歯学系教務係に提出することができる。

(必修科目及び仮進級)

第3条 履修規則別表3(4)(5)に掲げる科目は、必修科目とする。

- 2 必修科目に係る試験の不合格者については、仮進級を認めない。

(GP)

第4条 評価とGPとの対応は次のとおりとする。

| 評価 | A+ | A | B | C | D | F |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| GP | 4.0 | 3.5 | 3.0 | 2.0 | 1.0 | 0.0 |

- 2 卒業要件に含まない科目のうち、単位を認定されなかった科目については、未履修としGPA (Grade Point Average) の計算式には算入しない。

(補則)

第5条 この内規に定めるもののほか、履修に関し必要な事項は各専攻において別に定めることができる。

附 則

- 1 この内規は、平成23年12月7日から施行し、平成23年4月1日から適用する。
- 2 平成23年3月31日において現に歯学部口腔保健学科に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学する者については、この内規の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成28年3月31日制定）

- 1 この内規は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 平成28年3月31日において現に本学に在学する者が履修した科目の学習の評価については、次のとおり読み替えるものとする。

附 則（平成28年10月19日制定）

この内規は、平成28年10月19日から施行する。

| 評価区分 | 評価 |
|------|----|
| 秀 | A+ |
| 優 | A |
| 良 | B |
| 可 | C |
| 不可 | D |

東京医科歯科大学学部教育におけるGPA制度 取り扱いに関する要項

平成28年3月31日
制 定

(目的)

第1条 東京医科歯科大学の学部教育におけるGPA (Grade Point Average) 制度の運用については、東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 (平成16年制定)、東京医科歯科大学医学部医学科専門科目履修内規 (平成23年制定)、東京医科歯科大学医学部保健衛生学科履修内規 (平成23年制定)、東京医科歯科大学歯学部歯学科専門科目履修内規 (平成23年制定)、東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科専門科目履修内規 (平成23年制定) に定めるほか、この要項の定めるところによる。

(定義)

第2条 この要項において、GPAとは、個々の学生の学習到達度をはかる数値で、履修登録した科目毎の評価 (A+, A, B, C, D, F) を4から0までの点数に置き換えて単位数を掛け、その総和を履修登録単位数の合計で割った平均点とする。

2 GPA対象授業科目は、次の各号を除く授業科目とする。

- (1) A+, A, B, C, D, Fによる学習の評価を行わない科目
- (2) 他大学等で単位を修得し、本学として学習の評価を行わず「認定」とした科目
- (3) 卒業要件に含まない科目のうち学生が申請して学科等が認めた科目 (成績表ではGPA除外科目として明示される)
- (4) GPAへの算入が適当でないと学科等が認めた科目 (シラバスおよび成績表ではGPA除外科目として明示される)

(学習の評価及びGP)

第3条 学習の評価及びGrade Point (GP) は、次のとおりとする。

| 評 価 | GP | 評価基準 |
|-----|-----|---------------------------|
| A + | 4.0 | 当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した |
| A | 3.5 | 当該科目の到達目標を全て達成した |
| B | 3.0 | 当該科目の到達目標を概ね達成した |
| C | 2.0 | 当該科目の到達目標のうち最低限を達成した |
| D | 1.0 | 当該科目の到達目標を達成していない |
| F | 0.0 | 到達目標の達成度を評価できない |

(GPAの種類及び計算方法)

第4条 GPAは、当該学年に履修した第2条第2項に定めるGPA対象授業科目について

て、「当該年度のGPA」、「累積GPA」に区分し、各区分は次に定める方法により計算するものとする。

＊ GPAの計算式

当該年度のGPA＝

$$\frac{(4 \times A + \text{取得単位数} + 3.5 \times A \text{取得単位数} + 3 \times B \text{取得単位数} + 2 \times C \text{取得単位数} + 1 \times D \text{可取得単位数})}{\text{当該年度の総履修登録単位数}}$$

累 積GPA＝

$$\frac{(4 \times A + \text{取得単位数} + 3.5 \times A \text{取得単位数} + 3 \times B \text{取得単位数} + 2 \times C \text{取得単位数} + 1 \times D \text{可取得単位数})}{\text{総履修登録単位数}}$$

- 2 前項の計算式において、総履修登録単位数には不可となった科目の単位を含むが、履修取消とした科目の単位は含まない。
- 3 計算値は小数点第3位を四捨五入とし表記するものとする。

(GPA計算期日)

第5条 GPAの計算は、学年ごとに所定の期日までに確定した成績に基づいて行う。

(成績証明書への記載)

第6条 成績証明書への記載は、累積GPAを使用する。

(その他)

第7条 この要項に定めるもののほか、GPA制度の実施に関して必要な事項は、各学科等において、別に定める。

附 則

- 1 この要項は、平成28年4月1日から施行し、平成28年度入学者から適用する。
平成27年度以前入学者についても、GPAを計算する場合は、秀をA+、優をA、良をB、可をC、不可をD、評価なしをFとみなし、適用する。

東京医科歯科大学試験規則

（平成23年4月1日）
規則第1号

（趣旨）

第1条 この規則は、東京医科歯科大学における全学に共通する教育科目及び専門に関する教育科目（以下「授業科目」という。）の試験に関して、東京医科歯科大学学則（平成16年規程第4号。以下「学則」という。）、東京医科歯科大学全学共通科目履修規則（平成16年規則第217号。）及び東京医科歯科大学学部専門科目履修規則（平成22年規則第41号。）に定めるもののほか、必要な事項を定める。

（試験の種類）

第2条 試験は、本試験、追試験及び再試験とする。

（試験の方法）

第3条 試験は、筆答試験、コンピュータ活用試験、口答試験及び実地試験のいずれかによって行う。

（本試験）

第4条 本試験は、定期試験及び共用試験をいう。

2 共用試験は、医学部医学科及び歯学部歯学科において行う。

（定期試験）

第5条 定期試験とは、履修した授業科目について行う試験をいう。

2 定期試験の実施日時は、試験実施日の2週間前までに公示する。

3 定期試験を受験することのできる者は原則として次のとおりとする。

(1) 講義及び演習 当該授業科目の授業時間数の3分の2以上履修した者

(2) 実習 当該授業科目の授業時間数の4分の3以上履修した者

4 定期試験の結果は、公示する。

5 第3項に定めるもののほか、定期試験の受験資格に関し必要な事項は、医学部、歯学部又は教養部（以下「部局」という。）において別に定めることができる。

（共用試験）

第6条 共用試験とは、知識・問題解決能力を主として評価する多肢選択形式のコンピュータ活用試験（CBT）及び技能・態度を主として評価する客観的臨床能力試験（OSCE）をいう。

2 共用試験の実施日時は、試験実施日の2週間前までに公示する。

3 共用試験を受験することのできる者は医学部医学科及び歯学部歯学科において

別に定める。

4 共用試験の結果は、公示する。

(追試験)

第7条 追試験とは、病気、その他止むを得ない理由により本試験を受験できなかった者に対して行う試験をいう。ただし、追試験は原則として1回限りとする。

2 追試験を受験しようとする者(以下「追試験申請者」という。)は、所定の受験申請書に医師の診断書等の証明書類を添えて、本試験終了後原則として5日以内に医学部長、歯学部長又は教養部長(以下「学部長等」という。)に願い出て、許可を受けなければならない。

3 学部長等は、前項の申請について、教育委員会又は教務委員会と協議のうえ、その可否を決定し、追試験申請者に通知するものとする。

4 追試験受験決定が否の場合は、本試験を不合格とする。

5 試験の結果は、公示する。

6 第2項に定めるもののほか、追試験の申請に関し必要な事項は、部局において別に定めることができる。

(再試験)

第8条 再試験とは、本試験又は追試験を受験し、不合格となった者に対し行う試験をいう。ただし、再試験は、原則として1回限りとする。

2 再試験の実施日時は、指定の期日までに公示する。

3 再試験は当該学部長等の判断により、受験を許可しないことがある。

4 再試験受験決定が否の場合は、当該授業科目を不合格とする。

5 試験の結果は、公示する。

6 第3項に定めるもののほか、再試験の許可に関し必要な事項は、部局において別に定めることができる。

(試験の成績)

第9条 本試験、追試験及び再試験による成績については、科目責任者が100点満点で採点し、60点以上を「当該科目の到達目標のうち最低限を達成した」ものとして合格とする。

2 共用試験の成績については、前項の規定にかかわらず、医学部医学科及び歯学部歯学科において別に定める。

(成績の報告)

第10条 科目責任者は、本試験、追試験及び再試験について所定の用紙に採点結果を記入し、指定の期日までに当該学部長等に報告しなければならない。

2 医学科教育委員会委員長又は歯学科教育委員会委員長は、共用試験について所定の用紙に採点結果を記入し、指定の期日までに当該学部長に報告しなければならない。

(罰則)

第11条 試験において不正行為があったときは、学則第58条の規定による懲戒の手続きをとるものとする。

(補則)

第12条 この規則に定めるもののほか、試験に関し必要な事項は別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 東京医科歯科大学医学部試験規則（平成16年規則202号）は廃止する。
- 3 東京医科歯科大学歯学部試験規則（平成16年規則214号）は廃止する。
- 4 この規則は、平成23年3月31日において現に医学部または歯学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以降在学者が所属する学年に再入学、転入学するものについては、改正後の規則にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学医学部試験規則または東京医科歯科大学歯学部試験規則の例による。

附 則（平成28年3月31日規則第74号）

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科試験内規

平成23年12月7日
歯学部長制定

(趣旨)

第1条 この内規は、東京医科歯科大学試験規則（平成23年規則第1号。以下「試験規則」という。）第12条に基づき、歯学部口腔保健学科における専門に関する教育科目の試験に関し、必要な事項を定めるものとする。

(試験の種類)

第2条 試験規則第5条に規定する定期試験とは、期末試験及び中間試験とする。

(期末試験及び中間試験)

第3条 期末試験とは、履修を修了した授業科目及び授業科目を構成するユニット（以下「ユニット」という。）について定期的に行う試験をいう。

2 中間試験とは、履修中の授業科目及びユニットについて適宜行う試験をいう。

3 期末試験及び中間試験の実施時期については、口腔保健衛生学専攻及び口腔保健工学専攻（以下、「各専攻」という。）において別に定める。

(追試験)

第4条 追試験は、原則として定期試験の実施期間に行う。

(再試験)

第5条 定期試験に係る再試験は、原則として定期試験の実施期間に行う。

(補則)

第6条 この内規に定めるもののほか、試験に関し必要な事項は各専攻において別に定めることができる。

附 則

1. この内規は、平成23年12月7日から施行し、平成23年4月1日から適用する。
2. 東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科に平成23年3月31日に在学し、引き続き本学科の在学者となった者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以後在学者の属する学年に再入学、転入学及び編入学する者に係る試験については、この内規の規定にかかわらず、なお従前の例による。

口腔保健科学生 各位

歯学部長
口腔保健学科教育委員長

ユニット試験（筆記試験）時の注意事項

口腔保健学科専門科目ユニット試験（筆記試験）時に下記事項を遵守しない場合には不正行為を行ったとみなす。

1. ユニット試験時の持ち物については下記のとおりとする。下記以外の物の持ち込みについては監督者に確認して、指示に従うこと。
 - 1) 机上には原則、筆記用具と学生証以外は置かないこと。
教科書や参考書、ノートやプリント、携帯電話、スマートフォン、小型パソコン、腕時計型情報端末などの電子機器を机上または机下の棚に置いている場合、あるいは身につけている場合は不正行為とみなす。これらはすべてカバンにしまうこと。
 - 2) ティッシュペーパーの持ち込みが必要な場合は監督者の許可を得ること。ティッシュペーパーは袋から出して、試験中は机上に置いておくこと。
2. 遅刻は、ユニット試験開始 30 分以内は認める。但し試験時間の延長はしない。
3. ユニット試験開始 30 分経過後、試験終了者で希望する者の退室を認める。
4. 持ち帰りが認められていない試験において、過失・故意にかかわらず試験問題、解答用紙を試験会場外へ持ち出した場合、またはそれらを複製（撮影を含む）した場合、当該試験は無効となる。

参考：「試験における不正行為」に対する懲戒は以下の通り。

（東京医科歯科大学における学生の懲戒に関する申し合わせ 別表懲戒の標準より抜粋）

| | |
|-----------------------------|---------|
| （1）代理（替玉）受験を行った場合又は行かせた場合 | 退学 |
| （2）許可されていないノート及び参考書等を参照した場合 | 停学 |
| （3）答案を交換した場合 | 停学 |
| （4）その他、試験において不正行為を行った場合 | 停学または訓告 |

学 生 周 知 事 项 等

歯科技工士国家試験について

【試験の実施】

試験は毎年 1 回実施しますが、試験を施行する期日及び場所並びに受験願書の提出期限等は 9 月初旬に官報で公告いたします。

平成 27 年度から全国統一国家試験になりました。以下に、平成 30 年 2 月に実施された平成 29 年度歯科技工士国家試験について示します。

1. 試験日

平成 30 年 2 月 18 日（日）

2. 集合時間

各試験場とも午前 9 時 15 分までに受験番号に従い指定された試験会場に入室してください。災害等によって試験の開始時間等に変更が生じた場合は、「一般財団法人歯科医療振興財団」のホームページに掲載します。

3. 試験場（※本専攻は東京都の試験場で受験します。）

| 受験地 | 試験場 | 所在地 |
|-------|------------------|------------------------|
| 北海道 | 吉田学園医療歯科専門学校 | 北海道札幌市中央区南 3 条西 1-11-1 |
| 宮城県 | 東北工業大学（八木山キャンパス） | 宮城県仙台市太白区八木山香澄町 35-1 |
| ※ 東京都 | 日本歯科大学生命歯学部 | 東京都千代田区富士見 1-9-20 |
| 大阪府 | 大阪歯科大学（楠葉学舎） | 大阪府枚方市楠葉花園町 8 番 1 号 |
| 福岡県 | 博多メディカル専門学校 | 福岡県福岡市博多区千代 4-32-1 |

4. 試験科目

学説試験：歯科理工学、歯の解剖学、顎口腔機能学、有床義歯技工学、歯冠修復技工学、矯正歯科技工学、小児歯科技工学及び関係法規

実地試験：歯科技工実技

5. 受験資格

- (1) 文部科学大臣の指定した歯科技工士学校を卒業した者
- (2) 都道府県知事の指定した歯科技工士養成所を卒業した者
- (3) 歯科医師国家試験又は歯科医師国家試験予備試験を受けることができる者
- (4) 外国の歯科技工士学校若しくは歯科技工士養成所を卒業し、又は外国で歯科技工士免許を受けた者で、厚生労働大臣が前記（1）から（3）までに掲げる者と同等以上の知識及び技能を有すると認められた者

6. 受験手続

試験を受けようとする者は、受験願書、卒業証明書若しくは卒業見込証明書、歯科医師国家試験等を受けることができる者である旨を証する書類又は歯科技工士国家試験受験資格認定書の写し及び写真（出願前6月以内に脱帽正面で撮影した縦6cm、横4cmのもので、その裏面に撮影年月日及び氏名を記載すること）が必要です。

なお、受験願書、写真用台紙、受験手数料払込用紙等は、当財団から10月下旬に各学校・養成所に送付されます。

受験に関する書類は指定期日までに一般財団法人歯科医療振興財団に提出してください。（本学では大学でまとめて送付します。）なお、卒業見込証明書を提出した者にあたっては、指定期日までに卒業証明書を提出してください。当該期日までに提出されないときは、当該受験は無効となります。（本学では大学でまとめて送付します。）

7. 受験手数料

受験手数料の額は30,000円です。

8. 試験当日の持参品

- (1) 受験票
- (2) HBの鉛筆（シャープペンシル不可）及び黒のボールペン、マジック
- (3) 消しゴム（砂消しゴムは不可）
- (4) 昼食
- (5) 実地試験に必要な技工用器具
- (6) その他（電卓機能及びメールの送受信機能がある時計は使用を禁止）

9. 合格者の発表

合格者の発表は平成30年3月28日午後2時、一般財団法人歯科医療振興財団および厚生労働省において、受験地、受験番号を掲示して発表し、即日合格証書を郵送します。また、財団ホームページおよび厚生労働省のホームページでも合格者及び正答肢を発表します。

一般財団法人歯科医療振興財団：<http://www.dc-training.or.jp>

厚生労働省：<http://www.mhlw.go.jp>

10. その他

視覚、聴覚、音声機能もしくは言語機能に障害を有するもので受験を希望する者は、期日までに一般財団法人歯科医療振興財団に申し出てください。申し出た者については、受験の際にその障がいの状況に応じて必要な配慮を講ずることがあります。

学生周知事項

1. 掲示について

学生への告知、通知、連絡はすべて掲示板に掲示する。掲示の見落としがないよう十分注意すると共に、1日に1度は掲示を見て不利益をこうむらないように心がけること。

教務連絡用掲示板は2号館2階、玄関脇に設置されている。また、eラーニングシステム（WebClass）や電子メール（Webメール）によって連絡されることがあるので頻繁に確認すること。

2. 学生証について

- (1) 学生証は常に携帯すること。
- (2) 学生証を紛失または破損等したときは、学務企画課（1号館西1階）に届け出て再交付の手続きをすること。再交付費用（1,500円）は学生本人の負担とする。
- (3) 学生証は卒業、退学または除籍のときには直ちに学務企画課へ返納すること。返却できない場合は、費用を負担することとする。

3. 学生旅客運賃割引

- (1) 課外活動または帰省等でJR線を利用し、乗車区間が片道100kmを超える場合、旅客運賃の割引（2割）を受けることができる。
- (2) 学割証の不正使用（第三者への貸与等）は絶対にしないこと。
- (3) 年間使用限度枚数は1人10枚（1回につき2枚まで）
- (4) 私鉄、バス等の利用において通学証明書を必要とする場合は、所定の用紙をもらい、学務企画課企画調査係（1号館西1階）に問い合わせること。
- (5) 学割証が必要なときは5号館4階談話室にある証明書自動発行機を使用すること。
利用日時：月曜日～金曜日、8:30～21:00
問い合わせ先：学務企画課企画調査係（内線5075）

4. 証明書等

証明書等は、歯学系教務係および証明書自動発行機にて発行する。

<http://www.tmd.ac.jp/campuslife/procedure/shigaku/index.html>

- (1) 次に掲げるものは、歯学系教務係（歯科棟南2階）で発行するので歯学部証明書交付願を記入し提出すること（受付時間 8:30～17:15）
(①と②の交付は、原則として交付願を受理した日から1週間程度要する。)
 - ①成績証明書
 - ②調査書
 - ③英文の在学証明書

(2) 次に掲げるものは、5号館 4階談話室にある自動発行機で発行する。

(利用日時：月曜日～金曜日、8：30～21：00)

(問い合わせ先：学務企画課企画調査係（内線 5074）)

①在学証明書

②卒業見込証明書（第4学年在学者のみ）

(3) 次に掲げるものは、学務企画課企画調査係（1号館西 1階）で発行する。

①通学証明書（交通機関から請求された場合に限る）

通学証明書が必要な場合は、企画調査係に問い合わせること。

鉄道やバスの通学定期券を購入する場合は、住居の最寄り駅または大学の最寄り駅にて学生証を提示し、直接購入すること。

5. 住所・氏名等の変更について

本人または保証人の住所、氏名、電話、本籍等（電話番号を含む）に変更が生じたときには、速やかに歯学系教務係へ申し出て所定の手続きをすること。

6. 欠席、休学、復学、退学

(1) 授業の欠席

病気その他の事由により欠席した場合は欠席届を歯学系教務係（歯科棟南 2階）へ提出すること。（病気の場合は、必ず医師の診断書を添付すること。）

就職活動により欠席する場合は、

1. 事前に担当教員に行き先を伝え許可を得る。
2. 就職活動後に説明担当者名、連絡先、配布された資料、日時が記載された登録票や予約メールなどを担当教員に見せる。

以上2つの条件が満たされた場合には、就職活動による欠席を出席扱いとする。

(2) 休学

病気その他の事由により、引き続き3か月以上休学する場合は、休学願（保証人連署）を歯学系教務係へ提出し、学長の許可を得ること。（病気の場合は、必ず医師の診断書を添付すること。）

休学を許可される期間は、通算して2年以内。（特別の事情があるときは、さらに1年以内の休学が許可されることがある。）

(3) 復学

休学している学生が、休学許可期間の途中または満了時に復学を希望する場合は、復学願（保証人連署）を歯学系教務係へ提出し、学長の許可を得ること。（病気を理由に休学した場合は、復学可能である旨の医師の診断書を添付した上で、保健管理センターを受診する必要がある。）

(4) 退学

病気その他の事由により、学業を継続することが困難となり、退学しようとする場合は、退学願（保証人連署）を歯学系教務係へ提出し、学長の許可を得ること。

なお、退学するにあたっては、事前に担任教員等と面談し、退学事由等について十分相談すること。

7. ネームプレート着用について

歯学部学生であることを明示するために、歯学部・同附属病院では必ずネームプレートを着用すること。

プレートは貸与とし、紛失または破損した場合は、再交付を受けるものとする。この場合は実費を負担すること。

学科専攻名と氏名の間のスペースに学年を表示するシール（例「OE2」）を貼ること。シールは歯学系教務係で配布しているので、汚損したら適宜貼りかえること。

8. 授業中（大学行事、課外授業を含む）の事故等

入学時に加入した「学生教育研究災害傷害保険」および「医学生教育研究賠償責任保険」の対象となる。（詳細は「学生生活の手引き」を参照すること。） 問い合わせ先：学生支援事務室（5号館3階）内線

(5077) <http://www.tmd.ac.jp/campuslife/support/insurance-regime/index.html>

9. 遺失物および拾得物

学内での遺失物に関する問い合わせまたは拾得物の届け出は、下記のとおりです。

(1) 講義室、実習室、ロッカー室：歯学系教務係（歯科棟南 2 階：内線 5411）

学部防災センター（歯科棟北 1 階）

(2) 上記（1）以外：歯学部総務課（歯科棟南 2 階：内線 5406）

10. 授業料の払込について

金融機関の預金口座振替により、授業料を引き落とす。

前期分授業料は 4 月中に、後期分授業料は 10 月中に納付すること。

11. 湯島キャンパスにおける講義に際しての注意事項

(1) 平日の午前 8 時 30 分から午後 5 時まで歯学部附属病院玄関から出入りすることを原則禁止

(2) 歯学部建物内へは、以下のように出入りすること。

1) 聖門⇔1 号館、2 号館、7 号館

2) 正門⇔1 号館、2 号館、7 号館

3) 御茶ノ水門あるいは丸の内線出口⇔1 号館、2 号館、歯学部附属病院防災センター（歯学部時間外通用口）

(3) 白衣または実習着を着用していない学生は、歯学部附属病院の聖橋側エレベーターを使用すること。

(4) 臨床実習履修中の学生以外がやむを得ない理由で歯学部附属病院内を移動するときは、私語を慎むこと。

(5) 白衣または実習着を着用したまま学外に出ないこと

12. 授業中のパーソナルコンピュータ、スマートフォンなどの機器使用の制限について

授業中におけるパーソナルコンピュータ、タブレット端末、スマートフォンなどの携帯電話等の使用に関して以下のように定めている。

- (1) 当該授業に関係のない機器を使用することを禁ずる。
- (2) 上記 1 の状況において、授業担当者あるいは授業補助者が、学生が当該授業を使用していると認めるときは、これを制限できる。この場合制限とは以下のことをいう。
 - 1) 当該機器の電源を強制的に OFF にする。
 - 2) 当該授業終了時まで授業担当者あるいは授業補助者が当該機器を保管することができる。
 - 3) 当該学生を退出させる。再入室にあたっては当該機器を持ち込んでいないことを条件とする。

13. カードリーダーの設置について

各講義室および実習室、リフレッシュルーム等には、カードリーダーが設置されている。各授業の出席については、原則的にこれらに学生証をタッチすることで登録を行うので、学生証を必ず忘れないようにすること。

なお、授業によりこの装置を使用しないことがある。その場合は、担当教員の指示に従うこと。また、**万が一、学生証を忘れた場合、歯学系教務係でその日に限りの貸し出しカードを一時的に貸与するので申し出ること。**

基本的にはカードリーダーへのタッチで出欠がカウントされる。

14. 学生用メールについて

学生各自に割り当てられたメールアドレス（学籍番号下6桁にks@tmd.ac.jp）宛に、掲示に準じた連絡や、個別の連絡を送信することがあるので、定期的にチェックしておくこと。

15. その他

- (1) クラブ、サークル等宛の郵便物等は、学生支援課の窓口で保管しているので、責任者は適宜確認すること。

なお、個人宛の郵便物等は、大学に配達されることがないようにすること。

- (2) 事務の窓口

教 務 事 務：歯学系教務係（歯科棟南 2 階、内線 5411）

授 業 料の納入：財務施設部財務管理課収入管理係（1 号館西 3 階、内線 5048）

奨 学 金、授業料免除：学生支援事務室（5 号館 3 階、内線 5077）

奨学金：<http://www.tmd.ac.jp/campuslife/scholarship/index.html>

授業料免除：<http://www.tmd.ac.jp/campuslife/exemption/index.html>

災害関係連絡事項

1. 台風等の自然災害や交通機関運休による休講措置（湯島地区）

台風等の自然災害や交通機関運休に伴う湯島地区で行う授業の休講、試験の延期の措置等を決定した場合は、下記により本学のホームページ「学部・大学院」ニュース欄に掲載する。

URL: <http://www.tmd.ac.jp/faculties/index.html>

○台風などで首都圏に直接災害が予想される場合

- ・ 午前の授業を休講、午前の試験を延期とする場合は、午前 6 時 30 分までに公示する。
- ・ 午後の授業を休講、午後の試験を延期とする場合は、午前 10 時までに公示する。
- ・ 夜間（午後 6 時以降）の授業を休講、夜間（午後 6 時以降）の試験を延期とする場合は、午後 4 時までに公示する。

○首都圏における交通機関（JR および大手私鉄・地下鉄など）が全面的に運転を休止している場合

- ・ 午前の授業を休講、午前の試験を延期とする場合は、午前 6 時 30 分までに公示する。
- ・ 午後の授業を休講、午後の試験を延期とする場合は、午前 10 時までに公示する。
- ・ 夜間（午後 6 時以降）の授業を休講、夜間（午後 6 時以降）の試験を延期とする場合は、午後 4 時までに公示する。

2. 授業中の大規模地震のときの避難場所について

学内で地震や火災などの非常事態が起こった場合、あわてずに教員の指示に従って行動すること。講義室や実習室等、2号館内にいる場合、教員の指示によりいったん2号館正面玄関前の駐車場に集合してから、M&Dタワー前の避難場所に移動する。ただし、状況に応じて別の避難場所に誘導される場合がある。

大学全体としての避難場所は M&D タワー前スペースとなっている。

3. 大規模地震ポケットマニュアルについて

このマニュアルは、大規模地震（震度 5 強以上を想定）が発生した場合の初動対応を掲載している。常時携行し、大規模地震が発生した場合の安全確保や避難及び安否確認等に役立てること。

マニュアルが手元に届かない場合、あるいは破損・紛失した場合は、以下に問い合わせること。英語版のポケットマニュアルも作成しているので、必要な場合は以下に申し出ること。

問い合わせ先：歯学系教務係（歯科棟南 2 階）03-5803-5411

なお、このマニュアルは、ホームページからも確認できる。

（学内専用サイト → 学内専用教職員学生向け情報 → 危機管理に関する情報）

<http://www1.tmd.ac.jp/others/soumusoumu/soumu/20110405/index.html>

4. 安否確認システムについて

このシステムは、大規模地震はもとより、風水害等による本学の学生及び教職員の安否確認のため、携帯電話・スマートフォン・パソコンから安否情報を入力するものである。

大規模地震や風水害の際には、「大規模地震ポケットマニュアル」の「安否確認システムによる報告」を確認し、安否確認システム (<https://asp21.emc-call3rd.jp/tmdu/>) にアクセスし、ID（学籍番号）とパスワード（初期値は ID と同じ）によりログインして自身の安否を入力すること。

今後、このシステムの実効性を高めるため、試行を重ねる予定であるので、その際はメール等により案内する。

なお、このシステムの操作方法等については、ホームページから確認すること。

(学内専用サイト → 教職員学生向け情報サイト → 危機管理に関する情報)

<http://www1.tmd.ac.jp/others/soumusoumu/soumu/20110405/index.html>

学生支援・保健機構について 学生・女性支援センターについて

場所：5号館3階 開室時間：9：00～17：00

学生・女性支援センターは、本学の学生に対して、生活、修学、就職、メンタルヘルスやハラスメント、キャリアパスや学業（仕事）と家庭との両立に関する事など、キャンパスライフ全般に渡り、学生支援活動の充実を図ることを目的として設置されています。

また、以下のとおり学生生活全般及びキャリアに関する相談に応じています。各ホームページに個別相談予約状況や予約方法を記載していますので、お気軽にご利用ください。

なお、本センターは男女問わずご利用頂けます。

<学生支援室／障害学生支援室>・・・学生生活全般に関する事

- ・生活、修学、就職に関する事
- ・メンタル（保健管理センターと連携）に関する相談及びカウンセリングに関する事
- ・ハラスメントに関する相談及びカウンセリングに関する事
- ・障害やそれ以外によるハンディを被ることなく修学が出来るよう、それぞれのニーズに合わせた支援の相談などに関する事

☆ キャンパスライフを送るうえでの悩みや困ったことなどについて、個別に相談に応じます。

・月～金（10:30～16:00）1回50分：http://www.tmd.ac.jp/cgi-bin/stdc/cms_reserv.cgi

・国府台キャンパス（保健管理センター内）：週に1回相談に応じています。

URL：<http://www.tmd.ac.jp/cmn/stdc/>

連絡先：03-5803-4959 Email：scenter.stc@tmd.ac.jp（月～金 9:00～17:00）

<男女協働参画支援室／保育支援室>・・・キャリア支援や学業（仕事）と家庭との両立支援に関する事

- ・今後の進路や生き方に関する支援及びその相談
- ・妊娠・出産・育児や保育園入園、介護に関する支援及びその相談

☆ 今後のキャリアに関する悩みや、学業と家庭との両立や育児について困ったことがあれば、個別の相談にも応じています。

・月～金（10:30～17:00）1回60分：<http://www.tmd.ac.jp/ang/counsel/index.html>

☆ 学生・女性支援センター内には、授乳・搾乳室を設置しています。また、保育支援として大学独自のファミリーサポート事業を実施しています。

URL：<http://www.tmd.ac.jp/ang/>

連絡先：03-5803-4921 Email：info.ang@tmd.ac.jp（月～金 9:00～17:00）

保健管理センターについて

健康状態の把握と、疾病の早期発見のため、定期あるいは臨時の健康診断及びワクチン接種等を行います。また、心身両面の健康障害や不安について、診察や相談を行っています。

○組織と業務

| 名称 | 場所 | 連絡先 | 業務内容 |
|------------|--------------------|--------------|--|
| 保健管理センター | 湯島 5号館2階 | 03-5803-5081 | 1. 健康相談 2. メンタルヘルス相談 |
| 保健管理センター分室 | 国府台 シャン・ドウ・コーズリー1階 | 047-300-7108 | 3. 健康診断 4. 健康診断証明書の発行 5. 応急処置・診察・治療（軽い怪我・風邪など） 6. 各種抗体検査・ワクチン接種 |

○保健管理センターの利用について

- 1) メディカルスタッフへの相談を希望する方は、HP の健康相談予定表、もしくは当センター入り口に掲示してあります健康相談予定表で確認の上、相談においでください。軽い怪我や風邪などについては治療を受けることもできます。また、必要に応じて医療機関への紹介状もお書きします。メンタルヘルスに関する相談も行っております。
- 2) 月曜日～金曜日の開室時間内は、血圧測定や視力検査、身体計測など自己測定ができます。その他、湯島では、エアロバイク・ジョーバなど健康機器やマッサージチェア・Nap用ベッドも備えていますのでご利用ください。

| | | |
|------|-------|---------------------------|
| 開室時間 | 湯島地区 | 8時45分～17時00分 |
| | 国府台地区 | 9時45分～16時15分（水曜日のみ15時15分） |

ホームページ：<http://www.tmd.ac.jp/hsc/index.html>

下記が実施済であることを実習要件とする（2017年6月27日教育戦略会議にて決定）

- ・4種(麻疹・風疹・水痘・ムンプス)抗体検査結果に基づくワクチン接種が、規定回数終了している
- ・B型肝炎抗体価が陽性または non-responder（計6回ワクチン接種をしても陽性とならない）である
- ・T スポット®. TB 検査を実施済である
- ・臨床実習に出る直近の学生定期健康診断を受診済である

*ただし、以下の者はその証明をもってワクチン接種対象外とする

〈4種ワクチン接種〉

- ・過去に同ワクチン接種でアナフィラキシーを呈したことがある者
- ・免疫機能に異常のある疾患を有する者及び免疫抑制をきたす治療を受けている者で主治医より接種禁とされた者
- ・妊娠していることが明らかな者
- ・その他、主治医により予防接種を行うことが不相当と判断された者

〈B型肝炎ワクチン接種〉

- ・過去に同ワクチン接種でアナフィラキシーを呈したことがある者
- ・その他、主治医により予防接種を行うことが不相当と判断された者

検査ワクチン実習要件について

保健管理センターでの検査、ワクチンの実施スケジュール

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | | |
|----|--|--|---|--|--|----|-----|-----|-----|----|--|----|--|--|
| 1年 |  4種抗体検査 (対象：全員) | 学生定期健康診断 (毎年、全員) |   4種ワクチン接種期間 (接種月はワクチン毎に決まっている) 対象：抗体価が陰性→同ワクチンを2回接種 抗体価が陽性(基準を満たさない)→1回接種   | | | | | | | | | | | |
| 2年 |  B型肝炎抗原抗体検査 (対象：全員) | |  1回目 |  2回目 | B型肝炎ワクチン接種期間 1クール目(全3回) 対象：抗体価が陰性だった者 | | | | | |  3回目 | | | |
| |  Tスポット®, TB検査 (対象：全員) | | | | | | | | | | | | | |
| 3年 |  B型肝炎抗原抗体検査 (対象：2年でB肝ワクチン 1クール目を接種した者) | |  1回目 |  2回目 | B型肝炎ワクチン接種期間 2クール目(全3回) 対象：抗体価が陰性だった者 | | | | | |  3回目 | | | |
| 4年 |  B型肝炎抗原抗体検査 (対象：3年でB肝ワクチン 2クール目を接種した者) | B型肝炎ワクチンを2クール計6回接種しても 抗体価が陰性の場合、 「non-responder」となり、それ以上の接種は行わない | | | | | | | | | | | | |



ワクチン接種は、事前の申込みと入金が必要です。



対象学年で、検査やワクチン接種を受検し忘れた場合は、速やかに保健管理センターへ申し出てください。その後の対応について説明します。

図書館について

1. 場所：M&D タワー3階（カウンター、閲覧席等）、4階（閲覧席、情報検索室等）

2. 利用可能時間：

| | | |
|---------|-----|-------------|
| 開館時間 | 平日 | 8：30～22：00 |
| | 土日祝 | 10：00～18：30 |
| (情報検索室) | 平日 | 9：00～21：00 |
| | 土日祝 | 11：00～17：30 |
| 休館日 | | 年末年始 |

※プレ開館 土日祝 8:30～10:00

(8月・3月はプレ開館なし)

3. 利用方法：（詳細は「図書館ホームページを参照してください。」）

- 図書館の利用には、利用証が必要です。ICカードタイプの学生証が利用証になります。入館ゲートにかざして入館してください。忘れた場合はカウンターに申し出て下さい。入館はできますが、貸出ができません。
- 探している資料があるか、配架場所等は図書館ホームページ蔵書検索（OPAC）でお調べください。
- 貸出を希望される資料と利用証を持って、カウンターへお越しください。自動貸出機もご利用いただけます。ただし、CD-ROMなどの付属資料のあるものはカウンターでの貸出のみとなります。貸出可能冊数は図書・製本雑誌合わせて5冊まで、貸出期間は図書は2週間、製本雑誌は1週間です。
- 引き続き資料を利用したい場合、期限内であり、次に予約が入っていない図書に関しては、1回に限り貸出期間を延長することが出来ます。図書館ホームページの My Library もしくはカウンターで延長手続きをしてください。
- 本館・分館間で **おおよそ** 週に一度、資料の取り寄せを行っています。カウンターで申込手続きを行ってください。（来館でのお申込みのみになります）
- 本館・分館の資料は、どちらの図書館でも返却できます。（返却日は厳守してください）
開館時：カウンターに返却してください。
閉館時：M&D タワー1階、図書館入口のブックポストに返却してください。
- 製本雑誌は自動書庫に保管されています。あらかじめ予約をして4階出庫ステーションからご自身で取り出して、ご利用ください。
出庫予約時のID・パスワードは MyLibrary と同じ統合IDとパスワードです。
- 電子ジャーナルは出版社との契約により、学内LANからの利用のみになります。
- 本学の資料を著作権の範囲内で複製することができます。コピーはセルフサービスです。図書館に設置されているコピー機をお使いください。現金またはプリペイドカードでお支払いください。両替はできません。料金：モノクロ1枚 10円 カラー1枚 30円
- 情報検索室のPCが利用できます。（ただし、全面利用の授業時は利用ができません）ネットワークの利用にはアカウントとパスワードが必要です。プリンターは情報検索室を出て左手奥に1台設置されており、モノクロとカラー印刷が可能で有料となります。

- 館内は無線 LAN 対応です。各自で持ち込まれるパソコンからインターネット、学内 LAN に接続する場合は、アカウントとパスワードが必要となります。アカウントとパスワードが必要ない印刷は USB メモリー印刷専用の PC が 3 階と 4 階に設置されていますので、USB メモリーに保存してあるものは印刷が可能です。印刷物はそれぞれ指定のプリンター（モノクロ、カラー・有料）から出力されます。
3 階閲覧室に備付のパソコンがあります。インターネット、印刷利用の場合は、アカウントとパスワードが必要です。3 階閲覧室のプリンターはカウンター脇（モノクロ、カラー・有料）にあります。
 - 利用したい資料が学内（講座・電子ジャーナル含む）になく、他大学や研究機関の図書館で所蔵している場合、複写を申し込む、または図書を取り寄せることができます。複写と貸借は My Library からお申込みください。
 - 他大学の図書館を利用する場合、身分証の他に紹介状が必要です。（紹介状は訪問希望日の 3 日前までにお申し込みください）訪問先で利用したい資料の所在を確認し、カウンターでお申込みください。なお、明治大学の図書館は本学の学生証で利用することができます。ただし、明治大学図書館の資料の館外貸出を希望される方は学生証の他に、住所のわかるものを持参していただき、明治大学のライブラリーカードを作る必要があります。（1 月、7 月は利用不可、3 月貸出停止）
 - 館内での飲食は原則禁止です。（本館では、3 階の図書館入口前に、飲食ラウンジがあります。）
 - 所持品は各自責任を持って管理してください。貴重品は常に携帯してください。荷物を置いたままで長時間席を離れる席取り行為はやめてください。長時間席に居ない場合は、荷物を回収することもあります。
4. 問い合わせ先：内線 5596 e-mail: info-serve.lib@ml.tmd.ac.jp
ホームページ: <https://www01s.ufinity.jp/tmdu/>

国立美術館キャンパスメンバーズについて

「国立美術館キャンパスメンバーズ」とは、学校教育において美術館を有効に活用すること、学生や教職員の美術に親しむ機会をより豊かにすることを目的とした、大学等を対象とする制度です。本学でもこのキャンパスメンバーズに加入しています。

1. 対象：本学の学部学生・大学院生・教職員
2. 特典：所蔵作品展の「無料観覧」（所蔵作品を持たない国立新美術館を除く）
特別展・共催展の「割引観覧」（学生は大学生団体料金・教職員は一般団体料金）
3. 利用方法：各館の券売所または改札で学生は学生証、教職員は身分証明書を提示し、キャンパスメンバーズの利用の旨を伝え、入館または観覧券を購入してください。学生証、身分証明書を持参していない場合、特典を受けることはできません。なお、詳しい日程は、各館のホームページで確認してください。
4. 利用機関：以下の3館
国立西洋美術館、東京国立近代美術館、国立新美術館
5. ホームページ：http://www.tmd.ac.jp/campuslife/campus_members/index.html
<http://www.campusmembers.jp/>

1号館西・2号館・7号館の管理、使用について

1. 1号館西・2号館・7号館の出入口の施錠（平日）について

1号館西出入口

1号館西 正面玄関 終日出入可（防災センター管理）

1号館西 東側出入口 解錠 6:00 施錠 18:30

2号館出入口

2階正面玄関 解錠 7:00 施錠 18:00

2階外階段 解錠 7:00 施錠 18:00

（施錠後はカードリーダーに学生証をタッチすることで外から入ることが可能です）。

歯科棟出入口

歯科棟南1階通用扉 カードリーダーに学生証をタッチすることで外から入ることが可能です。2階に歯学系教務係があります。

7号館側接続口 1・4階は出入不可、2・3・5階はカードリーダーに学生証をタッチすることで外から入ることが可能です（ただし、実習により病院を訪れる場合に限りません）。

7号館出入口

1階聖門側、EV前 解錠 7:00 施錠 18:00

歯科棟北接続口（東側1～6階） 1階は解錠 7:00 施錠 18:00、
2～6階は常時開放

1号館東接続口（2～5階） 常時開放

消防法の規定により、歯科棟側と2階外階段出入口は避難口のため、施錠しても建物内から外へは常に出られます。ただし、7号館1階歯科棟側接続口、1号館東接続口（2、3階）は施錠すると出入りできません。

2. 1号館西・2号館・7号館内各室の施錠について

1号館西講義室 解錠 7:30 施錠 18:00

2号館講義室 随時（口腔保健工学専攻教員が解・施錠）

7号館講義室 解錠 7:00 施錠 17:00（教務指示による）

2号館学生ロッカー室 番号ロック制

3. 1号館西・2号館・7号館における講義室の目的外使用について

講義室は、原則として目的外使用は許可しません。

4. 学生ロッカー室（2号館3階）について

(1) ロッカー室は、更衣室として使用できます。

(2) 各人にロッカーが貸与されるので、丁寧地使用してください。

学生ロッカー1は男子学生が、学生ロッカー2は女子学生が使用します。

また、各人の責任による破損等については、各人の負担により原状回復してください。

(3) ロッカーの使用にあたって、各人で暗証番号を設定し、ロッカーには必ず鍵を閉め、盗難に注意しましょう。ロッカーでの盗難が多発しているため、特に貴重品等の管理は厳重にしてください。

(4) ロッカーの上部に私物を置かないこと。放置された私物は、適宜、予告なしに処分されます。

(5) ロッカーの内外部にシール、ポスター等を貼らないこと。

(6) 飲食後の空容器、紙くず等は必ず分別してごみ箱に捨て、室内に放置しないこと。

(7) ロッカー室でサークルの集会をしたり、マーじゃん等をしたりしないこと。

5. リフレッシュルーム（2号館）の使用について

(1) リフレッシュルームは、食事、休憩、歯磨きなどの目的で使用します。

(2) 口腔保健学科口腔保健工学専攻学生の共用で使用します。

(3) 周囲に迷惑がかからぬよう、お互いに協力して、節度をもって使用すること。

(4) リフレッシュルームの棚にある図書、雑誌は、口腔保健工学専攻学生の共用とします。一部の学生が独占的に利用することがないようにしましょう。図書、雑誌の管理は学生に任されています。紛失や破損等については、各人の負担により原状回復してください。

(5) 注意事項

・私物を保管・放置したり、特定の場所を占拠したりしないこと。放置された私物は、適宜、予告なしに処分されます。

・エアコンの設定温度に留意し、誰もいないときにはエアコンを消すこと。

・飲食した空容器、紙くず等は放置せず、必ず分別してごみ箱に捨てること。

・洗面台の排水が詰まるので、食べ物のカス等を流さないこと。

・全員退出する際には電源を全て消すこと。

・掲示板およびホワイトボードは全学年共用で、学生間の連絡のほか、教員からの連絡にも使用することがあります。不要になった書き込みや掲示物は、書いたものや掲示したものが責任を持って消し、撤去してください。

(6) リフレッシュルームは平日に使用できますが、長期休暇中は平日も施錠されるので、

その期間中に使用したい学生は、口腔保健工学専攻教員に申し出て解・施錠してもらうこと。

6. 歯学部リフレッシュルーム（7号館）の使用について

7号館1階および6階には、学生の休息、自己学習等での使用を目的としたリフレッシュスペースが設けられています。この施設では、無線LANを利用して学内LANへの接続も可能になっています。施設を利用する場合は、下記の注意事項を厳守してください。

(1) 利用時間

平日 午前8時30分から午後7時30分まで

(2) 利用する上での注意事項

- 1) きれいに、清潔に利用すること。
- 2) 一部の学生が独占的に利用する環境を作らないこと。
- 3) 私物や貴重品は極力置かないこと（紛失は本人の責任になります）。
- 4) 禁煙です。
- 5) 本学学生としてあるまじき行為を行った場合、大学の懲戒規定にかかるとともに、他の学生を含め、当施設の利用を全面的に禁止することが有り得ることを念頭に置き、使用してください。
- 6) 他に利用している学生を考慮し、騒がないこと。
- 7) ごみの始末は各自で行うこと。

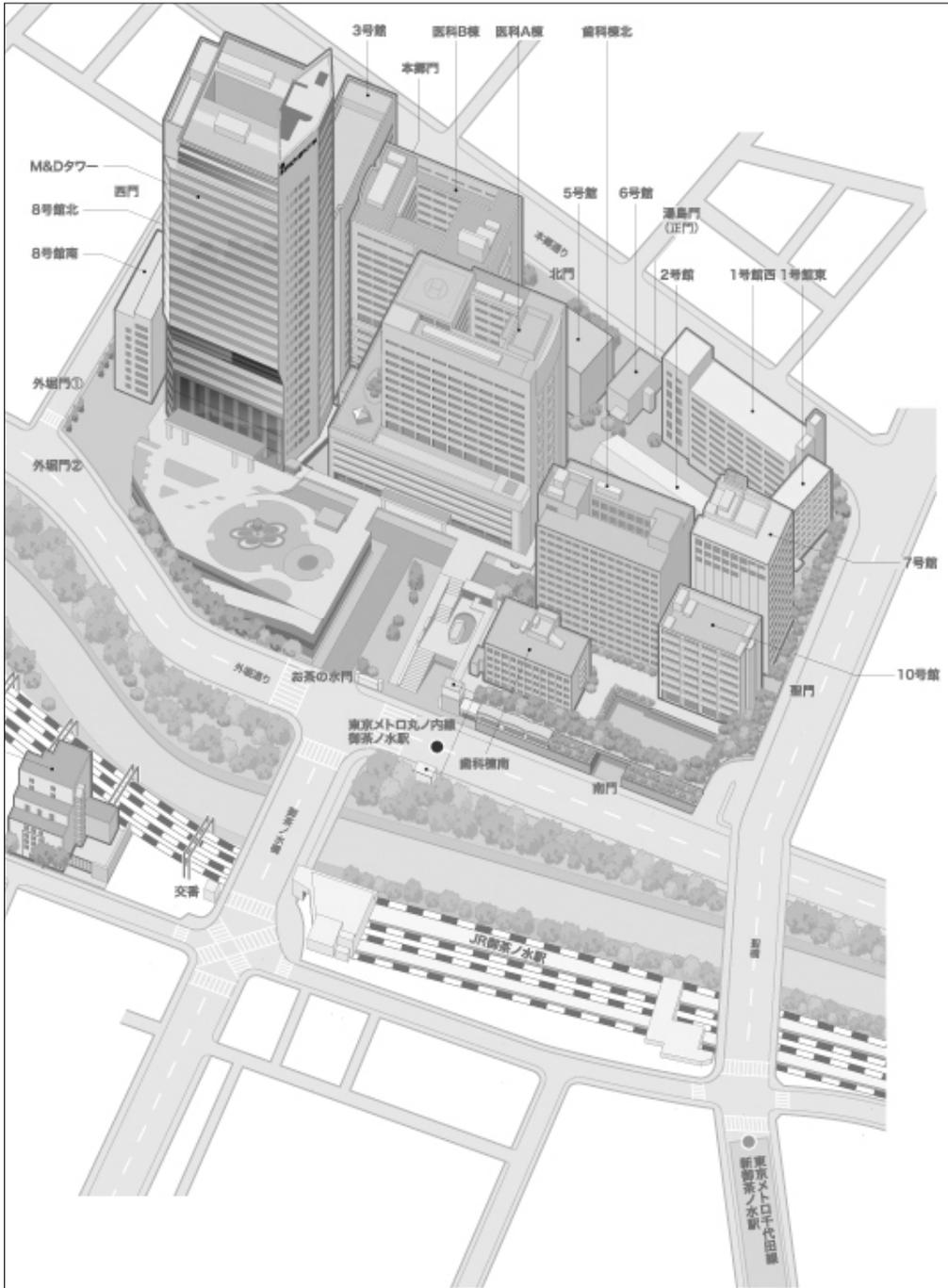
7. 学生用ホワイトボード（リフレッシュルーム）の使用について

- (1) 掲示物の内容については関知しないが、良識をもって掲示すること。
- (2) 掲示期間を過ぎることのないよう、自主的に撤去すること。

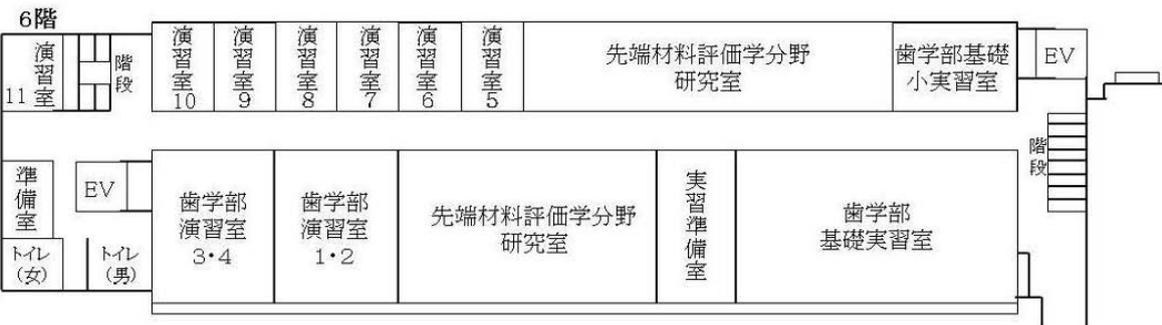
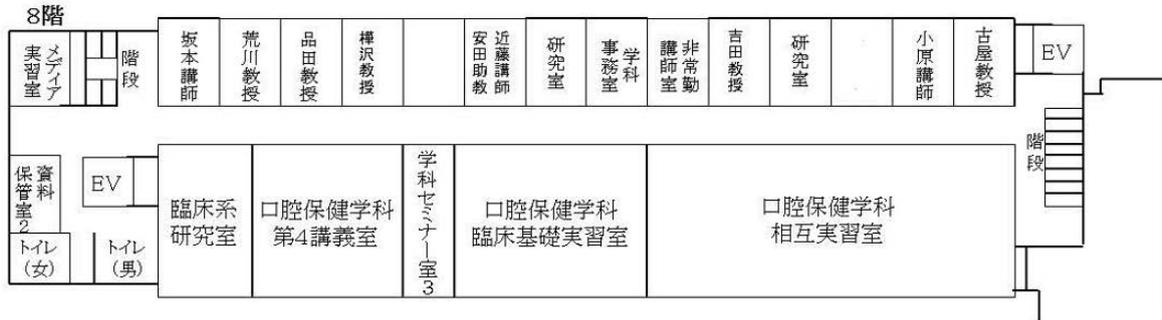
8. 講義室・実習室の使用について

- (1) 講義室・実習室における飲食は原則として禁止します。
- (2) 講義室の机の上に腰をかけないこと。
- (3) 7号館7階以上は動物実験施設なので、感染予防等のため関係者以外の出入りを禁止します。
- (4) 講義室・実習室においては、紙くず等を散らさないようにし、必ず分別してごみ箱に捨てること。
- (5) 参考書・ノート等の私物は講義室の中に放置しないこと。放置された私物は、適宜、予告なしに処分されます。
- (6) 室内は学生用ホワイトボード・掲示板以外に掲示物の添付を禁じます。
- (7) 講義室・実習室等においては、下駄ばきを厳禁します。

湯島キャンパス案内

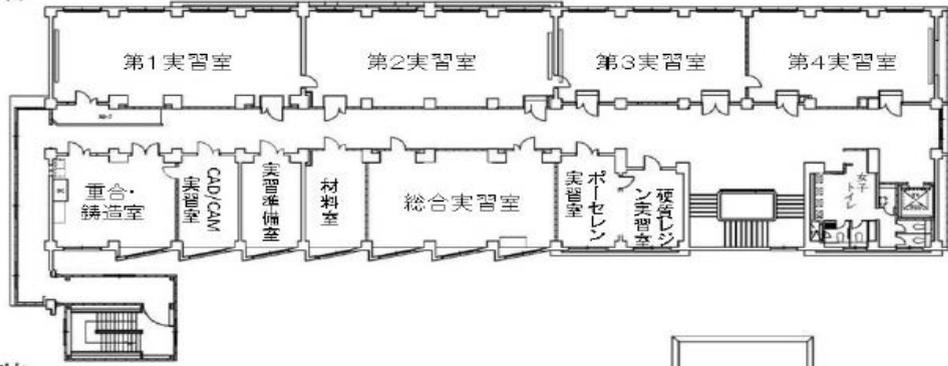


1号館西6～8階平面図

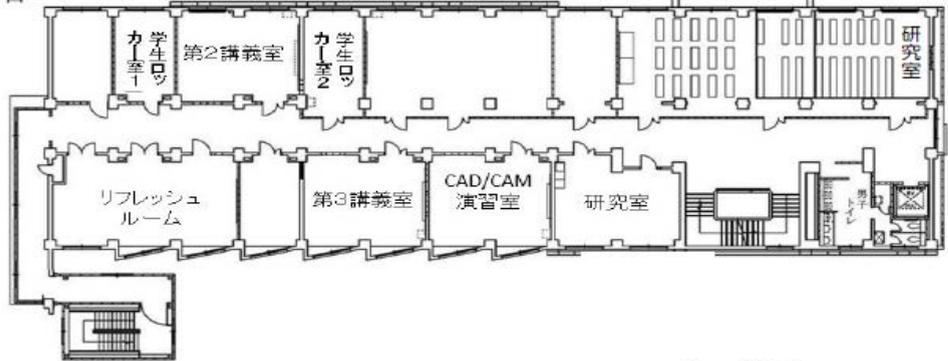


2号館見取り図

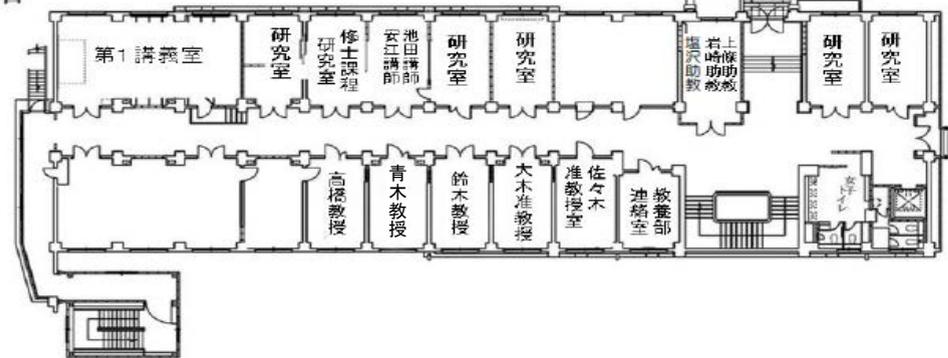
4階



3階

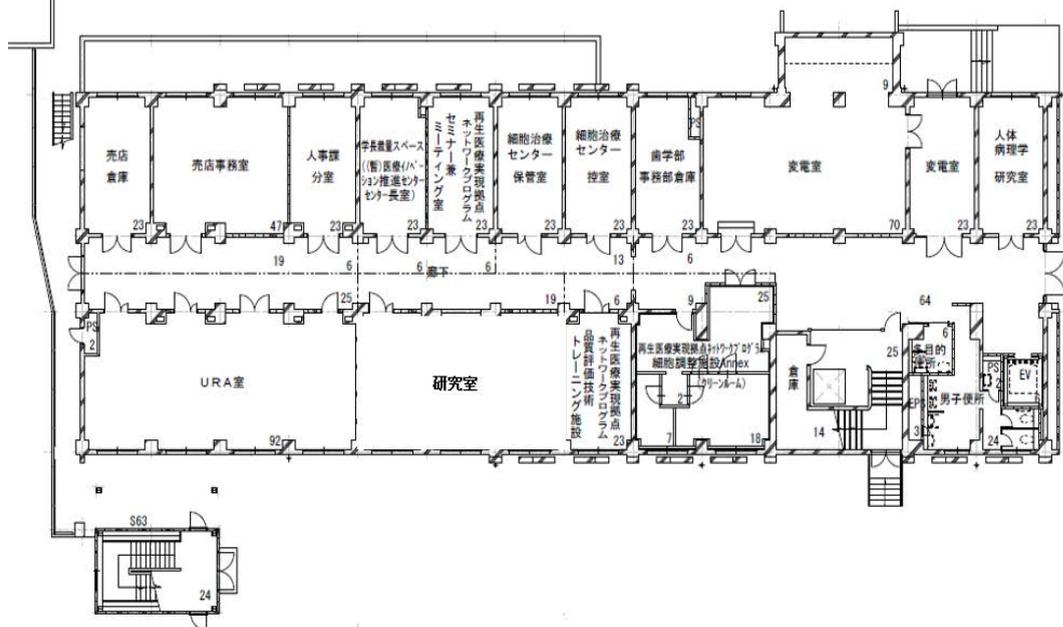


2階



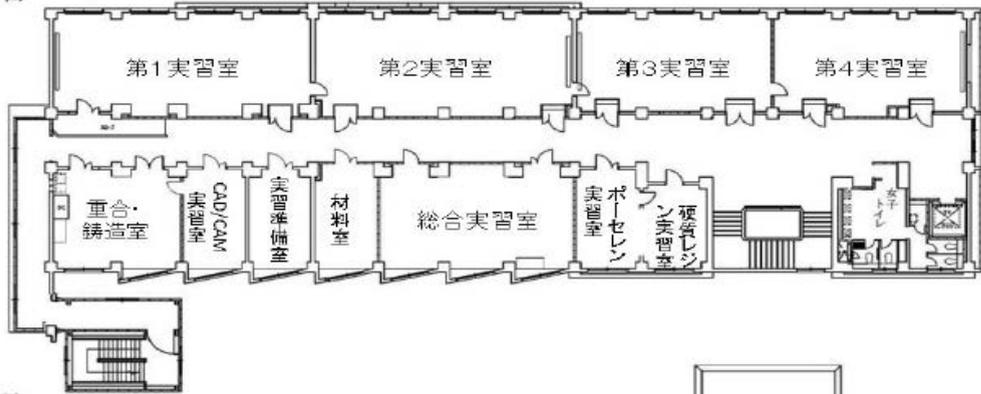
2階
 連絡科
 口棟

1階

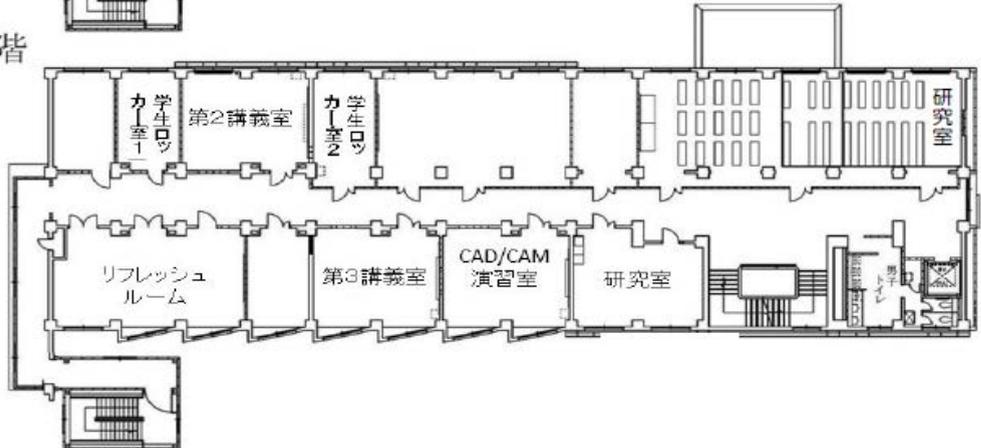


2号館見取り図

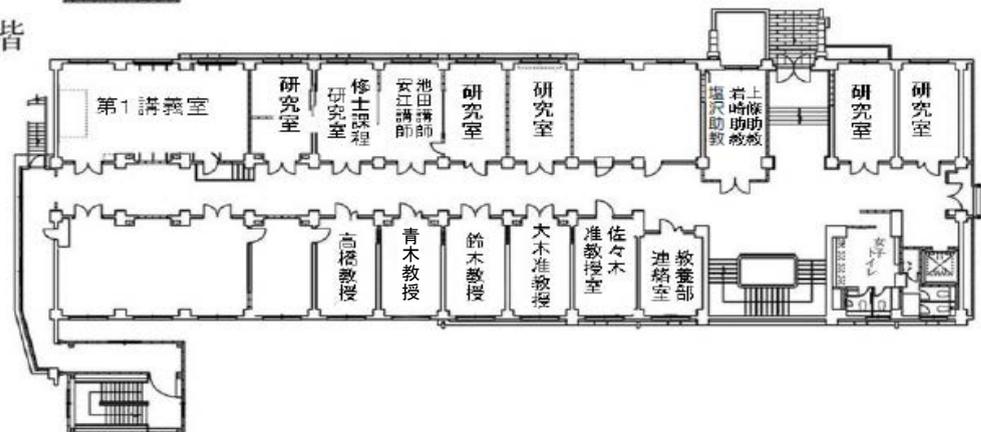
4階



3階

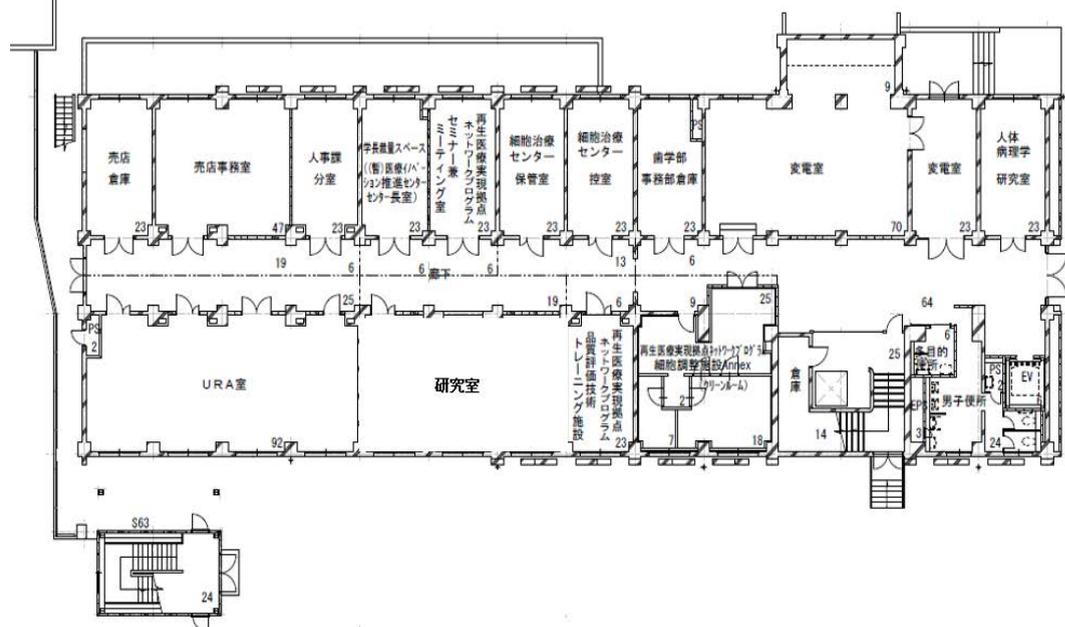


2階

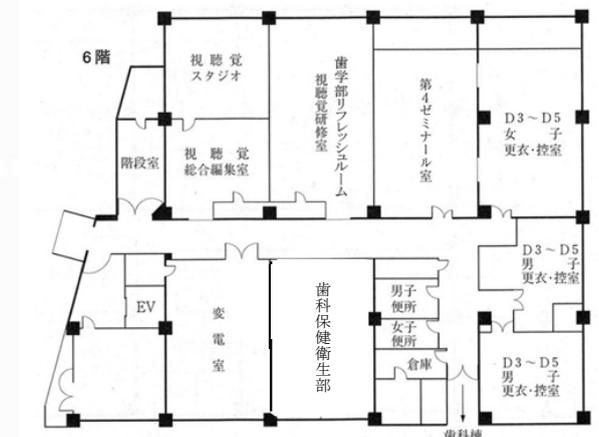
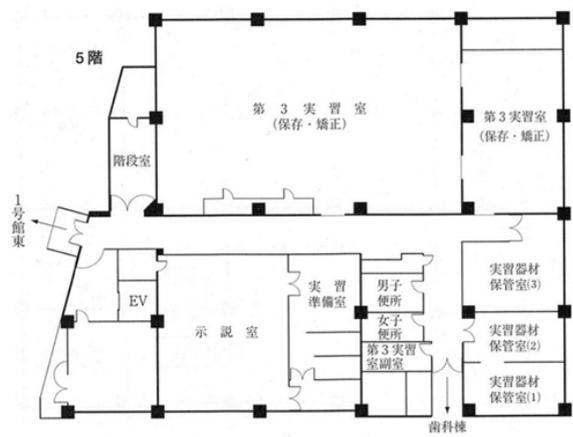
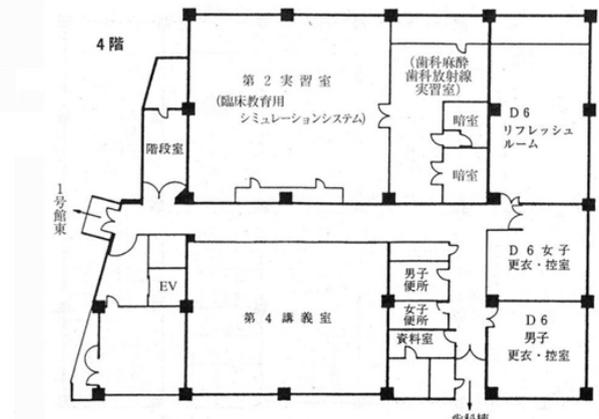
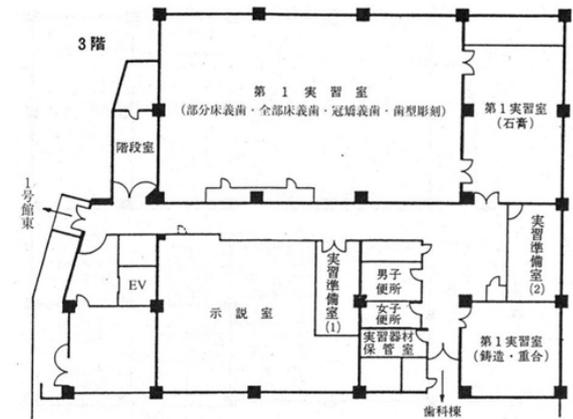
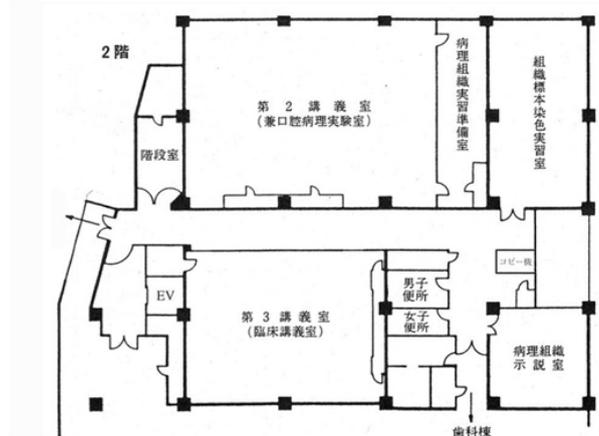
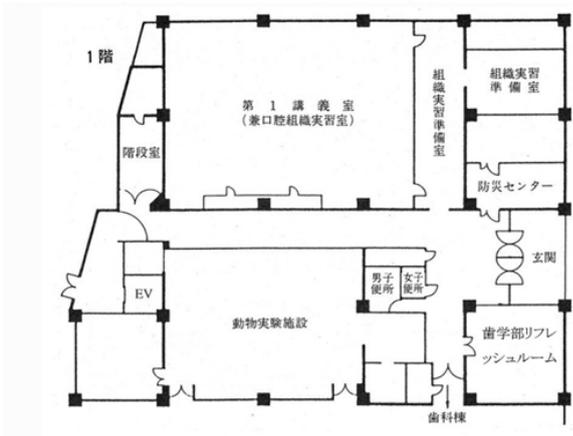


2階歯科棟
連絡口

1階



7号館平面図



平成30年度 歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻 専門科目授業計画表

第1学年

| | 学部専門科目 | 期 間 |
|----|--|---|
| 前期 | 「口腔保健工学概論」 | H30.4.17 (火) ~ H30.5.15 (火) 5週 毎週火曜日 |
| | 「早期臨床体験実習」 「人体の構造と機能Ⅰ」 「造形美術概論実習」 「メディア情報学基礎」 「口腔機材開発工学」 「加工技術基礎」 | H30.10.2 (火) ~ H31.2.5 (火) 17週 毎週火曜日 |
| 後期 | 専門科目試験 | H31.2.12(火), H31.2.19(火) |

第3学年

| | 区 分 | 期 間 |
|----|-------------|-------------------------------|
| 前期 | 春季休業 | H30.4.1 (日) ~ H30.4.5 (木) |
| | 専門課程ガイダンス | H30.4.6 (金) |
| | 授 業 17 週 | H30.4.9 (月) ~ H30.7.25 (水) |
| | 補 講 | H30.7.26 (木) ~ H30.7.27 (金) |
| | 夏季休業 | H30.7.30 (月) ~ H30.8.31 (金) |
| 後期 | 補講および定期試験 | H30.9.3 (月) ~ H30.9.28 (金) |
| | 授 業 12 週 | H30.10.1 (月) ~ H30.12.21 (金) |
| | 創 立 記 念 日 | H30.10.12 (金) |
| | お 茶 の 水 祭 | H30.10.13 (土) ~ H30.10.14 (日) |
| | 解 剖 体 追 悼 式 | H30.10.18 (木) 午後予定 |
| | 冬季休業 | H30.12.24 (月) ~ H31.1.4 (金) |
| | 授 業 5 週 | H31.1.7 (月) ~ H31.2.8 (金) |
| | 補講および定期試験 | H31.2.12 (火) ~ H31.2.28 (木) |
| | 授 業 1 週 | H31.3.4 (月) ~ H31.3.8 (金) |
| | 春期特別臨床実習 | H31.3.11 (月) ~ H31.3.15 (金) |
| | 春季休業 | H31.3.18 (月) ~ H31.3.31 (日) |

第2学年

| | 区 分 | 期 間 |
|-------|----------------------------|-------------------------------|
| 前期 | 春季休業 | H30.4.1 (日) ~ H30.4.6 (金) |
| | 専門課程ガイダンス | H30.4.3 (火) |
| | 入学式(編入学生のみ) | H30.4.9 (月) |
| | 授 業 17 週 | H30.4.9 (月) ~ H30.7.25 (水) |
| | 補 講 | H30.7.26 (木) ~ H30.7.27 (金) |
| | 夏季休業 | H30.7.30 (月) ~ H30.8.31 (金) |
| | 補講および定期試験 | H30.9.3 (月) ~ H30.9.28 (金) |
| 後期 | 授 業 12 週 | H30.10.1 (月) ~ H30.12.21 (金) |
| | 創 立 記 念 日 | H30.10.12 (金) |
| | お 茶 の 水 祭 | H30.10.13 (土) ~ H30.10.14 (日) |
| | 補 講 | H30.11.27 (火) |
| | 海 外 特 別 研 修 | H30.12.3 (月) ~ H30.12.7 (金) |
| | 冬季休業 | H30.12.24 (月) ~ H31.1.4 (金) |
| | 授 業 5 週 | H31.1.7 (月) ~ H31.2.8 (金) |
| | 補講および定期試験 | H31.2.12 (火) ~ H31.2.28 (木) |
| 大 掃 除 | H31.3.1 (金) | |
| 春季休業 | H31.3.4 (月) ~ H31.3.31 (日) | |

*海外特別研修は専門必修科目の一貫として実施する。

第4学年

| | 区 分 | 期 間 |
|-------|----------------------------|-------------------------------|
| 前期 | 春季休業 | H30.4.1 (日) ~ H30.4.5 (木) |
| | 専門課程ガイダンス | H30.4.6 (金) |
| | 授 業 15 週 | H30.4.9 (月) ~ H30.7.20 (金) |
| | 試 験 お よ び 補 講 | H30.7.23 (月) ~ H30.7.25 (水) |
| | 夏期特別臨床実習 | H30.7.26 (木) ~ H30.8.10 (金) |
| | 夏季休業 | H30.8.13 (月) ~ H30.8.17 (金) |
| | 夏期特別臨床実習 | H30.8.20 (月) ~ H30.9.28 (金) |
| 後期 | 授 業 12 週 | H30.10.1 (月) ~ H30.12.21 (金) |
| | 創 立 記 念 日 | H30.10.12 (金) |
| | お 茶 の 水 祭 | H30.10.13 (土) ~ H30.10.14 (日) |
| | 補 講 | H30.11.27 (火) |
| | 冬季休業 | H30.12.24 (月) ~ H31.1.4 (金) |
| | 授 業 3 週 | H31.1.7 (月) ~ H31.1.24 (木) |
| | 卒 業 製 作 発 表 会 | H31.1.9 (水) |
| | 卒 業 研 究 発 表 会 | H31.1.11 (金) |
| | 国家試験対策および自己研修 | H31.1.7 (月) ~ H31.2.22 (金) |
| | キャリアアップ研修 | H31.2.25 (月) ~ H31.3.6 (水) |
| 春季休業 | H31.3.7 (木) ~ H31.3.22 (金) | |
| 卒 業 式 | H31.3.25 (月) | |

歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻 教員連絡先一覧

| 分野名 | 氏名 | メールアドレス |
|------------|-------|--------------------------|
| 口腔基礎工学分野 | 青木 和広 | kazu.hpha@tmd.ac.jp |
| | 大木 明子 | moki.mfoe@tmd.ac.jp |
| | 上條 真吾 | s-kamijoh.itoe@tmd.ac.jp |
| 口腔機材開発工学分野 | 高橋 英和 | takahashi.bmoe@tmd.ac.jp |
| | 安江 透 | yasue.fpoe@tmd.ac.jp |
| | 岩崎 直彦 | iwasaki.bmoe@tmd.ac.jp |
| 口腔機能再建工学分野 | 鈴木 哲也 | suzuki.peoe@tmd.ac.jp |
| | 池田 正臣 | ikeda.csoe@tmd.ac.jp |
| | 塩沢 真穂 | m.shiozawa.abm@tmd.ac.jp |

第1学年
履修科目・ユニット

| | | | | | | | |
|--|-----------------------------------|-------------|--------------------|-----------------|--|---|---|
| 時間割番号 | 023501 | | | | | | |
| 科目名 | 口腔保健工学概論 | | | | | | |
| 担当教員 | 大木 明子, 青木 和広, 吉田 直美, 大塚 絃未, 塩沢 真穂 | | | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 | | |
| 主な講義場所 | | | | | | | |
| 口腔保健学科(口腔保健衛生学専攻)第3講義室 歯学部演習室 | | | | | | | |
| 授業の目的、概要等 | | | | | | | |
| 自学自習とディスカッションに基づく問題基盤型学習(PBL)や演習をとおして、口腔保健の基礎知識、保健・医療・福祉の専門職に共通する職業倫理や実務上の態度・姿勢、多職種連携の重要性を学ぶ。 | | | | | | | |
| 授業の到達目標 | | | | | | | |
| 1. 口腔保健の概要を説明する。 2. 保健・医療・福祉の専門職に共通する職業倫理を説明する。 3. 保健・医療・福祉の専門職に共通する実務上の態度・姿勢を説明する。 4. 保健・医療・福祉の専門職による多職種連携の重要性を説明する。 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1 | 4/17 | 12:50-14:20 | 歯学部演習室 口腔保健学科第3講義室 | オリエンテーション、シナリオ1 | 口腔保健と専門職を学ぶ意義、学習方法(PBL テュートリアル)、シナリオ提示、学習項目の検討 | 青木 和広 大木 明子 大塚 絃未 吉田 直美 塩沢 真穂 | 最初に第3講義室に集合してください。 SBOs:1-4 チューター:伊藤 奏 TA:山本宥佑 |
| 2-3 | 4/24 | 12:50-16:00 | 歯学部演習室 | 学習項目の発表、シナリオ2 | ディスカッション、シナリオ提示、学習項目の検討 | 青木 和広 大木 明子 大塚 絃未 吉田 直美 塩沢 真穂 | SBOs:1-4 チューター:伊藤 奏 TA:山本宥佑 |
| 4-5 | 5/1 | 12:50-16:00 | 歯学部演習室 | 学習項目の発表、全体発表準備 | ディスカッション、全体発表項目、発表法の検討 | 青木 和広 大木 明子 塩沢 真穂 大塚 絃未 | SBOs:1-4 チューター:伊藤 奏 TA:山本宥佑 |
| 6-7 | 5/8 | 12:50-16:00 | 歯学部演習室 | 全体発表準備 | 全体発表準備 | 青木 和広 大木 明子 大塚 絃未 吉田 直美 塩沢 真穂 | SBOs:1-4 チューター:伊藤 奏 TA:山本宥佑 |
| 8 | 5/15 | 12:50-14:20 | 口腔保健学科第3講義室 | 全体発表 | グループ課題発表、討論、まとめ | 青木 和広 大木 明子 大塚 絃未 吉田 直美 塩沢 真穂 | SBOs:1-4 チューター:伊藤 奏 TA:山本宥佑 |
| 授業方法 | | | | | | | |
| 講義、PBL、グループ討論、課題発表 | | | | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | | | |
| 授業態度を加味し、出席状況(10点)、資料準備・グループディスカッションの状況(20点)、全体発表の内容(20点)、課題レポートの内容(50点)で総合的に評価する。 | | | | | | | |
| 準備学習などについての具体的な指示 | | | | | | | |
| PBL テュートリアル形式の講義であるので、各自学習した内容を資料としてまとめて準備してから講義に臨むこと。 | | | | | | | |
| 試験の受験資格 | | | | | | | |

3分の2以上の出席

履修上の注意事項

口腔保健学科口腔保健衛生学専攻との合同講義である。・試験規則に規定された出席要件を満たさない場合、本科目の単位は認定しない。・やむをえない事情で遅刻・欠席する場合は、担当教員にその旨連絡する。・事前に資料の配付、WebClassへのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。・事前学習内容を評価するので、必ず事前学習を行い、まとめてからPBLに参加すること。

| | | | | | | | |
|---|-----------------------------|-------------|---------------------|--------------------------------------|---|-----------------|-------------------|
| 時間割番号 | 023505 | | | | | | |
| 科目名 | メディア情報学基礎 | | | | | | |
| 担当教員 | 木下 淳博, 佐々木 好幸, 須永 昌代, 上條 真吾 | | | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 | | |
| 科目名:メディア情報学基礎 時間数:15 時間 授業形態:講義・演習 編入 2 年生受講科目 | | | | | | | |
| 主な講義場所 1号館7階 口腔保健衛生学科第3講義室 | | | | | | | |
| 授業の目的、概要等 口腔保健活動および研究活動に必要なメディア情報処理、コンテンツ作成の基礎を修得し、演習を行う。 | | | | | | | |
| 授業の到達目標 1. 学内無線 LAN に各自の持込み PC を接続できる。 2. 情報セキュリティ、著作権を理解して、口腔保健学に必要な情報処理を実践できる。 3. PC 上でプレゼンテーションファイル、静止画像、動画像を編集できる。 4. 表計算ソフトで簡単な集計ができる。 5. インターネットからの情報を適切に収集し、吟味できる。 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1 | 11/13 | 10:30-12:00 | 口腔保健 学科第3 講義室 | 情報セキュリティと著 作権、メディアコンテン ツ作成演習 1 | 各自持参 PC の無線 LAN 接続、 情報セキュリティ、著作権、フリ ーソフトによる静止画像処理 | 木下 淳博、 須永 昌代 | 講義・協力:情報 サービス係 |
| 2 | 11/20 | 10:30-12:00 | 口腔保健 学科第3 講義室 | メディアコンテンツ作成 演習 2 | フリーソフトによる静止画像処理と パワーポイント演習 | 木下 淳博、 須永 昌代 | |
| 3 | 11/27 | 10:30-12:00 | 口腔保健 学科第3 講義室 | メディアコンテンツ作成 演習 3 | フリーソフトによる動画像処理 | 木下 淳博、 須永 昌代 | |
| 4 | 12/4 | 10:30-12:00 | 口腔保健 学科第3 講義室 | メディアコンテンツ作成 演習 4 | フリーソフトによる動画像処理 | 木下 淳博、 須永 昌代 | |
| 5 | 12/11 | 10:30-12:00 | 口腔保健 学科第3 講義室 | 表計算演習 | エクセルによる集計、グラフ作成 とパワーポイントによる動画作成 | 木下 淳博、 須永 昌代 | |
| 6 | 12/18 | 10:30-12:00 | 口腔保健 学科第3 講義室 | インターネット情報検索 演習 | インターネットからの情報の収集 と吟味 | 佐々木 好幸 | |
| 7 | 1/8 | 10:30-12:00 | 口腔保健 学科第3 講義室 | 課題発表(情報の収集と 吟味) | 課題発表(情報の収集と吟味) | 佐々木 好幸 | |
| 8 | 1/15 | 10:30-12:00 | 口腔保健 学科第3 講義室 | 試験/課題発表(動画像 処理) | 各自持参 PC による試験 (WebClass)および課題発表(動画 像処理) | 木下 淳博、 須永 昌代 | |
| 成績評価の方法 提出課題および第 8 回に行うネットワーク上での試験で総合的評価を行う。 | | | | | | | |
| 成績評価の基準 講義・演習 | | | | | | | |
| 準備学習などについての具体的な指示 事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。 | | | | | | | |

試験の受験資格

3分の2以上の出席

履修上の注意事項

・入学時の案内・ガイダンス等で指定した推奨ノートPCに指定のソフト(Microsoft 社製 Power Point は必須)をインストールして持参すること。 ・各自ノートPC、USB フラッシュメモリーおよびステレオイヤホンを持参すること。

備考

編入2年生受講科目

口腔保健衛生学専攻と合同授業

連絡先

木下 淳博 kinoshita.emdv@tmd.ac.jp

佐々木 好幸 sasaki.prev@tmd.ac.jp

須永 昌代 sunaga.emdv@tmd.ac.jp

上條 真吾 s-kamijoh.itoe@tmd.ac.jp

オフィスアワー

木下 淳博 金 16:00-17:00 3号館5階 教育メディア開発部

佐々木 好幸 毎週月曜日・水曜日 17:00-19:00

須永 昌代 随時

上條 真吾 メールにて面談の日程を調整すること

| | | | | | | | |
|---|-------------|-------------|-------|-------------------|--------------------------|-------|----------|
| 時間割番号 | 023507 | | | | | | |
| 科目名 | 造形美術概論実習 | | | | | | |
| 担当教員 | 塩沢 真穂、伊藤 恵夫 | | | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 | | |
| 主な講義場所 | | | | | | | |
| 2号館 第4実習室 | | | | | | | |
| 授業の目的、概要等 | | | | | | | |
| 造形美術概論の理論的背景を基に、口腔保健工学の基本的技術力の基礎となる「観察力」、「認識力」、「造形力」を養い培う。 | | | | | | | |
| 授業の到達目標 | | | | | | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 造形美術概論実習で学ぶ内容と、その理由・目的を理解し、説明する。 2. 現時点での自分の理解力・表現力を知り、ステップアップのための方法を考える。 3. 自分の意図した形態を作ることができるよう、造形力を向上させる。 4. 形態を客観的に見る力、すなわち観察力の向上をはかる。 5. パースペクティブの概要を理解する。 6. 色の三要素の理論を理解し、実際に使いこなす。 7. その形態に適した色彩を考え、表現する力をつける。 8. これまでに学んだ内容を基礎に、総合的に表現する。 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1-2 | 10/23 | 14:30-17:40 | 第4実習室 | 概論、表現と構成、観察と表現 | 概論、幾何形体による構成、描写(自画像) | 伊藤 恵夫 | SBOs:1-8 |
| 3-4 | 10/30 | 14:30-17:40 | 第4実習室 | 観察と表現(平面、立体)、線の観察 | プロポーション、大顔面 | 伊藤 恵夫 | SBOs:1-8 |
| 5-6 | 11/6 | 14:30-17:40 | 第4実習室 | 観察と表現(立体) | 立体の見え方(パース)、紙コップ | 伊藤 恵夫 | SBOs:1-8 |
| 7-8 | 11/13 | 14:30-17:40 | 第4実習室 | 面の観察 | アグリッパ | 伊藤 恵夫 | SBOs:1-8 |
| 9-11 | 11/27 | 12:50-17:40 | 第4実習室 | 色彩、観察 | 色の三要素、色による表現、観察の重要性(キリン) | 伊藤 恵夫 | SBOs:1-8 |
| 12-13 | 12/4 | 14:30-17:40 | 第4実習室 | 色彩 | 色による表現(大顔面)1 | 伊藤 恵夫 | SBOs:1-8 |
| 14-15 | 12/11 | 14:30-17:40 | 第4実習室 | 色彩 | 色による表現(大顔面)2 | 伊藤 恵夫 | SBOs:1-8 |
| 16-17 | 12/18 | 14:30-17:40 | 第4実習室 | 明度の表現 | グレースケールの作成、左右反転 | 伊藤 恵夫 | SBOs:1-8 |
| 18-19 | 1/8 | 14:30-17:40 | 第4実習室 | 造形(平面) | 描写(自画像)1 | 伊藤 恵夫 | SBOs:1-8 |
| 20-21 | 1/15 | 14:30-17:40 | 第4実習室 | 造形(平面) | 描写(自画像)2 | 伊藤 恵夫 | SBOs:1-8 |
| 22-23 | 1/22 | 14:30-17:40 | 第4実習室 | 造形(平面) | 描写(自画像)3 | 伊藤 恵夫 | SBOs:1-8 |
| 授業方法 | | | | | | | |
| 講義、実習 | | | | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | | | |
| 毎回の提出物(作品)を総合的に判断し評価する。評価ポイントは、「観察力」「認識力」「表現力」。 | | | | | | | |
| 準備学習などについての具体的な指示 | | | | | | | |
| Web Class に資料がアップされているときには、事前に確認しておく。 | | | | | | | |
| 履修上の注意事項 | | | | | | | |
| 事前に資料の配布、Web Class へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。 | | | | | | | |

| 時間割番号 | 023512 | | | | | | |
|--|---|-------------|-------|-------------------------|--|--|-----------------------|
| 科目名 | 早期臨床体験実習 | | | | | | |
| 担当教員 | 池田 正臣, 鈴木 哲也, 高橋 英和, 青木 和広, 大木 明子, 安江 透, 上條 真吾, 塩沢 真穂, 山下 勤二, 高橋 勝美 | | | | | | |
| 開講時期 | 通年 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 | | |
| 主な講義場所 2号館第2講義室 2号館第1実習室 | | | | | | | |
| 授業の目的、概要等 今後の学習への強い動機を獲得するため、臨床の現場を体験することで歯科医学ならびに歯科医療の現状を認識するとともに、医療人としての基本的態度を修得する。また、歯科技工士に求められる資質は歯科技工物をつくるだけではなく、人の健康の維持・増進に関わる職業であることを認識する。 | | | | | | | |
| 授業の到達目標 1. 歯科医療従事者に求められる基本的態度を身につける。 2. 歯科医療が人々の健康の維持増進に果たす社会的役割を認識する。 3. 歯科医療のなかでの歯科技工士の役割を認識する。 4. 歯科材料、器械の扱いを学ぶ。 5. 歯科業界の市場と動向について学ぶ。 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1-5 | 10/2 | 08:50-17:40 | 第2講義室 | オリエンテーション 歯科技工士会、同窓会の役割 | 実習についての講義、課題 発表スライド作成方法 医療系社会人としてのマナー(委員決める) 資料室見学、図書館の見学と利用方法、歯科技工士会、技友会の役割と意義、活動内容 | 鈴木 哲也, 安江 透, 池田 正臣, 山下 勤二, 塩沢 真穂, 上條 真吾, 青木 和広 | SBOs:1-3 |
| 6-9 | 10/9 | 10:30-17:40 | 第2講義室 | 歯科技工士の可能性、歯科技工所見学 | 資格にとられない歯科技工士の可能性、外部の歯科技工所における、臨床現場の見学 | 鈴木 哲也, 大木 明子, 池田 正臣, 高橋 勝美 | SBOs:1-3 |
| 10-13 | 10/16 | 10:30-17:40 | 第2講義室 | 歯科技工部・病院見学 企業見学 | 歯学部附属病院および技工物製作現場の見学 歯科材料メーカーにおける体験実習 | 池田 正臣, 上條 真吾, 塩沢 真穂 | SBOs:1-4 |
| 14-15 | 10/23 | 10:30-14:20 | 第2講義室 | マーケティングリサーチ 1 | 現在の歯科業界の動向と検証 | 池田 正臣 | SBOs:1-5 |
| 16-17 | 10/30 | 10:30-14:20 | 第2講義室 | マーケティングリサーチ 2 | 就職活動の実際 インターンシップ | 池田 正臣 | SBOs:1-5 |
| 18-19 | 11/6 | 10:30-14:20 | 第2講義室 | 歯科技工概論、歯科保存学概論 | 歯科保存学の概要、歯科技工概論 | 池田 正臣, 鈴木 哲也 | SBOs:1-5 学外 非常勤 齊木好太郎 |
| 20 | 11/13 | 12:50-14:20 | 第2講義室 | 歯科技工部の現状 | 附属病院歯科技工部の役割 | 上條 真吾 | SBOs:1-5 |
| 21-23 | 11/20 | 12:50-17:40 | 第2講義室 | 学習結果発表 | 見学、実習を通しての、課題に対する学習結果発表 | 鈴木 哲也, 高橋 英和, 青木 和広, 大木 明子, 上條 真吾, 塩沢 真穂 | SBOs:1-5 |

成績評価の方法

・出席状況(10点)、実習態度(5点)、レポート(5点)、学習成果発表(80点)で総合的評価に加味する。

準備学習などについての具体的な指示

事前に資料の配付、web-class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。歯科医院内、外の歯科技工所の違いについて事前に調べておくこと。

参考書

必要に応じ、適宜資料の配布を行う。

備考

池田 正臣:メールにて面談の日程を調整すること

ikedacsoe@tmd.ac.jp

| | | | | | | | |
|---|----------------------|-------------|-------------|----------------------|-----------------------|--------|--------------------|
| 時間割番号 | 023517 | | | | | | |
| 科目名 | 人体の構造と機能 I | | | | | | |
| 担当教員 | 青木 和広, 田村 幸彦, 片桐 さやか | | | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 | | 単位数 | 2 | |
| 科目名: 人体の構造と機能 I 時間数: 30時間 授業形態: 講義と実習 | | | | | | | |
| 主な講義場所 口腔保健工学専攻 第2講義室および第4実習室 | | | | | | | |
| 授業の目的、概要等 骨の構造と機能を学ぶことを中心に、恒常性を維持するために素晴らしく構成されている人体の不思議に目を向け、生命が営まれるメカニズムを分子レベルから個体レベルに至るまで理解する。骨が地上に生きるための支持器官であるとともに、全身と関連して内分泌器官として機能していることが発見されて来た経緯を学ぶことにより、科学的好奇心を鼓舞し、生物学研究に対する理解を深める。また、口腔内細菌が全身疾患と関連していることと新規薬物開発の過程と薬害について理解することにより、2年生への橋渡しとなる疾患と治療についての概念を養う。 | | | | | | | |
| 授業の到達目標 1. 骨の構造と機能を理解する。 2. 骨を構成する細胞について理解する。 3. 筋肉の起始停止を理解する。 4. 破骨細胞、骨芽細胞の構造と機能について理解する。 5. カルシウム代謝を理解することにより、生体の恒常性維持機構を説明できる。 6. 骨のリモデリング機構について理解する。 7. カルシウム代謝の理解から、ホルモンのターゲットとなる腎臓、腸、骨の構造と機能を理解する。 8. 中枢神経系、自律神経系、運動神経、感覚神経の構造と機能について概説できる。 9. 骨と中枢神経系との関連について発見された経緯について学ぶことにより、生物学の研究手法を理解する。 10. 遺伝子改変マウスの作製に関して説明できる。 11. 細胞内シグナル伝達とその解析方法に関して概説できる。 12. 生物学と理工学との融合研究をととした骨造成剤の開発について理解する。 13. 口腔内細菌と全身疾患との関連、特に歯周病と糖尿病の関連を説明できる。 14. 新薬開発の過程と薬害に関して概説できる。 15. 恒常性維持機構など人体の合目的的な構造と機能について理解する。 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1 | 10/9 | 08:50-10:20 | 第2講義室 | はじめに、骨の支持器官としての構造と機能 | 人体の構成、細胞小器官、細胞の基本的機能 | 青木 和広 | SBOs 1, 2 |
| 2 | 10/16 | 08:50-10:20 | 第2講義室 | 骨にかかわる生体の恒常性維持機構 | 骨の機能にかかわる細胞とカルシウム代謝 | 青木 和広 | SBOs 1, 2, 4-6, 15 |
| 3 | 10/23 | 08:50-10:20 | 第2講義室 | 人体をあらわす用語 | 骨と筋肉、解剖用語の理解 | 青木 和広 | SBOs 1-4 |
| 4 | 10/30 | 08:50-10:20 | 第2講義室 第4実習室 | 骨のリモデリング単位 ハバース系 | 骨の標本観察実習 | 青木 和広 | SBOs 1-6 |
| 5 | 11/6 | 08:50-10:20 | 第2講義室 | 生体の恒常性維持に働く器官の理解その1 | カルシウム調節ホルモンとそのターゲット器官 | 青木 和広 | SBOs 5,6 |
| 6 | 11/13 | 08:50-10:20 | 第2講義室 | 生体の恒常性維持に働く器官の理解その2 | 腎臓と小腸の構造と機能 | 青木 和広 | SBOs 7,15 |
| 7 | 11/20 | 08:50-10:20 | 第2講義室 | 骨の多臓器関連その1 | 骨と神経系 | 青木 和広 | SBOs 8, 9, 15 |
| 8 | 11/27 | 08:50-10:20 | 第2講義室 | 歯周病と全身疾患 | 歯周病と糖尿病との関連など口腔 | 片桐 さやか | SBOs 13 |

| | | | | | | | |
|----|-------|-------------|-------------|---------------|-------------------------------|-------|---------------|
| | | | 室 | | 内細菌と全身との関連の理解 | | |
| 9 | 12/4 | 12:50-14:20 | 第2講義室 | 薬の開発と薬害 | 新薬の開発過程と問題となった薬害について | 田村 幸彦 | SBOs 14 |
| 10 | 12/11 | 12:50-14:20 | 第2講義室 第4実習室 | 口腔細菌実習 | 口腔内細菌を顕微鏡で観察する | 青木 和広 | SBOs 13 |
| 11 | 12/18 | 12:50-14:20 | 第2講義室 | 骨の多臓器連関その2 | 内分泌器官としての骨 | 青木 和広 | SBOs 7-9, 15 |
| 12 | 1/8 | 12:50-14:20 | 第2講義室 | 生物学の研究手法の理解 | 骨と多臓器連関を示した論文の理解 | 青木 和広 | SBOs 9-11 |
| 13 | 1/15 | 12:50-14:20 | 第2講義室 | 骨の多臓器連関その3 | オステオカルシンの驚くべき機能 (TBL方式の講義、発表) | 青木 和広 | SBOs 1-11, 15 |
| 14 | 1/29 | 10:30-12:00 | 第2講義室 | 生物学と理工学との融合研究 | 骨造成に必要な理工学との融合研究 | 青木 和広 | SBOs 12 |
| 15 | 2/5 | 10:30-12:00 | 第2講義室 | 人体の不思議について発表 | 人体の合目的な構造と機能について理解する | 青木 和広 | SBOs 1-15 |

授業方法

TBL方式の講義も導入する。

顕微鏡を用いた実習も行う。

終了した講義内容、あるいは、WebClassにアップしている教材を勉強しておき、次の授業にテストを行うことがある(反転授業)。また、講義を受けて発表するためにPCが必要な場合がある。

成績評価の方法

・平常点を重視する評価とするため、以下のような総合的な成績評価を行う。

・授業ごとの小テスト(20点)、期末の客観試験、論述試験(50点)、TBL方式などアクティブラーニングにおける知識確認テスト(10点)、発表内容や討論の態度(10点)、提出レポートや組織スケッチなど(10点)を総合的に評価するが、出席状況、授業態度を加味したものを最終評価とする。

準備学習などについての具体的な指示

事前に資料の配付、e-learningへのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

3分の2の出席だが、実習は休まないようにすること。

教科書

看護・医療系のためのからだと病気の基礎知識/鳥澤保廣, 蜂谷正博 編:東京化学同人, 2012

看護・医療系のためのくすりと治療の基礎知識/鳥澤保廣, 蜂谷正博 編:東京化学同人, 2013

参考書

ヒューマンボディ: からの不思議がわかる解剖生理学/Barbara Herlihy 著, 片桐康雄, 飯島治之, 片桐展子, 尾岸恵三子 監訳: エルゼビア・ジャパン, 2008

現代歯科薬理学 第6版/大谷啓一監修 鈴木邦明, 戸苅彰史, 筑波隆幸, 兼松 隆, 青木和広編: 医歯薬出版, 2018

自然科学の基礎知識を知る/今井秀樹, 高木晴良, 松本和史, 草間朋子 著: 東京化学同人, 2017

からの仕組みと働きを知る/高野海哉, 川岸久太郎, 草間朋子 著: 東京化学同人, 2016

解剖・生理学: 人体の構造と機能/飯田薫子, 石川朋子, 近藤和雄, 脊山洋右 編: 東京化学同人, 2016

疾病の成り立ち/飯田薫子, 近藤和雄, 脊山洋右 編: 東京化学同人, 2015

生物系薬学/日本薬学会 編: 東京化学同人, 2015

備考

編入2年生受講科目

参照ホームページ

WebClassのOE1人体の構造と機能1のコースに授業資料などアップします。

連絡先

青木 和広: kazu.hpha@tmd.ac.jp

オフィスアワー

青木 和広: 随時(必ず事前に連絡を入れること)2号館2階 217号室(口腔基礎工学分野)

| | | | | | | | |
|---|---------------------|-------------|-------------|-------------------------------|----------------------------------|-------------------------|------------|
| 時間割番号 | 023524 | | | | | | |
| 科目名 | 加工技術基礎 | | | | | | |
| 担当教員 | 塩沢 真穂, 高橋 英和, 岩崎 直彦 | | | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 | | |
| 主な講義場所 | | | | | | | |
| 2号館 第4実習室, 総合実習室 | | | | | | | |
| 授業の目的、概要等 | | | | | | | |
| 歯科技工で行う各種加工に用いる工具の原理と使用法を理解し、加工に必要な知識を修得する。 | | | | | | | |
| 授業の到達目標 | | | | | | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 切削加工の概念を説明する。 2. 道具としての正しい箸の使い方を説明する。 3. ナイフの安全な使用法を説明する。 4. ハンドピースでの研削の正しい方法を説明する。 5. のこぎりの正しい使い方を説明する。 6. ハンマーの正しい使い方を説明する。 7. ブローパイプの正しい使い方を説明する。 8. やすりの正しい使い方を説明する。 9. 切削加工機の正しい使い方を説明する。 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1 | 1/22 | 10:30-12:00 | 第4実習室 | オリエンテーション、道具としての箸、ナイフでの削り方 | 加工学基礎概論、箸の持ち方、ナイフの持ち方、ナイフによる整形実習 | 岩崎 直彦 塩沢 真穂 高橋 英和 | SBOs:1,2,3 |
| 2 | 1/22 | 12:50-14:20 | 第4実習室 | ハンマーの使い方、のこぎりでの切断、ハンドピースでの削り方 | ハンマーでの釘打ち、石膏棒の切断、ハンドピースによる整形実習 | 岩崎 直彦 塩沢 真穂 高橋 英和 | SBOs:4,5,6 |
| 3-5 | 1/29 | 12:50-17:40 | 第4実習室 総合実習室 | 鍛造 | 炭素鋼の鍛造実習 | 岩崎 直彦 塩沢 真穂 高橋 英和 | SBOs:6,7,8 |
| 6-8 | 2/5 | 12:50-17:40 | 第4実習室 総合実習室 | 切削加工、研磨 | 旋盤・フライス盤による加工実習、研磨作業 | 岩崎 直彦 塩沢 真穂 高橋 英和 | SBOs:9 |
| 授業方法 | | | | | | | |
| 講義、実習 | | | | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・講義内に行う実習で製作する作品で総括的評価を行う。 ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。 | | | | | | | |
| 準備学習などについての具体的な指示 | | | | | | | |
| 事前に WebClass をチェックし、指示がある場合にはそれに従って事前学習を行なうこと。 | | | | | | | |
| 履修上の注意事項 | | | | | | | |
| WebClass は随時チェックを行い、連絡事項を聞きもらさないように注意すること。 | | | | | | | |
| 参照ホームページ | | | | | | | |
| 刃物や工具の使い方/PDF ファイル/JAXA 宇宙教育センター, 2014 http://edu.jaxa.jp/materialDB/contents/detail/#/id=78885 | | | | | | | |

| 時間割番号 | 023525 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--------------|-------------|-------|-------------------------|--|----------------|---|----|----|-----|------|------|------|---|------|-------------|-------|-------------------------|--|----------------|---|-------|-------------|-------|--------------|--|-------|---|-------|-------------|-------|---------------|--|-------|---|-----|-------------|-------|--------|--|-------|---|------|-------------|-------|----------------|-----------------------|-------|---|------|-------------|-------|----------------|--------------------------|-------|---|------|-------------|-------|------------------|---------------------|-------|---|-----|-------------|-------|-------------|--|-------|
| 科目名 | 口腔機材開発工学 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 担当教員 | 高橋 英和, 岩崎 直彦 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 科目名: 口腔機材開発工学 時間数: 15時間 講義、必修 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 主な講義場所 口腔保健工学第2講義室 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 授業の目的、概要等 口腔内で使用する機材の開発に必要な物理学的、化学的、生物学的な知識を理解し、歯科で用いられている機材の特徴を説明する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 授業の到達目標 1. 歯科理工学の学問体系を説明する。 2. 基本単位を説明し、長さを測定する。 3. 物質の構造を説明する。 4. 無機材料の特性を理解してその特徴について説明する。 5. 金属材料の特性を理解してその特徴について説明する。 6. 高分子材料の特性を理解してその特徴について説明する。 7. 複合材料の定義と分類を説明する。 8. 応力-ひずみ曲線と得られる特性値を説明する。 9. 硬さ試験, 粘弾性を説明する。 10. 歯科材料の物理的性質, 光学的性質を説明する。 11. 歯科材料の化学的性質、表面の性質を説明する。 12. 歯科材料の生物学的安全性を説明する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>12/4</td> <td>08:50-10:20</td> <td>第2講義室</td> <td>口腔機材開発学概論 SI単位、長さの測定</td> <td>口腔機材開発学概論 SI単位、長さの測定。ノギスをダイヤルゲージを用いた測定演習</td> <td>高橋 英和 岩崎 直彦</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>12/11</td> <td>08:50-10:20</td> <td>第2講義室</td> <td>物質の構造 無機材料概論</td> <td>結晶と非晶質, 溶液とコロイド, 物質の結合状態 無機材料の特徴・形態・種類</td> <td>高橋 英和</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>12/18</td> <td>08:50-10:20</td> <td>第2講義室</td> <td>金属材料概論 有機材料概論</td> <td>金属の特性・結晶粒・結晶成長 高分子材料, 重合反応, ポリマーの構造, 高分子の性質</td> <td>高橋 英和</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>1/8</td> <td>08:50-10:20</td> <td>第2講義室</td> <td>複合材料概論</td> <td>特性複合材料の定義と分類、歯科材料としての必要性に関するグループディスカッション</td> <td>高橋 英和</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>1/15</td> <td>08:50-10:20</td> <td>第2講義室</td> <td>歯科材料の機械的性質 (1)</td> <td>応力とひずみの定義、応力ひずみ曲線, 強さ</td> <td>高橋 英和</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>1/22</td> <td>08:50-10:20</td> <td>第2講義室</td> <td>歯科材料の機械的性質 (2)</td> <td>硬さ試験, レオロジー、物理的性質, 光学的性質</td> <td>高橋 英和</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>1/29</td> <td>08:50-10:20</td> <td>第2講義室</td> <td>歯科材料の化学的性質、表面の性質</td> <td>腐食、防食、変色、表面張力、接着とぬれ</td> <td>高橋 英和</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>2/5</td> <td>08:50-10:20</td> <td>第2講義室</td> <td>歯科材料の生物学安全性</td> <td>概要、概念、生体反応と生体防御 機材料の為害作用と臨床例, 生物学的試験法、安全性評価基準</td> <td>高橋 英和</td> </tr> </tbody> </table> | | | | | | | 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 1 | 12/4 | 08:50-10:20 | 第2講義室 | 口腔機材開発学概論 SI単位、長さの測定 | 口腔機材開発学概論 SI単位、長さの測定。ノギスをダイヤルゲージを用いた測定演習 | 高橋 英和 岩崎 直彦 | 2 | 12/11 | 08:50-10:20 | 第2講義室 | 物質の構造 無機材料概論 | 結晶と非晶質, 溶液とコロイド, 物質の結合状態 無機材料の特徴・形態・種類 | 高橋 英和 | 3 | 12/18 | 08:50-10:20 | 第2講義室 | 金属材料概論 有機材料概論 | 金属の特性・結晶粒・結晶成長 高分子材料, 重合反応, ポリマーの構造, 高分子の性質 | 高橋 英和 | 4 | 1/8 | 08:50-10:20 | 第2講義室 | 複合材料概論 | 特性複合材料の定義と分類、歯科材料としての必要性に関するグループディスカッション | 高橋 英和 | 5 | 1/15 | 08:50-10:20 | 第2講義室 | 歯科材料の機械的性質 (1) | 応力とひずみの定義、応力ひずみ曲線, 強さ | 高橋 英和 | 6 | 1/22 | 08:50-10:20 | 第2講義室 | 歯科材料の機械的性質 (2) | 硬さ試験, レオロジー、物理的性質, 光学的性質 | 高橋 英和 | 7 | 1/29 | 08:50-10:20 | 第2講義室 | 歯科材料の化学的性質、表面の性質 | 腐食、防食、変色、表面張力、接着とぬれ | 高橋 英和 | 8 | 2/5 | 08:50-10:20 | 第2講義室 | 歯科材料の生物学安全性 | 概要、概念、生体反応と生体防御 機材料の為害作用と臨床例, 生物学的試験法、安全性評価基準 | 高橋 英和 |
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 12/4 | 08:50-10:20 | 第2講義室 | 口腔機材開発学概論 SI単位、長さの測定 | 口腔機材開発学概論 SI単位、長さの測定。ノギスをダイヤルゲージを用いた測定演習 | 高橋 英和 岩崎 直彦 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | 12/11 | 08:50-10:20 | 第2講義室 | 物質の構造 無機材料概論 | 結晶と非晶質, 溶液とコロイド, 物質の結合状態 無機材料の特徴・形態・種類 | 高橋 英和 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 12/18 | 08:50-10:20 | 第2講義室 | 金属材料概論 有機材料概論 | 金属の特性・結晶粒・結晶成長 高分子材料, 重合反応, ポリマーの構造, 高分子の性質 | 高橋 英和 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | 1/8 | 08:50-10:20 | 第2講義室 | 複合材料概論 | 特性複合材料の定義と分類、歯科材料としての必要性に関するグループディスカッション | 高橋 英和 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 | 1/15 | 08:50-10:20 | 第2講義室 | 歯科材料の機械的性質 (1) | 応力とひずみの定義、応力ひずみ曲線, 強さ | 高橋 英和 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 | 1/22 | 08:50-10:20 | 第2講義室 | 歯科材料の機械的性質 (2) | 硬さ試験, レオロジー、物理的性質, 光学的性質 | 高橋 英和 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 | 1/29 | 08:50-10:20 | 第2講義室 | 歯科材料の化学的性質、表面の性質 | 腐食、防食、変色、表面張力、接着とぬれ | 高橋 英和 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 | 2/5 | 08:50-10:20 | 第2講義室 | 歯科材料の生物学安全性 | 概要、概念、生体反応と生体防御 機材料の為害作用と臨床例, 生物学的試験法、安全性評価基準 | 高橋 英和 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成績評価の方法 ・提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総括的評価を行う。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| |
|---|
| <p>・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。</p> |
| <p>準備学習などについての具体的な指示 事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。</p> |
| <p>教科書 スタンダード歯科理工学 第6版／石川邦夫ほか:学建出版, 2016</p> |
| <p>参考書 最新歯科技工士教育教本 歯科理工学／全国歯科技工士教育協議会:医歯薬出版, 2016 コア歯科理工学／小倉英夫, 高橋英和, 宮崎隆, 小田豊, 榎本貢三, 小園凱夫 編:医歯薬出版, 2008 臨床歯科理工学／宮崎隆, 中島裕, 河合達志, 小田豊 編:医歯薬出版, 2006 歯科理工学教育用語集／日本歯科理工学会 編:医歯薬出版, 2011</p> |
| <p>履修上の注意事項 事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。</p> |
| <p>備考 高橋 英和あらかじメールにて面談時間を相談のこと 2号館2階 213号室</p> |

第2学年
履修科目・ユニット

| | | | | | | | |
|---|-------------------------------|-------------|-------|----------------|------------------------------------|------------------------|-----------|
| 時間割番号 | 023502 | | | | | | |
| 科目名 | 科学英語 I | | | | | | |
| 担当教員 | 大木 明子, 鶴田 潤, ポーンポット・ファンターンシップ | | | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 2 | 単位数 | 1 | | |
| 主な講義場所 | | | | | | | |
| 口腔保健工学専攻 第1 講義室 | | | | | | | |
| 授業の目的、概要等 | | | | | | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 歯科医療、特に歯科技工に関する英語について、基本的な知識を理解する。 2. 国際人として活躍するために、日本の歯科技工に関する話題を、平易な英語で表現(読む、聞く、書く、話す)する。 | | | | | | | |
| 授業の到達目標 | | | | | | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 自己紹介および簡単な手紙を英語で書く。 2. 英語で、簡単なコミュニケーションを行う。 3. 英語で、日本の歯科診療の概要を説明する。 4. 英語で、歯/口腔の解剖学的構造を説明する。 5. 英語で、歯科補綴装置、専門用語を説明する。 6. 英語で、歯科材料を説明する。 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1-2 | 4/11 | 10:00-11:50 | 第1講義室 | 自己紹介 歯科診療と歯科技工 | 英語での自己紹介、履歴書、歯科診療、歯科診療チーム、歯科技工の重要性 | 鶴田 潤 | SBOs:1-4 |
| 3-5 | 4/25 | 09:00-11:50 | 第1講義室 | 歯科治療の基礎 | 各科名称、治療法、補綴装置を扱う治療法、日常診療他、演習 | 鶴田 潤, ポーンポット・ファンターンシップ | SBOs:4-5 |
| 6-8 | 5/9 | 09:00-11:50 | 第1講義室 | 歯/口腔解剖の基礎 | 歯/口腔解剖、名称、方向表現、歯式、演習 | 鶴田 潤 | SBOs:6 |
| 9-11 | 5/23 | 09:00-11:50 | 第1講義室 | 歯科生体材料 | 歯科生体材料の名称、演習 | 鶴田 潤 | SBOs:4, 7 |
| 12-13 | 6/6 | 10:00-11:50 | 第1講義室 | 歯科補綴装置 | 歯科補綴装置の目的、名称、製作方法、演習 | 鶴田 潤 | SBOs:3-8 |
| 14-15 | 6/13 | 10:00-11:50 | 第1講義室 | まとめ | コミュニケーション演習、課題発表 | 鶴田 潤, ポーンポット・ファンターンシップ | SBOs:1-8 |
| 授業方法 | | | | | | | |
| 講義、演習、グループワーク、課題発表 | | | | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・初回授業でのレポート提出(1回) (5点満点) ・毎回英単語テストの受験(5回) (30点満点) ・発表課題の実施 (1回) (15点満点) ・最終授業での単語到達度テストの得点 (50点満点) 授業態度、出席状況を加味して総合的に評価し可否を判定する。 | | | | | | | |
| 準備学習などについての具体的な指示 | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・初回授業については、4月1日にWebClassで課題内容を提示するので指示に従うこと。(* 課題に要した時間を記録すること) ・毎回の授業開始時に行う英単語テストについては、WebClassで英単語を開示するので自分で意味を調べ覚えること。(* 課題に要した時間を記録すること) ・発表課題については、授業時間内での実施時間を用意するが、授業時間外でグループでの活動を行うこと。(* 課題に要した時間を | | | | | | | |

| |
|--|
| 記録すること) |
| 試験の受験資格 3分の2以上の出席 |
| 教科書 歯科英語 = English for Dental Technology / 全国歯科技工士教育協議会 編集, 鶴田潤, 古地美佳, 羽持健, 佐藤尚弘, 松村英雄, C.S.Langham 著, 医歯薬出版, 2017 |
| 参考書 丸ごと覚える歯科臨床英会話フレーズ集 : 治療内容別フレーズ 670 と基本用語 280 / 川口陽子 監修・著, 鶴田潤 [ほか] 著, クインテッセンス出版, 1997 Dr.佐藤とリチャードの臨床で使える歯科英会話 / 佐藤尚弘, Richard Foxton 著, クインテッセンス出版, 2010 |
| 履修上の注意事項 ・Web 情報を検索できるツール(PC、スマホ)などを利用しますので、必ず、持参してください。 ・授業内容は、一部英語で行います。 ・授業時間は、積極的な参加を願います。 ・配布資料、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨んでください。 |
| 備考 国際的な感覚、視野を持って仕事をするには必ずしも英語ができることだけで実現するものではありません。 積極的に発言すること、楽しむこと、様々な要素とともに英語というツールを活用することが必要となると思います。 新たな知識を得ることを楽しんで受講するようにしてください。 |

| 時間割番号 | 023504 | | | | | | |
|--|---|-------------|-------------|---------------------------|--|--|---|
| 科目名 | ヘルスプロモーション | | | | | | |
| 担当教員 | 大木 明子, 品田 佳世子, 小原 由紀, 安田 昌代, 大塚 紘未, 塩沢 真穂, 岸 光男 | | | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 2 | 単位数 | 2 | | |
| 主な講義場所 | | | | | | | |
| 口腔保健学科(口腔保健衛生学専攻)臨床基礎実習室、相互実習室 歯学部演習室(PBL チュートリアル) 口腔保健工学専攻 第1、2、3 講義室 | | | | | | | |
| 授業の目的、概要等 | | | | | | | |
| ヘルスプロモーションの変遷を知るとともに、活動のプロセスを学び、口腔保健の専門家のヘルスプロモーションにおける役割を理解する。 | | | | | | | |
| 授業の到達目標 | | | | | | | |
| <ol style="list-style-type: none"> ヘルスプロモーションの概要を説明する。 WHO の健康戦略を説明する。 ヘルスプロモーションの展開過程(計画・実施・評価)を説明する。 保健行動の理論とモデルを説明する。 健康保健政策におけるヘルスプロモーションの役割を説明する。 人々の健康における問題を自ら発見し、解決する能力を習得する。 健康に関連するデータの集計と統計処理の基本的方法を理解する。 口腔ケアの基礎を理解し、ブラッシング法、フロスや歯間ブラシの使用法を習得する。 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1-3 | 5/16 | 14:00-16:50 | 歯学部演習室 | 概論、PBL ガイダンス、 合同PBL1 | ヘルスプロモーション概要 PBL の学習目標、学習方法について シナリオ | 品田 佳世子, 大木 明子, 大塚 紘未, 塩沢 真穂, 安田 昌代 | 最初に1号館西 6階歯学部演習 室1-4に集合し てください。 SBOs:1-6 テュ ーター:伊藤 奏、TA: 山本有佑 |
| 4-6 | 5/23 | 14:00-16:50 | 歯学部演習室 | 合同PBL2 | シナリオの学習結果発表・討論 再課題提示 全体発表準備 | 品田 佳世子, 大木 明子, 大塚 紘未, 塩沢 真穂, 安田 昌代 | SBOs:6 テュ ーター:伊藤 奏、 TA: 山本有佑 |
| 7-9 | 5/30 | 14:00-16:50 | 歯学部演習室 | 合同PBL3 | 発表準備 課題発表 | 品田 佳世子, 大木 明子, 大塚 紘未, 塩沢 真穂, 安田 昌代 | 全体発表は1号 館西6階歯学部 演習室1-4で行 います。SBOs:6 チューター:伊藤 奏、TA: 山本有佑 |
| 10-12 | 6/6 | 14:00-16:50 | 第2講義室 第3講義室 | 反転授業1 | ヘルスプロモーション課題演習1 | 大木 明子 | 最初に第2講義 室に集合してくだ さい。SBOs:6 |
| 13-15 | 6/13 | 14:00-16:50 | 第2講義室 第3講義室 | 反転授業2 | ヘルスプロモーション課題演習2 発表準備 | 大木 明子 | 最初に第2講義 室に集合してくだ さい。SBOs:6 |
| 16-18 | 6/20 | 14:00-16:50 | 第1講義室 | 保健行動の理論・ヘル スプロモーションの役割 | ヘルスプロモーションと歯科医療 | 岸 光男 | SBOs:1-5 |
| 19-21 | 6/27 | 14:00-16:50 | 第1講義室 | 課題発表 | 各班の課題発表 | 大木 明子 | SBOs:1,3-6 |

| | | | | | | | |
|-------|------|-------------|---------------------------|-----------|--|-------------|--------------------------|
| 22-24 | 7/4 | 14:00-16:50 | 第1講義室 | データの入力と集計 | MS Excelを用いた疫学データ・アンケートデータの入力・集計、グラフの作成 | 大木 明子 | SBOs:7 |
| 25-27 | 7/11 | 14:00-16:50 | 第1講義室 | データの統計処理 | MS Excelを用いたデータの統計分析、課題演習 | 大木 明子 | SBOs:7 |
| 28-30 | 7/18 | 14:00-16:50 | 口腔保健学科臨床基礎実習室 口腔保健学科相互実習室 | 口腔ケアの基礎 | 口腔健康教育、口腔内の状態の観察、ブラッシング法、フロスや歯間ブラシの使用法について | 大木 明子、小原 由紀 | 口腔保健衛生学専攻3年との合同実習 SBOs:8 |

授業方法

講義、PBL、グループワーク、課題発表、反転授業、演習、実習

成績評価の方法

- ・PBL: セッションごとにチューターによる形成的評価と資料準備内容の評価を行う。(3.5 点)
- ・課題演習は、小テスト、資料準備、課題の発表内容による評価を行う。(25 点)
- ・データの入力と集計、統計処理は課題を評価する。(18 点)
- ・口腔ケア実習では、実習態度を加味する。(1.75 点)
- ・出席状況(1.75 点)、授業態度、発表内容、レポート課題、期末試験(50 点)を総合的に評価し可否を判定する。

準備学習などについての具体的な指示

PBL テュートリアル回では、各自学習した内容を事前にまとめて準備してから講義に臨むこと。
反転授業の回では、事前に WebClass に提示された課題について学習してから講義に臨むこと。
衛生学専攻3年との合同実習では歯磨き実習を行うので、歯ブラシ等を忘れずに持参すること。
データの入力と集計、統計処理では事前に出された課題を行い、WebClass にて提出すること。PC を持参すること。

試験の受験資格

3 分の 2 以上の出席

参考書

国際保健医療学／日本国際保健医療学会 編：杏林書院，2005
Excel による統計入門／縄田和満著：朝倉書店，2007-10
Excel でかんたん統計分析：「分析ツール」を使いこなそう！／上田太郎 監修、近藤宏、淵上美喜、末吉正成、村田真樹 共著：オーム社，2007
Excel によるアンケート処理：やさしく学ぶ統計学／石村貞夫、加藤千恵子、劉晨 著：東京図書，2009
世界一やさしくわかる医療統計／西内啓 著：秀和システム，2011
データ社会を生き抜くための武器と教養／西内啓 著：ダイヤモンド社，2013-01
実践ヘルスプロモーション：precede-proceed モデルによる企画と評価／ローレンス・W.グリーン、マーシャル・W.クロイター 著、神馬征峰 訳：医学書院，2005
・「健康教育・ヘルスプロモーションの評価」武藤孝司、福渡靖著 篠原出版

履修上の注意事項

・1～9 回の授業は口腔保健衛生学専攻と合同授業を行う。(1 号館 6 階歯学部演習室) ・PBL テュートリアルブックをよく読んで、グラドルールを厳守すること。 ・10～15 回は口腔保健工学専攻のみで反転授業、課題演習を行う。(第2講義室に集合してください)。 ・22～27 回はデータ入力、集計、統計を行う。(第1 講義室) ・事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。 ・28～30 回は口腔保健衛生学専攻3年との合同実習を行う。授業場所が違うので注意すること。各自、歯ブラシ、筆記具、赤鉛筆を持参すること。

備考

PBL および反転授業、演習、実習が含まれます。事前に学習して準備を行うこと。
課題の提出を WebClass にて行うこと。

| 時間割番号 | 023508 | | | | | | |
|--|--|-------------|-------------|---|---|---|----------|
| 科目名 | グローバル口腔保健工学実習 | | | | | | |
| 担当教員 | 高橋 英和, 鈴木 哲也, 青木 和広, 大木 明子, JANELLE RENEE MOROSS | | | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 2 | | 単位数 | 1 | |
| 科目名: グローバル口腔保健工学実習 時間数: 45時間 授業形態: 講義・実習 | | | | | | | |
| 主な講義場所 口腔保健工学専攻 第1講義室(前期)、第2・3講義室およびリフレッシュルーム(後期) | | | | | | | |
| 授業の目的、概要等 海外の歯科技工関係者との交流を通じて専門課程へのモチベーションを高める。そのために必要とされる英語力の向上に努め、国際社会における多様な分野と関わる際の考え方と対応について修得する。 | | | | | | | |
| 授業の到達目標 1. 日本の文化を説明する。 2. 日本の歯科技工の現在、過去、未来を語る。 3. 海外の歯科技工士について知る。 4. 東京医科歯科大学を説明する。 5. 英語で1～4の内容を説明する。 6. 文化・習慣の違いによるコミュニケーションのあり方について説明する。 7. 意志・情報の伝達に必要なコミュニケーションスキルについて説明する。 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1 | 6/20 | 17:00-17:50 | 第1講義室 | 外国人に紹介する日本と東京医科歯科大学 | 紹介すべき項目の列挙と整理 | 大木 明子, 鈴木 哲也, 高橋 英和 青木 和広 | SBOs 1-4 |
| 2 | 6/27 | 17:00-17:50 | 第1講義室 | 外国人に紹介する日本と東京医科歯科大学 | 紹介すべき項目の列挙と整理 | 大木 明子, 鈴木 哲也, 高橋 英和 青木 和広 | SBOs 1-4 |
| 3 | 7/4 | 17:00-17:50 | 第1講義室 | 外国人に紹介する日本と東京医科歯科大学 | 紹介すべき項目の列挙と整理 | 大木 明子, 鈴木 哲也, 高橋 英和 青木 和広 | SBOs 1-4 |
| 4 | 7/11 | 17:00-17:50 | 第1講義室 | 外国人に紹介する日本と東京医科歯科大学 | 紹介すべき項目の列挙と整理 | 大木 明子, 鈴木 哲也, 高橋 英和 青木 和広 | SBOs 1-4 |
| 5 | 7/18 | 17:00-17:50 | 第1講義室 | Preparation for English presentation | Talk about topics and what needs to be done during the summer. | 高橋 英和 鈴木 哲也 大木 明子, Janelle Renee Moross, 青木 和広 | SBOs 1-5 |
| 6-7 | 10/5 | 10:00-11:50 | 第2講義室 第3講義室 | English conversation & presentation check | Practice talking about life at TMDU, culture in Japan. Check progress on presentation script, PP slides | 高橋 英和 鈴木 哲也 大木 明子, | SBOs 1-5 |

| | | | | | | | |
|-------|-------|-------------|--|--|---|--|----------|
| | | | 2号館リ フレッシュ ユルーム | | | Janelle Renee Moross, 青木 和広 | |
| 8-9 | 10/19 | 10:00-11:50 | 第2講義 室 第3 講義室 2号館リ フレッシュ ユルーム | English conversation & presentation check | Practice talking about life at TMDU, culture in Japan. Check progress on presentation script, PP slides | 高橋 英和 鈴木 哲也, 大木 明子, Janelle Renee Moross, 青木 和広 | SBOs 1-5 |
| 10-11 | 10/26 | 10:00-11:50 | 第2講義 室 第3 講義室 2号館リ フレッシュ ユルーム | English conversation & presentation check | Practice talking about life at TMDU, culture in Japan. Check progress on presentation script, PP slides | 高橋 英和 鈴木 哲也, 大木 明子, Janelle Renee Moross, 青木 和広 | SBOs 1-5 |
| 12-13 | 11/2 | 10:00-11:50 | 第2講義 室 第3 講義室 2号館リ フレッシュ ユルーム | English conversation & presentation check | Practice talking about life at TMDU, culture in Japan. Check progress on presentation script, PP slides | 高橋 英和 鈴木 哲也, 大木 明子, Janelle Renee Moross, 青木 和広 | SBOs 1-5 |
| 14-15 | 11/9 | 10:00-11:50 | 第2講義 室 第3 講義室 2号館リ フレッシュ ユルーム | English conversation & presentation check | Practice talking about life at TMDU, culture in Japan. Check progress on presentation script, PP slides | 高橋 英和 鈴木 哲也, 大木 明子, Janelle Renee Moross, 青木 和広 | SBOs 1-5 |
| 16-17 | 11/16 | 10:00-11:50 | 第2講義 室 第3 講義室 2号館リ フレッシュ ユルーム | English conversation & presentation check | Practice talking about life at TMDU, culture in Japan. Check progress on presentation script, PP slides | 高橋 英和 鈴木 哲也, 大木 明子, Janelle Renee Moross, 青木 和広 | SBOs 1-5 |
| 18-19 | 11/30 | 10:00-11:50 | 第2講義 室 | English conversation & presentation check | Practice talking about life at TMDU, culture in Japan. Check progress on presentation script, PP sli | 高橋 英和 | SBOs 1-5 |
| 20-27 | 12/4 | 09:00-17:50 | 第2講義 室 | 国際社会でのコミュニケ ーション | 組織の中での対人関係とコミュニ ケーションの役割 | 鈴木 哲也, 高橋 英和 青木 和広 | SBOs 1-7 |
| 28-35 | 12/5 | 09:00-17:50 | 第2講義 室 | 国際社会でのコミュニケ ーション | 国内外の文化・習慣の違いによる コミュニケーションのあり方 | 鈴木 哲也, 高橋 英和 青木 和広 | SBOs 1-7 |
| 36-43 | 12/6 | 09:00-17:50 | 第2講義 室 | 国際社会でのコミュニケ ーション | 国内外の文化・習慣の違いによる コミュニケーションのあり方 | 高橋 英和 鈴木 哲也, 青木 和広 | SBOs 1-7 |
| 44-51 | 12/7 | 09:00-17:50 | 第2講義 室 | 国際社会でのコミュニケ ーション | 国内外の文化・習慣の違いによる コミュニケーションのあり方 | 高橋 英和 鈴木 哲也, 青木 和広 | SBOs 1-7 |
| 52-56 | 12/21 | 09:00-14:50 | 第1講義 | 国内外の文化・習慣の | 英語によるプレゼンと交流報告 | 高橋 英和 | SBOs 1-7 |

| | | | | | | | |
|---|--|--|---|--------------------|--|---|--|
| | | | 室 | 違いによるコミュニケーションのあり方 | | 鈴木 哲也 大木 明子 Janelle Renee Moross, 青木 和広 | |
| 授業方法 講義, 実習 | | | | | | | |
| 成績評価の方法 ・レポートおよび毎回の課題への取り組みに出席状況、授業態度を加味し、総合的に評価を行う。 ・海外特別研修は本授業の 11 時間分として認定する。 ・研修の授業に参加できない場合は、放送大学の受講等をもって単位を認める。 | | | | | | | |
| 準備学習などについての具体的な指示 前期の最後に出される課題について、各自調べて英文で資料を準備しておくこと。 事前に資料の配付、web-class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。 | | | | | | | |
| 参考書 「話す」「書く」「聞く」能力が仕事を変える! / 池上 彰: PHP 研究所, 2007-05 | | | | | | | |
| 備考 あらかじめメールにて面談時間を相談のこと 2号館2階 213号室 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--|--|-------------|-------|---------------|----------------------------|-------|------------|
| 時間割番号 | 023510 | | | | | | |
| 科目名 | 感染予防 | | | | | | |
| 担当教員 | 青木 和広, 鈴木 敏彦, 加藤 優子, 東 みゆき, 大野 建州, 砂川 光宏 | | | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 2 | 単位数 | 1 | | |
| 科目名: 感染予防 時間数: 15 時間 授業形態: 講義 | | | | | | | |
| 主な講義場所 2号館2階 第1講義室 | | | | | | | |
| 授業の目的、概要等 病原微生物による口腔および全身の感染症について学び、病因と感染成立の機序を理解する。さらに、感染に対する対処法、特に、薬剤による消毒・滅菌の実際から感染予防について理解する。 | | | | | | | |
| 授業の到達目標 1. 細菌、ウイルス等による感染について、微生物の病原性を構造、機能、遺伝的因子から理解する。 2. 感染への生体防御機構を微生物の特性に基づき理解する。 3. 感染の予防と治療の基礎について理解する。 4. 口腔に存在する微生物の特徴と感染症について理解する。 5. 感染予防の方法と限界について理解する。 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1-3 | 4/11 | 14:00-16:50 | 第1講義室 | 微生物と疾病、病原性微生物 | 微生物の特徴、病原性微生物細菌、ウイルス、真菌の特徴 | 鈴木 敏彦 | SBOs:1 |
| 4-6 | 4/18 | 14:00-16:50 | 第1講義室 | 病原微生物と感染症 | グラム陽性菌・陰性菌と感染症、ウイルス感染症 | 加藤 優子 | SBOs:2,3 |
| 7-9 | 4/25 | 14:00-16:50 | 第1講義室 | 感染に対する生体防御機構 | 宿主防御機構と免疫 | 東 みゆき | SBOs:3 |
| 10-12 | 5/2 | 14:00-16:50 | 第1講義室 | 口腔の微生物と感染症 | 口腔細菌叢、プラーク、う蝕、歯髄炎、歯周病ほか | 大野 建州 | SBOs:4 |
| 13-15 | 5/9 | 14:00-16:50 | 第1講義室 | 滅菌、消毒法と感染対策 | 洗浄、消毒、滅菌と歯科における感染対策 | 砂川 光宏 | SBOs:1,3,5 |
| 成績評価の方法 前期末の筆記試験(100点)だけでなく、出席状況、授業態度など加味した評価を行い、可否を判定する。 | | | | | | | |
| 準備学習などについての具体的な指示 事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。 | | | | | | | |
| 試験の受験資格 講義時間の 2/3 以上の出席 | | | | | | | |
| 参考書 口腔微生物学・免疫学／浜田茂幸, 川端重忠, 西原達次, 菅井基行, 中川一路 編. 医歯薬出版, 2010 微生物学：疾病の成り立ち及び回復過程の促進 2／木村重信 ほか著. 医歯薬出版, 2011 歯科医院の感染管理常識非常識：Q&A で学ぶ勤所と実践のヒント／柏井伸子 編前田芳信 監修. クインテッセンス出版, 2009 | | | | | | | |
| 履修上の注意事項 事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。 | | | | | | | |
| 備考 鈴木敏彦 教授 随時(必ず事前に連絡を入れること) suzuki.bact@tmd.ac.jp 加藤優子 助教 随時(必ず事前に連絡を入れること) kyuko.mi@tmd.ac.jp 東 みゆき 教授 随時(必ず事前に連絡を入れること) miyuki.mim@tmd.ac.jp 大野 建州 助教 随時(必ず事前に連絡を入れること) tohno.mim@tmd.ac.jp 砂川光宏 准教授 随時(必ず事前に連絡を入れること) m.sunakawa.endo@tmd.ac.jp 青木和広 教授 随時(必ず事前に連絡を入れること) kazu.hpha@tmd.ac.jp | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--|---------------------------|-------------|-------|-----------------|--|----------------|------------|
| 時間割番号 | 023514 | | | | | | |
| 科目名 | う蝕と歯周病 | | | | | | |
| 担当教員 | 池田 正臣, 高垣 智博, 竹内 康雄, 青木 章 | | | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 2 | | 単位数 | 1 | |
| 主な講義場所 | | | | | | | |
| 2号館第1講義室 | | | | | | | |
| 授業の目的、概要等 | | | | | | | |
| う蝕と歯の実質欠損病態およびその治療法、また、歯周病の原因、病態、治療法の概要について理解する。 | | | | | | | |
| 授業の到達目標 | | | | | | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 保存修復の全体像を説明する。 2. う蝕の診断と処置が技工操作に与える影響について説明する。 3. 接着材料と技術について説明する。 4. 審美修復材料について説明する。 5. 歯周病の全体像を説明する。 6. 歯周病の診断と処置と歯科技工物との関係について説明する。 7. 修復物の予後と2次う蝕の予防について説明する。 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1-2 | 6/20 | 10:00-11:50 | 第1講義室 | 保存修復概論 | 硬組織疾患の診断と処置、窩洞の名称と分類、窩洞形態、不潔域、自浄作用 | 池田 正臣 高垣 智博 | SBOs 1 |
| 3-4 | 6/27 | 10:00-11:50 | 第1講義室 | う蝕 | う蝕の診断と処置、切削装置 | 池田 正臣 高垣 智博 | SBOs 2 |
| 5-6 | 7/4 | 10:00-11:50 | 第1講義室 | 接着性コンポジット レジン修復 | 材料、接着の基礎(歯質との接着)、臨床術式 | 池田 正臣 高垣 智博 | SBOs 3,4 |
| 7-8 | 7/10 | 09:00-10:50 | 第1講義室 | 歯周病学概論 | 歯周病の病因と病態 | 竹内 康雄 | SBOs 5,6 |
| 9-10 | 7/11 | 10:00-11:50 | 第1講義室 | 審美性間接修復 | 材料、接着の基礎、レジンインレー、ポーセレンインレー、CAD/CAM、ラミネートベニア、ホワイトニング、材料の透過性実習 | 池田 正臣 高垣 智博 | SBOs 3,4 |
| 11-12 | 7/17 | 09:00-10:50 | 第1講義室 | 歯周病 | 歯周病の治療法 | 青木 章 | SBOs 5,6 |
| 13-15 | 7/18 | 09:00-11:50 | 第1講義室 | メンテナンス | う蝕予防、修復物の予後 | 池田 正臣 高垣 智博 | SBOs 3,4,7 |
| 成績評価の方法 | | | | | | | |
| ・出席状況(10点)、期末の客観試験、論述試験(90点)で総括的評価に加味する。 | | | | | | | |
| 準備学習などについての具体的な指示 | | | | | | | |
| 事前に資料の配付、web-class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。 | | | | | | | |
| 参考書 | | | | | | | |
| 歯冠修復技工学 = Dental Technology for Fixed Dental Prosthesis and Restorations / 全国歯科技工士教育協議会 編集[末瀬一彦][ほか] [著] : 医歯薬出版, 2017 接着歯学 = Adhesive dentistry / 日本接着歯学会 編 : 医歯薬出版, 2015 | | | | | | | |
| 備考 | | | | | | | |
| 池田 正臣メールにて面談の日程を調整すること ikedacsoe@tmd.ac.jp | | | | | | | |

| | | | | | |
|---|---|------|---|-----|---|
| 時間割番号 | 023518 | | | | |
| 科目名 | 人体の構造と機能Ⅱ | | | | |
| 担当教員 | 青木 和広, 柴田 俊一, 坂本 裕次郎, 田村 幸彦, 加藤 哲久, 樺沢 勇司 | | | | |
| 開講時期 | 通年 | 対象年次 | 2 | 単位数 | 5 |
| <p>科目名:人体の構造と機能Ⅱ 時間数:30時間(2学年前期) 45時間(2学年後期) 授業形態:講義と実習</p> | | | | | |
| <p>主な講義場所 前期:口腔保健工学専攻第1講義室 後期:口腔保健工学専攻第2講義室、第4実習室</p> | | | | | |
| <p>授業の目的、概要等 顎・顔面・口腔領域の組織、器官の構造と機能およびその発生と成長の過程について学ぶとともに、全身の疾病と薬物を含めた治療について概説する。動物実習や解剖実習を通じて医療者あるいは医療に携わるものとしての心構えを身につける。</p> | | | | | |
| <p>授業の到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 歯の生物学的特性、歯の外形と内形を説明できる。 2. 歯の種類と名称を列挙できる。 3. 歯の記号と歯式の表示法を説明できる。 4. 歯の方向と部位を表す用語を説明できる。 5. 歯の形態を説明できる。 6. 歯の植立様式を説明できる。 7. 永久歯の形態的特徴を列挙できる。 8. 歯の数、形態および色の異常について説明できる。 9. 乳歯の形態的特徴を列挙できる。 10. 口腔と口蓋の構造と機能および発生について理解する。 11. 歯の発生、発育および交換の過程を説明できる。 12. 歯の組織の基本的構造を説明できる。 13. 歯周組織の基本構造を説明できる。 14. 歯と歯周組織の加齢変化を説明できる。 15. 他職種連携になぜ薬理学が必要かを理解する。 16. 薬の働き方に関して説明できる。 17. 薬の効果に影響を与える因子を説明できる。 18. ライフステージと薬の効果について概説できる。 19. 基礎医学(解剖学、生理学、生化学、病理学、微生物学、免疫学、薬理学)と臨床との関連について概説できる。 20. 生物学の実験と物理化学実験との違いから薬効評価方法を理解する。 21. 薬の開発過程と薬害に関して概説できる。 22. 薬の分類について説明できる。 23. 痛みと感染症に対する薬物に関して概説できる。 24. 循環器・血液系の病気とその治療に関して概説できる。 25. 自律神経系と運動神経の病気とその治療に関して概説できる。 26. 内分泌系・免疫系の病気とその治療について概説できる。 27. 中枢神経系の病気と治療について概説できる。 28. 臨床検査に関して概説できる。 29. 硬組織内時刻描記法と硬組織に作用する薬物について概説できる。 30. 頭頸部、口腔を構成する主要な骨、頭蓋骨について概説できる。 31. 頭頸部の主要な筋の形態と機能を説明する。 32. 顎口腔の神経支配を理解する。 33. 口腔領域に分布する脈管系を理解する。 | | | | | |

34. 口腔と全身との関連について理解する。
 35. 3次元的身体構造を理解する。
 36. 医療人、あるいは医療を支える人を目指す心構えを身につける。

授業計画

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|----|------|-------------|--------|----------|----------------------------|--------------|------------|
| 1 | 4/10 | 09:00-09:50 | 第1講義室 | 歯の形態 1 | 歯の定義、歯種と名称、表記法、方向用語、部位用語など | 柴田 俊一 | SBOs 1-4 |
| 2 | 4/10 | 10:00-10:50 | 第1講義室 | 歯の形態 1 | 歯の定義、歯種と名称、表記法、方向用語、部位用語など | 柴田 俊一 | SBOs 1-4 |
| 3 | 4/17 | 09:00-09:50 | 第1講義室 | 歯の形態 2 | 上下左右の鑑別 | 柴田 俊一 | SBOs 1-8 |
| 4 | 4/17 | 10:00-10:50 | 第1講義室 | 歯の形態 2 | 上下左右の鑑別 | 柴田 俊一 | SBOs 1-8 |
| 5 | 4/17 | 11:00-11:50 | 第1講義室 | 永久歯の形態 1 | 切歯、犬歯 | 柴田 俊一 | SBOs 1-8 |
| 6 | 4/17 | 13:00-13:50 | 第1講義室 | 永久歯の形態 1 | 切歯、犬歯 | 柴田 俊一 | SBOs 1-8 |
| 7 | 4/23 | 09:00-09:50 | 第1講義室 | 永久歯の形態 2 | 小臼歯 | 柴田 俊一 | SBOs 1-8 |
| 8 | 4/23 | 10:00-10:50 | 第1講義室 | 永久歯の形態 2 | 小臼歯 | 柴田 俊一 | SBOs 1-8 |
| 9 | 5/7 | 09:00-09:50 | 第1講義室 | 永久歯の形態 3 | 大臼歯 | 柴田 俊一 | SBOs 1-8 |
| 10 | 5/7 | 10:00-10:50 | 第1講義室 | 永久歯の形態 3 | 大臼歯 | 柴田 俊一 | SBOs 1-8 |
| 11 | 5/14 | 09:00-09:50 | 第1講義室 | 乳歯の形態 1 | 乳歯の特色、乳切歯 | 柴田 俊一 | SBOs 1-9 |
| 12 | 5/14 | 10:00-10:50 | 第1講義室 | 乳歯の形態 1 | 乳歯の特色、乳切歯 | 柴田 俊一 | SBOs 1-9 |
| 13 | 5/21 | 09:00-09:50 | 第1講義室 | 人体解剖見学準備 | 人体解剖見学の準備 (編入生参加) | 柴田 俊一, 青木 和広 | SBOs 34-36 |
| 14 | 5/21 | 10:00-10:50 | 第1講義室 | 人体解剖見学準備 | 人体解剖見学の準備 (編入生参加) | 柴田 俊一, 青木 和広 | SBOs 34-36 |
| 15 | 5/21 | 11:00-11:50 | 第1講義室 | 人体解剖見学準備 | 人体解剖見学の準備 (編入生参加) | 柴田 俊一, 青木 和広 | SBOs 34-36 |
| 16 | 5/21 | 13:00-13:50 | 解剖学実習室 | 人体解剖見学 | 歯学科人体解剖実習の見学(編入生参加) | 柴田 俊一, 青木 和広 | SBOs 34-36 |
| 17 | 5/21 | 14:00-14:50 | 解剖学実習室 | 人体解剖見学 | 歯学科人体解剖実習の見学(編入生参加) | 柴田 俊一, 青木 和広 | SBOs 34-36 |
| 18 | 5/21 | 15:00-15:50 | 解剖学実習室 | 人体解剖見学 | 歯学科人体解剖実習の見学(編入生参加) | 柴田 俊一, 青木 和広 | SBOs 34-36 |
| 19 | 5/21 | 16:00-16:50 | 解剖学実習室 | 人体解剖見学 | 歯学科人体解剖実習の見学(編入生参加) | 柴田 俊一, 青木 和広 | SBOs 34-36 |
| 20 | 5/28 | 09:00-09:50 | 第1講義室 | 乳歯の形態 2 | 乳犬歯、乳臼歯 | 柴田 俊一 | SBOs 1-9 |
| 21 | 5/28 | 10:00-10:50 | 第1講義室 | 乳歯の形態 2 | 乳犬歯、乳臼歯 | 柴田 俊一 | SBOs 1-9 |
| 22 | 6/4 | 09:00-09:50 | 第1講義室 | 発生 1 | 口腔、口蓋、舌の発生、歯の発生 | 坂本 裕次郎 | SBOs 10 |

| | | | | | | | |
|----|-------|-------------|-------|-----------|---|--------|-------------|
| | | | 室 | | | | |
| 23 | 6/4 | 10:00-10:50 | 第1講義室 | 発生1 | 口腔、口蓋、舌の発生、歯の発生 | 坂本 裕次郎 | SBOs 10 |
| 24 | 6/11 | 09:00-09:50 | 第1講義室 | 発生2、口腔組織1 | 歯の発育および交換の過程、歯の組織の基本構造 | 坂本 裕次郎 | SBOs 11, 12 |
| 25 | 6/11 | 10:00-10:50 | 第1講義室 | 発生2、口腔組織1 | 歯の発育および交換の過程、歯の組織の基本構造 | 坂本 裕次郎 | SBOs 11, 12 |
| 26 | 6/18 | 09:00-09:50 | 第1講義室 | 口腔組織2 | 歯周組織の基本構造 歯と歯周組織の加齢変化 | 坂本 裕次郎 | SBOs 13, 14 |
| 27 | 6/18 | 10:00-10:50 | 第1講義室 | 口腔組織2 | 歯周組織の基本構造 歯と歯周組織の加齢変化 | 坂本 裕次郎 | SBOs 13, 14 |
| 28 | 6/25 | 09:00-09:50 | 第1講義室 | 薬理学総論1 | 多職種連携に必要なくすりの知識 | 青木 和広 | SBOs 15 |
| 29 | 6/25 | 10:00-10:50 | 第1講義室 | 薬理学総論1 | 多職種連携に必要なくすりの知識 | 青木 和広 | SBOs 15 |
| 30 | 7/2 | 09:00-09:50 | 第1講義室 | 薬理学総論2 | 薬の効果に影響を与える因子 | 青木 和広 | SBOs 16, 17 |
| 31 | 7/2 | 10:00-10:50 | 第1講義室 | 薬理学総論2 | 薬の効果に影響を与える因子 | 青木 和広 | SBOs 16, 17 |
| 32 | 7/9 | 09:00-09:50 | 第1講義室 | 薬理学総論3 | ライフステージと薬の効果 | 青木 和広 | SBOs 18 |
| 33 | 7/9 | 10:00-10:50 | 第1講義室 | 薬理学総論3 | ライフステージと薬の効果 | 青木 和広 | SBOs 18 |
| 34 | 10/1 | 09:00-09:50 | 第2講義室 | 薬理学総論4 | 基礎医学(解剖学、生理学、生化学、病理学、微生物学、免疫学、薬理学)の関連と臨床(前期の復習) | 青木 和広 | SBOs 15-19 |
| 35 | 10/1 | 10:00-10:50 | 第2講義室 | 薬理学総論5 | 個体差と薬効評価 | 青木 和広 | SBOs 20 |
| 36 | 10/1 | 11:00-11:50 | 第2講義室 | 薬理学総論6 | 薬の開発過程と薬害 | 青木 和広 | SBOs 21 |
| 37 | 10/15 | 09:00-09:50 | 第2講義室 | 薬理学総論7 | 薬の分類 | 青木 和広 | SBOs 22 |
| 38 | 10/15 | 10:00-10:50 | 第2講義室 | 疾病と治療1 | 痛みと薬物 | 青木 和広 | SBOs 23 |
| 39 | 10/15 | 11:00-11:50 | 第2講義室 | 疾病と治療1 | 感染症と薬物 | 青木 和広 | SBOs 23 |
| 40 | 10/22 | 09:00-09:50 | 第2講義室 | 疾病と治療1 | 痛みと薬物 | 青木 和広 | SBOs 23 |
| 41 | 10/22 | 10:00-10:50 | 第2講義室 | 疾病と治療1 | 感染症と薬物 | 青木 和広 | SBOs 23 |
| 42 | 10/22 | 11:00-11:50 | 第2講義室 | 疾病と治療2 | 循環器・血液系の病気と治療 (抗凝血薬、抗凝固薬) | 青木 和広 | SBOs 24 |
| 43 | 10/29 | 09:00-09:50 | 第2講義室 | 疾病と治療3 | 自律神経系および運動神経の病気と治療 | 青木 和広 | SBOs 25 |
| 44 | 10/29 | 10:00-10:50 | 第2講義室 | 疾病と治療3 | 自律神経系および運動神経の病気と治療 | 青木 和広 | SBOs 25 |
| 45 | 10/29 | 11:00-11:50 | 第2講義室 | 疾病と治療2 | 循環器・血液系の病気と治療 (高血圧治療薬) | 青木 和広 | SBOs 24 |

| | | | | | | | |
|----|-------|-------------|-------------|---------------------|--|--------|-------------|
| 46 | 11/5 | 09:00-09:50 | 第2講義室 第4実習室 | 疾病と治療 6 | 臨床検査 | 樺沢 勇司 | SBOs 28 |
| 47 | 11/5 | 10:00-10:50 | 第2講義室 第4実習室 | 疾病と治療 3 | 末梢神経系の病気と治療 (TBL形式) | 青木 和広 | SBOs 24, 25 |
| 48 | 11/5 | 11:00-11:50 | 第2講義室 第4実習室 | 疾病と治療 3 | 末梢神経系の病気と治療 (TBL形式) | 青木 和広 | SBOs 24, 25 |
| 49 | 11/12 | 09:00-09:50 | 第2講義室 | 疾病と治療 4 | 内分泌系・免疫系の病気と治療 | 青木 和広 | SBOs 26 |
| 50 | 11/12 | 10:00-10:50 | 第2講義室 | 疾病と治療 6 | 臨床検査 | 樺沢 勇司 | SBOs 28 |
| 51 | 11/12 | 11:00-11:50 | 第2講義室 | 疾病と治療 5 | 中枢神経系の病気と治療 | 青木 和広 | SBOs 27 |
| 52 | 11/19 | 09:00-09:50 | 第2講義室 | 頭蓋の骨 | 頭蓋骨、口腔を構成する骨、頭蓋の全景 | 坂本 裕次郎 | SBOs 30 |
| 53 | 11/19 | 10:00-10:50 | 第2講義室 | 頭蓋の骨 | 頭蓋骨、口腔を構成する骨、頭蓋の全景 | 坂本 裕次郎 | SBOs 30 |
| 54 | 11/19 | 11:00-11:50 | 第2講義室 | 頭蓋の骨 | 頭蓋骨、口腔を構成する骨、頭蓋の全景 | 坂本 裕次郎 | SBOs 30 |
| 55 | 11/26 | 09:00-09:50 | 第2講義室 | 頭頸部の筋、顎関節 | 顔面筋(表情筋)、咀嚼筋、舌筋、舌骨筋群(舌骨上筋群、舌骨下筋群)、頸部の筋、顎関節の構造と機能 | 坂本 裕次郎 | SBOs 31 |
| 56 | 11/26 | 10:00-10:50 | 第2講義室 | 頭頸部の筋、顎関節 | 顔面筋(表情筋)、咀嚼筋、舌筋、舌骨筋群(舌骨上筋群、舌骨下筋群)、頸部の筋、顎関節の構造と機能 | 坂本 裕次郎 | SBOs 31 |
| 57 | 11/26 | 11:00-11:50 | 第2講義室 | 頭頸部の筋、顎関節 | 顔面筋(表情筋)、咀嚼筋、舌筋、舌骨筋群(舌骨上筋群、舌骨下筋群)、頸部の筋、顎関節の構造と機能 | 坂本 裕次郎 | SBOs 31 |
| 58 | 12/10 | 09:00-09:50 | 第2講義室 | 頭頸部の骨、筋肉の観察、頭頸部の神経 | 頭頸部の骨と筋肉の観察、脳神経、頭頸部に分布する脊髄神経、自律神経 | 坂本 裕次郎 | SBOs 32 |
| 59 | 12/10 | 10:00-10:50 | 第2講義室 | 頭頸部の骨、筋肉の観察、頭頸部の神経 | 頭頸部の骨と筋肉の観察、脳神経、頭頸部に分布する脊髄神経、自律神経 | 坂本 裕次郎 | SBOs 32 |
| 60 | 12/10 | 11:00-11:50 | 第2講義室 | 頭頸部の骨、筋肉の観察、頭頸部の神経 | 頭頸部の骨と筋肉の観察、脳神経、頭頸部に分布する脊髄神経、自律神経 | 坂本 裕次郎 | SBOs 32 |
| 61 | 12/17 | 09:00-09:50 | 第2講義室 | 頭頸部の神経、口腔付近に分布する脈管系 | 脳神経、頭頸部に分布する脊髄神経、自律神経、動脈系、静脈系、リンパ系 | 坂本 裕次郎 | SBOs 33 |
| 62 | 12/17 | 10:00-10:50 | 第2講義室 | 頭頸部の神経、口腔付近に分布する脈管系 | 脳神経、頭頸部に分布する脊髄神経、自律神経、動脈系、静脈系、リンパ系 | 坂本 裕次郎 | SBOs 33 |
| 63 | 12/17 | 11:00-11:50 | 第2講義室 | 頭頸部の神経、口腔付近に分布する脈管系 | 脳神経、頭頸部に分布する脊髄神経、自律神経、動脈系、静脈系、リンパ系 | 坂本 裕次郎 | SBOs 33 |

| | | | | | | | |
|----|------|-------------|---------------------------|---------------|--|-------------------------|----------------|
| | | | 室 | 近に分布する脈管系 | 経、自律神経、動脈系、静脈系、リンパ系 | | |
| 64 | 1/7 | 09:00-09:50 | 第2講義室 | 疾病と治療6(実習準備1) | 全身麻酔薬 | 青木 和広 | SBOs 27 |
| 65 | 1/7 | 10:00-10:50 | 第2講義室 第4実習室 | 疾病と治療7(実習準備2) | 硬組織の病気と治療 (カルシウム代謝薬、骨代謝薬・骨質改善薬) | 青木 和広 | SBOs 29 |
| 66 | 1/7 | 11:00-11:50 | 第2講義室 第4実習室 | 疾病と治療7(実習準備2) | 骨形成促進薬の開発 | 青木 和広 | SBOs 29 |
| 67 | 1/21 | 09:00-09:50 | 口腔保健学科基礎科学実習室 | 実習1「中枢神経系の薬理」 | 中枢神経抑制薬(麻酔薬) 薬剤感受性の個体差 ED50 | 青木 和広 田村 幸彦 加藤 哲久 | SBOs 16-20, 27 |
| 68 | 1/21 | 10:00-10:50 | 口腔保健学科基礎科学実習室 | 実習1「中枢神経系の薬理」 | 中枢神経抑制薬(麻酔薬) 薬剤感受性の個体差 ED50 | 青木 和広 田村 幸彦 加藤 哲久 | SBOs 16-20, 27 |
| 69 | 1/21 | 11:00-11:50 | 口腔保健学科基礎科学実習室 | 実習1「中枢神経系の薬理」 | 中枢神経抑制薬(麻酔薬) 薬剤感受性の個体差 ED50 | 青木 和広 田村 幸彦 加藤 哲久 | SBOs 16-20, 27 |
| 70 | 1/28 | 09:00-09:50 | 口腔保健学科基礎科学実習室 第2講義室 第4実習室 | 実習2「硬組織の薬理」 | 硬組織内時刻描記法により、象牙質の形成、歯槽骨の成長、脛骨、大腿骨の成長、および骨吸収抑制剤の効果を評価する | 青木 和広 田村 幸彦 加藤 哲久 | SBOs 29 |
| 71 | 1/28 | 10:00-10:50 | 口腔保健学科基礎科学実習室 第2講義室 第4実習室 | 実習2「硬組織の薬理」 | 硬組織内時刻描記法により、象牙質の形成、歯槽骨の成長、脛骨、大腿骨の成長、および骨吸収抑制剤の効果を評価する | 青木 和広 田村 幸彦 加藤 哲久 | SBOs 29 |
| 72 | 1/28 | 11:00-11:50 | 口腔保健学科基礎科学実習室 第2講義室 第4実習室 | 実習2「硬組織の薬理」 | 硬組織内時刻描記法により、象牙質の形成、歯槽骨の成長、脛骨、大腿骨の成長、および骨吸収抑制剤の効果を評価する | 青木 和広 田村 幸彦 加藤 哲久 | SBOs 29 |
| 73 | 2/4 | 09:00-09:50 | 解剖学実習室 | 頭頸部の解剖 | 頭頸部の解剖実習見学 | 坂本 裕次郎 青木 和広 | SBOs 30-36 |
| 74 | 2/4 | 10:00-10:50 | 解剖学実習室 | 頭頸部の解剖 | 頭頸部の解剖実習見学 | 坂本 裕次郎 青木 和広 | SBOs 30-36 |
| 75 | 2/4 | 11:00-11:50 | 解剖学実習室 | 頭頸部の解剖 | 頭頸部の解剖実習見学 | 坂本 裕次郎 青木 和広 | SBOs 30-36 |

| |
|--|
| <p>授業方法</p> <p>TBL方式の講義も導入する。</p> <p>前の講義内容、あるいは、WebClassにアップしている教材を勉強しておき、次の授業にテストを行うことがある(反転授業)。また、前の講義を受けて発表をしてもらうこともあるので、PCを準備しておくこと(前もって指示する)。動物実習のために必要な実験手技をシミュレーション教材としてWebClassにアップするので、必ず予習してくること。</p> |
| <p>成績評価の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席状況、授業態度(10点)、提出レポートや小テストなど提出物(20点)による平常点、および期末の客観試験、論述試験(70点)で総合的評価を行う。 ・前期と後期の試験後に行うそれぞれの総合的評価において、合格しなければならない。 ・後期のTBL方式授業中におこなうテストや取り組み態度などは30点の平常点の中に加味して評価する。 ・前期の歯の鑑別テストは7割以上が合格点となる。筆記テストを含めて6割以上でも鑑別テストが7割以上とれない場合は、不合格となる。 |
| <p>準備学習などについての具体的な指示</p> <p>事前に資料の配付、WebClassへのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。</p> |
| <p>試験の受験資格</p> <p>3分の2の出席だが、実習は休まないように出席すること。</p> |
| <p>教科書</p> <p>口腔・顎顔面解剖学 = Oral and Maxillofacial Anatomy / 全国歯科技工士教育協議会 編集, 脇坂聡, 杉田順弘, 市川博之, 里田隆博, 木暮ミカ 著: 医歯薬出版, 2016</p> <p>看護・医療系のためのからだと病気の基礎知識 / 鳥澤保廣, 蜂谷正博 編: 東京化学同人, 2012</p> <p>看護・医療系のためのくすり治療の基礎知識 / 鳥澤保廣, 蜂谷正博 編: 東京化学同人, 2013</p> |
| <p>参考書</p> <p>現代歯科薬理学 第6版 / 大谷啓一監修 鈴木邦明, 戸苅彰史, 筑波隆幸, 兼松 隆, 青木和広編: 医歯薬出版, 2018</p> <p>歯の解剖学 / 藤田恒太郎 原著: 金原出版, 1996</p> <p>ヒューマンボディ: からだの不思議がわかる解剖生理学 / Barbara Herlihy 著, 片桐康雄, 飯島治之, 片桐展子, 尾岸恵三子 監訳: エルゼビア・ジャパン, 2008</p> <p>口腔の発生と組織 = Oral Embryology and Histology / 田畑純 編著: 南山堂, 2015</p> <p>顎口腔機能学 = Stomatognathic Function Science / 全国歯科技工士教育協議会 編集, 志賀博, 町博之, 小泉順一, 竹井利香 著: 医歯薬出版, 2016</p> <p>自然科学の基礎知識を知る / 今井秀樹, 高木晴良, 松本和史, 草間朋子 著: 東京化学同人, 2017</p> <p>からだの仕組みと働きを知る / 高野海哉, 川岸久太郎, 草間朋子 著: 東京化学同人, 2016</p> <p>解剖・生理学: 人体の構造と機能 / 飯田薫子, 石川朋子, 近藤和雄, 脊山洋右 編: 東京化学同人, 2016</p> <p>疾病の成り立ち / 飯田薫子, 近藤和雄, 脊山洋右 編: 東京化学同人, 2015</p> |
| <p>履修上の注意事項</p> <p>履修する基礎医学が常にどのように臨床に応用されるかを意識しながら学習するように。WebClassに資料やシミュレーション教材をアップロードした場合は、講義あるいは実習前に必ず目を通してから講義に臨むこと。</p> |
| <p>備考</p> <p>オフィスアワー、連絡先</p> <p>青木 和広 教授 随時(必ず事前に連絡を入れること) kazu.hpha@tmd.ac.jp</p> <p>2号館2階 217号室(口腔基礎工学分野)</p> |
| <p>連絡先</p> <p>青木 和広: kazu.hpha@tmd.ac.jp</p> <p>柴田 俊一: sshibata.mfa@tmd.ac.jp</p> <p>坂本 裕次郎: y.sakamoto.bs@tmd.ac.jp</p> |
| <p>オフィスアワー</p> <p>青木 和広: 随時(必ず事前に連絡を入れること) 2号館2階 217号室(口腔基礎工学分野)</p> <p>柴田 俊一: 随時(必ず事前に連絡の事) M&D タワー6F 南側 顎顔面解剖教授室</p> <p>坂本 裕次郎: 随時 1号館西8階</p> |

| | | | | | | | |
|---|--------|-------------|-------|------------|------------|-------|----------|
| 時間割番号 | 023520 | | | | | | |
| 科目名 | 歯の形態実習 | | | | | | |
| 担当教員 | 岩崎 直彦 | | | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 2 | 単位数 | 1 | | |
| 科目名:歯の形態実習 時間数:45時間 授業形態:実習 必修 | | | | | | | |
| 主な講義場所 第1実習室 | | | | | | | |
| 授業の目的、概要等 歯型彫刻の実習を行い、口腔保健工学の実践に必要な天然歯牙の形態を把握して彫刻再現できる技術力を養い、数々の修復物製作における基本的造形能力を身につける。 | | | | | | | |
| 授業の到達目標 1. 模刻による歯型彫刻法を習得する。 2. 歯冠から歯根への移行形態の重要性を説明する。 3. 上下顎前歯の形態的特徴を理解し、彫刻により再現する。 4. 上下顎小臼歯の形態的特徴を理解し、彫刻により再現する。 5. 上下顎大臼歯の形態的特徴を理解し、彫刻により再現する。 6. 天然歯の形態的特徴を記憶し、短時間の彫刻で精密に再現する。 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1-3 | 4/18 | 09:00-11:50 | 第1実習室 | ワックス彫刻の進め方 | ワックス彫刻の進め方 | 岩崎 直彦 | SBOs 1-6 |
| 4-5 | 4/24 | 09:00-10:50 | 第1実習室 | 1.2倍歯模型 | 上顎右側中切歯 | 岩崎 直彦 | SBOs 1-6 |
| 6-7 | 5/1 | 09:00-10:50 | 第1実習室 | 1.2倍歯模型 | 上顎右側中切歯 | 岩崎 直彦 | SBOs 1-6 |
| 8-10 | 5/2 | 09:00-11:50 | 第1実習室 | 1.2倍歯模型 | 上顎右側側切歯 | 岩崎 直彦 | SBOs 1-6 |
| 11-12 | 5/8 | 09:00-10:50 | 第1実習室 | 1.2倍歯模型 | 上顎右側犬歯 | 岩崎 直彦 | SBOs 1-6 |
| 13-14 | 5/15 | 09:00-10:50 | 第1実習室 | 1.2倍歯模型 | 上顎右側犬歯 | 岩崎 直彦 | SBOs 1-6 |
| 15-17 | 5/16 | 09:00-11:50 | 第1実習室 | 1.2倍歯模型 | 下顎右側犬歯 | 岩崎 直彦 | SBOs 1-6 |
| 18-19 | 5/22 | 09:00-10:50 | 第1実習室 | 1.2倍歯模型 | 下顎右側犬歯 | 岩崎 直彦 | SBOs 1-6 |
| 20-21 | 5/29 | 09:00-10:50 | 第1実習室 | 1.2倍歯模型 | 上顎右側第一小臼歯 | 岩崎 直彦 | SBOs 1-6 |
| 22-24 | 5/30 | 09:00-11:50 | 第1実習室 | 1.2倍歯模型 | 上顎右側第一小臼歯 | 岩崎 直彦 | SBOs 1-6 |
| 25-26 | 6/5 | 09:00-10:50 | 第1実習室 | 1.2倍歯模型 | 上顎右側第二小臼歯 | 岩崎 直彦 | SBOs 1-6 |
| 27-28 | 6/12 | 09:00-10:50 | 第1実習室 | 1.2倍歯模型 | 上顎右側第二小臼歯 | 岩崎 直彦 | SBOs 1-6 |
| 29-31 | 6/19 | 09:00-11:50 | 第1実習室 | 1.2倍歯模型 | 上顎右側第一大臼歯 | 岩崎 直彦 | SBOs 1-6 |
| 32 | 6/20 | 09:00-09:50 | 第1実習室 | 1.2倍歯模型 | 上顎右側第一大臼歯 | 岩崎 直彦 | SBOs 1-6 |

| | | | | | | | |
|-------|------|-------------|-------|---------|-----------|-------|----------|
| | | | 室 | | | | |
| 33-34 | 6/26 | 09:00-10:50 | 第1実習室 | 1.2倍歯模型 | 上顎右側第一大臼歯 | 岩崎 直彦 | SBOs 1-6 |
| 35-36 | 7/3 | 09:00-10:50 | 第1実習室 | 1.2倍歯模型 | 下顎右側第一大臼歯 | 岩崎 直彦 | SBOs 1-6 |
| 37 | 7/4 | 09:00-09:50 | 第1実習室 | 1.2倍歯模型 | 下顎右側第一大臼歯 | 岩崎 直彦 | SBOs 1-6 |
| 38-39 | 7/9 | 11:00-13:50 | 第1実習室 | 等倍歯模型 | 上顎右側中切歯 | 岩崎 直彦 | SBOs 1-6 |
| 40 | 7/11 | 09:00-09:50 | 第1実習室 | 等倍歯模型 | 上顎右側側切歯 | 岩崎 直彦 | SBOs 1-6 |
| 41-43 | 7/23 | 09:00-11:50 | 第1実習室 | 等倍歯模型 | 下顎右側中切歯 | 岩崎 直彦 | SBOs 1-6 |
| 44-45 | 7/24 | 09:00-10:50 | 第1実習室 | 等倍歯模型 | 下顎右側側切歯 | 岩崎 直彦 | SBOs 1-6 |

成績評価の方法

・彫刻作品、カービングコンテストの成績、出席状況および授業態度によって総括的評価を行う。

準備学習などについての具体的な指示

実習予定表および実習書を事前に確認し、当日行う実習内容を把握しておく。

Web Class に資料がアップされているときには、事前に確認しておく。

試験の受験資格

実習の出席が3/4以上。

教科書

歯の解剖学／藤田 恒太郎／原著、金原出版、1995

口腔・顎顔面解剖学／全国歯科技工士教育協議会 編、高橋常男、小林繁、副島泰子 著、医歯薬出版、2016

履修上の注意事項

事前に資料の配布、Web Class へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

備考

授業担当教員

- ・岩崎直彦
- ・安江 透

| | | | | | | | |
|---|----------|-------------|-------|-------|-----------|-------|----------|
| 時間割番号 | 023521 | | | | | | |
| 科目名 | 歯の形態修復演習 | | | | | | |
| 担当教員 | 岩崎 直彦 | | | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 2 | 単位数 | 1 | | |
| 科目名:歯の形態修復演習 時間数:30 時間 授業形態:演習 必修 | | | | | | | |
| 主な講義場所 第1 実習室 | | | | | | | |
| 授業の目的、概要等 実習により歯型彫刻の技術を習得し、口腔保健工学の実践に必要な天然歯牙の形態を把握して彫刻再現できる技術力を養い、数々の修復物製作における基本的造形能力を身につける。 | | | | | | | |
| 授業の到達目標 1. 模刻による歯型彫刻法を習得する。 2. 歯冠から歯根への移行形態の重要性を説明する。 3. 上下顎前歯の形態的特徴を理解し、彫刻により再現する。 4. 上下顎小臼歯の形態的特徴を理解し、彫刻により再現する。 5. 上下顎大臼歯の形態的特徴を理解し、彫刻により再現する。 6. 天然歯の形態的特徴を記憶し、短時間の彫刻で精密に再現する。 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1-2 | 10/2 | 09:00-10:50 | 第1実習室 | 等倍歯模型 | 上顎右側犬歯 | 岩崎 直彦 | SBOs 1-6 |
| 3-4 | 10/9 | 09:00-10:50 | 第1実習室 | 等倍歯模型 | 下顎右側犬歯 | 岩崎 直彦 | SBOs 1-6 |
| 5-6 | 10/16 | 09:00-10:50 | 第1実習室 | 等倍歯模型 | 上顎右側第一小臼歯 | 岩崎 直彦 | SBOs 1-6 |
| 7-8 | 10/23 | 09:00-10:50 | 第1実習室 | 等倍歯模型 | 上顎右側第二小臼歯 | 岩崎 直彦 | SBOs 1-6 |
| 9-10 | 10/30 | 09:00-10:50 | 第1実習室 | 等倍歯模型 | 下顎右側第一小臼歯 | 岩崎 直彦 | SBOs 1-6 |
| 11-12 | 11/6 | 09:00-10:50 | 第1実習室 | 等倍歯模型 | 下顎右側第二小臼歯 | 岩崎 直彦 | SBOs 1-6 |
| 13-14 | 11/13 | 09:00-10:50 | 第1実習室 | 等倍歯模型 | 上顎右側第一大臼歯 | 岩崎 直彦 | SBOs 1-6 |
| 15-16 | 11/20 | 09:00-10:50 | 第1実習室 | 等倍歯模型 | 上顎右側第二大臼歯 | 岩崎 直彦 | SBOs 1-6 |
| 17-18 | 12/11 | 09:00-10:50 | 第1実習室 | 等倍歯模型 | 下顎右側第一大臼歯 | 岩崎 直彦 | SBOs 1-6 |
| 19-20 | 12/18 | 09:00-10:50 | 第1実習室 | 等倍歯模型 | 下顎右側第二大臼歯 | 岩崎 直彦 | SBOs 1-6 |
| 21-22 | 1/8 | 09:00-10:50 | 第1実習室 | 等倍歯模型 | 上顎左側第一大臼歯 | 岩崎 直彦 | SBOs 1-6 |
| 23-24 | 1/15 | 09:00-10:50 | 第1実習室 | 等倍歯模型 | 上顎左側第一大臼歯 | 岩崎 直彦 | SBOs 1-6 |
| 25-26 | 1/22 | 09:00-10:50 | 第1実習室 | 等倍歯模型 | 下顎右側第一大臼歯 | 岩崎 直彦 | SBOs 1-6 |
| 27-28 | 1/29 | 09:00-10:50 | 第1実習室 | 等倍歯模型 | 下顎右側第一大臼歯 | 岩崎 直彦 | SBOs 1-6 |

| | | | | | | | |
|---|-----|-------------|-----------|-------|-----------|-------|----------|
| | | | 室 | | | | |
| 29-30 | 2/5 | 09:00-10:50 | 第1実習 室 | 等倍歯模型 | 下顎右側第二大臼歯 | 岩崎 直彦 | SBOs 1-6 |
| 成績評価の方法 | | | | | | | |
| ・彫刻作品、カービングコンテストの成績、出席状況および授業態度によって総合的評価を行う。 | | | | | | | |
| 準備学習などについての具体的な指示 | | | | | | | |
| 実習予定表および実習書を事前に確認し、当日行う実習内容を把握しておくこと。 Web Class に資料がアップされているときには、事前に確認しておくこと。 | | | | | | | |
| 試験の受験資格 | | | | | | | |
| 演習の出席が3/4以上。 | | | | | | | |
| 教科書 | | | | | | | |
| 歯の解剖学／藤田 恒太郎／原著：金原出版，1995-04 口腔・顎顔面解剖学 = Oral and Maxillofacial Anatomy／全国歯科技工士教育協議会 編集，脇坂聡，杉田順弘，市川博之，里田隆博，木暮ミカ 著：医歯薬出版，2016 | | | | | | | |
| 履修上の注意事項 | | | | | | | |
| 事前に資料の配布、Web Class へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。 | | | | | | | |
| 備考 | | | | | | | |
| 授業担当教員 | | | | | | | |
| ・岩崎直彦 | | | | | | | |
| ・塩沢真穂 | | | | | | | |

| 時間割番号 | 023522 | | | | | | |
|--|-------------|-------------|-------------|-------------------|---|-------|------------|
| 科目名 | 咬合学 | | | | | | |
| 担当教員 | 鈴木 哲也, 加藤 均 | | | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 2 | 単位数 | 1 | | |
| 主な講義場所 | | | | | | | |
| 2号館第1講義室 | | | | | | | |
| 2号館第4講義室 | | | | | | | |
| 授業の目的、概要等 | | | | | | | |
| 顎口腔系の形態と機能の特徴を理解し、それらを適切に回復、維持するための基礎となる咬合に関する学理と技法を習得する。 | | | | | | | |
| 授業の到達目標 | | | | | | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 顎口腔系の形態を説明する 2. 顎口腔系の機能を説明する 3. 下顎位の定義を説明し、その臨床的意義を理解する 4. 下顎運動の種類と特徴を理解する 5. 下顎運動範囲を説明する。 6. 咬頭嵌合位と偏心位における咬合接触を理解する 7. 咬合干渉の種類と原因を説明する。 8. 咬合器の種類と特徴を理解する 9. 咬合器の調節方法を理解する。 10. フェイスボウの意義を説明する 11. 全部床義歯の咬合様式を説明する 12. 顎機能検査の種類と特徴を列挙する 13. 顎機能障害の病因と病態を説明する 14. 口腔機能と全身との関わりを理解する。 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1-2 | 4/12 | 16:00-17:50 | 第1講義室 | 顎口腔系の形態と機能 | 顎口腔系の概念、顎口腔系の形態的特徴と機能、基準点と基準面、咬合に関係する平面 | 加藤 均 | SBOs 1,2 |
| 3-4 | 4/26 | 16:00-17:50 | 第1講義室 | 下顎位 | 各下顎位の定義、各下顎位の臨床的意義 | 加藤 均 | SBOs 3,4 |
| 5-6 | 5/10 | 16:00-17:50 | 第1講義室 | 下顎運動 | 下顎運動の種類と特徴、下顎運動範囲、切歯点の運動と顎頭運動の対応 | 加藤 均 | SBOs 4,5 |
| 7-8 | 5/17 | 16:00-17:50 | 第1講義室 | 歯の接触様式 | 咬合干渉の種類と原因、咬合干渉の種類と原因 | 加藤 均 | SBOs 6,7 |
| 9 | 5/24 | 11:00-11:50 | 第1講義室 | 咬合器 1 | 咬合干渉の種類と原因 | 鈴木 哲也 | SBOs 8,9 |
| 10 | 5/31 | 11:00-11:50 | 第1講義室 | 咬合器 2 | 咬合器の調節方法、フェイスボウの意義 | 鈴木 哲也 | SBOs 10 |
| 11 | 6/7 | 11:00-11:50 | 第1講義室 | 全部床義歯の咬合 | 全部床義歯の咬合の特殊性 | 鈴木 哲也 | SBOs 11 |
| 12 | 6/14 | 11:00-11:50 | 第1講義室 | 咬合検査と顎機能障害 1 | 咬合検査の目的・種類・特徴 | 鈴木 哲也 | SBOs 12,13 |
| 13 | 7/5 | 11:00-11:50 | 第1講義室 第4実習室 | 咬合検査と顎機能障害 2 (実習) | 咬合検査を体験する。 | 鈴木 哲也 | SBOs 12,13 |
| 14-15 | 7/12 | 09:00-10:50 | 第1講義室 | 口腔と全身 | 口腔機能と全身との関わり | 鈴木 哲也 | SBOs 14 |

| |
|---|
| 授業方法 講義および実習 |
| 成績評価の方法 ・提出レポート(20点)、期末の客観試験、論述試験(60点)で総合的評価を行う。 ・出席状況(10点)、授業態度(10点)を総合的評価に加味する。 |
| 準備学習などについての具体的な指示 事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。 |
| 参考書 顎口腔機能学 = Stomatognathic Function Science / 全国歯科技工士教育協議会 編集 志賀博, 町博之, 小泉順一, 竹井利香 著, 医歯薬出版, 2016 咬合学と歯科臨床 : よく噛めて、噛み心地の良い咬合を目指して / 中野雅徳, 坂東永一 編, 医歯薬出版, 2011 歯科理工学 = Dental Materials Science / 全国歯科技工士教育協議会 編集 大島浩 ほか 著, 医歯薬出版, 2016 |
| 備考 担当教員のオフィスアワー 鈴木 哲也 教授 メールにて日時を相談 suzuki.peoe@tmd.ac.jp |

| | | | | | | | |
|---|---|-------------|-------|---------|-------------------|-------|----------|
| 時間割番号 | 023526 | | | | | | |
| 科目名 | 口腔保健理工学 | | | | | | |
| 担当教員 | 岩崎 直彦, 高橋 英和, 宇尾 基弘, 中嶋 裕, 原田 直子, 橋本 典也, 宮崎 隆 | | | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 2 | 単位数 | 2 | | |
| 科目名: 口腔保健理工学 時間数: 45時間 授業形態: 講義, 討論 必修 | | | | | | | |
| 主な講義場所 口腔保健工学第1講義室 | | | | | | | |
| 授業の目的、概要等 歯科技工に必要な歯科材料および器械の知識を修得する。 | | | | | | | |
| 授業の到達目標 1. 金属の加工法と、それに伴う加工硬化と熱処理を説明する。 2. 模型用材料の組成と特徴を説明する。 3. 歯科用合金の種類と特徴を説明する。 4. 印象材の組成と特徴を説明する。 5. 印象材と模型材の関係を説明する。 6. 切削と研磨の原理を説明する。 7. レジン材料の成形法と特徴を説明する。 8. レジンの種類と組成を説明する。 9. レジン重合時の寸法変化と適合性を説明する。 10. 接着の機序と接着剤の成分を説明する。 11. 成形修復材料の種類と特徴を説明する。 12. 陶材の種類と成分を説明する。 13. セラミックスの種類と特徴を説明する。 14. セラミックスの加工法を説明する。 15. 硬質レジンの特徴を説明する。 16. 歯科用インプラント材料の特徴を説明する。 17. 審美修復に必要な色彩に関する知識を説明する。 18. 歯科用 CAD/CAM の基礎知識を説明する。 19. 補綴物の安定性を説明する。 20. 歯科材料の安全性を説明する。 21. 歯科鑄造法について説明する。 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1 | 4/9 | 13:00-13:50 | 第1講義室 | 歯科理工学概論 | 加工の特徴, 加工硬化 | 高橋 英和 | SBOs:1 |
| 2-4 | 4/13 | 09:00-11:50 | 第1講義室 | 模型材と石膏 | 模型材の種類, 石膏の種類 | 高橋 英和 | SBOs:2 |
| 5 | 4/16 | 11:00-11:50 | 第1講義室 | 金属の特徴 | 歯科用合金の種類, 特徴 | 高橋 英和 | SBOs:3 |
| 6-8 | 4/20 | 09:00-11:50 | 第1講義室 | 義歯床用レジン | 加熱重合レジンの特徴 | 高橋 英和 | SBOs:7-9 |
| 9 | 4/23 | 11:00-11:50 | 第1講義室 | 義歯床用レジン | 常温重合レジン, そのほかのレジン | 高橋 英和 | SBOs:7-9 |
| 10 | 5/7 | 11:00-11:50 | 第1講義室 | 切削加工の基礎 | 切削, 研磨 | 高橋 英和 | SBOs:6 |

| | | | | | | | |
|-------|------|-------------|-------|-------------|--|-------------------------|------------|
| | | | 室 | | | | |
| 11-13 | 5/18 | 09:00-11:50 | 第1講義室 | 印象 | 弾性印象材 | 高橋 英和 | SBOs:4-5 |
| 14 | 6/1 | 09:00-09:50 | 第1講義室 | 接着 | 接着の機序と接着剤 | 高橋 英和 | SBOs:10 |
| 15-16 | 6/1 | 10:00-11:50 | 第1講義室 | 色彩に関する知識 | 表色系, 視感比色法 | 高橋 英和 | SBOs:17 |
| 17-19 | 6/8 | 09:00-11:50 | 第1講義室 | 成形修復材料 | 常温重合レジン, コンポジットレジン, グラスアイオノマーセメント, 各種合着用セメント | 高橋 英和 | SBOs:11 |
| 20-21 | 6/25 | 15:00-16:50 | 第1講義室 | セラミックスの基礎 | セラミックスの特徴 | 宇尾 基弘 | SBOs:13 |
| 22-23 | 7/6 | 15:00-16:50 | 第1講義室 | セラミックスの応用 | オールセラミックス | 中嶋 裕 | SBOs:13,14 |
| 24-26 | 7/9 | 14:00-16:50 | 第1講義室 | 生体材料の安全性 | 薬事法と歯科材料 生体材料の安全性 | 高橋 英和 原田 直子 橋本 典也 | SBOs:20 |
| 27-28 | 7/20 | 09:00-10:50 | 第1講義室 | CAD/CAM の基礎 | 歯科用 CAD/CAM の基礎 | 高橋 英和 宮崎 隆 | SBOs:18 |
| 29-30 | 7/23 | 13:00-14:50 | 第1講義室 | 口腔保健理工学まとめ | 口腔保健理工学まとめ | 高橋 英和 | SBOs:1-19 |

授業内容

講義, 討論

成績評価の方法

- ・提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総合的評価を行う。
- ・出席状況、授業態度を総合的評価に加味する。

準備学習などについての具体的な指示

事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

教科書

スタンダード歯科理工学 第6版 / 石川邦夫ほか: 学建出版, 2016

参考書

最新歯科技工士教育教本 歯科理工学 / 全国歯科技工士教育協議会: 医歯薬出版, 2016
 コア歯科理工学 / 小倉英夫, 高橋英和, 宮崎隆, 小田豊, 榎本貢三, 小園凱夫 編: 医歯薬出版, 2008
 臨床歯科理工学 / 宮崎隆, 中嶋裕, 河合達志, 小田豊 編: 医歯薬出版, 2006
 歯科理工学教育用語集 / 日本歯科理工学会 編: 医歯薬出版, 2011

履修上の注意事項

事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

備考

高橋 英和あらかじメールにて面談時間を相談のこと
 2号館2階 213号室

| | | | | | | | |
|---|--|-------------|-------------------------------------|-----------|--------------------------|-----------------------------------|-----------|
| 時間割番号 | 023527 | | | | | | |
| 科目名 | 口腔保健理工学実習 | | | | | | |
| 担当教員 | 岩崎 直彦, 高橋 英和, 廣瀬 英晴, 中野 文夫, 土生 メイアナ, 青柳 裕仁 | | | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 2 | 単位数 | 2 | | |
| 科目名: 口腔保健理工学実習 時間数: 90時間 授業形態: 実習 必修 | | | | | | | |
| 主な講義場所 口腔保健工学専攻 第1実習室, 第4実習室, 口腔保健衛生学専攻 臨床基礎実習室 | | | | | | | |
| 授業の目的、概要等 歯科技工で使用される歯科材料の性質を適切に測定する。 | | | | | | | |
| 授業の到達目標 1. ワイヤの引張試験を行う。 2. 石膏の圧縮強さを測定する。 3. 石膏の硬化時間、温度変化、硬化膨張を測定する。 4. 金属材料の硬さを測定する。 5. 金属の加工硬化と再結晶、時効硬化を測定する。 6. 歯科用レジンの重合時の発熱と寸法変化を測定する。 7. 旋盤・ボール盤・フライス盤で加工する。 8. 各種印象材で制作した模型の寸法精度と細線再現性を測定する。 9. 模型材で支台歯模型を製作する。 10. 各種材料の熱膨張を測定する。 11. 硬質レジンの照射量と強さの関係を測定する。 12. 成形修復用材料を適切に取り扱う。 13. 歯科用ワックスの変形を測定する。 14. 研磨による表面性状の変化を観察する。 15. 歯科用セラミックスの焼成時の寸法変化と透明性を測定する。 16. 歯科用セラミックスの強度を測定する。 17. 歯科用セラミックス、コンポジットレジンの色調を測定する。 18. 歯科材料メーカーを見学し、技工用材料の製造過程を理解する。 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1-3 | 4/9 | 14:00-16:50 | 第4実習室 | 引張試験、圧縮試験 | ワイヤの引張試験 石膏の圧縮試験 | 高橋 英和 岩崎 直彦 廣瀬 英晴 | SBOs: 1 |
| 4-8 | 4/13 | 13:00-17:50 | 口腔保健 学科基礎 科学実習 室 | 石 膏 | 石膏の硬化時間, 硬化膨張, 発熱 | 高橋 英和 岩崎 直彦 廣瀬 英晴, 中野 文夫 | SBOs: 2 |
| 9-12 | 4/16 | 13:00-16:50 | 歯学部基 礎実習 室, 歯学 部基礎小 実習室 | 硬さ試験 | 硬さ測定, 加工、熱処理による硬 さの変化 | 高橋 英和 岩崎 直彦 廣瀬 英晴 | SBOs: 4.5 |
| 13-16 | 4/20 | 13:00-16:50 | 口腔保健 学科基礎 | 石 膏 | 練和溶液が石膏硬化に及ぼす影 響 | 高橋 英和 岩崎 直彦 | SBOs: 3 |

| | | | | | | | |
|-------|------|-------------|-----------------------|------------|---------------------------------|---|-----------|
| | | | 科学実習室 | | | 廣瀬 英晴 中野 文夫 土生 メイアナ | |
| 17-20 | 4/23 | 13:00-16:50 | 第1実習室 第4実習室 | 加熱重合レジン | 餅状期の観察、パターン埋没 | 高橋 英和 岩崎 直彦 廣瀬 英晴 | SBOs: 6 |
| 21-23 | 4/27 | 09:00-11:50 | 第1実習室 第4実習室 | 加熱重合レジン | レジン填入、重合時の発熱測定 | 岩崎 直彦 高橋 英和 廣瀬 英晴 中野 文夫 | SBOs: 6 |
| 24-27 | 4/27 | 13:00-16:50 | 第1実習室 第4実習室 | 加熱重合レジン | レジン填入、重合時の発熱測定 割り出し、重合体の寸法測定 | 岩崎 直彦 高橋 英和 廣瀬 英晴 中野 文夫 | SBOs: 6 |
| 28-30 | 5/7 | 13:00-15:50 | 第4実習室 | 切削加工の基礎 | 顎堤印象用金型の作製、フライス加工 | 高橋 英和 岩崎 直彦 廣瀬 英晴 | SBOs: 7 |
| 31-36 | 5/11 | 09:00-15:50 | 第4実習室 | 切削加工の基礎 | 曲げ試験片作製用金型の作製 フライス加工 | 高橋 英和 岩崎 直彦 廣瀬 英晴 中野 文夫 青柳 裕仁 | SBOs: 7 |
| 37-40 | 5/14 | 11:00-15:50 | 第4実習室 | 切削加工の基礎 | 曲げ試験片作製用金型の作製 フライス加工 | 高橋 英和 岩崎 直彦 廣瀬 英晴 | SBOs: 7 |
| 41-43 | 5/18 | 13:00-15:50 | 口腔保健 学科基礎 科学実習室 | 印象 | ハイドロコロイド印象材と模型 | 高橋 英和 岩崎 直彦 廣瀬 英晴 中野 文夫 土生 メイアナ | SBOs: 8 |
| 44-46 | 5/25 | 09:00-11:50 | 第1実習室 第4実習室 | 印象と模型 | 顎堤模型の寒天印象、エポキシ模型の作製 | 岩崎 直彦 高橋 英和 廣瀬 英晴 中野 文夫 | SBOs: 8,9 |
| 47-50 | 5/25 | 13:00-16:50 | 第4実習室 | 熱膨張 | 各種歯科材料の加熱による寸法変化 | 岩崎 直彦 高橋 英和 廣瀬 英晴 中野 文夫 | SBOs: 10 |
| 51-54 | 5/28 | 11:00-15:50 | 第1実習室 第4実習室 | 寒天複印象と耐火模型 | 寒天複印象、耐火模型 | 高橋 英和 岩崎 直彦 廣瀬 英晴 | SBOs: 8 |
| 55-57 | 6/1 | 13:00-15:50 | 口腔保健 学科基礎 科学実習室 | 印象 | ゴム質印象材と模型 | 高橋 英和 岩崎 直彦 廣瀬 英晴 中野 文夫 青柳 裕仁 | SBOs: 8 |
| 58-61 | 6/4 | 11:00-15:50 | 第1実習室 第4実習室 | 硬質レジン | 硬質レジン、CAD/CAMブロックの曲げ試験片作製 | 高橋 英和 岩崎 直彦 廣瀬 英晴 | SBOs: 11 |

| | | | | | | | |
|-------|------|-------------|---------------------------|-------------------|------------------------|---|-------------|
| 62-64 | 6/8 | 13:00-15:50 | 口腔保健 学科基礎 科学実習 室 | 成形修復材料 | 成形修復材料の種類と特徴 | 高橋 英和 岩崎 直彦 廣瀬 英晴 中野 文夫 青柳 裕仁 | SBOs: 12 |
| 65-68 | 6/11 | 13:00-16:50 | 第1実習 室 第4 実習室 | ワックスの変形 硬質 レジン | ワックスの変形 硬質レジンの曲 げ試験 | 岩崎 直彦 高橋 英和 廣瀬 英晴 中野 文夫 | SBOs: 11,13 |
| 69 | 7/2 | 11:00-11:50 | 第4実習 室 | レジン | レジンの研磨 | 高橋 英和 岩崎 直彦 廣瀬 英晴 | SBOs: 14 |
| 70-73 | 7/2 | 13:00-16:50 | 第4実習 室 | 陶材の焼成収縮 | 陶材試料の焼成収縮 | 岩崎 直彦 高橋 英和 廣瀬 英晴 中野 文夫 | SBOs: 15 |
| 74-76 | 7/6 | 09:00-11:50 | 第4実習 室 | セラミックスの強度 | 曲げ試験片の研磨 | 岩崎 直彦 高橋 英和 廣瀬 英晴 中野 文夫 | SBOs: 15 |
| 77-78 | 7/6 | 13:00-14:50 | 第4実習 室 | 陶材 | 陶材の2軸曲げ試験 | 岩崎 直彦 高橋 英和 廣瀬 英晴 中野 文夫 | SBOs: 16 |
| 79-81 | 7/13 | 09:00-11:50 | 第4実習 室 | 表面性状の観察 | 表面観察, 光沢度, 色調測定 | 高橋 英和 岩崎 直彦 廣瀬 英晴 | SBOs: 17 |
| 82-83 | 7/13 | 13:00-14:50 | 第4実習 室 | 表面性状の観察 | 表面観察, 光沢度, 色調測定 | 高橋 英和 岩崎 直彦 廣瀬 英晴 中野 文夫 | SBOs: 17 |
| 84-89 | 7/20 | 11:00-17:50 | 第4実習 室 | 歯科材料の製作 | 歯科メーカー見学 | 岩崎 直彦 高橋 英和 廣瀬 英晴 中野 文夫 | SBOs: 18 |
| 90 | 7/23 | 15:00-15:50 | 第4実習 室 | まとめ | 歯科理工学のまとめ | 高橋 英和 | SBOs: 1-18 |

成績評価の方法

- ・提出レポート、実習作品で総括的評価を行う。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

準備学習などについての具体的な指示

事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

教科書

スタンダード歯科理工学 = STANDARD DENTAL MATERIALS SCIENCE : 生体材料と歯科材料 / 中島裕, 西山典宏, 宮崎隆, 米山隆之
編集幹事.: 学建書院, 2016

参考書

コア歯科理工学 / 小倉英夫, 高橋英和, 宮崎隆, 小田豊, 楳本貢三, 小園凱夫 編.: 医歯薬出版, 2008
臨床歯科理工学 / 宮崎隆, 中島裕, 河合達志, 小田豊 編.: 医歯薬出版, 2006

歯科理工学教育用語集／日本歯科理工学会 編:医歯薬出版, 2011

歯科理工学 = Dental Materials Science／全国歯科技工士教育協議会 編集,大島浩 ほか 著.:医歯薬出版, 2016

履修上の注意事項

事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

備考

高橋 英和:あらかじめメールにて面談時間を相談のこと

2号館2階 213号室

岩崎 直彦:随時

| | | | | | | | |
|---|----------------------------|-------------|-------------------|-------------------|--|-------------------------|--------------------------|
| 時間割番号 | 023528 | | | | | | |
| 科目名 | 精密鑄造学演習 | | | | | | |
| 担当教員 | 岩崎 直彦, 高橋 英和, 中野 文夫, 玉置 幸道 | | | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 2 | | 単位数 | 1 | |
| 科目名:精密鑄造学演習 時間数: 30時間 授業形態: 演習 必修 | | | | | | | |
| 主な講義場所 口腔保健工学専攻 第1実習室, 第4実習室 総合実習室, 重合鑄造室 | | | | | | | |
| 授業の目的、概要等 歯科精密鑄造で使用する歯科材料を適切に扱え、鑄造手順を習得する。 | | | | | | | |
| 授業の到達目標 1. 鑄造用原型を製作する。 2. 鑄造用原型の寸法変化を測定する。 3. 埋没材の硬化膨張を測定する。 4. 埋没材の熱膨張を測定する。 5. 歯科用合金を鑄造する。 6. 型ごと埋没法で鑄造する。 7. 鑄造体の寸法変化を測定する。 8. 歯科鑄造用金属材料製作工業を見学して製造過程を理解する。 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1 | 6/11 | 11:00-11:50 | 第1講義室 | 鑄造概論 | 鑄造概論, 鑄造用原型 | 高橋 英和 岩崎 直彦 | SBO's: 1,2 |
| 2-4 | 6/15 | 09:00-11:50 | 第1講義室 | 鑄造用埋没材 金属の融解 | 鑄造用埋没材の組成と特徴 金属融解の熱源, 鑄込み, 欠陥 | 岩崎 直彦 高橋 英和 | SBO's: 3,4 |
| 5-8 | 6/15 | 13:00-16:50 | 第1実習室 | 工場見学 | 歯科鑄造用金属材料製作工業を見学して製造過程を理解する | 岩崎 直彦 高橋 英和 中野 文夫 | SBO's: 8 |
| 9-12 | 6/18 | 11:00-15:50 | 第1実習室 第4実習室 | 埋没材の膨張 | 石膏系埋没材の硬化時寸法変化測定 石膏系埋没材の加熱時寸法変化測定 | 岩崎 直彦 高橋 英和 | SBO's: 3,4 |
| 13-18 | 6/22 | 09:00-15:50 | 第1実習室 第4実習室 | 埋没材の膨張 ワックスパターン作製 | リン酸塩埋没材硬化時の寸法変化測定 リン酸塩埋没材加熱時の寸法変化測定 クラウンワックスパターン製作・型ごと埋没ワックスパターン製作, 埋没 | 岩崎 直彦 高橋 英和 | SBO's: 1,2 SBO's: 3,4 |
| 19-21 | 6/25 | 11:00-14:50 | 第1実習室 第4実習室 総合実習室 | 鑄造 | クラウン鑄造 1 | 岩崎 直彦 高橋 英和 | SBO's: 6 |
| 22-24 | 6/29 | 09:00-11:50 | 第1講義室 | 鑄造欠陥と接合 | 鑄造欠陥の種類と原因, 寸法精度に及ぼす因子, ろう付け | 岩崎 直彦 高橋 英和 | SBO's: 5 SBO's: 7 |
| 25-28 | 6/29 | 13:00-16:50 | 第1実習室 第4実習室 総合実習 | 鑄造 | クラウン鑄造 2, 高温鑄造, 鑄造体の精度測定 | 岩崎 直彦 高橋 英和 中野 文夫 | SBO's: 5-7 |

| | | | | | | | |
|--|------|-------------|-----------|----------------|------------|-------|------------|
| | | | 室 | | | | |
| 29-30 | 7/13 | 15:00-16:50 | 第1講義 室 | 歯科での加工法のま め | 歯科精密鑄造のまとめ | 玉置 幸道 | SBO's: 1-8 |
| 成績評価の方法 | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総括的評価を行う。 出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。 | | | | | | | |
| 準備学習などについての具体的な指示 | | | | | | | |
| 事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。 | | | | | | | |
| 試験の受験資格 | | | | | | | |
| 演習の出席が 3/4 以上 | | | | | | | |
| 教科書 | | | | | | | |
| スタンダード歯科理工学 = STANDARD DENTAL MATERIALS SCIENCE : 生体材料と歯科材料 / 中嶋裕, 西山典宏, 宮崎隆, 米山隆之 編集幹事.: 学建書院, 2016 | | | | | | | |
| 参考書 | | | | | | | |
| コア歯科理工学 / 小倉英夫, 高橋英和, 宮崎隆, 小田豊, 榎本貢三, 小園凱夫 編.: 医歯薬出版, 2008 | | | | | | | |
| 臨床歯科理工学 / 宮崎隆, 中嶋裕, 河合達志, 小田豊 編.: 医歯薬出版, 2006 | | | | | | | |
| 歯科理工学教育用語集 / 日本歯科理工学会 編.: 医歯薬出版, 2011 | | | | | | | |
| 歯科理工学 = Dental Materials Science / 全国歯科技工士教育協議会 編集, 大島浩 ほか 著.: 医歯薬出版, 2016 | | | | | | | |
| 履修上の注意事項 | | | | | | | |
| 事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。 | | | | | | | |
| 備考 | | | | | | | |
| 岩崎 直彦 随時 | | | | | | | |
| 高橋 英和 あらかじめメールにて面談時間を相談のこと | | | | | | | |
| 2号館2階 213号室 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---|-----------------------------------|-------------|-------|-----------------------------|--|----------------|----------|
| 時間割番号 | 023529 | | | | | | |
| 科目名 | プロセスデバイス工学 | | | | | | |
| 担当教員 | 高橋 英和, 大木 明子, 堀田 康弘, 中口 悦史, 藤田 忠寛 | | | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 2 | 単位数 | 2 | | |
| 科目名: プロセスデバイス工学 時間数: 30時間 授業形態: 講義, 実習, 討論 選択 | | | | | | | |
| 主な講義場所 口腔保健工学専攻 第2講義室, 第4実習室 | | | | | | | |
| 授業の目的、概要等 機械加工の原理を理解し、CAD/CAM/CAEの基礎的な知識を修得する。 | | | | | | | |
| 授業の到達目標 1. 機械加工の概念を説明する。 2. 3次元デジタルデータの収集方法ならびにその構造を説明する(計測機の種類や計測方法、その問題点について)。 3. 3次元デジタルデータの抽出、設計、加工の仕組みを説明する。 4. マシニング・センターについて説明する。 5. 3次元造形法について説明する。 6. 数値解析法の概要と有限要素法について説明する。 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1-2 | 10/19 | 13:00-14:50 | 第2講義室 | オリエンテーション CAD/CAM/CAE 総論 | プロセスデバイス概論、 CAD/CAM/CAE とは | 大木 明子 | SBOs:1-6 |
| 3-4 | 11/2 | 13:00-14:50 | 第2講義室 | スキャニング | スキャニング法(接触・非接触) | 堀田 康弘 | SBOs:2 |
| 5-6 | 11/9 | 13:00-14:50 | 第2講義室 | デジタルデータの抽出・ 設計・加工 | 3次元デジタルデータの抽出・設 計・加工 | 堀田 康弘 | SBOs:3 |
| 7-8 | 11/16 | 13:00-14:50 | 第2講義室 | データの転送、マシニン グ・センター | 加工データの転送、マシニング・ センター | 堀田 康弘 | SBOs:3,4 |
| 9-10 | 11/30 | 13:00-14:50 | 第2講義室 | 3次元造形法コンピュー タによる加工 | 3次元造形法の種類、材料と方 法、製造業・医療における応用 | 大木 明子 | SBOs:5 |
| 11-12 | 12/14 | 09:00-10:50 | 第2講義室 | CAE・数値解析法概論 | CAE・数値解析法概論 加工に必 要な基礎知識 | 中口 悦史 | SBOs:6 |
| 13-14 | 12/14 | 11:00-13:50 | 第2講義室 | コンピュータによる加工 | 概論 3次元造形用ソフトのダウ ンロード 加工データの作成 | 高橋 英和 藤田 忠寛 | SBOs:2-5 |
| 15-16 | 1/18 | 09:00-10:50 | 第2講義室 | 数値解析法演習1 | 有限要素法の概要と演習1 | 中口 悦史 | SBOs:6 |
| 17-18 | 1/18 | 11:00-13:50 | 第2講義室 | コンピュータによる加工 | 加工データの作成 付加造形に よる造形 | 高橋 英和 藤田 忠寛 | SBOs:2-6 |
| 19-20 | 1/25 | 09:00-10:50 | 第2講義室 | 数値解析法演習2 | 有限要素法の概要と演習2 | 中口 悦史 | SBOs:6 |
| 21-22 | 1/25 | 11:00-13:50 | 第2講義室 | コンピュータによる加工 | 概論 加工データの作成 付加 造形による造形 CAD/CAM のま とめ | 高橋 英和 藤田 忠寛 | SBOs:2-5 |
| 23-26 | 2/1 | 14:00-17:50 | 第2講義室 | 企業見学 | 積層造形と3次元形状測定機器 の CAD/CAM ショールーム見学 | 高橋 英和 | SBOs:2-4 |
| 27-30 | 2/8 | 09:00-13:50 | 第2講義室 | 数値解析法演習2 | 有限要素法の概要と演習2 | 高橋 英和 藤田 忠寛 | SBOs:6 |
| 授業方法 | | | | | | | |

| |
|--|
| <p>講義, 実習, 討論</p> |
| <p>成績評価の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提出レポート、製作作品、筆記試験で総合的評価を行う。 ・出席状況、授業態度を総合的評価に加味する。 |
| <p>準備学習などについての具体的な指示</p> <p>事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。</p> |
| <p>教科書</p> <p>基礎から学ぶ CAD/CAM テクノロジー／日本デジタル歯科学会, 全国歯科技工士教育協議会 監修,末瀬一彦, 宮崎隆 編: 医歯薬出版, 2017</p> |
| <p>参考書</p> <p>CAD/CAM/CAE 入門／雨宮好文 監修,安田仁彦 著,:オーム社, 1999</p> <p>3次元CAD 実践活用法／日本設計工学会 編,:コロナ社, 2006</p> <p>CAD/CAM/CAE 活用ブック／ツールエンジニア編集部 編著,:大河出版, 2006</p> <p>進化し続けるトヨタのデジタル生産システムのすべて／武藤一夫 著,:技術評論社, 2007</p> |
| <p>履修上の注意事項</p> <p>事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。</p> |
| <p>備考</p> <p>あらかじめメールにて面談時間を相談のこと</p> <p>2号館2階 213号室</p> |

| 時間割番号 | 023534 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---------------------|-------------|-------|------------|---------------------------------------|-------|----------|---|----|----|-----|------|------|------|----|---|------|-------------|-------|------------|---------------------------------------|-------|----------|-----|------|-------------|-------|-----------|-----------------------------|-------|--------|-----|------|-------------|-------|-----------|--------------|-------|--|-----|------|-------------|-------|-----------|-----------------------|-------|--------|-----|------|-------------|-------|-----------|--------|-------|--------|----|------|-------------|-------|-----------|---------------------------------|-------|--------|----|------|-------------|-------|-----------|-----------------------------|-------|--------|----|-----|-------------|-------|--------|----------------|-------|--------|----|-----|-------------|-------|--------|-----------|-------|--------|-------|------|-------------|-------|--------|----------|-------|----------|
| 科目名 | 全部床義歯工学 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 担当教員 | 鈴木 哲也, 古屋 純一, 二川 浩樹 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 2 | | 単位数 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 主な講義場所 2号館第1講義室 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 授業の目的、概要等 無歯顎という特殊な口腔内状態を理解し、歯の喪失により生じた形態的、機能的変化を全部床義歯により、いかに回復し、維持するかを理解するとともに、全部床義歯製作に必要な知識と技法を習得する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 授業の到達目標 <ol style="list-style-type: none"> 1. 無歯顎の特殊性を理解する。 2. 全部床義歯の製作の流れを診療室と技工室に分けて説明する。 3. 無歯顎の印象採得法とそれに必要な器材を説明する。 4. 無歯顎の咬合採得法とそれに必要な器材を説明する。 5. 人工歯の種類と特徴を列挙する。 6. 無歯顎の咬合理論を理解する。 7. 人工歯排列、歯肉形成法を理解し実施する。 8. 埋没と重合を理解し実施する。 9. 削合と研磨の重要性を理解し実施する。 10. 義歯装着の方法と義歯管理の重要性を理解する。 11. リライン、リベース、修理法を説明する。 12. 金属床義歯の製作法を説明する。 13. 特殊な全部床義歯を列挙する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/10</td> <td>11:00-11:50</td> <td>第1講義室</td> <td>全部床義歯技工学概要</td> <td>全部床義歯補綴の特徴、全部床義歯の構造、維持と安定、全部床義歯の製作の流れ</td> <td>鈴木 哲也</td> <td>SBOs 1,2</td> </tr> <tr> <td>2-3</td> <td>4/12</td> <td>09:00-10:50</td> <td>第1講義室</td> <td>無歯顎の印象採得1</td> <td>印象に必要な解剖学的基礎知識、予備印象採得と研究用模型</td> <td>鈴木 哲也</td> <td>SBOs 3</td> </tr> <tr> <td>4-5</td> <td>4/16</td> <td>09:00-10:50</td> <td>第1講義室</td> <td>無歯顎の印象採得2</td> <td>予備印象採得と研究用模型</td> <td>鈴木 哲也</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6-7</td> <td>4/17</td> <td>14:00-15:50</td> <td>第1講義室</td> <td>無歯顎の印象採得3</td> <td>個人トレーの製作、精密印象採得、作業用模型</td> <td>鈴木 哲也</td> <td>SBOs 3</td> </tr> <tr> <td>8-9</td> <td>4/19</td> <td>09:00-10:50</td> <td>第1講義室</td> <td>無歯顎の印象採得4</td> <td>特殊な印象法</td> <td>鈴木 哲也</td> <td>SBOs 3</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>4/24</td> <td>11:00-11:50</td> <td>第1講義室</td> <td>無歯顎の咬合採得1</td> <td>無歯顎の対向関係、咬合床の製作、咬合平面、垂直的顎間関係記録法</td> <td>鈴木 哲也</td> <td>SBOs 4</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>4/26</td> <td>09:00-09:50</td> <td>第1講義室</td> <td>無歯顎の咬合採得2</td> <td>水平的顎間関係記法、ゴシックアーチ描記法の意義、標示線</td> <td>鈴木 哲也</td> <td>SBOs 4</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>5/1</td> <td>11:00-11:50</td> <td>第1講義室</td> <td>人工歯排列1</td> <td>審美的基礎知識、人工歯の種類</td> <td>鈴木 哲也</td> <td>SBOs 5</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>5/8</td> <td>11:00-11:50</td> <td>第1講義室</td> <td>人工歯排列2</td> <td>前歯部人工歯の排列</td> <td>鈴木 哲也</td> <td>SBOs 5</td> </tr> <tr> <td>14-15</td> <td>5/10</td> <td>09:00-09:50</td> <td>第1講義室</td> <td>人工歯排列3</td> <td>無歯顎の咬合理論</td> <td>鈴木 哲也</td> <td>SBOs 5,6</td> </tr> </tbody> </table> | | | | | | | | 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 | 1 | 4/10 | 11:00-11:50 | 第1講義室 | 全部床義歯技工学概要 | 全部床義歯補綴の特徴、全部床義歯の構造、維持と安定、全部床義歯の製作の流れ | 鈴木 哲也 | SBOs 1,2 | 2-3 | 4/12 | 09:00-10:50 | 第1講義室 | 無歯顎の印象採得1 | 印象に必要な解剖学的基礎知識、予備印象採得と研究用模型 | 鈴木 哲也 | SBOs 3 | 4-5 | 4/16 | 09:00-10:50 | 第1講義室 | 無歯顎の印象採得2 | 予備印象採得と研究用模型 | 鈴木 哲也 | | 6-7 | 4/17 | 14:00-15:50 | 第1講義室 | 無歯顎の印象採得3 | 個人トレーの製作、精密印象採得、作業用模型 | 鈴木 哲也 | SBOs 3 | 8-9 | 4/19 | 09:00-10:50 | 第1講義室 | 無歯顎の印象採得4 | 特殊な印象法 | 鈴木 哲也 | SBOs 3 | 10 | 4/24 | 11:00-11:50 | 第1講義室 | 無歯顎の咬合採得1 | 無歯顎の対向関係、咬合床の製作、咬合平面、垂直的顎間関係記録法 | 鈴木 哲也 | SBOs 4 | 11 | 4/26 | 09:00-09:50 | 第1講義室 | 無歯顎の咬合採得2 | 水平的顎間関係記法、ゴシックアーチ描記法の意義、標示線 | 鈴木 哲也 | SBOs 4 | 12 | 5/1 | 11:00-11:50 | 第1講義室 | 人工歯排列1 | 審美的基礎知識、人工歯の種類 | 鈴木 哲也 | SBOs 5 | 13 | 5/8 | 11:00-11:50 | 第1講義室 | 人工歯排列2 | 前歯部人工歯の排列 | 鈴木 哲也 | SBOs 5 | 14-15 | 5/10 | 09:00-09:50 | 第1講義室 | 人工歯排列3 | 無歯顎の咬合理論 | 鈴木 哲也 | SBOs 5,6 |
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 4/10 | 11:00-11:50 | 第1講義室 | 全部床義歯技工学概要 | 全部床義歯補綴の特徴、全部床義歯の構造、維持と安定、全部床義歯の製作の流れ | 鈴木 哲也 | SBOs 1,2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2-3 | 4/12 | 09:00-10:50 | 第1講義室 | 無歯顎の印象採得1 | 印象に必要な解剖学的基礎知識、予備印象採得と研究用模型 | 鈴木 哲也 | SBOs 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4-5 | 4/16 | 09:00-10:50 | 第1講義室 | 無歯顎の印象採得2 | 予備印象採得と研究用模型 | 鈴木 哲也 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6-7 | 4/17 | 14:00-15:50 | 第1講義室 | 無歯顎の印象採得3 | 個人トレーの製作、精密印象採得、作業用模型 | 鈴木 哲也 | SBOs 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8-9 | 4/19 | 09:00-10:50 | 第1講義室 | 無歯顎の印象採得4 | 特殊な印象法 | 鈴木 哲也 | SBOs 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | 4/24 | 11:00-11:50 | 第1講義室 | 無歯顎の咬合採得1 | 無歯顎の対向関係、咬合床の製作、咬合平面、垂直的顎間関係記録法 | 鈴木 哲也 | SBOs 4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 11 | 4/26 | 09:00-09:50 | 第1講義室 | 無歯顎の咬合採得2 | 水平的顎間関係記法、ゴシックアーチ描記法の意義、標示線 | 鈴木 哲也 | SBOs 4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12 | 5/1 | 11:00-11:50 | 第1講義室 | 人工歯排列1 | 審美的基礎知識、人工歯の種類 | 鈴木 哲也 | SBOs 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 13 | 5/8 | 11:00-11:50 | 第1講義室 | 人工歯排列2 | 前歯部人工歯の排列 | 鈴木 哲也 | SBOs 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 14-15 | 5/10 | 09:00-09:50 | 第1講義室 | 人工歯排列3 | 無歯顎の咬合理論 | 鈴木 哲也 | SBOs 5,6 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|-------|------|-------------|-------------|-------------------|-------------------------------|-------|------------|
| 16 | 5/15 | 11:00-11:50 | 第1講義室 | 人工歯排列 4 | 臼歯部人工歯の排列 | 鈴木 哲也 | SBOs 6 |
| 17-18 | 5/17 | 09:00-09:50 | 第1講義室 | 歯肉形成 | 研磨面形態の意義、歯肉形成法、ろう義歯の試適 | 鈴木 哲也 | SBOs 5-7 |
| 19 | 5/22 | 11:00-11:50 | 第1講義室 | 埋没と重合 | 埋没、流ろう、重合 | 鈴木 哲也 | SBOs 7 |
| 20-21 | 5/24 | 09:00-09:50 | 第1講義室 | 削合 | 義歯の取り出しと咬合器再装着選択削合の理論と実際、自動削合 | 鈴木 哲也 | SBOs 8 |
| 22 | 5/29 | 11:00-11:50 | 第1講義室 | 研磨 | 研磨の意義と実際 | 鈴木 哲也 | SBOs 9 |
| 23-24 | 5/31 | 09:00-09:50 | 第1講義室 | 義歯の装着と管理、リライ、リベース | 患者口腔内への装着、義歯管理の必要性、リラインとリベース | 古屋 純一 | SBOs 10 |
| 25 | 6/5 | 11:00-11:50 | 第1講義室 第3実習室 | 人工歯排列の評価 | 実習での人工歯排列を評価、グループ討論 | 鈴木 哲也 | SBOs 6 |
| 26-27 | 6/7 | 09:00-09:50 | 第1講義室 | 金属床義歯・修理 | 金属床の利点と欠点、鑄造金属床義歯の製作、義歯修理法 | 鈴木 哲也 | SBOs 11,12 |
| 28 | 6/12 | 11:00-11:50 | 第1講義室 | 特殊な義歯 | 暫間義歯、即時義歯、治療義歯 | 鈴木 哲也 | SBOs 13 |
| 29-30 | 6/21 | 16:00-16:50 | 第1講義室 | 有床義歯特論 | 広島大学の研究活動 | 二川 浩樹 | SBOs 1-13 |

授業方法

講義、グループ討論

成績評価の方法

- ・提出レポート(10点)、グループディスカッション(10点)期末の客観試験、論述試験(60点)で総合的評価を行う。
- ・出席状況(10点)、授業態度(10点)を総合的評価に加味する。

準備学習などについての具体的な指示

事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

教科書

有床義歯技工学 = Dental technology for removable dentures / 全国歯科技工士教育協議会 編 鈴木哲也 (ほか著) : 医歯薬出版, 2017

参考書

バウチャー無歯顎患者の補綴治療 / バウチャー [原著] Zarb, Bolender, Eckert, Jacob, Fenton, Mericske-Stem 編著, 田中久敏, 古谷野 潔, 市川哲雄 監訳 : 医歯薬出版, 2008

よい義歯だめな義歯 : 鈴木哲也のコンプリートデンチャー17のルール / 鈴木哲也 著 : クインテッセンス出版, 2011

コンプリートデンチャーの理論と臨床 : 総義歯をイメージする / 早川巖 著 : クインテッセンス出版, 1995

無歯顎補綴治療学 / 市川哲雄 編集代表 : 医歯薬出版, 2016

備考

担当教員のオフィスアワー

鈴木哲也 教授 メールにて日時を相談 suzuki.peoe@tmd.ac.jp

古屋純一 教授 メールにて日時を相談 furuohcw@tmd.ac.jp

| 時間割番号 | 023535 | | | | | | |
|--|--------------|-------------|-------------|---------------------|--------------------------------------|----------------|----------|
| 科目名 | 全部床義歯工学実習 | | | | | | |
| 担当教員 | 鈴木 哲也, 塩沢 真穂 | | | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 2 | 単位数 | 3 | | |
| 主な講義場所 | | | | | | | |
| 2号館第3実習室 | | | | | | | |
| 2号館重合鋳造室 | | | | | | | |
| 2号館総合実習室 | | | | | | | |
| 授業の目的、概要等 | | | | | | | |
| 無歯顎の特徴を理解し、その損なわれた機能と審美を回復するために用いる全部床義歯の製作方法を理解し、技工室での製作を実施する。 | | | | | | | |
| 授業の到達目標 | | | | | | | |
| 1. スタディモデルからランドマークを読み取る。 | | | | | | | |
| 2. リリーフとブロックアウトの意義を理解し実施する。 | | | | | | | |
| 3. 印象採得の手順を説明し、そのための個人トレーを製作する。 | | | | | | | |
| 4. ハンドピース・エンジンを使って切削作業を実施する。 | | | | | | | |
| 5. 咬合採得の手順を説明し、咬合床を製作する。 | | | | | | | |
| 6. 丁寧に正確なワックス操作を行う。 | | | | | | | |
| 7. 模型を適切に咬合器に装着する。 | | | | | | | |
| 8. ゴシックアーチ描記装置を製作できる。 | | | | | | | |
| 9. 適切な人工歯配列をする。 | | | | | | | |
| 10. 全部床義歯における咬合理論を理解し、適切な咬合を与えることができる。 | | | | | | | |
| 11. 自然感と清掃性を考慮した歯肉形成を施すことができる。 | | | | | | | |
| 12. 蝸義歯の埋没、流ろう、レジン填入および重合を適切に行うことができる。 | | | | | | | |
| 13. 選択削合・自動削合を行う。 | | | | | | | |
| 14. 義歯の形態修正、研磨を行う。 | | | | | | | |
| 15. 救急救命の必要性とその対応について知る。 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1-5 | 4/10 | 13:00-17:50 | 第3実習室 | 全部床義歯製作の概説、個人トレー製作1 | 全部床義歯実習の概要説明、個人トレー外形線記入、ブロックアウト、リリーフ | 鈴木 哲也 塩沢 真穂 | SBOs 1,2 |
| 6-9 | 4/12 | 11:00-15:50 | 第3実習室 | 個人トレー製作2 | オストロン圧接 | 鈴木 哲也 塩沢 真穂 | SBOs 3 |
| 10-15 | 4/19 | 11:00-17:50 | 第3実習室 | 個人トレー製作3 | トミング、柄・フィガーレスト付 | 鈴木 哲也 塩沢 真穂 | SBOs 3,4 |
| 16-20 | 4/24 | 13:00-17:50 | 第3実習室 総合実習室 | 個人トレー製作3 | コンパウンド付与、完成 | 鈴木 哲也 | SBOs 3 |
| 21-25 | 4/26 | 10:00-15:50 | 第3実習室 総合実習室 | 咬合床製作1 | 外形線記入、ブロックアウト、リリーフ | 鈴木 哲也 塩沢 真穂 | SBOs 5 |
| 26-30 | 5/1 | 13:00-17:50 | 第3実習室 総合実習室 | 咬合床製作2 | 基礎床製作 | 鈴木 哲也 | SBOs 5 |
| 31-35 | 5/8 | 13:00-17:50 | 第3実習室 総合実習室 | 咬合床製作3 | ロウ堤形成、完成 | 鈴木 哲也 | SBOs 5,6 |

| | | | | | | | |
|---------|------|-------------|-------------------|-----------------|--------------------|----------------|-----------|
| 36-39 | 5/10 | 11:00-15:50 | 第3実習室 第4実習室 総合実習室 | 咬合器装着 | スプリットキャストの形成、咬合器装着 | 鈴木 哲也 塩沢 真穂 | SBOs 7 |
| 40-44 | 5/15 | 13:00-17:50 | 第3実習室 総合実習室 | ゴシックアーチ 1 | ゴシックアーチ描記装置の製作① | 鈴木 哲也 | SBOs 8 |
| 45-48 | 5/17 | 11:00-15:50 | 第3実習室 総合実習室 | ゴシックアーチ 2 | ゴシックアーチ描記装置の製作 | 鈴木 哲也 塩沢 真穂 | SBOs 8 |
| 49-53 | 5/22 | 13:00-17:50 | 第3実習室 総合実習室 | 前歯部人工歯排列 1 | 前歯部人工歯排列(上顎①) | 鈴木 哲也 塩沢 真穂 | SBOs 9,10 |
| 54-58 | 5/24 | 13:00-17:50 | 第3実習室 総合実習室 | 前歯部人工歯排列 2 | 前歯部人工歯排列(上顎②) | 鈴木 哲也 塩沢 真穂 | SBOs 9,10 |
| 59-63 | 5/29 | 13:00-17:50 | 第3実習室 総合実習室 | 前歯部人工歯排列 3 | 前歯部人工歯排列(下顎) | 鈴木 哲也 塩沢 真穂 | SBOs 9,10 |
| 64-68 | 5/31 | 13:00-17:50 | 第3実習室 総合実習室 | 臼歯部人工歯排列 1 | 臼歯部人工歯排列(下顎①) | 鈴木 哲也 塩沢 真穂 | SBOs 9,10 |
| 69-73 | 6/5 | 13:00-17:50 | 第3実習室 総合実習室 | 臼歯部人工歯排列 2 | 臼歯部人工歯排列(下顎②) | 鈴木 哲也 塩沢 真穂 | SBOs 9,10 |
| 74-78 | 6/7 | 13:00-17:50 | 第3実習室 総合実習室 | 臼歯部人工歯排列 3 | 臼歯部人工歯排列(上顎) | 鈴木 哲也 塩沢 真穂 | SBOs 9,10 |
| 79-83 | 6/12 | 13:00-17:50 | 第3実習室 総合実習室 | 歯肉形成 1 | 歯肉形成(上顎) | 鈴木 哲也 塩沢 真穂 | SBOs 11 |
| 84-88 | 6/14 | 13:00-17:50 | 第3実習室 総合実習室 | 歯肉形成 2 | 歯肉形成(下顎) | 鈴木 哲也 塩沢 真穂 | SBOs 11 |
| 89-93 | 6/19 | 13:00-17:50 | 第3実習室 総合実習室 | ろう義歯の埋没 | 一次埋没、二次埋没、三次埋没 | 鈴木 哲也 塩沢 真穂 | SBOs 12 |
| 94-99 | 6/21 | 09:00-15:50 | 第3実習室 第4実習室 総合実習室 | レジン填入・重合 1 | 流ろう・填入 | 鈴木 哲也 塩沢 真穂 | SBOs 12 |
| 100-104 | 6/26 | 13:00-17:50 | 第3実習室 総合実習室 | レジン填入・重合 2 | 重合 | 鈴木 哲也 塩沢 真穂 | SBOs 12 |
| 105-110 | 6/28 | 11:00-17:50 | 第3実習室 第4実習室 | 模型の割り出し・咬合器の再装着 | 模型の割り出し・咬合器の再装着 | 鈴木 哲也 塩沢 真穂 | SBOs 12 |

| | | | | | | | |
|---------|------|-------------|--------------------|---------|-------------|----------------|---------|
| | | | 総合実習室 | | | | |
| 111-115 | 7/3 | 13:00-17:50 | 第3実習室 総合実習室 | 削合 1 | 選択削合 | 鈴木 哲也 塩沢 真穂 | SBOs 13 |
| 116-120 | 7/5 | 13:00-17:50 | 第3実習室 総合実習室 | 削合 2 | 自動削合 | 鈴木 哲也 塩沢 真穂 | SBOs 13 |
| 121-126 | 7/12 | 11:00-17:50 | 第3実習室 総合実習室 | 形態修正・研磨 | 形態修正、荒研磨 | 鈴木 哲也 塩沢 真穂 | SBOs 14 |
| 127-132 | 7/19 | 11:00-17:50 | 第3実習室 総合実習室 | 形態修正・研磨 | レーズ研磨、艶出し完成 | 鈴木 哲也 塩沢 真穂 | SBOs 14 |
| 133-135 | 7/25 | 09:00-11:50 | 第1講義室 アクティブラーニング教室 | 救急救命実習 | 救急救命の必要性と対応 | 鈴木 哲也 塩沢 真穂 | SBOs 15 |

授業方法

実習

成績評価の方法

- ・ステップごとの提出作品(80点)を総合的に判断し評価する。
- ・出席状況(10点)、実習態度(10点)を総括的評価に加味する。

準備学習などについての具体的な指示

事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

教科書

有床義歯技工学 = Dental technology for removable dentures / 全国歯科技工士教育協議会 編 鈴木哲也 ほか著、: 医歯薬出版, 2017

参考書

コンプリートデンチャー : 鈴木哲也のマスター1 : ランクアップのための知恵と技 / 鈴木哲也, 古屋純一 著、: デンタルダイヤモンド社, 2017
 よい義歯だめな義歯 : 鈴木哲也のコンプリートデンチャー17のルール / 鈴木哲也 著、: クインテッセンス出版, 2011
 コンプリートデンチャーテクニック / 細井紀雄 ほか編、: 医歯薬出版, 2011
 無歯顎補綴治療学 / 市川哲雄 編集代表、: 医歯薬出版, 2016

備考

担当教員のオフィスアワー

鈴木哲也 教授 メールにて日時を相談 suzuki.peoe@tmd.ac.jp

塩沢真穂 助教 メールにて日時を相談 m.shiozawa.abm@tmd.ac.jp

| 時間割番号 | 023536 | | | | | | |
|---|--|-------------|-------|---------------------|---|-------|----------|
| 科目名 | 部分床義歯工学 | | | | | | |
| 担当教員 | 鈴木 哲也, 渡邊 竜登美, 大泉 誠, 佐藤 雅之, 笛木 賢治, 織田 展輔 | | | | | | |
| 開講時期 | 通年 | 対象年次 | 2 | 単位数 | 2 | | |
| 主な講義場所 | | | | | | | |
| 2号館第1講義室(前期) | | | | | | | |
| 2号館第2講義室(後期) | | | | | | | |
| 授業の目的、概要等 | | | | | | | |
| 部分欠損患者の病因、病態を理解しその機能回復の手段となる部分床義歯の学理と技法を修得する。 | | | | | | | |
| 授業の到達目標 | | | | | | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 部分的な歯の欠損とその治療の目的と意義について理解する。 歯の欠損に伴う顎口腔系の変化と治療への影響を理解する。 欠損歯列の様々な分類法と臨床的意義を理解する。 部分床義歯の構成要素を説明する。 部分床義歯に加わる力への対応を理解する。義歯の構成要素を理解する。 部分床義歯の支持の考え方を理解する。 部分床義歯の把持の考え方を理解する。 部分床義歯の維持の考え方を理解し、維持装置の種類、構造、機能などを修得する。 部分床義歯の連結子と義歯床が果たす役割を理解する。 部分床義歯の装着後の変化を生体と義歯に分けて説明する。 部分床義歯製作のための前処置を列挙する 歯と粘膜により支持される部分床義歯の印象採得を理解する。 部分床義歯の設計の基本原則と順序を理解する。 部分床義歯の咬合採得の特徴を知り、術式を理解する。 金属フレームワークの特徴と製作方法を理解する。 人工歯排列の基本原則とろう義歯の試適時の診査項目を理解する。 部分床義歯の埋没、重合方法を説明する。 部分床義歯の破損や不適合と、それらに対応する修理とリラインの技法を理解する。 種々の状況における部分床義歯の役割について知り、多様な治療法を理解する。 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1-2 | 6/14 | 09:00-10:50 | 第1講義室 | 欠損に由来する口腔の変化、歯の欠損様式 | 歯の欠損による顎口腔系組織の障害、分類の必要性和臨床的意義 | 鈴木 哲也 | SBOs 1,2 |
| 3 | 6/26 | 11:00-11:50 | 第1講義室 | 義歯の分類 | さまざまな分類法 | 鈴木 哲也 | SBOs 3 |
| 4-5 | 6/28 | 09:00-10:50 | 第1講義室 | 部分床義歯に加わる力 | 部分床義歯の構成要素、義歯に加わる力、支台歯と顎堤の負担能力 | 鈴木 哲也 | SBOs 4,5 |
| 6 | 7/3 | 11:00-11:50 | 第1講義室 | 支持、把持 | 支持に関与する構成要素、レストの種類と機能、義歯床による支持、把持に関与する構成要素、誘導面と隣接面板 | 鈴木 哲也 | SBOs 6,7 |
| 7-8 | 7/5 | 09:00-10:50 | 第1講義室 | 維持 | 部分床義歯の維持、支台装置の一般的所要条件、支台装置の種類、特徴 | 鈴木 哲也 | SBOs 8 |
| 9 | 7/10 | 11:00-11:50 | 第1講義室 | 連結子と義歯床 | 連結装置の役割と所要条件、大連結子の種類、特徴、義歯床の役割と要件（磁性アタッチメントの説明） | 鈴木 哲也 | SBOs 9 |

| | | | | | | | |
|-------|-------|-------------|-------|-------------------------|--|-----------------|------------|
| 10 | 7/17 | 11:00-11:50 | 第1講義室 | 部分床義歯の装着後の変化 | 部分床義歯装着後の生体の変化と義歯の変化 | 渡邊 竜登美 | SBOs 10 |
| 11-12 | 7/19 | 09:00-10:50 | 第1講義室 | 前処置と印象採得 | 広義の前処置と狭義の前処置、印象法の種類と特徴、印象材料、印象用トレー | 鈴木 哲也 | SBOs 11,12 |
| 13 | 7/24 | 11:00-11:50 | 第1講義室 | 前期のまとめ | 前期の重要項目のまとめ | 鈴木 哲也 | SBOs 1-12 |
| 14-15 | 10/4 | 09:00-10:50 | 第2講義室 | 義歯の設計 | 義歯設計の原則、サベイングの目的と技法、支台歯選択と鉤間線 | 渡邊 竜登美 鈴木 哲也 | SBOs 13 |
| 16-17 | 10/11 | 09:00-10:50 | 第2講義室 | 有床義歯特論 フレームワーク | 部分床義歯の臨床症例 フレームワークの構造と製作 | 鈴木 哲也 大泉 誠 | SBOs 15 |
| 18-19 | 10/18 | 09:00-10:50 | 第2講義室 | 咬合採得、咬合器 | 歯列対向関係の違いと咬合採得の術式、咬合床の種類、咬合器装着、 | 織田 展輔 | SBOs 14 |
| 20-21 | 10/25 | 09:00-10:50 | 第2講義室 | 人工歯排列 義歯の重合・研磨 | 人工歯の選択、人工歯排列、埋没、流ろう、重合 | 鈴木 哲也 | SBOs 16,17 |
| 22-23 | 11/1 | 09:00-10:50 | 第2講義室 | 様々な部分床義歯の治療法とその特徴1 | コーンスクローネ義歯、アタッチメント義歯 | 河野 英子 | SBOs 18 |
| 24-25 | 11/8 | 16:00-17:50 | 第2講義室 | 様々な部分床義歯の治療法とその特徴2 | 多様な設計による部分床義歯症例 | 佐藤 雅之 | SBOs 19 |
| 26-27 | 11/15 | 09:00-10:50 | 第2講義室 | 様々な部分床義歯の治療法とその特徴3 | ノンメタルクラスプデンチャー | 笛木 賢治 | SBOs 19 |
| 28-29 | 11/22 | 09:00-10:50 | 第2講義室 | 義歯装着後の変化と対応 演習:部分床義歯の設計 | 義歯装着後の口腔内の変化、義歯床の破損と対処法、リラインの適応と技法 演習:義歯の設計をグループ討議 | 鈴木 哲也 | SBOs 19 |
| 30 | 11/29 | 09:00-09:50 | 第2講義室 | 演習:部分床義歯における問題 | 演習と問題解説 | 鈴木 哲也 | SBOs 1-19 |

授業方法

講義、演習、グループディスカッション

成績評価の方法

期末の客観試験、論述試験(80点)で総括的評価を行う。
・出席状況(10点)、授業態度(10点)を総括的評価に加味する。

準備学習などについての具体的な指示

事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

教科書

有床義歯技工学 = Dental technology for removable dentures / 全国歯科技工士教育協議会 編 鈴木哲也 (ほか著); 医歯薬出版, 2017

参考書

スタンダードパーシャルデンチャー補綴学 / 藍稔, 五十嵐順正 編集・執筆; 学建書院, 2016
パーシャルデンチャーアトラス : デザイン理論と臨床 / 遊離端義歯を中心に / 大山喬史 編著; 医歯薬出版, 2005

備考

担当教員のオフィスアワー
鈴木哲也 教授 メールにて日時を相談 suzuki.peoe@tmd.ac.jp

| | | | | | |
|---|--------------------|------|---|-----|---|
| 時間割番号 | 023537 | | | | |
| 科目名 | 部分床義歯工学実習 I | | | | |
| 担当教員 | 安江 透, 岩崎 直彦, 塩沢 真穂 | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 2 | 単位数 | 4 |
| 科目名: 部分床義歯工学実習 I 時間数: 180時間 授業形態: 実習、演習 | | | | | |
| 主な講義場所 第1 実習室、重合・鋳造室、総合実習室 | | | | | |
| 授業の目的、概要等 部分的歯牙欠損患者の口腔機能回復のための理論、および各種構成要素に用いる材料の諸性質を理解し、個々の臨床ケースに対応できる部分床義歯製作のための技法および技術を身につける。 | | | | | |
| 授業の到達目標 <ol style="list-style-type: none"> 1. 義歯の着脱方向を正確に設定して、的確にブロックアウトする。 2. 常温重合レジンの理工学的性質を理解して、的確に圧接する。 3. 歯科用エンジンおよびレーズを使用して、常温重合レジンを変形させることなく加工する。 4. 個人トレーが具備すべき形態および口腔内操作を考慮して、外形を形成する。 5. パラフィンワックスの理工学的特性を理解し、最適ならう堤を形成する。 6. スプリットキャストの意味を理解し、顎位を保持して正確に咬合器装着する。 7. 支台歯および粘膜を含む口腔内状況を考慮し、最適な支台装置の設計をする。 8. 外形線に沿って正確なワイヤークラスプの屈曲をする。 9. 直接法用光重合レジンパターンおよび鋳造用即時重合レジンで精密なパターンを採得する。 10. リン酸塩系埋没材の理工学的性質を理解し、気泡を混入しない埋没をする。 11. リン酸塩系埋没材の理工学的性質を理解し、的確な温度管理でリング焼却する。 12. 高周波鋳造機の特性を理解し、欠陥のない鋳造体を製作する。 13. 作業用模型への適合方法を理解し、的確なトリミングおよび研磨をする。 14. 正確な位置で仮着し、ろう付け用埋没材の理工学的特性を理解して正確に埋没する。 15. ろう付け用埋没材の理工学的特性を理解して、的確に加熱する。 16. ろう付けの基本原理を理解し、的確な炎管理でろう付けする。 17. 複印象用材料の理工学的特性および複印象システムの特徴を理解し、精密に印象採得する。 18. 複印象システムおよび耐火埋没材の理工学的特徴を理解し、精密な複模型を製作する。 19. クラスプ用ワックスパターンを用いて、正確なワックスアップをする。 20. 使用金属の理工学的特性を理解して、それぞれの支台装置に合った維持力を調整する。 21. 審美性に配慮して人工歯排列する。 22. 機能性に配慮して人工歯排列する。 23. 機能性および生体親和性に配慮して歯肉形成する。 24. パラフィンワックスを的確に操作し、滑沢な表面に仕上げる。 25. 支台装置の位置および人工歯排列状態を考慮して、的確なフラスコ埋没を立案し作業する。 26. 一次埋没した石膏表面を滑沢にし、強固な分離皮膜を生成する。 27. 気泡を入れることなく埋没する。 28. 埋没したフラスコの状態を考慮して、的確な温度管理で流ろうする。 29. 必要な範囲に十分な分離材を的確に塗布する。 30. 加熱重合レジンの理工学的特性を理解して、適正な混液比で予備重合する。 31. 加熱重合レジンの理工学的特性を理解して、予備重合したレジンに適正な圧力で填入する。 32. 適正な温度管理で加熱重合する。 33. 重合体および作業用模型に必要以上の外力を加えることなく、掘り出しする。 34. 早期接触部位を的確に判断して削合する。 35. 義歯を変形させることなく、作業用模型から取り外す。 36. 外形線に沿って的確に形態修正する。 | | | | | |

37. 形態修正による切削傷を効率よく荒研磨する。
 38. レーズ研磨の仕組みを理解し、効率よく艶出し研磨する。
 39. ハブを使用して鏡面研磨する。

授業計画

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|-------|-------|-------------|-------------|--------------------|---|-------------------------|----------------|
| 1-5 | 7/10 | 13:00-17:50 | 第1実習室 総合実習室 | 部分床義歯製作の概説、個人トレー製作 | 部分床義歯実習の概要説明、個人トレー外形線記入 ブロックアウト、リリース | 岩崎 直彦 安江 透 塩 沢 真穂 | SBOs:1 |
| 6-10 | 7/17 | 13:00-17:50 | 第1実習室 総合実習室 | 個人トレー製作 | 常温重合レジン圧接、トリミング | 岩崎 直彦 安江 透 塩 沢 真穂 | SBOs:2 |
| 11-15 | 7/24 | 13:00-17:50 | 第1実習室 総合実習室 | 個人トレー製作 | 常温重合レジン圧接、トリミング、柄・フィンガーレスト付与、コンパウンド操作、個人トレー完成 | 岩崎 直彦 安江 透 塩 沢 真穂 | SBOs:2,3,4 |
| 16-20 | 10/2 | 11:00-16:50 | 第1実習室 総合実習室 | 咬合床製作 | 外形線記入、ブロックアウト、リリース、常温重合レジン圧接 | 岩崎 直彦 安江 透 塩 沢 真穂 | SBOs:1,2 |
| 21-25 | 10/4 | 11:00-16:50 | 第1実習室 総合実習室 | 咬合床製作 | 基礎床トリミング、ろう堤形成、咬合器装着 | 岩崎 直彦 安江 透 塩 沢 真穂 | SBOs:3,5,6 |
| 26-30 | 10/9 | 11:00-16:50 | 第1実習室 総合実習室 | 支台装置製作(上顎) | サベイング、支台装置設計、ブロックアウト、ワイヤークラスプ屈曲 | 岩崎 直彦 安江 透 塩 沢 真穂 | SBOs:1,7,8 |
| 31-35 | 10/11 | 11:00-16:50 | 第1実習室 総合実習室 | 支台装置製作(上顎) | ワイヤークラスプ屈曲 | 岩崎 直彦 安江 透 塩 沢 真穂 | SBOs:8 |
| 36-40 | 10/16 | 11:00-16:50 | 第1実習室 総合実習室 | 支台装置製作(上顎) | 鑄造レストパターン採得、埋没 | 岩崎 直彦 安江 透 塩 沢 真穂 | SBOs:9,10 |
| 41-45 | 10/18 | 11:00-16:50 | 第1実習室 総合実習室 | 支台装置製作(上顎) | 鑄造、研磨、ろう付け用埋没 | 岩崎 直彦 安江 透 塩 沢 真穂 | SBOs:11-14 |
| 46-50 | 10/23 | 11:00-16:50 | 第1実習室 総合実習室 | 支台装置製作(上顎) | ろう付け、研磨 | 岩崎 直彦 安江 透 塩 沢 真穂 | SBOs:13,15,16 |
| 51-55 | 10/25 | 11:00-16:50 | 第1実習室 総合実習室 | 支台装置製作(上顎) | 研磨、 | 岩崎 直彦 安江 透 塩 沢 真穂 | SBOs:15,16 |
| 56-60 | 10/30 | 11:00-16:50 | 第1実習室 総合実習室 | 支台装置製作(下顎) | サベイング、支台装置設計、ブロックアウト、複印象準備 | 岩崎 直彦 安江 透 塩 沢 真穂 | SBOs:1,7,17,18 |
| 61-65 | 11/1 | 11:00-16:50 | 第1実習室 総合実習室 | 支台装置製作(下顎) | リングルバーパターン採得、埋没、鑄造 | 岩崎 直彦 安江 透 塩 沢 真穂 | SBOs:9-12 |
| 66-70 | 11/6 | 11:00-16:50 | 第1実習室 総合実習室 | 支台装置製作(下顎) | 複印象、耐火模型製作 | 岩崎 直彦 安江 透 塩 沢 真穂 | SBOs:17,18 |
| 71-76 | 11/8 | 09:00-15:50 | 第1実習室 総合 | 支台装置製作(下顎) | 支台装置ワックスアップ | 岩崎 直彦 安江 透 塩 | SBOs:19 |

| | | | | | | | |
|---------|-------|-------------|-------------|------------|----------------|-------------------------|------------|
| | | | 実習室 | | | 沢 真穂 | |
| 77-81 | 11/13 | 11:00-16:50 | 第1実習室 総合実習室 | 支台装置製作(下顎) | 埋没 | 岩崎 直彦 安江 透 塩 沢 真穂 | SBOs:10 |
| 82-86 | 11/15 | 11:00-16:50 | 第1実習室 総合実習室 | 支台装置製作(下顎) | 鑄造 | 岩崎 直彦 安江 透 塩 沢 真穂 | SBOs:11,12 |
| 87-91 | 11/20 | 11:00-16:50 | 第1実習室 総合実習室 | 支台装置製作(下顎) | 形態修正、適合、維持力調整 | 岩崎 直彦 安江 透 塩 沢 真穂 | SBOs:13,20 |
| 92-96 | 11/22 | 11:00-16:50 | 第1実習室 総合実習室 | 支台装置製作(下顎) | ろう付け、研磨 | 岩崎 直彦 安江 透 塩 沢 真穂 | SBOs:13,16 |
| 97-103 | 11/29 | 10:00-17:50 | 第1実習室 総合実習室 | 支台装置製作(下顎) | 研磨、小括 | 岩崎 直彦 安江 透 塩 沢 真穂 | SBOs:13 |
| 104-108 | 12/11 | 11:00-16:50 | 第1実習室 総合実習室 | 人工歯排列 | 前歯部人工歯排列 | 岩崎 直彦 安江 透 塩 沢 真穂 | SBOs:21,22 |
| 109-115 | 12/13 | 09:00-16:50 | 第1実習室 総合実習室 | 人工歯排列 | 臼歯部人工歯排列 | 岩崎 直彦 安江 透 塩 沢 真穂 | SBOs:22 |
| 116-120 | 12/18 | 11:00-16:50 | 第1実習室 総合実習室 | 人工歯排列 | 臼歯部人工歯排列 | 岩崎 直彦 安江 透 塩 沢 真穂 | SBOs:22 |
| 121-125 | 1/8 | 11:00-16:50 | 第1実習室 総合実習室 | 歯肉形成 | 歯肉形成 | 岩崎 直彦 安江 透 塩 沢 真穂 | SBOs:23,24 |
| 126-132 | 1/10 | 09:00-16:50 | 第1実習室 総合実習室 | 歯肉形成 埋没・重合 | 歯肉形成 一次埋没 | 岩崎 直彦 安江 透 塩 沢 真穂 | SBOs:23-26 |
| 133-137 | 1/15 | 11:00-16:50 | 第1実習室 総合実習室 | 埋没・重合 | 一次・二次埋没 | 岩崎 直彦 安江 透 塩 沢 真穂 | SBOs:25-27 |
| 138-144 | 1/17 | 09:00-16:50 | 第1実習室 総合実習室 | 埋没・重合 | 三次埋没、流ろう | 岩崎 直彦 安江 透 塩 沢 真穂 | SBOs:26-29 |
| 145-149 | 1/22 | 11:00-16:50 | 第1実習室 総合実習室 | 埋没・重合 | 填入、重合 | 岩崎 直彦 安江 透 塩 沢 真穂 | SBOs:30-32 |
| 150-156 | 1/24 | 09:00-16:50 | 第1実習室 総合実習室 | 咬合器再装着 | 掘り出し、咬合器再装着、削合 | 岩崎 直彦 安江 透 塩 沢 真穂 | SBOs:33,34 |
| 157-161 | 1/29 | 11:00-16:50 | 第1実習室 総合実習室 | 削合 | 削合 | 岩崎 直彦 安江 透 塩 沢 真穂 | SBOs:34 |
| 162-168 | 1/31 | 09:00-16:50 | 第1実習室 総合実習室 | 研磨 | 形態修正、荒研磨 | 岩崎 直彦 安江 透 塩 沢 真穂 | SBOs:35-37 |

| | | | | | | | |
|---|-----|-------------|-------------|----|-------------|-------------------------|------------|
| 169-173 | 2/5 | 11:00-16:50 | 第1実習室 総合実習室 | 研磨 | レーズ研磨 | 岩崎 直彦 安江 透 塩 沢 真穂 | SBOs:38 |
| 174-180 | 2/7 | 09:00-16:50 | 第1実習室 総合実習室 | 研磨 | レーズ研磨、艶出し完成 | 岩崎 直彦 安江 透 塩 沢 真穂 | SBOs:38,39 |
| 授業方法 実習、演習 | | | | | | | |
| 成績評価の方法 ・各製作ステップにおいてチェックを行い、進捗状況を評価する。また採点項目を設定し、完成した製作物を評価する。 ・出席状況、授業態度を総合的評価に加味する。 | | | | | | | |
| 準備学習などについての具体的な指示 実習予定表および実習書を事前に確認し、当日行う実習内容を把握しておく。 Web Class に資料がアップされているときには、事前に確認しておく。 | | | | | | | |
| 教科書 最新歯科技工士教本 有床義歯技工学／全国歯科技工士教育協議会 編：医歯薬出版，2017 | | | | | | | |
| 参考書 パーシャルデンチャーテクニック／五十嵐順正，石上友彦，大久保力廣，岡崎定司，馬場一美，横山敦郎 編：医歯薬出版，2012 パーシャルデンチャーアトラス：デザイン理論と臨床／遊離端義歯を中心に／大山喬史 編著：医歯薬出版，2005 現代のパーシャルデンチャー：欠損補綴の臨床指針／野首孝祠，五十嵐順正 著：クインテッセンス出版，2000 | | | | | | | |
| 履修上の注意事項 事前に資料の配布、Web Class へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。 | | | | | | | |
| 備考 授業担当教員 ・安江 透 ・岩崎直彦 ・塩沢真穂 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--|---------------------|-------------|-------|------------|--|-------|----------|
| 時間割番号 | 023539 | | | | | | |
| 科目名 | 歯冠修復工学基礎 | | | | | | |
| 担当教員 | 池田 正臣, 池田 英治, 岡田 大蔵 | | | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 2 | | 単位数 | 2 | |
| 主な講義場所 2号館第2講義室 | | | | | | | |
| 授業の目的、概要等 各種の歯冠修復及び架工義歯に関する知識を修得する。 | | | | | | | |
| 授業の到達目標 1. 歯冠修復の適応、および意義を理解する。 2. う蝕治療の流れを理解する。 3. 歯冠修復物の特徴を理解する。 4. 築造の目的を説明する。 5. 仮封冠の目的を説明する。 6. 直接法と比較した間接法の特徴を理解する。 7. 歯冠修復に用いられる印象材について説明する。 8. 咬合採得の意義について説明する。 9. 作業用模型の種類と取り扱い方を理解する。 10. ろう型採得の方法について理解する。 11. 埋没、および鑄造の流れを説明する。 12. 研磨の手法を理解する。 13. 試適の手順を理解する。 14. 合着に用いるセメントについて理解する。 15. ブリッジの特徴とポンティック形態を説明する。 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1-2 | 10/3 | 09:00-10:50 | 第2講義室 | 歯冠修復工学総論 | 歯冠修復物の種類と目的 | 岡田 大蔵 | SBOs 1-3 |
| 3-4 | 10/10 | 09:00-10:50 | 第2講義室 | 全部鑄造冠 | 間接法の寸法精度、補償理論 印象に用いられる材料、必要性 度、特徴 | 岡田 大蔵 | SBOs 3 |
| 5-6 | 10/17 | 09:00-10:50 | 第2講義室 | 歯内療法学概論1 | 歯内療法学における基本的な治療 | 池田 英治 | SBOs 2 |
| 7-8 | 10/24 | 09:00-10:50 | 第2講義室 | 歯内療法学概論2 | 歯内療法学における基本的な治療 外来にてマイクロスコープ実習 | 池田 英治 | SBOs 2 |
| 9-10 | 10/31 | 09:00-10:50 | 第2講義室 | 間接法 印象法 | 全部鑄造冠の特徴、支台形態 | 岡田 大蔵 | SBOs 4,5 |
| 11-12 | 11/7 | 09:00-10:50 | 第2講義室 | 築造 仮封冠 | 築造の目的 仮封冠の目的 | 岡田 大蔵 | SBOs 6,7 |
| 13-14 | 11/14 | 09:00-10:50 | 第2講義室 | 咬合採得 作業用模型 | 咬合採得に用いる材料と方法、注意点 各種模型の特質 | 岡田 大蔵 | SBOs 8,9 |
| 15-16 | 11/21 | 09:00-10:50 | 第2講義室 | ろう型採得 | 内面の適合精度、外面形態:咬合面、隣接面、頬舌面 | 岡田 大蔵 | SBOs 10 |
| 17-18 | 11/28 | 09:00-10:50 | 第2講義室 | 埋没 鑄造 | スプルー線の植立、埋没操作 埋没材の変化、ワックスの焼却 鑄造用合金、鑄造体の熱処理 | 岡田 大蔵 | SBOs 11 |
| 19-20 | 12/12 | 09:00-10:50 | 第2講義室 | 研磨 | 研磨の目的、研磨器具の種類と特徴 | 岡田 大蔵 | SBOs 12 |

| | | | | | | | |
|-------|-------|-------------|-------|------------------|-------------------------------|-------|------------|
| 21-22 | 12/19 | 09:00-10:50 | 第2講義室 | 試適 合着 | 接触点の調整、咬合調整 セメントの種類、浮き上がり防止策 | 岡田 大蔵 | SBOs 13,14 |
| 23-24 | 1/16 | 09:00-10:50 | 第2講義室 | 前装鑄造冠 | 前装冠の特徴、支台形態 | 岡田 大蔵 | SBOs 3 |
| 25-26 | 1/23 | 09:00-10:50 | 第2講義室 | ポストクラウン 陶材ジャケット冠 | ポストクラウンの特徴 陶材ジャケット冠の特徴、支台形態 | 岡田 大蔵 | SBOs 3 |
| 27-28 | 1/30 | 09:00-10:50 | 第2講義室 | 部分被覆冠 | 部分被覆冠の特徴、支台形態 | 岡田 大蔵 | SBOs 3 |
| 29-30 | 2/6 | 09:00-10:50 | 第2講義室 | ブリッジ | ブリッジの構造と分類、特徴 ポンティックの形態、適応 | 岡田 大蔵 | SBOs 2,15 |

成績評価の方法

・出席状況(10点)、課題学習(10点)、期末の客観試験、論述試験(80点)で総合的評価に加味する。

準備学習などについての具体的な指示

事前に資料の配付、web-class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

教科書

クラウンブリッジ補綴学／矢谷博文、三浦宏之、細川隆司、小川匠 編集：医歯薬出版、2014

参考書

歯冠修復技工学 = Dental Technology for Fixed Dental Protheses and Restorations／全国歯科技工士教育協議会 編集[末瀬一彦][ほか]
[著]：医歯薬出版、2017

保存修復学／千田彰、寺下正道、寺中敏夫、宮崎真至 編集：医歯薬出版、2013

備考

池田 正臣:メールにて面談の日程を調整すること

ikedacsoe@tmd.ac.jp

| 時間割番号 | 023540 | | | | | | |
|---------------------------------------|--------------|-------------|-------------------|---------|-------------------------------------|----------------|----------|
| 科目名 | 歯冠修復工学基礎演習 | | | | | | |
| 担当教員 | 池田 正臣, 上條 真吾 | | | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 2 | | 単位数 | 1 | |
| 主な講義場所 | | | | | | | |
| 2号館第1実習室 | | | | | | | |
| 2号館第4実習室 | | | | | | | |
| 2号館重合鑄造室 | | | | | | | |
| 2号館総合実習室 | | | | | | | |
| 2号館硬質レジン実習室 | | | | | | | |
| 授業の目的、概要等 | | | | | | | |
| 各種の歯冠修復及び架工義歯に関する基礎的な器材の取り扱いについて修得する。 | | | | | | | |
| 授業の到達目標 | | | | | | | |
| 1. 歯冠修復における治療の流れを理解し、技工作業を行う。 | | | | | | | |
| 2. 技工器具を正しく使用する。 | | | | | | | |
| 3. 模型の扱いを理解し、正確な操作を行う。 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1-5 | 10/1 | 13:00-17:50 | 第1実習室 第4実習室 総合実習室 | 演習の進め方 | 演習の進め方、実習室の使い方、技工器具・器機の使い方 | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs 1,2 |
| 6-10 | 10/3 | 11:00-16:50 | 第1実習室 第4実習室 総合実習室 | 模型製作演習1 | 印象への石膏注入、模型トリミング、ダウエルピン植立、二次石膏、三次石膏 | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs 3 |
| 11-15 | 10/5 | 13:00-17:50 | 第1実習室 第4実習室 総合実習室 | 模型製作演習2 | 模型分割、歯型のマージン出し | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs 3 |
| 16-20 | 10/10 | 11:00-16:50 | 第1実習室 第4実習室 総合実習室 | 模型製作 | 作業用模型の完成 | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs 3 |
| 21-25 | 10/15 | 13:00-17:50 | 第1実習室 第4実習室 総合実習室 | 咬合器装着 | 印象への石膏注入、模型トリミング、ダウエルピン植立、二次石膏、三次石膏 | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs 3 |
| 26-30 | 10/17 | 11:00-16:50 | 第1実習室 第4実習室 総合実習室 | 完成 | 咬合器装着、模型分割、歯型のマージン出し | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs 1-3 |
| 成績評価の方法 | | | | | | | |

・出席状況(10点)、実習態度(10点)、製作物(80点)を総合的評価に加味する。

準備学習などについての具体的な指示

事前に資料の配付、web-class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

教科書

クラウンブリッジ補綴学／矢谷博文, 三浦宏之, 細川隆司, 小川匠 編集:医歯薬出版, 2014

参考書

歯冠修復技工学 = Dental Technology for Fixed Dental Prosthesis and Restorations／全国歯科技工士教育協議会 編集[末瀬一彦][ほか] [著]: 医歯薬出版, 2017

接着歯学 = Adhesive dentistry／日本接着歯学会 編: 医歯薬出版, 2015

保存修復学／千田彰, 寺下正道, 寺中敏夫, 宮崎真至 編集: 医歯薬出版, 2013

備考

池田 正臣:メールにて面談の日程を調整すること

ikedacsoe@tmd.ac.jp

| 時間割番号 | 023541 | | | | | | |
|--------------------------------------|--------------|-------------|-------------------------|---------------|--------------------|----------------|----------|
| 科目名 | 歯冠修復工学基礎実習 | | | | | | |
| 担当教員 | 池田 正臣, 上條 真吾 | | | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 2 | | 単位数 | 4 | |
| 主な講義場所 | | | | | | | |
| 2号館第1実習室 | | | | | | | |
| 2号館第4実習室 | | | | | | | |
| 2号館重合鑄造室 | | | | | | | |
| 2号館総合実習室 | | | | | | | |
| 2号館硬質レジン実習室 | | | | | | | |
| 授業の目的、概要等 | | | | | | | |
| 各種の歯冠修復及び架工義歯に関する基礎的な知識及び技術について修得する。 | | | | | | | |
| 授業の到達目標 | | | | | | | |
| 1. 最終補綴物の特徴を理解したうえで、コアを製作する。 | | | | | | | |
| 2. 鑄造操作を行う。 | | | | | | | |
| 3. 各種レジンの扱いを修得する。 | | | | | | | |
| 4. 個歯トレーの利点を説明する。 | | | | | | | |
| 5. 暫間被覆冠の特徴を説明する。 | | | | | | | |
| 6. 適合精度の高いワックスパターンを製作する。 | | | | | | | |
| 7. 辺縁形態、隣接面接触、咬合接触について適切な処理を行う。 | | | | | | | |
| 8. 鏡面研磨を行う。 | | | | | | | |
| 9. メタルインレーの特徴を理解する。 | | | | | | | |
| 10. レジン前装冠の窓開けを行う。 | | | | | | | |
| 11. 前装用レジンを操作する。 | | | | | | | |
| 12. シェードテイキングについて説明する。 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1-3 | 10/19 | 15:00-17:50 | 第1実習室 第4実習室 総合実習室 | メタルコアのワックスアップ | ワックスアップ | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs 1 |
| 4-8 | 10/22 | 13:00-17:50 | 第1実習室 第4実習室 総合実習室 | メタルコアのワックスアップ | ワックスアップ | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs 1 |
| 9-13 | 10/24 | 11:00-16:50 | 第1実習室 第4実習室 総合実習室 | メタルコアの埋没 | ワックスアップ、スブルーイング、埋没 | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs 1,2 |
| 14-18 | 10/26 | 13:00-17:50 | 第1実習室 第4実習室 総合実習室 | メタルコアの鑄造 | 鑄造 | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs 1,2 |
| 19-23 | 10/29 | 13:00-17:50 | 第1実習室 第4実習室 | メタルコアの研磨 | 形態修正、完成 | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs 1,2 |

| | | | | | | | |
|-------|-------|-------------|----------------------|--------------|-------------------------------|----------------|------------|
| | | | 実習室 総合実習室 | | | | |
| 24-28 | 10/31 | 11:00-16:50 | 第1実習室 第4実習室 総合実習室 | 個歯トレー製作 | 個歯トレー製作 | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs 3,4 |
| 29-31 | 11/2 | 15:00-17:50 | 第1実習室 第4実習室 総合実習室 | 暫間被覆冠の歯冠形態回復 | 暫間被覆冠製作 歯冠形態回復 | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs 3,5 |
| 32-36 | 11/5 | 13:00-17:50 | 第1実習室 第4実習室 総合実習室 | 暫間被覆冠の歯冠形態回復 | 暫間被覆冠製作 形態修正、接触点調整、咬合調整、研磨、完成 | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs 3,5 |
| 37-41 | 11/7 | 11:00-16:50 | 第1実習室 第4実習室 総合実習室 | クラウンのワックスアップ | ワックスアップ 概形製作 | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs 6,7 |
| 42-44 | 11/9 | 15:00-17:50 | 第1実習室 第4実習室 総合実習室 | クラウンのワックスアップ | ワックスアップ マージンのしめ直し | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs 6,7 |
| 45-49 | 11/12 | 13:00-17:50 | 第1実習室 第4実習室 総合実習室 | クラウンのワックスアップ | | 池田 正臣 | |
| 50-54 | 11/14 | 11:00-16:50 | 第1実習室 第4実習室 総合実習室 | クラウンのワックスアップ | ワックスアップ マージンのしめ直し | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs 6,7 |
| 55-57 | 11/16 | 15:00-17:50 | 第1実習室 第4実習室 総合実習室 | クラウンの埋没 | スプルーイング、埋没 | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs 2,6,7 |
| 58-62 | 11/19 | 13:00-17:50 | 第1実習室 第4実習室 総合実習室 | クラウンの鑄造 | 鑄造 | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs 2 |
| 63-67 | 11/21 | 11:00-16:50 | 第1実習室 | クラウンの調整 | 内面調整 | 池田 正臣 | SBOs 7,8 |

| | | | | | | | |
|-------------|-------|-------------|----------------------------------|---------------------|------------------------|----------------|------------|
| | | | 室 第4 実習室 総合実習 室 | | | 上條 真吾 | |
| 68-72 | 11/26 | 13:00-17:50 | 第1実習 室 第4 実習室 総合実習 室 | クラウンの調整 | 接点、咬合調整 | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs 7,8 |
| 73-77 | 11/28 | 11:00-16:50 | 第1実習 室 第4 実習室 総合実習 室 | クラウンの研磨 | 研磨、完成 | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs 7,8 |
| 78-80 | 11/30 | 15:00-17:50 | 第1実習 室 第4 実習室 総合実習 室 | 小括 | 実習の小総括 | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs 1-8 |
| 81-87 | 12/3 | 09:00-16:50 | 第1実習 室 第4 実習室 総合実習 室 | メタルインレーのワックス アップ | ワックスアップ 概形製作歯冠形 態完成 | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs 6,7,9 |
| 88-92 | 12/10 | 13:00-17:50 | 第1実習 室 第4 実習室 総合実習 室 | メタルインレーの埋没 | スプルーイング、埋没 | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs 6,7,9 |
| 93-97 | 12/12 | 11:00-16:50 | 第1実習 室 第4 実習室 総合実習 室 | メタルインレーの鋳造 | 鋳造 | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs 2 |
| 98- 101 | 12/14 | 14:00-17:50 | 第1実習 室 第4 実習室 総合実習 室 | メタルインレーの調整 | 適合確認、内面調整、接点調整 | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs 7,8 |
| 102- 106 | 12/17 | 13:00-17:50 | 第1実習 室 第4 実習室 総合実習 室 | メタルインレーの研磨 | 咬合調整、研磨、完成 | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs 7,8 |
| 107- 111 | 12/19 | 11:00-16:50 | 第1実習 室 第4 実習室 総合実習 室 | レジ前装冠のワックス アップ | ワックスアップ 歯冠形態回復 | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs 6,7 |

| | | | | | | | |
|---------|------|-------------|-------------------|--------------------|----------------------|----------------|--------------|
| 112-116 | 1/7 | 13:00-17:50 | 第1実習室 第4実習室 総合実習室 | レジン前装冠のワックスアップ | ワックスアップ 歯冠形態回復 | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs 6,7 |
| 117-123 | 1/9 | 09:00-16:50 | 第1実習室 第4実習室 総合実習室 | 作品、研究準備 レジン前装冠の窓開け | 4年生卒業製作発表会 窓開け | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs 6,7,10 |
| 124-129 | 1/11 | 09:00-15:50 | 第1実習室 第4実習室 総合実習室 | 作品、研究準備 | 4年生卒業研究発表会 | 池田 正臣 上條 真吾 | |
| 130-134 | 1/16 | 11:00-16:50 | 第1実習室 第4実習室 総合実習室 | レジン前装冠のリテンションピース付与 | ワックスパターン完成 | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs 6,7,10 |
| 135-138 | 1/18 | 14:00-17:50 | 第1実習室 第4実習室 総合実習室 | レジン前装冠の埋没、 鋳造 | スプルーイング、埋没、鋳造 | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs 2,6,7 |
| 139-143 | 1/21 | 13:00-17:50 | 第1実習室 第4実習室 総合実習室 | レジン前装冠の調整 | 適合確認、内面調整、接触点調整、咬合調整 | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs 7,8 |
| 144-148 | 1/23 | 11:00-16:50 | 第1実習室 第4実習室 総合実習室 | レジン前装冠の荒研磨 | 荒研磨 | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs 11,12 |
| 149-152 | 1/25 | 14:00-17:50 | 第1実習室 第4実習室 総合実習室 | 前装レジン築盛 | デンティン築盛、エナメル築盛 | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs 7,11,12 |
| 153-157 | 1/28 | 13:00-17:50 | 第1実習室 第4実習室 総合実習室 | 前装レジン築盛 | デンティン築盛、エナメル築盛 | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs 7,11,12 |
| 158-162 | 1/30 | 11:00-16:50 | 第1実習室 第4実習室 総合実習室 | レジン前装冠の形態修正、研磨 | 前装レジン築盛、形態修正、研磨、完成 | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs 7,11,12 |

| | | | | | | | |
|---------|-----|-------------|-------------------|----------------|--------------------|----------------|--------------|
| 163-166 | 2/1 | 14:00-17:50 | 第1実習室 第4実習室 総合実習室 | レジン前装冠の形態修正、研磨 | 前装レジン築盛、形態修正、研磨、完成 | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs 7,11,12 |
| 167-171 | 2/4 | 13:00-17:50 | 第1実習室 第4実習室 総合実習室 | 総括 | 実習の総括 | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs 1-13 |
| 172-176 | 2/6 | 11:00-16:50 | 第1実習室 第4実習室 総合実習室 | 総括 | 実習の総括 | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs 1-13 |
| 177-180 | 2/8 | 14:00-17:50 | 第1実習室 第4実習室 総合実習室 | 総括 | 実習の総括 | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs 1-13 |

成績評価の方法

・出席状況(10点)、実習態度(10点)、製作物(80点)を総合的評価に加味する。

準備学習などについての具体的な指示

事前に資料の配付、web-class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

参考書

歯冠修復技工学 = Dental Technology for Fixed Dental Prosthesis and Restorations / 全国歯科技工士教育協議会 編集[末瀬一彦][ほか] [著].: 医歯薬出版, 2017

クラウンブリッジ補綴学 / 矢谷博文, 三浦宏之, 細川隆司, 小川匠 編集.: 医歯薬出版, 2014

保存修復学 / 千田彰, 寺下正道, 寺中敏夫, 宮崎真至 編集.: 医歯薬出版, 2013

備考

池田 正臣:メールにて面談の日程を調整すること

ikedacsoe@tmd.ac.jp

第3学年
履修科目・ユニット

| | | | | | | | |
|--|--------|-------------|-------------|----------|---------------|-------|----------|
| 時間割番号 | 023503 | | | | | | |
| 科目名 | 科学英語Ⅱ | | | | | | |
| 担当教員 | 大木 明子 | | | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 3 | 単位数 | 1 | | |
| 主な講義場所 | | | | | | | |
| 口腔保健工学専攻 第2講義室 口腔保健工学専攻 CAD/CAM 演習室 | | | | | | | |
| 授業の目的、概要等 | | | | | | | |
| 歯科で使われる英語について、英論文を読みながら基本的な知識を理解する。 | | | | | | | |
| 授業の到達目標 | | | | | | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 歯学系英語の教科書や研究英論文を読んで内容を理解する。 2. 英論文の要点をまとめ、わかりやすい日本語抄録を作成する。 3. 英語の専門用語について日本語、英語で述べる。 4. 英語で抄録を作成する。 5. 英論文を読み、抄録を作成し、論文の内容をわかりやすく説明する。 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1-2 | 4/13 | 09:00-10:50 | 第2講義室 | 英語の教科書1 | 概説、教科書(義歯) | 大木 明子 | SBOs:1 |
| 3-4 | 4/27 | 09:00-10:50 | 第2講義室 | 英語の教科書2 | 教科書(総義歯) | 大木 明子 | SBOs:1 |
| 5-6 | 5/11 | 09:00-10:50 | 第2講義室 | 英語の教科書3 | 教科書(顎顔面補綴) | 大木 明子 | SBOs:1 |
| 7-8 | 5/25 | 09:00-10:50 | 第2講義室 | 英論文を読む1 | 概説(反転授業)、論文1 | 大木 明子 | SBOs:1,2 |
| 9-10 | 6/8 | 09:00-10:50 | 第2講義室 | 英論文を読む2 | 論文2、英文抄録の作成 | 大木 明子 | SBOs:1,2 |
| 11 | 6/22 | 09:00-09:50 | CAD/CAM 演習室 | 単語到達度テスト | 英単語到達度テスト | 大木 明子 | SBOs:3,4 |
| 12-13 | 7/6 | 09:00-10:50 | 第2講義室 | 抄読会1 | 抄読会、プレゼンテーション | 大木 明子 | SBOs:5 |
| 14-15 | 7/13 | 09:00-10:50 | 第2講義室 | 抄読会2 | 抄読会、プレゼンテーション | 大木 明子 | SBOs:5 |
| 授業方法 | | | | | | | |
| 講義、演習、小テスト、課題発表 | | | | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | | | |
| 出席状況、授業態度を加味し、課題レポート・小テスト(35点)、英単語テスト(5点)、抄読会発表(15点)、期末試験(45点)を総合的に評価し、合否を判定する。 | | | | | | | |
| 準備学習などについての具体的な指示 | | | | | | | |
| 事前にWebClassで提示される英文資料を読み、課題をWebClassにて提出すること。抄読会については発表準備を行うこと。事前に十分予習してから授業に臨むこと。 | | | | | | | |
| 試験の受験資格 | | | | | | | |
| 3分の2以上の出席 | | | | | | | |
| 参考書 | | | | | | | |
| 日本人のための医学英語論文執筆ガイド : thinking in English でネイティブレベルの paper を書く / Amanda Tompson, 相川直樹 著, : 医学書院, 2008 | | | | | | | |
| MaCracken's Removable Partial Prosthodontics 11th Ed. / AB Carr, GP McGivney, DT Brown: Elsevier Mosby, 2005 | | | | | | | |
| Prosthodontic Treatment for Edentulous Patients 13th Ed. / G Zarb, JA Hobkirk, SE Eckert, RF Jacob: Elsevier, 2013 | | | | | | | |

履修上の注意事項

事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。 事前に出される課題を行い、WebClass にて提出すること。

備考

事前に出される課題を行い、提出して、その課題について授業中にまとめていきます。
反転授業が 1 回あります。事前にビデオを見てくること。授業の初めに小テストを行います。
英単語のテストの日は 2 号館 3 階の CAD/CAM 演習室に集合してください。

| | | | | | | | |
|---|----------------------------|-------------|-------|-----------------|--------------------------|-------------------------|---------------------------|
| 時間割番号 | 023506 | | | | | | |
| 科目名 | コミュニケーション学 | | | | | | |
| 担当教員 | 池田 正臣, 青木 和広, 礪波 健一, 樋口 和秀 | | | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 3 | 単位数 | 1 | | |
| 主な講義場所 2号館第2講義室 | | | | | | | |
| 授業の目的、概要等 歯科医療従事者としてのコミュニケーション能力と医療面接について学び、社会人に必要な接遇とマナーを習得する。 | | | | | | | |
| 授業の到達目標 1. コミュニケーションの構築について説明する。 2. 組織における人間関係について説明する。 3. 意志・情報の伝達に必要なコミュニケーションスキルについて説明する。 4. 医療面接について説明する。 5. 接遇とマナーについて説明する。 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1-3 | 4/11 | 09:00-11:50 | 第2講義室 | コミュニケーション概論1 | コミュニケーション概論 | 池田 正臣 礪波 健一 | SBOs 1-3 |
| 4-6 | 4/18 | 09:00-11:50 | 第2講義室 | 組織・医療とコミュニケーション | 組織とコミュニケーション 医療コミュニケーション | 池田 正臣 礪波 健一 | SBOs 1-3 |
| 7-9 | 4/25 | 13:00-15:50 | 第2講義室 | コミュニケーション概論2 | カンバセーションとコラボレーション | 青木 和広 池田 正臣 樋口 和秀 | SBOs 4 |
| 10-11 | 5/2 | 14:00-15:50 | 第2講義室 | コミュニケーションの構築1 | ネゴシエーションとエデュケーション | 池田 正臣 | SBOs 4 |
| 12-13 | 5/9 | 09:00-10:50 | 第2講義室 | 接遇とマナー | 接遇とマナーの基準(グループワーク) | 池田 正臣 | SBOs 1-5 授業担当者 道免そら 小野由貴奈 |
| 14-15 | 5/16 | 09:00-10:50 | 第2講義室 | 課題学習発表 | 課題学習発表 | 池田 正臣 | SBOs 1-5 |
| 成績評価の方法 ・出席状況(10点)、レポート(10点)、課題学習(10点)、期末の客観試験、論述試験(70点)で総括的評価に加味する。 | | | | | | | |
| 準備学習などについての具体的な指示 事前に資料の配付、web-class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。 | | | | | | | |
| 参考書 人を動かす/Dカーネギー [著],山口博 訳:創元社, 1999 歯科医のための医療コーチング入門: スタッフ・患者さんの行動力を引き出す: 図解/岸英光 監修,桑田美香 著,:砂書房, 2005 「話す」「書く」「聞く」能力が仕事を变える!: PHP 研究所, 2007-05 | | | | | | | |
| 備考 池田 正臣:メールにて面談の日程を調整すること ikedacsoe@tmd.ac.jp | | | | | | | |
| 連絡先 池田 正臣:ikedacsoe@tmd.ac.jp | | | | | | | |
| オフィスアワー 池田 正臣:メールにて面談の日程を調整すること | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---|--------------|-------------|-------|-----------------|---|----------------|----------|
| 時間割番号 | 023509 | | | | | | |
| 科目名 | 歯科技工士と法律 | | | | | | |
| 担当教員 | 池田 正臣, 西澤 隆廣 | | | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 3 | 単位数 | 1 | | |
| 主な講義場所 | | | | | | | |
| 2号館第2講義室 | | | | | | | |
| 授業の目的、概要等 | | | | | | | |
| 衛生行政の概要と歯科技工士法を理解し、歯科技工士免許の位置づけを学ぶ。 | | | | | | | |
| 授業の到達目標 | | | | | | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 衛生行政の概要を把握し、法律と厚生労働省を中心とした国の仕組みを説明する。 2. 歯科技工士免許について説明する。 3. 歯科技工士試験について説明する。 4. 歯科技工士業務について説明する。 5. 歯科技工所の開設について説明する。 6. 雑則、罰則、附則について説明する。 7. 医療法、歯科医師法、歯科衛生士法との係りについて説明する。 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1-2 | 4/12 | 09:00-10:50 | 第2講義室 | 衛生行政の概要 | 衛生行政の概要 | 池田 正臣 | SBOs 1 |
| 3-4 | 4/19 | 09:00-10:50 | 第2講義室 | 歯科技工士法 1 | 総則と歯科技工士免許 | 池田 正臣 | SBOs 2 |
| 5-6 | 4/26 | 09:00-10:50 | 第2講義室 | 歯科技工士法 2 | 歯科技工士試験 | 池田 正臣 | SBOs 3 |
| 7-8 | 5/10 | 09:00-10:50 | 第2講義室 | 歯科技工士法 3 | 歯科技工士試験 | 池田 正臣 | SBOs 3 |
| 9-10 | 5/17 | 09:00-10:50 | 第2講義室 | 歯科技工士法 4 | 歯科技工士業務 | 池田 正臣 | SBOs 4 |
| 11-13 | 5/24 | 09:00-11:50 | 第2講義室 | 歯科技工士法 5 | 歯科技工士業務 | 池田 正臣 | SBOs 4 |
| 14-15 | 5/31 | 09:00-10:50 | 第2講義室 | 歯科技工士法とその他の関係法規 | 歯科技工所について、歯科技工士法の雑則、罰則、附則、医療法、歯科医師法、歯科衛生士法 課題を与えてグループディスカッション | 池田 正臣 西澤 隆廣 | SBOs 5-7 |
| 成績評価の方法 | | | | | | | |
| ・出席状況(10点)、グループディスカッション法律について(10点)、期末の客観試験、論述試験(80点)で総合的評価に加味する。 | | | | | | | |
| 準備学習などについての具体的な指示 | | | | | | | |
| 事前に資料の配付、web-class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。 | | | | | | | |
| 教科書 | | | | | | | |
| 歯科技工管理學 = Dental Laboratory Practice Administration / 全国歯科技工士教育協議会 編集, 末瀬一彦 ほか 著, : 医歯薬出版, 2017 | | | | | | | |
| 備考 | | | | | | | |
| 池田 正臣メールにて面談の日程を調整すること ikedacsoe@tmd.ac.jp | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--|----------------------|-------------|-------|--|--|-----------------|--------------------------|
| 時間割番号 | 023511 | | | | | | |
| 科目名 | 口腔保健工学管理学 | | | | | | |
| 担当教員 | 池田 正臣, 品田 佳世子, 日高 洋幸 | | | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 3 | 単位数 | 1 | | |
| 主な講義場所 | | | | | | | |
| 2号館第1講義室 | | | | | | | |
| 授業の目的、概要等 | | | | | | | |
| 作業環境の健康に及ぼす影響および作業環境の改善方法について学ぶ。 | | | | | | | |
| 授業の到達目標 | | | | | | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 作業環境の健康に及ぼす影響を説明できる。 2. 作業環境の測定方法について説明できる。 3. 歯科医院の粉じんと有害物質について説明できる。 4. 歯科技工所の作業環境の改善方法について説明できる。 5. 安全対策について説明できる。 6. 歯科技工所の設備構造について説明できる。 7. 歯科技工物の安全性、トレーサビリティについて説明できる。 8. チェアサイド、ラボサイドの作業環境について説明できる。 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1-3 | 5/30 | 09:00-11:50 | 第1講義室 | ラボサイドでの作業環境、歯科の粉じんと有害物質について | 歯科技工材料の取り扱いと保管方法、歯科の粉じんと有害物質 | 池田 正臣 日高 洋幸 | SBOs 1-5 |
| 4-6 | 6/6 | 09:00-11:50 | 第1講義室 | 歯科技工所の作業環境と改善方法について 設備構造基準と歯科技工物の安全性およびトレーサビリティ | 歯科技工所の作業環境と改善方法 設備構造基準と歯科技工指示書およびトレーサビリティ | 池田 正臣 日高 洋幸 | SBOs 1-5 |
| 7-9 | 1/17 | 09:00-11:50 | 第1講義室 | 作業環境が健康に及ぼす影響、作業環境の測定 | 作業環境が健康に及ぼす影響と作業環境測定 | 池田 正臣 品田 佳世子 | SBOs 1-7 |
| 10-12 | 1/24 | 09:00-11:50 | 第1講義室 | 安全対策について | 安全対策の計画(グループワーク) | 池田 正臣 品田 佳世子 | SBOs 1-7 |
| 13-15 | 2/7 | 13:00-15:50 | 第1講義室 | チェアサイドとラボサイドでの作業環境 | チェアサイドとラボサイドの材料と取扱い | 池田 正臣 | SBOs 8 授業担当者 日高豊彦 高橋健 |
| 成績評価の方法 | | | | | | | |
| ・出席状況(10点)、グループディスカッション作業環境について(10点)、期末の客観試験、論述試験(80点)で総合的評価に加点する。 | | | | | | | |
| 準備学習などについての具体的な指示 | | | | | | | |
| 事前に資料の配付、web-class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。 | | | | | | | |
| 参考書 | | | | | | | |
| 労働衛生のしおり = General Guidebook on Industrial Health / 中央労働災害防止協会 編: 中央労働災害防止協会, 2017 | | | | | | | |
| 備考 | | | | | | | |
| 池田 正臣:メールにて面談の日程を調整すること ikedacsoe@tmd.ac.jp | | | | | | | |

| 時間割番号 | 023513 | | | | | | |
|--|--------------|-------------|-------|---|---|-----------------|-----------|
| 科目名 | 口腔外科学 | | | | | | |
| 担当教員 | 青木 和広, 樺沢 勇司 | | | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 3 | 単位数 | 1 | | |
| 科目名: 口腔外科学 時間数: 15時間 授業形態: 講義 | | | | | | | |
| 主な講義場所 2号館2階 第1講義室 | | | | | | | |
| 授業の目的、概要等 口腔外科領域の疾患と診断、治療法の基礎的知識を修得する。 | | | | | | | |
| 授業の到達目標 <ol style="list-style-type: none"> 1. 口腔外科の概要、口腔外科疾患の種類と診断法について理解する。 2. 顎顔面口腔に症状を現す先天異常と発育異常を列挙し、その治療法を理解する。 3. 顎口腔領域の損傷の診断と治療法を理解する。 4. 顎口腔領域の炎症の診断と治療法を理解する。 5. 顎口腔領域の嚢胞の診断と治療法を理解する。 6. 顎口腔領域の腫瘍の診断と治療法を理解する。 7. 口腔粘膜疾患の診断と治療法を理解する。 8. 顎口腔領域の神経系疾患の診断および治療法を理解する。 9. 唾液腺疾患の病因と病態について理解する。 10. 顎口腔領域に症状を現す血液疾患、出血性素因について理解する。 11. 代謝性疾患の口腔症状、口腔顎顔面領域に関連した疾患について理解する。 12. 口腔外科疾患に関連する補綴治療について説明する。 13. 顎関節疾患の病因、病態、診断および治療法を理解する。 14. 口腔外科手術患者、口腔がん患者の口腔保健管理について理解する。 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1-3 | 10/5 | 09:00-11:50 | 第1講義室 | 総論 先天異常と発育異常 | 口腔外科とは、口腔外科を学ぶ重要性、口腔外科診断のプロセス、歯や軟組織の異常、口唇裂・口蓋裂、その他の口腔・顎・顔面の先天異常、顎変形症 | 樺沢 勇司, 青木 和広 | SBOs1,2 |
| 4-6 | 10/19 | 09:00-11:50 | 第1講義室 | 損傷 炎症 嚢胞 | 歯の外傷、軟組織損傷、歯槽骨・顎骨骨折 歯槽部・顎骨・顎骨周囲組織の炎症 嚢胞の定義・分類・診断、顎骨の嚢胞、軟組織の嚢胞 | 樺沢 勇司, 青木 和広 | SBOs3-5 |
| 7-9 | 10/26 | 09:00-11:50 | 第1講義室 | 腫瘍および腫瘍類似疾患 口腔粘膜疾患 | 良性腫瘍・腫瘍類似疾患の診断と治療、悪性腫瘍の診断と治療 口腔粘膜疾患の診断と治療 | 樺沢 勇司, 青木 和広 | SBOs6,7 |
| 10-12 | 11/2 | 09:00-11:50 | 第1講義室 | 口腔顎顔面領域の神経系疾患、唾液腺疾患、血液疾患、出血性素因、代謝性疾患の口腔症状・症候群 | 口腔顎顔面領域の神経疾患、唾液腺疾患の診断と治療 血液疾患、出血性素因の診断と治療 代謝性疾患の口腔症状、口腔顎顔面領域に関連した症候群および疾患 | 樺沢 勇司, 青木 和広 | SBOs8-11 |
| 13-15 | 11/9 | 09:00-11:50 | 第1講義室 | 顎関節疾患、口腔外科と補綴治療、口腔外科手術・口腔がん患者への | 顎関節症の診断と治療、顎関節症以外の顎関節疾患の種類、診断と治療 口腔外科疾患術後患者に対 | 樺沢 勇司, 青木 和広 | SBOs12-14 |

| | | | | | | | |
|---|--|--|--|------|--|--|--|
| | | | | 口腔ケア | する補綴治療、補綴に関連した 口腔外科手術 口腔外科手術・口 腔がん患者への口腔ケア | | |
| 成績評価の方法 | | | | | | | |
| 講義中の演習、討論、授業態度、出席および筆記試験により総合的に評価する。 | | | | | | | |
| 準備学習などについての具体的な指示 | | | | | | | |
| 事前に資料の配布および e-learning 上へのアップロードがあった場合は、各自予習して授業に臨むこと。 | | | | | | | |
| 参考書 | | | | | | | |
| 口腔外科学／古森孝英 編著.:永末書店, 2017 | | | | | | | |
| 顎・口腔粘膜疾患口腔外科・歯科麻酔／全国歯科衛生士教育協議会 監修,山根源之 ほか著.:医歯薬出版, 2011 | | | | | | | |
| 口腔外科学・歯科麻酔学／池邊哲郎, 升井一郎, 吉増秀實, 伊賀弘起 編.:クインテッセンス出版, 2013 | | | | | | | |
| 最新口腔外科学 = Oral and Maxillofacial Surgery／榎本昭二, 道健一, 天笠光雄, 小村健 監修.:医歯薬出版, 2017 :医歯薬出版 | | | | | | | |
| 連絡先 | | | | | | | |
| 青木 和広: kazu.hpha@tmd.ac.jp | | | | | | | |
| 榊沢 勇司:kabasawa.ocsh@tmd.ac.jp | | | | | | | |
| オフィスアワー | | | | | | | |
| 青木 和広: 随時(必ず事前に連絡を入れること)2号館2階 217号室(口腔基礎工学分野) | | | | | | | |
| 榊沢 勇司:随時 可能ならば事前にメール等でご連絡下さい。1号館8階 健康支援口腔保健衛生学分野 教授室 | | | | | | | |

| 時間割番号 | 023515 | | | | | | |
|---|---|-------------|-------------------------|---------------------------|--|---------------------------|------------|
| 科目名 | 高齢者歯科学 | | | | | | |
| 担当教員 | 大木 明子, 鈴木 哲也, 古屋 純一, 戸原 玄, 今井 俊行, 尾澤 昌悟, 岩佐 康行, 小野 高裕 | | | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 3 | 単位数 | 2 | | |
| 主な講義場所 | | | | | | | |
| 口腔保健工学専攻 第1講義室 | | | | | | | |
| 学外施設 | | | | | | | |
| 授業の目的、概要等 | | | | | | | |
| 高齢者施設の見学をとおして施設利用者に対する理解を深め、高齢者をとりまく環境と口腔内状況、口腔内装置の実際を理解する。摂食・嚥下障害など口腔機能障害の病態と、その機能訓練・回復治療法について理解する。 | | | | | | | |
| 授業の到達目標 | | | | | | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者に特徴的な疾患とそれにより生じる問題点を説明し、介護保険などの公的支援について理解する。 2. インプラントを用いた顎顔面欠損に対する対応を説明する。 3. 高齢者施設を訪問し、利用者の口腔内と装着装置の実際を理解する。 4. 見学実習を通して歯科技工のニーズを把握する。 5. 摂食・嚥下障害の病因、病態、障害を説明する。 6. 摂食・嚥下障害に対するリハビリテーションの流れを説明する。 7. 摂食・嚥下障害に対する補綴的対応を説明する。 8. 誤嚥性肺炎と口腔ケア、口腔ケア用品について説明する。 9. 摂食・嚥下障害に対するチーム医療を説明する。 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1 | 11/7 | 15:00-15:50 | 第1講義室 | 体験学習ガイダンス | 高齢者施設体験学習ガイダンス | 大木 明子, 鈴木 哲也, 今井 俊行 | SBOs:1 |
| 2 | 11/13 | 16:00-16:50 | 第1講義室 | インプラントを用いた顎顔面補綴 | インプラントを用いた顎顔面補綴の症例 | 尾澤 昌悟 | SBOs:2 |
| 3-8 | 11/14 | 09:00-15:50 | その他 (口腔保健学科口腔保健工学専攻) | 高齢者関連見学実習 | 高齢者施設見学実習 | 今井 俊行, 鈴木 哲也, 大木 明子 | SBOs:1,3-6 |
| 9-14 | 11/15 | 09:00-15:50 | その他 (口腔保健学科口腔保健工学専攻) | 高齢者関連見学実習 | 高齢者施設見学実習 | 今井 俊行, 鈴木 哲也, 大木 明子 | SBOs:1,3-6 |
| 15-16 | 11/16 | 09:00-10:50 | 第1講義室 | 摂食・嚥下障害とは 摂食・嚥下のメカニズム | 摂食・嚥下障害の概要、背景、原因 摂食・嚥下の解剖・生理とその障害 | 古屋 純一 | SBOs:5 |
| 17-19 | 11/20 | 09:00-11:50 | 第1講義室 | 摂食・嚥下障害の評価法、治療の流れ、摂食・嚥下訓練 | 問診、観察、スクリーニングテスト、検査、摂食・嚥下リハビリテーション、摂食・嚥下訓練 | 岩佐 康行 | SBOs:5-9 |
| 20-21 | 12/11 | 09:00-10:50 | 第1講義室 | 脳血管疾患と摂食・嚥下障害 | 脳血管障害と摂食・嚥下リハビリテーション、在宅・施設における摂食・嚥下障害の対応 | 戸原 玄 | SBOs:5-9 |
| 22-24 | 12/19 | 09:00-11:50 | 第1講義室 | 口腔ケアと誤嚥性肺炎予防、誤嚥性肺炎への対応 | 口腔細菌と誤嚥性肺炎、誤嚥性肺炎の予防、誤嚥性肺炎の治療法、口腔ケア、口腔ケア用品 | 古屋 純一 | SBOs:8 |

| | | | | | | | |
|-------|------|-------------|-------|--------------|---|-------|------------|
| 25-26 | 1/15 | 09:00-10:50 | 第1講義室 | 栄養管理 | 食事の考え方、嚥下食、栄養管理のための食事演習、舌圧測定 | 大木 明子 | SBOs:5,6,9 |
| 27-28 | 1/22 | 09:00-10:50 | 第1講義室 | 口腔腫瘍と摂食・嚥下障害 | 口腔腫瘍と摂食・嚥下リハビリテーション、上顎顎義歯、軟口蓋挙上装置、舌接触補助床 | 小野 高裕 | SBOs:7 |
| 29-30 | 2/5 | 09:00-10:50 | 第1講義室 | チームアプローチ、まとめ | 摂食・嚥下障害に対するチームアプローチ、言語聴覚士との連携、栄養サポートチームや呼吸サポートチームにおける歯科の果たす役割、まとめ | 大木 明子 | SBOs:9 |

授業方法

講義、演習、実習

成績評価の方法

出席状況、授業態度を加味し、実習レポートおよび発表(10点)、筆記試験(90点)を総合的に評価し、合否を判定する。

準備学習などについての具体的な指示

人体の構造と機能で学習した頭頸部の解剖と生理について復習しておくこと。

事前に資料が WebClass にアップロードされた場合はよく読んでから講義に出席すること。基本的に配布資料は WebClass に事前にアップロードされ、当日配布されません。

試験の受験資格

3分の2以上の出席

参考書

摂食・嚥下リハビリテーション／才藤栄一、向井美恵 監修、鎌倉やよい、熊倉勇美、藤島一郎、山田好秋 編：医歯薬出版、2007

歯学生のための摂食・嚥下リハビリテーション学／向井美恵、山田好秋 編：医歯薬出版、2008

セミナーわかる！摂食・嚥下リハビリテーション／植松 宏／監修：医歯薬出版、2005

誤嚥性肺炎の予防と対処法／植松宏 監修：医歯薬出版、2005

栄養管理と障害へのアプローチ／植松宏 監修：医歯薬出版、2006

開業医のための摂食・嚥下機能改善と装置の作り方超入門：摂食機能療法&舌接触補助床(PAP)の基本がわかるQ&A 50／前田芳信、阪井丘芳 監著、小野高裕 編著、野原幹司、小谷泰子、堀一浩、山本雅章、中島純子、熊倉勇美 著：クインテッセンス出版、2013

摂食・嚥下リハビリテーション：動画でわかる／藤島 一郎／監修、柴本 勇／監修：中山書店、2004

口腔ケア基礎知識：口腔ケア4級・5級認定資格基準準拠／日本口腔ケア学会 編：永末書店、2008

顎顔面補綴の臨床：咀嚼・嚥下・発音の機能回復のために／大山喬史、谷口尚 編：医学情報社、2006

口腔・中咽頭がんのリハビリテーション：構音障害、摂食・嚥下障害／溝尻源太郎、熊倉勇美 編著：医歯薬出版、2000

高齢者歯科／森戸光彦 ほか著：医歯薬出版、2003

履修上の注意事項

事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。高齢者施設の見学を行うので、実習先指導者の指示に従って行動し、個人情報の保護に十分留意すること。見学に当たっては服装等の注意があるので、注意に従うこと。

| | | | | | | | |
|--|--|-------------|-------|----------------|---------------------------------|-------|-----------|
| 時間割番号 | 023516 | | | | | | |
| 科目名 | 口腔保健工学特論 | | | | | | |
| 担当教員 | 鈴木 哲也, 塩田 真, 青木 智彦, 飛田 滋, 樋口 鎮央, 小林 明子 | | | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 3 | 単位数 | 1 | | |
| 主な講義場所 2号館第2講義室 | | | | | | | |
| 授業の目的、概要等 口腔インプラント治療や最新の歯科補綴装置に接し、それを製作するための材料、機器、歯科技工技術について理解し、歯科技工士としての習得すべき技術と将来性を考える。 | | | | | | | |
| 授業の到達目標 1. 口腔インプラント治療の流れを知る 2. 口腔インプラントの上部構造の製作法を理解する 3. 補綴装置の審美性に関わる要因を列挙する。 4. 最新の歯科材料、歯科器材の動向を知る。 5. CDA/CAD への歯科技工士の関わり方について考える。 6. 各種 CAD/CAD 機器の相違を説明する。 7. 歯科技工士に求められる多職種連携に必要な事項を列挙する。 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1-2 | 5/14 | 15:00-16:50 | 第2講義室 | 口腔インプラント① | 口腔インプラント概論 | 塩田 真 | SBOs 1 |
| 3-4 | 5/21 | 15:00-16:50 | 第2講義室 | 口腔インプラント② | 補綴治療の流れ | 塩田 真 | SBOs 1 |
| 5-6 | 5/28 | 15:00-16:50 | 第2講義室 | 口腔インプラント③ | インプラント上部構造の製作 | 塩田 真 | SBOs 2 |
| 7 | 6/4 | 15:00-15:50 | 第2講義室 | 歯科材料、器機の動向 | 最近の歯科材料、器機の動向 | 鈴木 哲也 | SBOs 3, 4 |
| 8-9 | 6/18 | 15:00-16:50 | 第2講義室 | 補綴装置のデザイン | 機能性と審美性から考える補綴装置のデザイン | 青木 智彦 | SBOs 3, 4 |
| 10-11 | 6/28 | 15:00-16:50 | 第2講義室 | セラミック歯科技工技術の原則 | セラミックを用いた歯科技工技術の基本と応用 | 飛田 滋 | SBOs 3, 4 |
| 12-13 | 7/11 | 16:00-17:50 | 第2講義室 | CDA/CAD 最新技工技術 | 最新の CAD/CAD 機器の相違と将来性、レーザーシタリング | 樋口 鎮央 | SBOs 5, 6 |
| 14-15 | 7/19 | 15:00-16:50 | 第2講義室 | 多職種の連携 | 歯科技工士に求められる多職種連携に必要な事項 | 小林 明子 | SBOs 7 |
| 授業方法 講義、討論 | | | | | | | |
| 成績評価の方法 ・筆記試験(80点)に出席状況(10点)、授業態度(10点)を加味し総合評価する。 | | | | | | | |
| 準備学習などについての具体的な指示 事前に資料の配付、web-class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。 | | | | | | | |
| 参考書 CAD/CAM デンタルテクノロジー／日本歯科 CAD CAM 学会, 全国歯科技工士教育協議会 監修, 末瀬一彦, 宮崎隆 編: 医歯薬出版, 2012 | | | | | | | |
| 備考 担当教員のオフィシアワー 鈴木哲也 教授 メールにて日時を相談 suzuki.peoe@tmd.ac.jp 塩田 真 准教授 メールにて日時を相談 mshiota.impl@tmd.ac.jp | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--|----------------------------|-------------|----------------------------------|---------------------|---|-------------------------------------|----------|
| 時間割番号 | 023523 | | | | | | |
| 科目名 | 臨床咬合学 | | | | | | |
| 担当教員 | 鈴木 哲也, 大木 明子, 塩沢 真穂, 得本 佳代 | | | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 3 | | 単位数 | 1 | |
| 主な講義場所 | | | | | | | |
| 2号館第2講義室 口腔保健学科 相互実習室 (1号館 8階) 2号館第1実習室 | | | | | | | |
| 授業の目的、概要等 | | | | | | | |
| 咬合器装着模型を用いた学生相互実習により、下顎運動と歯の咬合接触を中心とした咀嚼と咬合のメカニズムを理解する。 | | | | | | | |
| 授業の到達目標 | | | | | | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 予備印象採得の方法を知る 2. 研究用模型を製作する 3. 半調節性咬合器の種類を説明する 4. フェイスボウトランスファーの方法を理解する 5. チェックバイトを説明する 6. 顎路調整を行う 7. 咬合接触面積を説明する 8. 舌圧の測定法と役割を説明する | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1-6 | 6/11 | 09:00-15:50 | 口腔保健 学科相互 実習室 第2講義 室 | 予備印象採得と研究用 模型 | アルジネート印象材による予備印 象採得、研究用模型の製作 歯科 用ユニットの使用法 | 大木 明子, 鈴木 哲也, 得本 佳代, 塩沢 真穂 | SBOs 1,2 |
| 7-9 | 6/25 | 09:00-11:50 | 口腔保健 学科相互 実習室 第1実習 室 | フェイスボウトランスフ ー(1) | 半調節性咬合器の種類と取り扱 い、フェイスボウトランスファー、 咬合器装着、チェックバイト法、顎 路調整 | 鈴木 哲也, 大木 明子, 得本 佳代, 塩沢 真穂 | SBOs 3-6 |
| 10-12 | 7/2 | 09:00-11:50 | 第1実習 室 | フェイスボウトランスフ ー(2) | 咬合器装着、チェックバイト法、顎 路調整 | 鈴木 哲也, 塩沢 真穂 | SBOs 3-6 |
| 13-15 | 7/23 | 09:00-11:50 | 第1実習 室 | その他の口腔機能の測 定機器 | 咬合接触面積の測定 舌圧の測 定 | 鈴木 哲也, 塩沢 真穂 | SBOs 7,8 |
| 授業方法 | | | | | | | |
| 講義、実習 | | | | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・毎回の提出作品(80点)を総合的に判断し、評価する。 ・出席状況(10点)、授業態度(10点)を評価に加味する。 | | | | | | | |
| 準備学習などについての具体的な指示 | | | | | | | |
| 事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。 | | | | | | | |
| 参考書 | | | | | | | |
| 顎口腔機能学 = Stomatognathic Function Science / 全国歯科技工士教育協議会 編集, 志賀博, 町博之, 小泉順一, 竹井利香 著, : 医歯 薬出版, 2016 必ず上達歯冠修復 / 萩原芳幸 著, : クインテッセンス出版, 2009 | | | | | | | |

備考

担当教員のオフィスアワー

鈴木哲也 教授 メールにて日時を相談 suzuki.peoe@tmd.ac.jp

大木明子 准教授 メールにて日時を相談 moki.mfoe@tmd.ac.jp

塩沢真穂 助教 メールにて日時を相談 m.shiozawa.abm@tmd.ac.jp

| | | | | | | | |
|---|--------------------|-------------|-------|---|--|-----------------|-----------|
| 時間割番号 | 023530 | | | | | | |
| 科目名 | 顎補綴工学 | | | | | | |
| 担当教員 | 大木 明子, 吉岡 文, 常國 剛史 | | | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 3 | 単位数 | 1 | | |
| 主な講義場所 | | | | | | | |
| 口腔保健工学専攻 第1講義室 | | | | | | | |
| 授業の目的、概要等 | | | | | | | |
| 顎口腔および顔面の欠損の病態と治療法、特に治療用装置の構造と製作法を理解する。 | | | | | | | |
| 授業の到達目標 | | | | | | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 顎顔面補綴の治療範囲、原因、分類を説明する。 上顎欠損症例の特徴と欠損の病態、治療法、治療用装置について説明する。 上顎欠損に用いられる補綴装置の構造と製作過程を説明する。 下顎欠損症例の特徴と欠損の病態、治療法、治療用装置について説明する。 舌欠損症例の特徴と欠損の病態、治療法、治療用装置について説明する。 顔面、体幹欠損症例の欠損の病態、材料、治療用装置について説明する。 外傷後の補綴と小口症、開口障害への対応について説明する。 外科治療補助装置について説明する。 放射線治療補助装置の種類と放射線治療法について説明する。 唇顎口蓋裂の病態と特徴、治療用装置について説明する。 言語治療補助装置と治療法を説明する。 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1-3 | 10/2 | 09:00-11:50 | 第1講義室 | 顎顔面補綴学とは、 上顎欠損と上顎顎義歯 1 | 定義、分類、歴史 上顎欠損の特徴、製作法、分類反転授業 | 大木 明子 | SBOs:1-3 |
| 4-6 | 10/16 | 09:00-11:50 | 第1講義室 | 上顎欠損と上顎顎義歯 2、 下顎欠損と舌欠損 | 上顎欠損の症例、下顎欠損、舌欠損の特徴、症例、舌圧・咀嚼検査 実習 | 大木 明子 | SBOs:2-5 |
| 7-9 | 10/23 | 09:00-11:50 | 第1講義室 | 顔面・体幹補綴 | 顔面補綴治療、体幹補綴、エプテーゼ材料、エプテーゼの製作法 顔面補綴の症例 | 大木 明子, 吉岡 文 | SBOs:6 |
| 10-12 | 10/30 | 09:00-11:50 | 第1講義室 | 外傷後の補綴、小口症、 開口障害の補綴、放射 線治療と補綴 | 顎顔面部外傷後特徴、小口症・開口障害の特徴、印象採得・技工の工夫について、口腔内頭頸部に対する放射線治療、放射線治療補助装置、放射線治療後の補綴 | 大木 明子 | SBOs:7-9 |
| 13-15 | 11/6 | 09:00-11:50 | 第1講義室 | 唇顎口蓋裂と補綴、言語 治療用補助装置、各種 補助装置、ラボにおける 顎顔面補綴 | 唇顎口蓋裂の特徴、チームアプローチと補綴、構音障害と言語治療用補助装置、まとめ 口腔腫瘍のリハビリテーション | 大木 明子, 常國 剛史 | SBOs:9-11 |
| 授業方法 | | | | | | | |
| 講義、クイズ方式小テスト、実習 | | | | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | | | |
| 出席状況、授業態度、小テストを加味し、筆記試験(100点)を総合的に評価し可否を判定する。 | | | | | | | |
| 準備学習などについての具体的な指示 | | | | | | | |
| 事前に WebClass に資料がアップロードされた場合は予習をしてから講義にのぞむこと。 1 回目の上顎欠損分類について、事前に WebClass にアップロードされている課題を行った上で講義にのぞむこと(反転授業)。講義中に小テストを行います。 | | | | | | | |
| 試験の受験資格 | | | | | | | |

3分の2以上の出席

参考書

顎顔面補綴の臨床：咀嚼・嚥下・発音の機能回復のために／大山喬史, 谷口尚 編：医学情報社, 2006

口唇裂口蓋裂の補綴治療／大山喬史 編著：医歯薬出版, 1997

口唇口蓋裂のチーム医療／高戸毅 監修, 須佐美隆史, 米原啓之 編：金原出版, 2005

構音障害の臨床：基礎知識と実践マニュアル／阿部雅子 著：金原出版, 2008

顎口腔外傷のチーム医療／高戸毅 監修, 米原啓之, 須佐美隆史 編：金原出版, 2005

口腔・中咽頭がんのリハビリテーション：構音障害, 摂食・嚥下障害／溝尻源太郎, 熊倉勇美 編著：医歯薬出版, 2000

履修上の注意事項

事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。

| 時間割番号 | 023531 | | | | | | |
|---|---------|-------------|-------------|--------------------|---|-------|----------|
| 科目名 | 顎補綴工学実習 | | | | | | |
| 担当教員 | 大木 明子 | | | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 3 | 単位数 | 2 | | |
| 主な講義場所 | | | | | | | |
| 口腔保健工学専攻 第3実習室、総合実習室、重合・鋳造室 | | | | | | | |
| 授業の目的、概要等 | | | | | | | |
| 顎口腔および顔面の欠損に適用される治療用装置の構造と製作法を理解する。 | | | | | | | |
| 授業の到達目標 | | | | | | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 上顎顎義歯の構造について説明する。 2. 栓塞部の製作法を理解して上顎顎義歯を製作する。 3. エピテーゼに用いられる材料について説明する。 4. 眼窩エピテーゼを製作する。 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1-4 | 10/2 | 13:00-16:50 | 第3実習室 総合実習室 | 顎補綴工学実習概説 個人トレー | 顎補綴工学実習内容説明 模型調整、概形線記入、ブロックアウト、リリース 常温重合レジン圧接、トリミング、柄 | 大木 明子 | SBOs:1,2 |
| 5-8 | 10/11 | 13:00-16:50 | 第3実習室 総合実習室 | 咬合床 | 作業用模型調整、設計、ブロックアウト、リリース、常温重合レジン圧接 | 大木 明子 | SBOs:1,2 |
| 9-12 | 10/16 | 13:00-16:50 | 第3実習室 総合実習室 | 咬合床 | トリミング、ワイヤークラスプ屈曲、クラスプ固定 | 大木 明子 | SBOs:1,2 |
| 13-16 | 10/18 | 13:00-16:50 | 第3実習室 総合実習室 | 咬合床、咬合器装着、設計 | 咬合採得、咬合器装着、設計 | 大木 明子 | SBOs:1,2 |
| 17-20 | 10/23 | 13:00-16:50 | 第3実習室 総合実習室 | 咬合床 | ワイヤークラスプ屈曲、クラスプ固定、ワックスリム追加 | 大木 明子 | SBOs:1,2 |
| 21-24 | 10/30 | 13:00-16:50 | 第3実習室 総合実習室 | 支台装置 | ワイヤークラスプ屈曲、ブロックアウト、リリース | 大木 明子 | SBOs:1,2 |
| 25-28 | 11/1 | 13:00-16:50 | 第3実習室 総合実習室 | 支台装置 | 複印象、耐火模型製作、支台装置ワックスパターン製作 | 大木 明子 | SBOs:1,2 |
| 29-32 | 11/6 | 13:00-16:50 | 第3実習室 総合実習室 | 支台装置 | 支台装置ワックスパターン製作、埋没、鋳造、研磨 | 大木 明子 | SBOs:1,2 |
| 33-35 | 11/8 | 13:00-15:50 | 第3実習室 総合実習室 | 支台装置、人工歯排列 | 研磨、支台装置付与、人工歯排列、歯肉形成 | 大木 明子 | SBOs:1,2 |
| 36-41 | 11/13 | 09:00-15:50 | 第3実習室 総合実習室 | 人工歯排列、埋没 | 歯肉形成、ろう義歯完成、埋没、流ろう | 大木 明子 | SBOs:1,2 |
| 42-44 | 11/20 | 13:00-15:50 | 第3実習室 総合実習室 | 欠損部修正 | 欠損部修正・石膏コア製作 | 大木 明子 | SBOs:1,2 |

| | | | | | | | |
|-------|-------|-------------|-------------|-----------------------|-----------------------|-------|----------|
| 45-47 | 11/22 | 13:00-15:50 | 第3実習室 総合実習室 | 重合 | レジン填入、重合 | 大木 明子 | SBOs:1,2 |
| 48-51 | 12/11 | 11:00-15:50 | 第3実習室 総合実習室 | 割り出し、咬合器再装着、咬合調整、形態修正 | 割り出し、咬合器再装着、人工歯咬合調整 | 大木 明子 | SBOs:1,2 |
| 52-54 | 12/13 | 13:00-15:50 | 第3実習室 総合実習室 | 研磨、完成 | 形態修正、研磨 | 大木 明子 | SBOs:1,2 |
| 55-60 | 12/18 | 09:00-15:50 | 第3実習室 総合実習室 | 完成 個人トレー | 形態修正、研磨 個人トレー製作 | 大木 明子 | SBOs:1-4 |
| 61-66 | 1/8 | 09:00-15:50 | 第3実習室 総合実習室 | 義眼 ワックスパターンの製作 | 義眼製作 エピテーゼワックスパターンの製作 | 大木 明子 | SBOs:3,4 |
| 67-69 | 1/10 | 13:00-15:50 | 第3実習室 総合実習室 | ワックスパターンの製作 | エピテーゼワックスパターンの製作 | 大木 明子 | SBOs:3,4 |
| 70-73 | 1/15 | 11:00-15:50 | 第3実習室 総合実習室 | ワックスパターンの製作 | エピテーゼワックスパターンの製作 | 大木 明子 | SBOs:3,4 |
| 74-76 | 1/17 | 13:00-15:50 | 第3実習室 総合実習室 | ワックスパターンの製作、埋没 | エピテーゼワックスパターンの製作、埋没 | 大木 明子 | SBOs:3,4 |
| 77-80 | 1/22 | 11:00-15:50 | 第3実習室 総合実習室 | 流ろう、内部彩色、シリコン重合 | 流ろう、内部彩色、シリコン填入、重合 | 大木 明子 | SBOs:3,4 |
| 81-86 | 1/29 | 09:00-15:50 | 第3実習室 総合実習室 | 内部彩色、シリコン重合、割り出し | 内部彩色、シリコン填入、重合、割り出し | 大木 明子 | SBOs:3,4 |
| 87-90 | 2/5 | 11:00-15:50 | 第3実習室 総合実習室 | 外部彩色、まつ毛付与、エピテーゼ完成 | 形態修正、外部彩色、まつ毛付与 | 大木 明子 | SBOs:3,4 |

授業方法

実習、反転授業

成績評価の方法

上顎個人トレー(10点)、上顎顎義歯の咬合床(5点)、ろう義歯(5点)、完成顎義歯(30点)、エピテーゼ用個人トレー(10点)、義眼(10点)、完成エピテーゼ(30点)について評価し、合計点数を成績とする。授業態度、出席状況を加味する。

準備学習などについての具体的な指示

実習書および WebClass の実習デモビデオを事前によく見て予習してから出席すること。

試験の受験資格

4分の3以上の出席

参考書

顎顔面補綴の臨床：咀嚼・嚥下・発音の機能回復のために／大山喬史、谷口尚 編：医学情報社、2006
 Maxillofacial Rehabilitation 3rd Edition／J. Beumer III, MT Maunick, SJ Esposito：Quintessence, 2011
 Fundamentals of Facial Prosthetics／R. E. McKinstry：ABI Professional Publications, 1995

履修上の注意事項

事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。実習デモビデオを必ず視聴してから授業に臨むこと。

備考

実習の初めにデモを行いません。各自デモビデオをあらかじめ視聴してから実習をしてください。
ステップごとにチェックを行います。

| | | | | | |
|--|-------------|------|---|-----|---|
| 時間割番号 | 023538 | | | | |
| 科目名 | 部分床義歯工学実習Ⅱ | | | | |
| 担当教員 | 安江 透, 沖本 祐真 | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 3 | 単位数 | 1 |
| 科目名: 部分床義歯工学実習Ⅱ 時間数: 45時間 授業形態: 実習、演習 | | | | | |
| 主な講義場所 | | | | | |
| 第3実習室、重合・鑄造室、総合実習室 | | | | | |
| 授業の目的、概要等 | | | | | |
| 部分的歯牙欠損患者の口腔機能回復のための理論と、各種構成要素に用いる材料の諸性質を理解、および補綴装置の構造力学的安定を考慮し、個々の臨床ケースに対応できる部分義歯製作のための技法および技術を身につける。 | | | | | |
| 授業の到達目標 | | | | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 構造力学的安定と、適合精度向上を考慮した設計をする。 2. 各支台歯に適切な維持力と維持装置を設計する。 3. 義歯の着脱方向を正確に設定して、的確にブロックアウトする。 4. 鑄造床製作上不要な部分は後の複印象の精度を考慮してブロックアウトする。 5. リリーフ部のワックス表面に必要な外形線を再描記する。 6. シリコーン印象材の理工学的特性および複印象システムの特徴を理解し、精密に印象 採得する。 7. シリコーンモールドに変形を伴うような外力を与えないよう留意しながら作業、保管する。 8. 複印象システムおよび耐火埋没材の理工学的特徴を理解し、精密な複模型を製作する。 9. 耐火模型を作業し易い適切な大きさにトリミングし、表面処理を行う。 10. 耐火模型へ傷を付けないように設計した外形線を再描記する。 11. 力学的安定を考慮し、構造設計を行う。 12. ワックスパターンは、厚み、デザインの変形を避け、切削、追加、加熱コントロールを行う。 13. フィニッシングラインは人工歯との位置、歯肉形成を考慮した形態にする。 14. 耐火模型からワックスが剥離しないように圧接、固定する。 15. 鑄造機の特徴を理解し、適切な位置、形状のスプルーイングを行う。 16. リン酸塩系埋没材の理工学的性質を理解し、気泡を混入しない埋没をする。 17. リン酸塩系埋没材の理工学的性質を理解し、適切な環境で焼却時まで保管する。 18. リン酸塩系埋没材の理工学的性質を理解し、的確な温度管理でリング焼却する。 19. 高周波鑄造機の特徴を理解し、欠陥のない鑄造体を製作する。 20. 外形線に沿って正確なワイヤークラスプを屈曲する。 21. 高速レーズの仕組みを理解し、鑄造体の加熱を避け安全にスプルーカットする。 22. 作業用模型への適合方法を理解し、的確なトリミングおよび研磨をする。 23. 各工程における研削材の性質を理解し、工程終了毎に表面荒さを確認しながら研磨をする。 24. ハンドピースの回転数、加重をコントロールし鑄造体の加熱を避けながら研磨する。 25. 使用金属の理工学的特性を理解して、それぞれの支台装置に合った維持力を調整する。 26. パラフィンワックスの理工学的特性を理解し、最適なろう堤を形成する。 27. 審美性に配慮して人工歯排列する。 28. 機能性に配慮して人工歯排列する。 29. 機能性および生体親和性に配慮して歯肉形成する。 30. パラフィンワックスを的確に操作し、滑らかな表面に仕上げる。 31. 流し込みレジンの特性を理解し、気泡を混入しないスプルーイングをする。 32. シリコーン印象材の理工学的特性を理解し、精密に印象採得する。 33. マスターモデルの状態を考慮して、的確な条件、温度管理で流口する。 34. 分離材の特性を理解し、必要な範囲に的確に塗布する。 35. 即時重合レジンの理工学的特性を理解し、適正な時間で完了するように注入する。 36. 適正な温度管理で加熱重合する。 | | | | | |

37. 重合体および作業用模型に必要な以上の外力を加えることなく、掘り出しする。
38. 義歯、維持装置を変形させることなく、作業用模型から取り外す。
39. 外形線に沿って的確に形態修正する。
40. 形態修正による切削傷を効率よく荒研磨する。
41. レーズ研磨の仕組みを理解し、効率よく艶出し研磨する。
42. バフを使用して鏡面研磨する。

授業計画

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|-------|------|-------------|-------------------|----------------------------------|--|------------|------------|
| 1-5 | 4/9 | 09:00-14:50 | 第3実習室 第4実習室 総合実習室 | 義歯の設計、サベイング、ブロックアウト・リリース、耐火模型の製作 | 支台装置の概略と構成要素、金属床外形線の記入、ブロックアウトおよびリリース、複印象採得、鑄造床製作術式の講義 | 安江 透 沖本 祐真 | SBOs:1-7 |
| 6-10 | 4/13 | 11:00-16:50 | 第3実習室 第4実習室 総合実習室 | 耐火模型の製作、ワックスアップ | 耐火模型材注入、耐火模型の表面処理、力学的構造設計、ワックスアップ | 安江 透 沖本 祐真 | SBOs:8-12 |
| 11-15 | 4/23 | 09:00-14:50 | 第3実習室 第4実習室 総合実習室 | ワックスアップ | 力学的構造設計、ワックスアップ | 安江 透 沖本 祐真 | SBOs:12-14 |
| 16-20 | 5/7 | 09:00-14:50 | 第3実習室 第4実習室 総合実習室 | 埋没 | スプルーイング、埋没 | 安江 透 沖本 祐真 | SBOs:15-17 |
| 21-25 | 5/14 | 09:00-14:50 | 第3実習室 第4実習室 総合実習室 | 鑄造、形態修正、研磨 | 鑄造、スプルーカット、形態修正、内面研磨 | 安江 透 沖本 祐真 | SBOs:17-24 |
| 26-30 | 5/21 | 09:00-14:50 | 第3実習室 第4実習室 総合実習室 | 研磨・適合 | クラスプの維持力調整、仕上げ研磨、作業用模型への適合 | 安江 透 沖本 祐真 | SBOs:23-25 |
| 31-35 | 5/28 | 09:00-14:50 | 第3実習室 第4実習室 総合実習室 | 人工歯排列、歯肉形成 | 臼歯部人工歯排列、歯肉形成 | 安江 透 沖本 祐真 | SBOs:26-30 |
| 36-40 | 6/4 | 09:00-14:50 | 第3実習室 第4実習室 総合実習室 | レジン重合、形態修正 | コア採得、流し込みレジン重合、咬合調整、形態修正 | 安江 透 沖本 祐真 | SBOs:31-39 |
| 41-45 | 6/18 | 09:00-14:50 | 第3実習室 | 研磨 | レジン研磨、完成 | 安江 透 沖本 祐真 | SBOs:40-42 |

| | | | | | | | |
|---|--|--|--------------------------|--|--|------|--|
| | | | 室 第4 実習室 総合実習 室 | | | 本 祐真 | |
| 授業方法 実習、演習 | | | | | | | |
| 成績評価の方法 ・各製作ステップにおいてチェックを行い、進捗状況を評価する。また採点項目を設定し、完成した製作物を評価する。 ・出席状況、授業態度を総合的に評価に加味する。 | | | | | | | |
| 準備学習などについての具体的な指示 実習予定表および実習書を事前に確認し、当日行う実習内容を把握しておく。 Web Class に資料がアップされているときには、事前に確認しておく。 | | | | | | | |
| 教科書 有床義歯技工学 = Dental technology for removable dentures / 全国歯科技工士教育協議会 編 鈴木哲也 ほか著、: 医歯薬出版, 2017 | | | | | | | |
| 参考書 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新1週間でマスターするキャストパーシャル / 川島哲 著、: 医歯薬出版, 2012 ・ T.K.M.キャストデンチャーのすべて : bio-mimetic cast denture / 川島哲 著、: 医歯薬出版, 2005 ・ 「デジタルサベヤーによるキャストクラスプの設計と製作」 野首孝祠・小野高裕・奥野善彦 著 デンタルエコー Vol.66 SHOFU.Inc. 京都 1984 ・ 「コバルトクロム合金を用いたキャストクラスプの合理的な製法」 野首孝祠・小野高裕・守光隆・奥野善彦著 デンタルエコー Vol.71 SHOFU.Inc. 京都 1986 ・ 「パーシャルデンチャーの設計・製作によりよい環境を求めて」 野首孝祠・安井栄・喜多誠一・奥野善彦 著 デンタルエコー Vol.89 SHOFU.Inc. 京都 1992 ・ 「合理的で確実なパーシャルデンチャーの製作方法」 池邊一典・野首孝祠 著 デンタルエコー Vol.109 SHOFU.Inc. 京都 1997 ・ 「金属床と構造設計進化論-軽くて薄くて壊れない金属床義歯の設計と製作」 古賀壮一 歯科技工 Vol.33 No.4 pp.409-433 医歯薬出版 東京 2005 ・ 「義歯に血の通うまで〜アルプス歯科の総義歯製作技法」 中込敏夫・向井道夫 著 サンバレー書房 2011 ・ 「Fundamentals of Esthetic Dental Technology」 歯科技工別冊 医歯薬出版 2009 ・ 「パーシャルデンチャー製作のための設計/構造」 歯科技工別冊 医歯薬出版 2000 | | | | | | | |
| 履修上の注意事項 事前に資料の配付、Web Class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。 | | | | | | | |
| 備考 授業担当教員 ・沖本祐真 ・安江 透 | | | | | | | |
| 連絡先 安江 透 yasue.fpoe@tmd.ac.jp | | | | | | | |
| オフィスアワー 安江 透 随時 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--|--------------------|-------------|-------|----------|--|----------------|----------|
| 時間割番号 | 023542 | | | | | | |
| 科目名 | 歯冠修復工学応用 | | | | | | |
| 担当教員 | 池田 正臣, 岡田 大蔵, 駒田 亘 | | | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 3 | | 単位数 | 1 | |
| 主な講義場所 | | | | | | | |
| 2号館第2講義室 | | | | | | | |
| 授業の目的、概要等 | | | | | | | |
| 各種の歯冠修復及び架工義歯に関する知識を修得する。 | | | | | | | |
| 授業の到達目標 | | | | | | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 生体と間接法による模型の咬合接触の違いを理解する。 2. ブリッジの構造と支台歯形成および印象について理解する。 3. 術前のテンポラリークラウンの調整について理解する。 4. 各種修復物の支台歯・窩洞形態を理解する。 5. 各種修復物のマージン形態を理解する。 6. ファイバーコアとメタルコアの違いを理解する。 7. 歯根破折の原因を説明する。 8. 硬質レジンの組成と歯科技工について理解する。 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1-2 | 4/10 | 09:00-10:50 | 第2講義室 | 間接法と生体 | 顎骨の歪みや歯の微小変位が間接法に与える影響 | 池田 正臣 岡田 大蔵 | SBOs 1 |
| 3-5 | 4/17 | 09:00-11:50 | 第2講義室 | ブリッジ | ブリッジの構造、支台歯形成と印象 | 池田 正臣 駒田 亘 | SBOs 2 |
| 6-7 | 4/24 | 09:00-10:50 | 第2講義室 | ブリッジ | 術前 Tek 調整、ブリッジの調整とセット | 駒田 亘, 池田 正臣 | SBOs 3 |
| 8-9 | 5/1 | 09:00-10:50 | 第2講義室 | 支台歯・窩洞形態 | 各種修復物の支台歯・窩洞形態 | 駒田 亘, 池田 正臣 | SBOs 4 |
| 10-11 | 5/8 | 14:00-15:50 | 第2講義室 | マージン形態 | 各種修復物のマージン形態 | 駒田 亘, 池田 正臣 | SBOs 5 |
| 12-13 | 5/15 | 14:00-15:50 | 第2講義室 | ファイバーコア | ファイバーコアの特徴、歯根破折 | 駒田 亘, 池田 正臣 | SBOs 6,7 |
| 14-15 | 5/22 | 09:00-10:50 | 第2講義室 | 硬質レジン | 硬質レジンの組成と歯科技工操作 硬質レジンの組成と歯科技工操作 光強度、距離と重合の関係評価実習 | 池田 正臣 | SBOs 8 |
| 成績評価の方法 | | | | | | | |
| ・出席状況(10点)、期末の客観試験、論述試験(80点)で総合的評価に加味する。 | | | | | | | |
| 準備学習などについての具体的な指示 | | | | | | | |
| 事前に資料の配付、web-class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。 | | | | | | | |
| 参考書 | | | | | | | |
| 歯冠修復技工学 = Dental Technology for Fixed Dental Prosthesis and Restorations / 全国歯科技工士教育協議会 編集[末瀬一彦][ほか] [著]: 医歯薬出版, 2017 | | | | | | | |
| クラウンブリッジ補綴学 / 矢谷博文, 三浦宏之, 細川隆司, 小川匠 編集: 医歯薬出版, 2014 | | | | | | | |
| 保存修復学 / 千田彰, 寺下正道, 寺中敏夫, 宮崎真至 編集: 医歯薬出版, 2013 | | | | | | | |
| 備考 | | | | | | | |
| 池田 正臣:メールにて面談の日程を調整すること ikedacsoe@tmd.ac.jp | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---|--------------|-------------|-----------------|---------------|--------------------------------------|-----------------|----------|
| 時間割番号 | 023543 | | | | | | |
| 科目名 | 歯冠修復工学応用演習 | | | | | | |
| 担当教員 | 上條 真吾, 池田 正臣 | | | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 3 | 単位数 | 1 | | |
| 科目名: 歯冠修復工学応用演習 時間数: 30 時間 必修 1 単位 授業形態: 演習 | | | | | | | |
| 主な講義場所 2 号館 4 階 第 3 実習室、総合実習室、重合鑄造室、硬質レジン実習室、CAD/CAM 実習室 2 号館 3 階 CAD/CAM 演習室 | | | | | | | |
| 授業の目的、概要等 各種の歯冠修復及び架工義歯に関する知識及び技術について修得する。 | | | | | | | |
| 授業の到達目標 1.ブリッジ模型の扱いを理解し、正確に模型を製作する。 2.ブリッジ模型の扱いを理解し、分割、トリミングする。 3.術前のテンポラリーブリッジ(Br-Tek)を製作する。 4.各種 CAD/CAM システムを体験する。 5.三次元積層造形を体験する。 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1-4 | 4/10 | 11:00-15:50 | 第3実習室 | 模型製作 | 歯冠修復用模型の製作 | 上條 真吾, 池田 正臣 | SBOs 1 |
| 5-8 | 4/11 | 13:00-16:50 | 第3実習室 | 模型製作 | 歯冠修復用模型の製作 | 上條 真吾, 池田 正臣 | SBOs 1 |
| 9-13 | 4/12 | 11:00-16:50 | 第3実習室 | 咬合器装着 | 咬合器装着、模型分割 歯型のマージトリミング | 上條 真吾, 池田 正臣 | SBOs 2 |
| 14-18 | 4/16 | 09:00-14:50 | 第3実習室 | ブリッジ Tek 製作 | ワックス処理、術前形成 | 上條 真吾, 池田 正臣 | SBOs 3 |
| 19-21 | 4/17 | 13:00-15:50 | 第3実習室 | ブリッジ Tek 完成 | 調整、研磨、完成 | 上條 真吾, 池田 正臣 | SBOs 3 |
| 22-24 | 7/9 | 09:00-11:50 | CAD/CA M 演習室 | CAD/CAM の基礎 1 | CAD/CAM 装置の基本操作(3、4 年合同授業)(屋根瓦形式) | 上條 真吾, 池田 正臣 | SBOs 4,5 |
| 25-27 | 7/10 | 13:00-15:50 | CAD/CA M 演習室 | CAD/CAM の基礎 2 | CAD/CAM 装置の基本操作(3、4 年合同授業)(屋根瓦形式) | 上條 真吾, 池田 正臣 | SBOs 4,5 |
| 28-30 | 7/17 | 13:00-15:50 | CAD/CA M 演習室 | CAD/CAM の基礎 3 | CAD/CAM 装置の基本操作(3、4 年合同授業)(屋根瓦形式) | 上條 真吾, 池田 正臣 | SBOs 4,5 |
| 授業方法 実習 | | | | | | | |
| 成績評価の方法 ・提出課題の評価(テンポラリーブリッジ 60 点、模型製作 40 点)、および出席状況、実習態度を総合的に評価する。 | | | | | | | |
| 準備学習などについての具体的な指示 ・事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。 | | | | | | | |
| 参考書 歯冠修復技工学／全国歯科技工士教育協議会 編末瀬一彦, 松村英雄, 丸茂義二, 雲野泰史, 下江幸司 著, 医歯薬出版, 2007 保存修復学 21／田上順次, 千田彰, 奈良陽一郎, 桃井保子 監修: 永末書店, 2011 クラウンブリッジ補綴学／川和忠治 [ほか]編: 医歯薬出版, 2009 接着ここが知りたい／日本接着歯学会 編: 口腔保健協会, 2008 | | | | | | | |
| 履修上の注意事項 | | | | | | | |

メールにて面談の日程を調整すること。

連絡先

上條 真吾 s-kamijoh.itoe@tmd.ac.jp

オフィスアワー

上條 真吾 メールにて面談の日程を調整すること

| 時間割番号 | 023544 | | | | | | |
|--|--------------|-------------|-------|--------------------|----------------------------|-----------------|----------|
| 科目名 | 歯冠修復工学応用実習 | | | | | | |
| 担当教員 | 上條 真吾, 池田 正臣 | | | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 3 | 単位数 | 2 | | |
| 科目名: 歯冠修復工学応用実習 時間数: 90 時間 必修 2 単位 授業形態: 実習 | | | | | | | |
| 主な講義場所 2号館4階 第3実習室、総合実習室、重合鑄造室、硬質レジン実習室 2号館3階 CAD/CAM 演習室 | | | | | | | |
| 授業の目的、概要等 各種の歯冠修復及び架工義歯に関する知識及び技術について修得する。 | | | | | | | |
| 授業の到達目標 1. 適合精度の高いワックスパターンを製作できる。 2. 歯列に合わせた歯冠外形回復ができる。 3. ポンティックの基底面形態を理解する。 4. ポンティックを窓開けする理由を理解する。 5. 単冠とブリッジのスプルーイング・鑄造の違いについて理解する。 6. 鑄造体を正確に適合させる。 7. 適切な辺縁形態、隣接面接触、咬合接触を付与する。 8. 細部にわたり鏡面研磨する。 9. ファイバーコアを製作できる。 10. 分割コアのワックスアップができる。 11. 分割コアを正確に適合させる。 12. 歯科用 CAD/CAM システムの一連の操作を実施する。 13. 硬質レジンを気泡なく築盛できる。 14. 硬質レジンを色調別に築盛できる。 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1-3 | 4/18 | 13:00-15:50 | 第3実習室 | ブリッジのワックスアップ1 | 支台歯のワックスアップ | 上條 真吾, 池田 正臣 | SBOs 1,2 |
| 4-7 | 4/19 | 11:00-15:50 | 第3実習室 | ブリッジのワックスアップ2 | 支台歯のワックスアップ | 上條 真吾, 池田 正臣 | SBOs 1,2 |
| 8-13 | 4/20 | 09:00-15:50 | 第3実習室 | ブリッジのワックスアップ3 | 支台歯のワックスアップ、ポンティックのワックスアップ | 上條 真吾, 池田 正臣 | SBOs 1-3 |
| 14-17 | 4/24 | 11:00-15:50 | 第3実習室 | ブリッジのワックスアップ4 | ポンティックの窓開け、ワックスパターンの連結 | 上條 真吾, 池田 正臣 | SBOs 1-4 |
| 18-20 | 4/25 | 09:00-11:50 | 第3実習室 | ブリッジのスプルーイング、埋没、鑄造 | スプルーイング、埋没、鑄造 | 上條 真吾, 池田 正臣 | SBOs 5 |
| 21-24 | 4/26 | 11:00-15:50 | 第3実習室 | メタルブリッジの調整1 | 適合確認、内面調整 | 上條 真吾, 池田 正臣 | SBOs 6 |
| 25-28 | 4/27 | 11:00-15:50 | 第3実習室 | メタルブリッジの調整2 | 隣接接触点調整、咬合調整 荒研磨、窓開け部辺縁調整 | 上條 真吾, 池田 正臣 | SBOs 7 |
| 29-32 | 5/1 | 11:00-11:50 | 第3実習室 | メタルブリッジの研磨 | 最終研磨、完成 | 上條 真吾, 池田 正臣 | SBOs 8 |
| 33-36 | 5/2 | 09:00-13:50 | 第3実習室 | ファイバーコアの築盛1 | ワックスアップ(歯冠外形回復)、シリコーンコア採得 | 上條 真吾, 池田 正臣 | SBOs 2,9 |
| 37-38 | 5/8 | 11:00-13:50 | 第3実習室 | ファイバーコアの築盛2 | レジン築盛、形態修正、完成 | 上條 真吾, 池田 正臣 | SBOs 9 |

| | | | | | | | |
|-------|------|-------------|-------|-------------------|--|-------------|------------|
| 39-42 | 5/9 | 11:00-11:50 | 第3実習室 | 分割コアのワックスアップ1 | ポスト部の調整、ワックスアップ | 上條 真吾、池田 正臣 | SBOs 9 |
| 43-46 | 5/10 | 11:00-15:50 | 第3実習室 | 分割コアのワックスアップ2 | コアのワックスアップ | 上條 真吾、池田 正臣 | SBOs 1,10 |
| 47-50 | 5/11 | 11:00-15:50 | 第3実習室 | 分割コアの鑄造 | スプルーイング、埋没、鑄造 | 上條 真吾、池田 正臣 | SBOs 1,10 |
| 51-52 | 5/15 | 11:00-13:50 | 第3実習室 | 分割コアの調整 | 適合確認、内面調整、完成 | 上條 真吾、池田 正臣 | SBOs 5,10 |
| 53-56 | 5/16 | 11:00-11:50 | 第3実習室 | 臼歯部前装冠1 (CAD/CAM) | 模型のスキャニングとCAD デザイン(カットバック) | 上條 真吾、池田 正臣 | SBOs 12 |
| 57-60 | 5/17 | 11:00-15:50 | 第3実習室 | 臼歯部前装冠2 (CAD/CAM) | CAM 操作とWAX ディスクのミリング加工 | 上條 真吾、池田 正臣 | SBOs 12 |
| 61-66 | 5/18 | 09:00-15:50 | 第3実習室 | スプルーイング、埋没 | マージン修正、リテンションビーズ付与、スプルーイング、埋没 | 上條 真吾、池田 正臣 | SBOs1,5 |
| 67-70 | 5/22 | 11:00-15:50 | 第3実習室 | 鑄造、メタルコーピングの調整 | 鑄造、メタルコーピング内面調整、マージン調整 | 上條 真吾、池田 正臣 | SBOs 6 |
| 71-76 | 5/23 | 09:00-15:50 | 第3実習室 | 硬質レジンの築盛1 | アルミナサンドブラスト処理、メタルプライマー処理、オパーク塗布、サービカルの築盛 | 上條 真吾、池田 正臣 | SBOs 13,14 |
| 77-79 | 5/24 | 13:00-15:50 | 第3実習室 | 硬質レジンの築盛2 | デンチンの築盛 | 上條 真吾、池田 正臣 | SBOs 13,14 |
| 80-83 | 5/25 | 11:00-15:50 | 第3実習室 | 硬質レジンの築盛3 | デンチン、エナメルの築盛 | 上條 真吾、池田 正臣 | SBOs 13,14 |
| 84-87 | 5/29 | 09:00-13:50 | 第3実習室 | 臼歯部前装冠の調整、研磨 | 隣接接触点・咬合調整、研磨、完成 | 上條 真吾、池田 正臣 | SBOs 7,8 |
| 88-90 | 5/30 | 13:00-15:50 | 第3実習室 | 実習課題提出 | 製作法の復習、実習課題の提出 | 上條 真吾、池田 正臣 | SBOs 1-14 |

授業方法

実習

成績評価の方法

・提出課題の評価(ブリッジ 40 点、ファイバーコア 10 点、分割コア 20 点、前装冠 30 点)、および出席状況、実習態度を総合的に評価する。

準備学習などについての具体的な指示

・事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

参考書

歯冠修復技工学／歯冠修復技工学／全国歯科技工士教育協議会 編 末瀬一彦、松村英雄、五味治徳、著：医歯薬出版、2017；医歯薬出版、2007

保存修復学 21／田上順次、千田彰、奈良陽一郎、桃井保子 監修：永末書店、2011

クラウンブリッジ補綴学／川和忠治 [ほか]編：医歯薬出版、2009

接着ここが知りたい／日本接着歯学会 編：口腔保健協会、2008

履修上の注意事項

メールにて面談の日程を調整すること。

連絡先

上條 真吾 s-kamijoh.itoe@tmd.ac.jp

オフィスアワー

上條 真吾メールにて面談の日程を調整すること

| | | | | | | | |
|--|---------------------------|-------------|----------------------|------------------|------------------------------|------------|------------|
| 時間割番号 | 023545 | | | | | | |
| 科目名 | 審美修復工学 | | | | | | |
| 担当教員 | 安江 透, 高橋 英和, 三浦 宏之, 上條 真吾 | | | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 3 | 単位数 | 1 | | |
| 科目名: 審美修復工学 時間数: 15時間 授業形態: 講義 | | | | | | | |
| 主な講義場所 第2講義室 | | | | | | | |
| 授業の目的、概要等 歯科用陶材を応用した審美修復物、とりわけ金属冠およびジルコニアに焼き付けて製作する陶材焼付金属冠およびオールセラミックの理工学的特徴ならびにその製作法を習得する。 | | | | | | | |
| 授業の到達目標 1. 陶材焼付金属冠の臨床的意義を説明する。 2. 陶材焼付金属冠の適応症を説明する。 3. 陶材と金属の接合について説明する。 4. 陶材焼付金属冠の製作法を説明する。 5. 陶材焼付を応用したブリッジの製作法を説明する。 6. 陶材を応用した修復物の特徴ならびに製作法を説明する。 7. 歯科用 CAD/CAM を用いたスキャニングの特徴ならびに注意点を説明する。 8. ジルコニアの理工学的特徴を説明する。 9. ジルコニアを臨床応用する際の注意点について説明する。 10. 歯科用陶材の種類および特徴について説明する。 11. 歯科用陶材を用いた各種築盛方法を説明する。 12. 天然歯の光学的特徴について説明する。 13. シェードガイドの取り扱い方について説明する。 14. シェードマッチングの方法ならびに使用する機器に関する注意点を説明する。 15. 歯科に応用されている CAD/CAM システムの特徴を説明する。 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1-2 | 6/1 | 09:00-10:50 | 第2講義室 | 陶材焼付金属冠の基礎 | 陶材焼付金属冠の特徴、製作法 | 安江 透 | SBOs:1-4 |
| 3-4 | 6/5 | 09:00-10:50 | 第2講義室 | 陶材焼付金属冠の製作 | 単冠、ブリッジの製作法、臨床例 | 安江 透 | SBOs:4,5 |
| 5 | 6/6 | 13:00-13:50 | 第2講義室 | 陶材を応用した補綴物 | インプラント上部構造、オールセラミック | 上條 真吾 | SBOs:6 |
| 6-7 | 6/14 | 09:00-10:50 | 第2講義室 CAD/CAM 演習室 | CAD/CAM の操作 | DentalWings でのダブルスキャニング演習 | 安江 透 上條 真吾 | SBOs:7 |
| 8-9 | 6/19 | 09:00-10:50 | 第2講義室 | ジルコニア修復 | 歯科用ジルコニアの基本的性質と臨床応用 | 三浦 宏之 | SBOs:8,9 |
| 10-11 | 6/28 | 09:00-10:50 | 第2講義室 | 歯科用陶材 | 歯科用陶材の種類、築盛用陶材の種類と操作法 | 高橋 英和 | SBOs:10,11 |
| 12-13 | 7/3 | 09:00-10:50 | 第2講義室 第1 実習室 | シェードテイキング (反転授業) | 天然歯の光学的要素、シェードの基礎、シェードテイキング法 | 安江 透 | SBOs:12-14 |
| 14-15 | 7/4 | 09:00-10:50 | 第2講義室 | 歯科用 CAD/CAM | 各種歯科用 CAD/CAM の特徴 | 安江 透 | SBOs:15 |

| |
|---|
| 授業方法 講義、演習、討論 |
| 成績評価の方法 出席状況、授業態度、筆記試験を総合的に評価し可否を判定する。 |
| 準備学習などについての具体的な指示 Web Class に資料がアップされているときには、事前に確認しておく。 |
| 試験の受験資格 講義時間の 2/3 以上の出席 |
| 教科書 最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学／全国歯科技工士教育協議会：医歯薬出版，2017 |
| 参考書 CAD/CAM デンタルテクノロジー／日本歯科 CAD CAM 学会，全国歯科技工士教育協議会 監修，末瀬一彦，宮崎隆 編：医歯薬出版，2012 メタルセラミックス築盛の基礎：カラーアトラス／山本真 著：クインテッセンス出版，1989 ザ・メタルセラミックス：カラーアトラス／山本真 著：クインテッセンス出版，1982 ・「最新 CAD/CAM レストレーション」三浦宏之・宮崎隆 編 補綴臨床別冊 医歯薬出版 2008 ・「メタルフリーレストレーションと CAD/CAM 技工の最前線」細川隆司・山下恒彦 編 歯科技工別冊 医歯薬出版 2007 |
| 履修上の注意事項 事前に資料の配布、WEB Class へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。 |
| 備考 授業担当教員 ・高橋英和 ・三浦宏之 ・安江 透 ・上條真吾 |
| 連絡先 安江 透 yasue.fpoe@tmd.ac.jp |
| オフィスアワー 安江 透 随時 |

| | | | | | | | |
|---|------------|-------------|----------|-------------------|----------------------------|------|----------|
| 時間割番号 | 023546 | | | | | | |
| 科目名 | 審美修復工学実習 | | | | | | |
| 担当教員 | 安江 透 上條 真吾 | | | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 3 | 単位数 | 3 | | |
| 科目名: 審美修復工学実習 時間数: 135時間 授業形態: 実習、演習 | | | | | | | |
| 主な講義場所 第3実習室、CAD/CAM 演習室、ポーセレン室、総合実習室 | | | | | | | |
| 授業の目的、概要等 ・審美歯冠修復に用いられるメタルセラミックスのフレームおよびオールセラミックスのジルコニアフレームが備えるべき工学的条件および形態的特徴を理解し、後に行う陶材築盛作業を踏まえたフレーム形態を製作できる技術を習得する。 ・歯科医療に多く取り入れられてきているCAD/CAMシステムの概要と利点を把握し、歯冠修復や咬合学の基礎知識を基に、自らCADシステムを設定して修復物をデザイン・製作する基本的な技術力を養う。 ・歯科用セラミック材料の特性と築盛原理、色調表現と築盛技術の理論を理解した上で、歯冠用セラミック材料の築盛操作工程を実習し、色調表現法や形態修正による天然歯の質感表現の実際を習得する。 | | | | | | | |
| 授業の到達目標 1. 審美歯冠修復に関する概要を説明する。 2. 高精度な歯冠修復物を製作するための精密な作業用模型が製作する。 3. 正確なマージンラインを明瞭に形成する。 4. 審美的および機能的に考慮された歯冠回復をする。 5. サポートエリアおよび陶材築盛量を考慮したフィニッシングライン設計および窓開けをする。 6. 変形がない精密なワックスパターンを採得する。 7. リン酸塩系埋没材の特徴を理解し、気泡を混入しない埋没操作をする。 8. 工学的欠陥がないメタルフレームを铸造する。 9. CAD を使用し理想的なフレームワークを設計する。 10. ジルコニアコーピングを製作する際の歯科用 CAM の特性を説明する。 11. 温度管理に留意してジルコニアフレームをシンタリングする。 12. 铸造体を支台歯模型に正確に適合させる。 13. サポートエリアを十分確保した陶材築盛面を調整および形成する。 14. ジルコニアフレームを支台歯模型に正確に適合させる。 15. 歯科用陶材の特性を説明する。 16. 歯科用陶材の特徴を理解し、それぞれ製品別の色調再現法を説明し実践する。 17. シェードガイドの仕組みを理解して、口腔内で正確なシェードマッチングをする。 18. 光学式測色器の特徴を理解して、口腔内測色をする。 19. 修復物製作に重要な資料となる口腔内写真を撮影する。 20. 複数の陶材を混ぜることなく、且つ緻密に積層する。 21. 陶材を盛り上げることによって歯冠形態を再現する。 22. ステインによる色調表現法を理解し、説明実践する。 23. 天然歯の複雑な色調を正確に判断し、多種類の陶材を的確に積層することにより色調再現する。 24. 天然歯の持つ質感を、形態修正および艶出しによって表現する。 25. 歯科用 CAD を使用し、咬合に配慮した理想的な歯冠形態を設計する。 26. 歯科用 CAM を用いて、レジンディスクを切削加工する。 27. 支台歯への適合を確認し、隣接および咬合接触点を調整して研磨する。 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1-5 | 5/31 | 11:00-16:50 | 第3実習室 第4 | 審美修復実習の概要、作業用模型製作 | 実習内容説明、トリミング、ダウエルピン植立、2次石膏 | 安江 透 | SBOs:1,2 |

| | | | | | | | |
|-------|------|-------------|-------------------------------|---------------|---|----------------|----------|
| | | | 実習室 総合実習室 | | | | |
| 6-9 | 6/1 | 11:00-15:50 | 第3実習室 第4実習室 総合実習室 | 作業用模型製作、咬合器装着 | 3次石膏、スプリットキャスト付与、歯型分割、咬合器装着、マージントリミング | 安江 透 | SBOs:2,3 |
| 10-13 | 6/5 | 11:00-15:50 | 第3実習室 第4実習室 総合実習室 | ワックスアップ | 上顎中切歯 メタルセラミックス (歯冠回復) | 安江 透 | SBOs:4 |
| 14-15 | 6/6 | 14:00-15:50 | 第3実習室 第4実習室 総合実習室 | ワックスアップ | 下顎大臼歯 オールセラミックス (歯冠回復9) | 安江 透 | SBOs:4 |
| 16-21 | 6/7 | 09:00-15:50 | 第3実習室 第4実習室 総合実習室 | ワックスアップ | 上顎中切歯 メタルセラミックス (カットバック)、下顎大臼歯 オールセラミックス (カットバック) | 安江 透 | SBOs:5,6 |
| 22-25 | 6/8 | 11:00-15:50 | 第3実習室 第4実習室 総合実習室 | ワックスアップ | 上顎中切歯 メタルセラミックス (カットバック)、下顎大臼歯 オールセラミックス (カットバック) | 安江 透 | SBOs:5,6 |
| 26-31 | 6/12 | 09:00-15:50 | 第3実習室 第4実習室 総合実習室 | 埋没 | 上顎中切歯 メタルセラミックス (埋没) | 安江 透 | SBOs:7 |
| 32-37 | 6/13 | 09:00-15:50 | CAD/CAM 演習室 第3実習室 第4実習室 総合実習室 | CAD 操作、鋳造 | DentalWing 概要説明、下顎大臼歯 フレームデザイン 上顎中切歯 メタルセラミックス (鋳造) | 安江 透 上 條 真吾 | SBOs:8,9 |
| 38-41 | 6/14 | 11:00-15:50 | CAD/CAM 演習室 第3実習室 第4実習室 総合実習室 | CAD 操作 | 下顎大臼歯フレームデザイン | 安江 透 上 條 真吾 | SBOs:9 |
| 42-45 | 6/19 | 11:00-15:50 | 第3実習室 第4実習室 | CAM 操作 | ジルコニアディスク切削 | 安江 透 上 條 真吾 | SBOs:10 |

| | | | | | | | |
|-------|------|-------------|--|---------------------|--|------|---------------|
| | | | 実習室 総合実習 室 | | | | |
| 46-51 | 6/20 | 09:00-15:50 | 第3実習 室 第4 実習室 総合実習 室 | ジルコニア焼結 フレ ーム調整 | ジルコニアフレームシンタリング 上顎中切歯 メタルフレーム調 整 | 安江 透 | SBOs:11-13 |
| 52-57 | 6/21 | 09:00-15:50 | 第3実習 室 第4 実習室 総合実習 室 | フレーム調整 | 上顎中切歯 メタルフレーム調 整 | 安江 透 | SBOs:12,13 |
| 58-62 | 6/22 | 10:00-15:50 | 第3実習 室 第4 実習室 総合実習 室 | フレーム調整、CAM 見 学 | 上顎中切歯 メタルフレーム調 整 Aadva(GC R&D Center) | 安江 透 | SBOs:10,12,13 |
| 63-68 | 6/26 | 09:00-15:50 | 第3実習 室 第4 実習室 総合実習 室 | フレーム調整 | 下顎大臼歯 ジルコニアフレ ーム調整 | 安江 透 | SBOs:13,14 |
| 69-74 | 6/27 | 09:00-15:50 | CAD/CA M 演習 室 第3 実習室 第4実習 室 総合 実習室 | CAD/CAM 冠 | 下顎大臼歯支台歯スキャニング、 設計、STL データ作成 | 安江 透 | SBOs:25 |
| 75-77 | 6/28 | 11:00-14:50 | 第3実習 室 第4 実習室 総合実習 室 | CAD/CAM 冠 | CAM 加工 | 安江 透 | SBOs:26 |
| 78-83 | 6/29 | 09:00-15:50 | 第3実習 室 第4 実習室 総合実習 室 | CAD/CAM 冠 | 調整、研磨 | 安江 透 | SBOs:27 |
| 84-87 | 7/3 | 11:00-15:50 | 第3実習 室 第4 実習室 総合実習 室 | シェードマッチング、口 腔内撮影 | シェードガイド、クリスタルアイ、 口腔内カメラ撮影 | 安江 透 | SBOs:17-19 |
| 88-91 | 7/4 | 11:00-15:50 | 第3実習 室 第4 実習室 総合実習 | 陶材築盛 | パウダーの種類、水分コントロー ル、コンデンス | 安江 透 | SBOs:15,16 |

| | | | | | | | |
|----------------|------|-------------|-------------------|----------|-------------------------------------|------|---------------|
| | | | 室 | | | | |
| 92-96 | 7/5 | 09:00-14:50 | 第3実習室 第4実習室 総合実習室 | 陶材築盛 | 築盛練習 前歯部 | 安江 透 | SBOs:20-22 |
| 97-100 | 7/6 | 11:00-15:50 | 第3実習室 第4実習室 総合実習室 | 陶材築盛 | 築盛練習 臼歯部 | 安江 透 | SBOs:20-22 |
| 101-106 | 7/11 | 09:00-15:50 | 第3実習室 第4実習室 総合実習室 | 陶材築盛 | 色調表現練習 | 安江 透 | SBOs:20,21,23 |
| 107-111 | 7/12 | 09:00-14:50 | 第3実習室 第4実習室 総合実習室 | 陶材築盛・焼成 | 上顎中切歯 メタルセラミックス AAA (内部ステイン法) 築盛・焼成 | 安江 透 | SBOs:20-22 |
| 112-115 | 7/13 | 11:00-15:50 | 第3実習室 第4実習室 総合実習室 | 陶材築盛・焼成 | 上顎中切歯 メタルセラミックス AAA (内部ステイン法) 築盛・焼成 | 安江 透 | SBOs:20-22 |
| 116-121 | 7/18 | 09:00-15:50 | 第3実習室 第4実習室 総合実習室 | 陶材築盛・焼成 | 下顎大臼歯 オールセラミックス ヴィンテージ ZR 築盛・焼成 | 安江 透 | SBOs:20,21,23 |
| 122-126 | 7/19 | 09:00-14:50 | 第3実習室 第4実習室 総合実習室 | 陶材築盛・焼成 | 下顎大臼歯 オールセラミックス ヴィンテージ ZR 築盛・焼成 | 安江 透 | SBOs:20,21,23 |
| 127-132 | 7/20 | 09:00-15:50 | 第3実習室 第4実習室 総合実習室 | 形態修正 | 上顎中切歯、下顎大臼歯の形態修正 | 安江 透 | SBOs:24 |
| 133-135 | 7/24 | 13:00-15:50 | 第3実習室 第4実習室 総合実習室 | 形態修正、艶出し | 形態修正、ステイン、グレーズ、機械研磨 | 安江 透 | SBOs:24 |
| 授業方法 | | | | | | | |
| 実習、演習 | | | | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | | | |

| |
|---|
| <p>製作作品、出席状況、実習態度により総括的評価を行う。</p> |
| <p>準備学習などについての具体的な指示 実習予定表および実習書を事前に確認し、当日行う実習内容を把握しておく。 Web Class に資料がアップされているときには、事前に確認しておく。</p> |
| <p>教科書 最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学／全国歯科技工士教育協議会 編：医歯薬出版，2017</p> |
| <p>参考書 CAD/CAM デンタルテクノロジー／日本歯科 CAD CAM 学会，全国歯科技工士教育協議会 監修，末瀬一彦，宮崎隆 編：医歯薬出版，2012 メタルセラミックス築盛の基礎：カラーアトラス／山本真 著：クインテッセンス出版，1989 ザ・メタルセラミックス：カラーアトラス／山本真 著：クインテッセンス出版，1982 ・「最新 CAD/CAM レストレーション」三浦宏之・宮崎 隆 編 補綴臨床別冊 医歯薬出版 2008 ・「メタルフリーレストレーションと CAD/CAM 技工の最前線」細川隆司・山下恒彦 編 歯科技工別冊 医歯薬出版 2007</p> |
| <p>履修上の注意事項 事前に資料の配付、Web Class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。</p> |
| <p>備考 授業担当教員 ・安江 透 ・上條真吾</p> |
| <p>連絡先 安江 透 yasue.fpo@tmd.ac.jp</p> |
| <p>オフィスアワー 安江 透 随時</p> |

| | | | | | | | |
|--|-------------------|-------------|-------------------|------------|---|------------|----------|
| 時間割番号 | 023548 | | | | | | |
| 科目名 | インプラント工学実習 | | | | | | |
| 担当教員 | 安江 透, 上條 真吾, 林 政利 | | | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 3 | 単位数 | 1 | | |
| 科目名: インプラント工学実習 時間数: 45時間 授業形態: 実習、演習 | | | | | | | |
| 主な講義場所 第3実習室、第4実習室、CAD/CAM 演習室、ポーセレン室、総合実習室 | | | | | | | |
| 授業の目的、概要等 歯科用 CAD/CAM システムを応用してインプラントアバットメントおよび上部構造の設計製作を行うことにより、インプラント治療の基礎および生体親和性に優れた修復物を製作する基本的な技術力を養う。また、インプラントシステムに数多くある技工パーツの、それぞれの使用目的と使用法および材料特性を理解する。 | | | | | | | |
| 授業の到達目標 1. インプラントの埋入手術を擬似体験する。 2. インプラント用個人トレーの特徴を説明する。 3. インプラント作業用模型の製作方法を説明する。 4. インプラント修復物製作に必要な高精度の作業用模型を製作する。 5. インプラント修復物に与えるべき咬合関係を説明する。 6. インプラント修復物に与えるべき歯冠形態を再現する。 7. 上部構造体の形態を考慮したアバットメントを設計する。 8. サポートエリアおよび陶材築盛量を考慮したフィニッシングライン設計および窓開けをする。 9. 歯科用 CAD システムを用いて、ダブルスキャンによるコーピングを設計する。 10. 歯科用 CAM を用いて、ジルコニアコーピングを切削加工する。 11. 専用ファースを用いて、ジルコニアコーピングのシンタリングを行う。 12. ジルコニアを加工する際の切削用ポイントを適切に選択し使用する。 13. ジルコニアコーピングをカスタムアバットメントに精密に調整適合させる。 14. サポートエリアを十分確保した陶材築盛面を調整および形成する。 15. 修復物の最終歯冠形態をイメージして、陶材を築盛する。 16. 異なる種類の陶材を混ぜあうことなく積層する。 17. 陶材の特徴を理解して、目標とする色調を表現する。 18. 隣接面コンタクト調整および咬合調整を行い歯列模型に正確に適合させる。 19. インプラント上部構造に与えるべき歯冠形態を形態修正で表現する。 20. 生体親和性を考慮した表面性状を艶出し操作によって与える。 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1-6 | 6/15 | 09:00-15:50 | 第3実習室 第4実習室 総合実習室 | インプラントの埋入 | 模型によるインプラント埋入術式の体験、オープントレーの製作、印象採得、石膏注入 | 安江 透 上條 真吾 | SBOs:1,2 |
| 7-10 | 6/25 | 13:00-16:50 | 第3実習室 第4実習室 総合実習室 | 作業用模型製作 | シリコン印象への石膏注入、ダウエルピン植立、二次石膏・三次石膏操作 | 安江 透 林 政利 | SBOs:3,4 |
| 11-14 | 7/2 | 13:00-16:50 | 第3実習室 第4実習室 | 咬合器装着、歯冠回復 | 作業用模型調整、咬合器装着、歯型分割、歯冠回復 | 安江 透 林 政利 | SBOs:5,6 |

| | | | | | | | |
|-------------------------------------|-------|-------------|--------------------------------|---------------|------------------------------------|-------------|------------|
| | | | 総合実習室 | | | | |
| 15-18 | 7/9 | 13:00-16:50 | 第3実習室 第4実習室 総合実習室 | カスタムアバットメント形成 | カスタムアバットメント形状の完成 | 安江 透 林 政利 | SBOs:7 |
| 19-22 | 7/23 | 13:00-16:50 | 第3実習室 第4実習室 総合実習室 | 上部構造体フレーム形成 | ジルコニアアバットメント上での歯冠回復、窓開け | 安江 透 林 政利 | SBOs:5,6,8 |
| 23-26 | 10/1 | 13:00-16:50 | CAD/CA M 演習室 第3実習室 第4実習室 総合実習室 | CAD 操作、CAM 操作 | DentalWings システムによるスキヤニング、ディスク削り出し | 安江 透 上 條 真吾 | SBOs:9,10 |
| 27-30 | 10/15 | 13:00-16:50 | 第3実習室 第4実習室 総合実習室 | ジルコニア焼成 | シンタリング | 安江 透 | SBOs:11 |
| 31-34 | 10/22 | 13:00-16:50 | 第3実習室 第4実習室 総合実習室 | ジルコニアフレーム調整 | ジルコニアアバットメントへの適合確認・調整、フレーム形状の調整・研磨 | 安江 透 | SBOs:12-14 |
| 35-38 | 10/29 | 13:00-16:50 | 第3実習室 第4実習室 総合実習室 | 陶材築盛 | イニシャル築盛(単色築盛法) | 安江 透 | SBOs:15-17 |
| 39-41 | 11/5 | 13:00-15:50 | 第3実習室 第4実習室 総合実習室 | 陶材築盛 | イニシャル築盛(単色築盛法) | 安江 透 | SBOs:15-17 |
| 42-45 | 11/12 | 13:00-16:50 | 第3実習室 第4実習室 総合実習室 | 形態修正、艶出し・研磨 | 形態修正、ステイニング、グレーズ、機械研磨 | 安江 透 | SBOs:18-20 |
| 授業方法 | | | | | | | |
| 実習、演習 | | | | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | | | |
| 出席状況、授業態度、レポート、筆記試験を総合的に評価し可否を判定する。 | | | | | | | |
| 準備学習などについての具体的な指示 | | | | | | | |

実習予定表および実習書を事前に確認し、当日行う実習内容を把握しておくこと。

WebClass に資料がアップされたときは、事前に確認しておくこと。

教科書

最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学／全国歯科技工士教育協議会 編：医歯薬出版, 2017

参考書

インプラント歯学の実際／Ashok Sethi・Thomas Kaus 著 瀬戸 皖一・佐藤 淳一訳：クインテッセンス出版, 2006

CAD/CAM デンタルテクノロジー／日本歯科 CAD CAM 学会, 全国歯科技工士教育協議会 監修,末瀬一彦, 宮崎隆 編：医歯薬出版, 2012

メタルセラミックス築盛の基礎：カラーアトラス／山本真 著：クインテッセンス出版, 1989

ザ・メタルセラミックス：カラーアトラス／山本真 著：クインテッセンス出版, 1982

・歯科技工別冊「インプラントの技工」市川哲雄・渡邊文彦 編 医歯薬出版 2004

・歯科技工別冊「メタルフリーレストレーションとCAD/CAM 技工の最前線」細川隆司・山下恒彦 編 医歯薬出版 2007

履修上の注意事項

事前に資料の配布、Web Class へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。

備考

授業担当教員

- ・安江 透
- ・上條真吾
- ・林 政利

連絡先

安江 透 yasue.fpo@tmd.ac.jp

オフィスアワー

安江 透 随時

| | | | | | | | |
|---|------------------------------|-------------|-------|-----------------------------------|--|------------------|---------------|
| 時間割番号 | 023549 | | | | | | |
| 科目名 | 小児歯科学 | | | | | | |
| 担当教員 | 青木 和広, 宮新 美智世, 上原 智己, 土橋 なつみ | | | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 3 | 単位数 | 2 | | |
| 科目名:小児歯科学 時間数:30 時間 授業形態:講義、実習 | | | | | | | |
| 主な講義場所 第1 講義室、第3 実習室 | | | | | | | |
| 授業の目的、概要等 小児の心身の成長・発達をふまえ、発達期口腔保健の意義および発達期口腔疾患の特徴、予防・治療法を理解する。 | | | | | | | |
| 授業の到達目標 1. 歯の萌出と乳歯・幼若永久歯の特徴を理解する。 2. 歯列咬合と顎・顔面頭蓋の成長過程を理解する。 3. 小児歯科疾患と治療の概要を理解する。 4. 小児歯科治療に用いる咬合誘導を概説できる。 5. 出生から青少年期までの心身の成長・発達を理解する。 6. 小児の情緒と社会性の発達を理解する。 7. 摂食機能と言語機能の発達過程を理解する。 8. 小児期歯科におけるチーム医療を理解する。 9. 歯科治療時の小児の行動への対応法を理解する。 10. 小児に特有な心身の問題とその解決策を概説できる。 11. 小児歯科治療に用いる装置の目的および構成を説明する。 12. 小児歯科治療に用いる装置の製作法を理解し、製作する。 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1-3 | 10/3 | 09:00-11:50 | 第1講義室 | 発達期の歯と口腔 小児の成長発育、機能の発達 | 歯の萌出と乳歯・幼若永久歯の特徴 成長発育の特徴、身体の発育とその評価、器官の発育、運動・感覚機能の発達、情緒・社会性の発達、保険の意義と目的 | 宮新 美智世 | SBOs:1,5,6,10 |
| 4-7 | 10/3 | 13:00-16:50 | 第3実習室 | 小児の治療、小児の歯冠修復 咬合誘導装置 保険装置 | 治療の目的、乳歯う蝕の特徴とその処置 歯冠修復の特徴と種類(成形修復・インレー・被覆冠) | 上原 智己、 土橋 なつみ | SBOs:11,12 |
| 8-9 | 10/10 | 13:00-14:50 | 第1講義室 | 小児の歯科疾患 小児の生理的特徴、摂食機能と言語機能の発達 | 小児歯科疾患の特徴 原始反射、哺乳に関する反射、小児の生理的特徴、栄養摂取と摂食機能の発達、哺乳期、離乳期、幼児期、児童・生徒期、発達期の食の問題、言語の基礎知識、言語の発達、発達期にみられる構音障害 | 宮新 美智世 | SBOs:3,7,10 |
| 10-11 | 10/10 | 15:00-16:50 | 第3実習室 | 保険装置・スペースリゲーター 保険装置・スペースリゲーターの製作法 | 保険装置の種類と分類(ディスタルシュー、舌側弧線型保険装置、クラウンループ)、スペースリゲーターの目的、装置の構成 クラウンループ・スペースリゲーター装置の製作法 | 上原 智己、 土橋 なつみ | SBOs:11,12 |
| 12 | 10/17 | 11:00-11:50 | 第1講義室 | 小児歯科の症例 顎・顔面頭蓋、歯列・咬合の発 | 小児歯科の症例紹介(酸蝕、外傷を含む)、治療における歯科医療 | 宮新 美智世 | SBOs:2,3,8 |

| | | | | | | | |
|-------|-------|-------------|-------|-----------------------------------|--|-----------------|------------|
| | | | | 育 | 従事者の役割・チーム医療 頭蓋の構成要素と相対的発育、頭蓋発育の機構と評価法、側頭部エックス線規格写真計測による日本人小児の咬合評価、歯列発育の評価法、咬合誘導の概念と装置の種類 | | |
| 13-16 | 10/17 | 13:00-16:50 | 第3実習室 | 保険装置の製作 | クラウンループ・可撤保険装置の作製 | 上原 智己 土橋 なつみ | SBOs:11,12 |
| 17-19 | 10/24 | 09:00-11:50 | 第1講義室 | 小児歯科治療と咬合誘導装置 発達期の口腔疾患と歯科的対応 | 小児歯科治療に用いられる咬合誘導1 乳歯・幼若永久歯の特徴、歯・歯数・萌出の異常、乳歯う蝕の特徴、小児う蝕の実態、重症乳歯う蝕の為害作用、青少年期のう蝕、発達期の歯周疾患、不正咬合、口腔軟組織疾患の原因と予防、不良習癖、咬合誘導 | 宮新 美智世 | SBOs:34 |
| 20-23 | 10/24 | 13:00-16:50 | 第3実習室 | 動的咬合誘導 動的咬合誘導装置の製作法 | 動的咬合誘導の意義と目的、口腔習癖除去装置の目的・構造・製作法動的咬合誘導装置の製作法 | 上原 智己 土橋 なつみ | SBOs:11,12 |
| 24-26 | 10/31 | 09:00-11:50 | 第1講義室 | 小児歯科治療と咬合誘導装置 小児歯科治療時の小児行動への対応法 | 小児歯科治療に用いられる咬合誘導装置2 小児の歯科診療時の留意事項(診療環境の整備、小児歯科治療三角、コミュニケーションの確立)、小児の情動の特徴、行動変容法、強制的な行動抑制 | 宮新 美智世 | SBOs:3,4,9 |
| 27-30 | 10/31 | 13:00-16:50 | 第3実習室 | 動的咬合誘導床 動的咬合誘導床の製作 咬合誘導装置に用いる維持装置 | 誘導床の目的、装置の構造、誘導床の製作 咬合誘導装置に用いる維持装置の種類と製作法 | 上原 智己 土橋 なつみ | SBOs:11,12 |

成績評価の方法

筆記試験および授業態度、実習における作品評価により総合的に評価する。

準備学習などについての具体的な指示

事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

参考書

小児歯科技工学 = Dental Technology for Pedodontic Appliances / 全国歯科技工士教育協議会 編集、内川喜盛、白瀬敏臣、尾崎順男 著：医歯薬出版、2017

最新歯科衛生士教本「小児歯科」 / 全国歯科衛生士教育協議会監修 松井恭平ほか編：医歯薬出版、2009

備考

本科目は、各回とも、1限は口腔保健工学専攻のみ、2～3限は口腔保健衛生学専攻2年生と合同で授業を実施する。

連絡先

青木 和広: kazu.hpha@tmd.ac.jp

宮新 美智世: miyashin.dohs@tmd.ac.jp

オフィスアワー

青木 和広: 随時(必ず事前に連絡を入れること)2号館2階 217号室(口腔基礎工学分野)

宮新 美智世: 随時(かならず事前に連絡をすること)

歯科棟北11階小児歯科分野長室 電話 03-5803-5540

| | | | | | | | |
|---|-----------------------------------|-------------|-------|---|---|------------------|---------|
| 時間割番号 | 023550 | | | | | | |
| 科目名 | 発育口腔工学 | | | | | | |
| 担当教員 | 青木 和広, 上條 真吾, 篠塚 修, 上原 智己, 土橋 なつみ | | | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 3 | 単位数 | 1 | | |
| 科目名:発育口腔工学 時間数:15時間 必修1単位 授業形態:講義、実習 | | | | | | | |
| 主な講義場所 2号館2階 第1講義室、2号館4階 第3実習室、障がい者施設 | | | | | | | |
| 授業の目的、概要等 障害者口腔保健センターの見学を通して、患者の口腔内状況、治療内容と口腔内装置の実際を理解する。 | | | | | | | |
| 授業の到達目標 1. 障害者施設訪問に際する心がまえを理解する。 2. 障害者施設で利用者のプログラムに参加し、障害者理解を深めるとともに、利用者の口腔状況と口腔内装置の実際を理解する。 3. 見学実習を通して歯科技工のニーズを把握する。 4. 小児歯科治療に用いる装置の目的および構成を説明する。 5. 小児歯科治療に用いる装置の製作法を理解し、製作する。 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1-2 | 10/1 | 10:00-11:50 | 第1講義室 | 障害者歯科学概論 | 施設見学実習に備えて | 篠塚 修 | SBOs1 |
| 3-10 | 10/9 | 09:00-17:50 | 第1講義室 | 障がい者施設実習 | 障がい者施設見学実習 | 上條 真吾, 青木 和広 | SBOs1-3 |
| 11-13 | 10/10 | 09:00-11:50 | 第3実習室 | 小児歯科学実習 小児の治療、小児の歯冠修復 咬合誘導装置 保険装置 | 治療の目的、乳歯う蝕の特徴とその処置 歯冠修復の特徴と種類 (成形修復・インレー・被覆冠) 咬合誘導の概念と装置の種類(保険装置、スペースリグーナー、口腔習癖除去装置) 保険の意義と目的 | 上原 智己, 土橋 なつみ | SBOs4,5 |
| 14-15 | 10/17 | 09:00-10:50 | 第3実習室 | 小児歯科学実習 保険装置・スペースリグーナー 保険装置・スペースリグーナーの製作法 | 保険装置の種類と分類(ディスタルシュー、舌側弧線型保険装置、クラウンループ)、スペースリグーナーの目的、装置の構成 クラウンループ・スペースリグーナー装置の製作法 | 上原 智己, 土橋 なつみ | SBOs4,5 |
| 成績評価の方法 12月21日の発表内容(50点)およびレポート評価(50点)に加え、日頃の出席状況、授業や実習における態度を加味して総合的に評価する。 | | | | | | | |
| 準備学習などについての具体的な指示 事前に資料の配布、e-learningへのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。 | | | | | | | |
| 参考書 障害者歯科/全国歯科衛生士教育協議会 監修/向井美恵 ほか 著:医歯薬出版、2013 スペシャルニーズデンティストリー-障害者歯科/日本障害者歯科学会 編:医歯薬出版、2009 | | | | | | | |
| 履修上の注意事項 見学実習発表会は、12月21日(金)の2年生特別研修報告会後に行う予定。 | | | | | | | |
| 連絡先 青木 和広: kazu.hpha@tmd.ac.jp 篠塚 修: o.shinozuka.dpd@tmd.ac.jp | | | | | | | |

上條 真吾:s-kamijoh.itoe@tmd.ac.jp

オフィスアワー

青木 和広: 随時(必ず事前に連絡を入れること)2号館2階 217号室(口腔基礎工学分野)

篠塚 修: オフィスアワーは特に定めませんが、事前に連絡してから訪問すること。

10号館3階障害者歯科学分野准教授室

上條 真吾: メールにて面談の日程を調整すること

| | | | | | | | |
|---|--------------|-------------|--------------|-------------------------------------|--|-------|----------|
| 時間割番号 | 023551 | | | | | | |
| 科目名 | 矯正歯科工学 | | | | | | |
| 担当教員 | 青木 和広, 松本 芳郎 | | | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 3 | 単位数 | 3 | | |
| 科目名: 矯正歯科工学 時間数: 45 時間 授業形態: 講義、実習 | | | | | | | |
| 主な講義場所 第1 講義室、第3 実習室 | | | | | | | |
| 授業の目的、概要等 顎顔面頭蓋の成長発育ならびに不正咬合の原因・診断・治療について理解し、矯正歯科治療に必要な装置製作に関する知識と基本的技能を修得する。 | | | | | | | |
| 授業の到達目標 1. 顎顔面の成長発育と正常な歯列咬合の状態を理解する。 2. 不正咬合の分類・種類・原因とその影響を理解する。 3. 矯正歯科の診断・治療法を概説する。 4. 矯正歯科装置の必要条件・分類・種類と使用法を説明する。 5. 矯正歯科装置の製作法を理解する。 6. 歯科矯正治療におけるチーム医療を理解する。 7. 矯正歯科装置の必要条件・分類・種類と使用法を説明する。 8. 矯正歯科装置の製作法を理解する。 9. 歯科矯正治療におけるチーム医療を理解する。 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1-3 | 10/15 | 09:00-11:50 | 第1講義室 | 矯正歯科工学序論 成長発育 正常咬合と不正咬合 | 歯科矯正学の歩み、不正咬合による障害と矯正歯科治療の意義、矯正歯科治療における矯正歯科技工の意義 成長発育概論、顎顔面頭蓋の成長発育、歯列・咬合の成長発育 正常咬合、不正咬合とその分類 | 松本 芳郎 | SBOs:1-6 |
| 4-6 | 10/22 | 09:00-11:50 | 第1講義室 | 不正咬合の原因・予防と生物学的背景 矯正歯科治療の進め方 | 不正咬合の原因と予防、矯正力に伴う生体反応 矯正歯科治療の流れと歯科技工の関わり、形態分析・機能分析 矯正用口腔模型、口腔内写真、顔面規格写真、各種X線写真、頭部X線規格写真、各種機能検査と分析、 | 松本 芳郎 | SBOs:2,3 |
| 7-9 | 10/29 | 09:00-11:50 | 第1講義室 第3 実習室 | 矯正装置の必要条件と分類 矯正用口腔模型の製作法 矯正用口腔模型の製作 | 矯正装置の必要条件、矯正装置の分類 矯正用口腔模型(平行模型・顎態模型・セットアップモデル) 印象採得、石膏注入(模型、セットアップ、保定装置) | 松本 芳郎 | SBOs:4-6 |
| 10-12 | 11/5 | 09:00-11:50 | 第1講義室 第3 実習室 | 矯正技工用器具と材料 歯科技工の基本的な手技 1 | 矯正技工用器具と材料 ワイヤーベンディング | 松本 芳郎 | SBOs:4,5 |
| 13-15 | 11/12 | 09:00-11:50 | 第1講義室 第3 実習室 | 各種固定式矯正装置の使用法、製作法 矯正技工の基本的な手技 2、舌 | 舌側弧線装置、顎間固定装置、リップバンパー、ナンスのホールディングアーチ、側方拡大装置 自 | 松本 芳郎 | SBOs:5,6 |

| | | | | | | | |
|-------|-------|-------------|-------------|----------------------------------|--|-------|----------|
| | | | | 側弧線装置(リンガルアーチ)の製作1 | 在ろう着、ST ロック維持管ろう着 | | |
| 16-18 | 11/19 | 09:00-11:50 | 第1講義室 第3実習室 | 舌側弧線装置の製作2 | ST ロック維持管ろう着、ST ロック脚部屈曲 | 松本 芳郎 | SBOs:5 |
| 19-21 | 12/10 | 09:00-11:50 | 第1講義室 第3実習室 | 舌側弧線装置の製作3 | ST ロック脚部屈曲、主線屈曲、ろう着 | 松本 芳郎 | SBOs:5 |
| 22-24 | 12/17 | 09:00-11:50 | 第1講義室 第3実習室 | 各種床矯正装置、保定装置の使用法、製作法 保定装置の製作1 | 咬合拳上板、咬合斜面板、スライディングプレート、ホーレーの保定装置、トゥースポジショナー、ラップアラウンドリテーナー、犬歯間リテーナー、FSWリテーナー ワイヤー屈曲 | 松本 芳郎 | SBOs:5 |
| 25-27 | 1/7 | 09:00-11:50 | 第1講義室 第3実習室 | 保定装置の製作2 | ワイヤー屈曲・ろう着、即重レジン重合 | 松本 芳郎 | SBOs:5 |
| 28-33 | 1/21 | 09:00-15:50 | 第1講義室 第3実習室 | 保定装置の製作3 | 即重レジン重合、研磨 | 松本 芳郎 | SBOs:5 |
| 34-39 | 1/28 | 09:00-15:50 | 第1講義室 第3実習室 | 各種機能的装置の使用法、製作法、構成咬合器装着、顎間誘導線屈曲 | アクチバートル、バイオネーター、ビムラーのアダプター、フレンケルの装置他 | 松本 芳郎 | SBOs:7,8 |
| 40-45 | 2/4 | 09:00-15:50 | 第1講義室 第3実習室 | FKO(アクチバートル)の製作、まとめ | 構成咬合器装着 誘導線屈曲、ワックス床形成、即重レジン重合、研磨 矯正歯科工学のまとめ | 松本 芳郎 | SBOs:7-9 |

成績評価の方法

筆記試験および授業態度、実習の製作作品および授業態度により総合的評価を行う。

準備学習などについての具体的な指示

事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

講義時間の 2/3 以上の出席、実習は 4 分の 3 の出席が単位取得の最低条件である。

参考書

矯正歯科技工学 = Dental Technology for Orthodontic Appliances / 全国歯科技工士教育協議会 編集 後藤尚昭, 宇都宮宏充, 横山和良 著.: 医歯薬出版, 2017

歯科技工士のための実践矯正装置製作法 / 尾崎順男, 宇都宮宏充, 茂原宏美, 後藤尚昭 著.: クインテッセンス出版, 2007

チェアサイド・ラボサイドの新矯正装置ビジュアルガイド : 患者さんに渡せる装置の説明リーフレット付 / 後藤滋巳 編者代表.: 医歯薬出版, 2015

矯正歯科技工・小児歯科技工 : 歯科技工学実習トレーニング / 関西北陸地区歯科技工士学校連絡協議会 編.: 医歯薬出版, 2011

最新歯科矯正アトラス / 井上直彦・鈴木祥井著.: 医歯薬出版, 1984

最新歯科矯正アトラス臨床編 I / 井上直彦著.: 医歯薬出版, 1982

歯科矯正学 / 相馬邦道, 飯田順一郎, 山本照子, 葛西一貴, 後藤滋巳 編.: 医歯薬出版, 2008

Contemporary Orthodontics / 5th Ed., W. R. Proffit 他著.: ELSEVIER MOSBY, 2013

連絡先

青木 和広: kazu.hpha@tmd.ac.jp

松本 芳郎: y.matsumoto.orts@tmd.ac.jp

オフィスアワー

青木 和広: 随時(必ず事前に連絡を入れること)2号館2階 217号室(口腔基礎工学分野)

松本 芳郎: 随時

| | | | | | | | |
|--|---------------------------|-------------|-------|-------------------------------------|-------------------------|--------------------------------|--------------|
| 時間割番号 | 023552 | | | | | | |
| 科目名 | 再建工学包括臨床実習 I | | | | | | |
| 担当教員 | 上條 真吾, 鈴木 哲也, 安江 透, 池田 正臣 | | | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 3 | 単位数 | 4 | | |
| 科目名:再建工学包括臨床実習 I 時間数:180時間 必修4単位 授業形態:実習 | | | | | | | |
| 主な講義場所 2号館4階 第3実習室、総合実習室、重合鑄造室、歯学部附属病院外来 | | | | | | | |
| 授業の目的、概要等 歯科医療チームの一員として診療参加型臨床実習を円滑に実践、遂行するための準備段階として必要な基本的態度・知識・技能を習得する。 | | | | | | | |
| 授業の到達目標 1. 医療人としての倫理観を身につける。 2. 多職種との連携に必要な事項を列挙する。 3. 臨床模型による歯科技工操作の留意点を説明する。 4. 臨床実習に必要なとなる基本的歯科技工技術を確認にする。 5. 歯学部附属病院における各診療科の特徴を理解する。 6. 製作上に必要な情報を取得し、整理する。 7. 症例に応じた補綴デザインを選択する。 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1-6 | 10/4 | 09:00-15:50 | 第3実習室 | 再建工学包括臨床実習 Phase I オリエンテーション 白衣式 | オリエンテーション、白衣式 | 池田 正臣 安江 透 上 條 真吾, 鈴木 哲也 | SBOs:1-3 |
| 7-9 | 10/11 | 09:00-11:50 | 第3実習室 | 再建工学包括臨床実習 Phase I | 臨床実習に必要なとなる基本的歯科技工技術の確認 | 上條 真吾, 安江 透 池 田 正臣 | SBOs:3,4,6,7 |
| 10-12 | 10/18 | 09:00-11:50 | 第3実習室 | 再建工学包括臨床実習 Phase I | 臨床実習に必要なとなる基本的歯科技工技術の確認 | 上條 真吾, 安江 透 池 田 正臣 | SBOs:3,4,6,7 |
| 13-14 | 10/25 | 09:00-10:50 | 第3実習室 | 再建工学包括臨床実習 Phase I | 臨床実習に必要なとなる基本的歯科技工技術の確認 | 上條 真吾, 安江 透 池 田 正臣 | SBOs:3,4,6,7 |
| 15-17 | 11/1 | 09:00-11:50 | 第3実習室 | 再建工学包括臨床実習 Phase I | 臨床実習に必要なとなる基本的歯科技工技術の確認 | 上條 真吾, 安江 透 池 田 正臣 | SBOs:3,4,6,7 |
| 18-22 | 11/7 | 09:00-14:50 | 第3実習室 | 再建工学包括臨床実習 Phase I | 臨床実習に必要なとなる基本的歯科技工技術の確認 | 上條 真吾, 安江 透 池 田 正臣 | SBOs:3,4,6,7 |
| 23-25 | 11/8 | 09:00-11:50 | 第3実習室 | 再建工学包括臨床実習 Phase I | 臨床実習に必要なとなる基本的歯科技工技術の確認 | 安江 透 池 田 正臣 上 條 真吾 | SBOs:3,4,6,7 |
| 26 | 11/16 | 11:00-11:50 | 第3実習室 | 再建工学包括臨床実習 Phase I | 臨床実習に必要なとなる基本的歯科技工技術の確認 | 安江 透 池 田 正臣 上 條 真吾 | SBOs:3,4,6,7 |
| 27-30 | 11/19 | 13:00-16:50 | 第3実習室 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習に必要なとなる基本的歯科技工技術の確認 | 安江 透 池 | SBOs:3,4,6,7 |

| | | | | | | | |
|-------|-------|-------------|-----------|------------------------|--------------------------|-----------------------------------|------------------------|
| | | | 室 | Phase I | 技工技術の確認 | 田 正臣 上 條 真吾 | |
| 31-37 | 11/21 | 09:00-16:50 | 第3実習 室 | 再建工学包括臨床実習 Phase I | 臨床実習に必要な基本的歯科 技工技術の確認 | 安江 透 池 田 正臣 上 條 真吾 | SBOs:3,4,6,7 |
| 38-40 | 11/22 | 09:00-11:50 | 第3実習 室 | 再建工学包括臨床実習 Phase I | 臨床実習に必要な基本的歯科 技工技術の確認 | 安江 透 池 田 正臣 上 條 真吾 | SBOs:3,4,6,7 |
| 41-45 | 11/26 | 09:00-14:50 | 第3実習 室 | 再建工学包括臨床実習 Phase II | 歯学部附属病院の各診療科での 臨床実習 | 池田 正臣 安江 透 上 條 真吾 鈴 木 哲也 | SBOs:1-5 各科 ローテーション |
| 46-50 | 11/27 | 09:00-14:50 | 第3実習 室 | 再建工学包括臨床実習 Phase II | 歯学部附属病院の各診療科での 臨床実習 | 池田 正臣 安江 透 上 條 真吾 鈴 木 哲也 | SBOs:1-5 各科 ローテーション |
| 51-55 | 11/28 | 09:00-14:50 | 第3実習 室 | 再建工学包括臨床実習 Phase II | 歯学部附属病院の各診療科での 臨床実習 | 池田 正臣 安江 透 上 條 真吾 鈴 木 哲也 | SBOs:1-5 各科 ローテーション |
| 56-60 | 11/29 | 09:00-14:50 | 第3実習 室 | 再建工学包括臨床実習 Phase II | 歯学部附属病院の各診療科での 臨床実習 | 池田 正臣 安江 透 上 條 真吾 鈴 木 哲也 | SBOs:1-5 各科 ローテーション |
| 61-65 | 11/30 | 09:00-14:50 | 第3実習 室 | 再建工学包括臨床実習 Phase II | 歯学部附属病院の各診療科での 臨床実習 | 池田 正臣 安江 透 上 條 真吾 鈴 木 哲也 | SBOs:1-5 各科 ローテーション |
| 66-70 | 12/3 | 09:00-14:50 | 第3実習 室 | 再建工学包括臨床実習 Phase II | 歯学部附属病院の各診療科での 臨床実習 | 池田 正臣 安江 透 上 條 真吾 鈴 木 哲也 | SBOs:1-5 各科 ローテーション |
| 71-75 | 12/4 | 09:00-14:50 | 第3実習 室 | 再建工学包括臨床実習 Phase II | 歯学部附属病院の各診療科での 臨床実習 | 池田 正臣 安江 透 上 條 真吾 鈴 木 哲也 | SBOs:1-5 各科 ローテーション |
| 76-80 | 12/5 | 09:00-14:50 | 第3実習 室 | 再建工学包括臨床実習 Phase II | 歯学部附属病院の各診療科での 臨床実習 | 池田 正臣 安江 透 上 條 真吾 鈴 木 哲也 | SBOs:1-5 各科 ローテーション |
| 81-85 | 12/6 | 09:00-14:50 | 第3実習 室 | 再建工学包括臨床実習 Phase II | 歯学部附属病院の各診療科での 臨床実習 | 池田 正臣 安江 透 上 條 真吾 鈴 木 哲也 | SBOs:1-5 各科 ローテーション |
| 86-90 | 12/7 | 09:00-14:50 | 第3実習 室 | 再建工学包括臨床実習 Phase II | 歯学部附属病院の各診療科での 臨床実習 | 池田 正臣 安江 透 上 條 真吾 鈴 木 哲也 | SBOs:1-5 各科 ローテーション |
| 91-97 | 12/12 | 09:00-16:50 | 第3実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床模型を使った歯科技工技術 | 上條 真吾 | SBOs:3,4,6,7 |

| | | | | | | | |
|-------------|-------|-------------|-----------|----------------------|-----------------------|--------------------------|--------------|
| | | | 室 | PhaseⅢ | の習得 | 安江 透 池 田 正臣 | |
| 98-10 0 | 12/13 | 09:00-11:50 | 第3実習 室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ | 臨床模型を使った歯科技工技術 の習得 | 上條 真吾, 安江 透 池 田 正臣 | SBOs:3,4,6,7 |
| 101-1 04 | 12/17 | 13:00-16:50 | 第3実習 室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ | 臨床模型を使った歯科技工技術 の習得 | 上條 真吾, 安江 透 池 田 正臣 | SBOs:3,4,6,7 |
| 105-1 07 | 12/19 | 13:00-15:50 | 第3実習 室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ | 臨床模型を使った歯科技工技術 の習得 | 上條 真吾, 安江 透 池 田 正臣 | SBOs:3,4,6,7 |
| 108-1 10 | 1/7 | 13:00-15:50 | 第3実習 室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ | 臨床模型を使った歯科技工技術 の習得 | 上條 真吾, 安江 透 池 田 正臣 | SBOs:3,4,6,7 |
| 111-1 13 | 1/9 | 13:00-15:50 | 第3実習 室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ | 臨床模型を使った歯科技工技術 の習得 | 上條 真吾, 安江 透 池 田 正臣 | SBOs:3,4,6,7 |
| 114-1 16 | 1/10 | 09:00-11:50 | 第3実習 室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ | 臨床模型を使った歯科技工技術 の習得 | 上條 真吾, 安江 透 池 田 正臣 | SBOs:3,4,6,7 |
| 117-1 22 | 1/16 | 09:00-15:50 | 第3実習 室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ | 臨床模型を使った歯科技工技術 の習得 | 上條 真吾, 安江 透 池 田 正臣 | SBOs:3,4,6,7 |
| 123-1 25 | 1/18 | 09:00-11:50 | 第3実習 室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ | 臨床模型を使った歯科技工技術 の習得 | 上條 真吾, 安江 透 池 田 正臣 | SBOs:3,4,6,7 |
| 126-1 28 | 1/23 | 13:00-15:50 | 第3実習 室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ | 臨床模型を使った歯科技工技術 の習得 | 上條 真吾, 安江 透 池 田 正臣 | SBOs:3,4,6,7 |
| 129-1 31 | 1/24 | 13:00-15:50 | 第3実習 室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ | 臨床模型を使った歯科技工技術 の習得 | 上條 真吾, 安江 透 池 田 正臣 | SBOs:3,4,6,7 |
| 132-1 34 | 1/25 | 09:00-11:50 | 第3実習 室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ | 臨床模型を使った歯科技工技術 の習得 | 上條 真吾, 安江 透 池 田 正臣 | SBOs:3,4,6,7 |
| 135-1 37 | 1/30 | 13:00-15:50 | 第3実習 室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ | 臨床模型を使った歯科技工技術 の習得 | 上條 真吾, 安江 透 池 田 正臣 | SBOs:3,4,6,7 |
| 138-1 43 | 1/31 | 09:00-15:50 | 第3実習 室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ | 臨床模型を使った歯科技工技術 の習得 | 上條 真吾, 安江 透 池 田 正臣 | SBOs:3,4,6,7 |
| 144-1 46 | 2/1 | 09:00-11:50 | 第3実習 室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ | 臨床模型を使った歯科技工技術 の習得 | 上條 真吾, 安江 透 池 田 正臣 | SBOs:3,4,6,7 |
| 147-1 49 | 2/6 | 13:00-15:50 | 第3実習 室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ | 臨床模型を使った歯科技工技術 の習得 | 上條 真吾, 安江 透 池 田 正臣 | SBOs:3,4,6,7 |
| 150-1 52 | 2/7 | 09:00-11:50 | 第3実習 室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ | 臨床模型を使った歯科技工技術 の習得 | 上條 真吾, 安江 透 池 | SBOs:3,4,6,7 |

| | | | | | | | |
|--|-----|-------------|-----------|----------------------|-----------------------|--------------------------|--------------|
| | | | | | | 田 正臣 | |
| 153-1 55 | 2/8 | 09:00-11:50 | 第3実習 室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ | 臨床模型を使った歯科技工技術 の習得 | 上條 真吾, 安江 透 池 田 正臣 | SBOs:3,4,6,7 |
| 156-1 60 | 3/4 | 09:00-14:50 | 第3実習 室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ | 臨床模型を使った歯科技工技術 の習得 | 上條 真吾, 安江 透 池 田 正臣 | SBOs:3,4,6,7 |
| 161-1 65 | 3/5 | 09:00-14:50 | 第3実習 室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ | 臨床模型を使った歯科技工技術 の習得 | 上條 真吾, 安江 透 池 田 正臣 | SBOs:3,4,6,7 |
| 166-1 70 | 3/6 | 09:00-14:50 | 第3実習 室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ | 臨床模型を使った歯科技工技術 の習得 | 上條 真吾, 安江 透 池 田 正臣 | SBOs:3,4,6,7 |
| 171-1 75 | 3/7 | 09:00-14:50 | 第3実習 室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ | 臨床模型を使った歯科技工技術 の習得 | 上條 真吾, 安江 透 池 田 正臣 | SBOs:3,4,6,7 |
| 176-1 80 | 3/8 | 09:00-14:50 | 第3実習 室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ | 臨床模型を使った歯科技工技術 の習得 | 上條 真吾, 安江 透 池 田 正臣 | SBOs:3,4,6,7 |
| 授業方法 | | | | | | | |
| 実習 | | | | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | | | |
| ・提出課題の評価(歯冠修復 40 点、有床義歯 40 点、レポート 20 点)、および出席状況、実習態度を総合的に評価する。 | | | | | | | |
| 準備学習などについての具体的な指示 | | | | | | | |
| ・事前に資料の配布、Webclass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。 | | | | | | | |
| 履修上の注意事項 | | | | | | | |
| ・再建工学包括臨床実習 PhaseⅡ の具体的な班分け、詳細な日程は別に定める。 | | | | | | | |
| 連絡先 | | | | | | | |
| 上條 真吾:s-kamijoh.itoe@tmd.ac.jp | | | | | | | |
| オフィスアワー | | | | | | | |
| 上條 真吾:メールにて面談の日程を調整すること | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---|----------------------------|-------------|--------|--------------------|--|----------------|----------|
| 時間割番号 | 023554 | | | | | | |
| 科目名 | 医療倫理 | | | | | | |
| 担当教員 | 高橋 英和, 甲畑 宏子, 吉田 雅幸, 田中 智彦 | | | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 3 | 単位数 | 1 | | |
| 科目名: 医療倫理 時間数: 15 時間 授業形態: 講義・討論 必修 | | | | | | | |
| 主な講義場所 口腔保健工学専攻 第1 講義室、口腔保健衛生学専攻 第3講義室 | | | | | | | |
| 授業の目的、概要等 ・医療倫理, 研究倫理, 技術倫理や個人情報保護について理解する。 ・薬害被害について理解する。 | | | | | | | |
| 授業の到達目標 1. 生命倫理について説明できる。 2. 倫理審査について説明する。 3. 個人情報保護の必要性を説明できる。 4. 医療倫理を説明できる。 5. 技術者倫理および情報倫理について理解し、実践的な対応力を身につける 6. 社会の現状および企業の仕組みを理解し、社会及び企業との関係において、技術者としてのあり方を身につける。 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1-2 | 5/8 | 09:00-10:50 | 第1講義室 | 生命倫理、倫理審査等に関する講義 | 倫理審査、研究倫理審査の必要性 | 甲畑 宏子 | SBOs:1-6 |
| 3-4 | 5/15 | 09:00-10:50 | 第1講義室 | 個人情報保護、医療倫理等に関する講義 | 個人情報保護、医療倫理等 | 吉田 雅幸 | SBOs:1-6 |
| 5-6 | 5/29 | 14:00-15:50 | 第1講義室 | 技術倫理とはなにか | 技術倫理を学ぶ必要性 | 高橋 英和 | SBOs:5,6 |
| 7-8 | 7/10 | 10:00-11:50 | 第2講義室 | 技術倫理の実践 | 匠を考える1 技術者倫理と行動 技術者倫理活動の実例 職業倫理の実際を考える1 | 高橋 英和 田中 智彦 | SBOs:5,6 |
| 9-10 | 7/17 | 10:00-11:50 | 第2講義室 | 技術倫理の実践 | 匠を考える2 技術者倫理と行動 技術者倫理活動の実例 職業倫理の実際を考える1 | 高橋 英和 田中 智彦 | SBOs:3-5 |
| 11-12 | 7/24 | 10:00-11:50 | 第2講義室 | 技術倫理の実践 | 職業倫理の実際を考える | 高橋 英和 | SBOs:5,6 |
| 13-15 | 12/10 | 13:00-15:50 | 共用講義室2 | 薬害被害に関する特別講演 | 薬害を通して医療倫理, 技術倫理を理解する | 高橋 英和 | SBOs:1-6 |
| 授業方法 講義, 討論 | | | | | | | |
| 成績評価の方法 ・出席状況、授業態度、レポート課題および発表の内容、総括試験から総合的評価を行う。 | | | | | | | |
| 準備学習などについての具体的な指示 事前の資料配付および e-learning 上へのアップロードがあった場合には、予習をして授業に臨むこと。e-learning(Web Class)を連絡等に利用するので、チェックを怠らず、指示に従って課題および予習を行うこと。 | | | | | | | |
| 参考書 技術者倫理：技術者として幸福を得るために考えておくべきこと／辻井洋行, 水井万里子, 堀田源治 著.: 日刊工業新聞社, 2016 | | | | | | | |
| 備考 高橋 英和あらかじメールにて面談時間を相談のこと | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--|---------------------------|-------------|-------------|------------------|--|----------------|----------------------------|
| 時間割番号 | 023555 | | | | | | |
| 科目名 | 卒業研究 I | | | | | | |
| 担当教員 | 青木 和広, 堤 祐介, 石井 保志, 池田 正臣 | | | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 3 | | 単位数 | 2 | |
| 科目名: 卒業研究 I 時間数: 60 時間 授業形態: 講義・演習 必修 | | | | | | | |
| 主な講義場所 2 号館 2 階第 1 講義室、情報検索室 | | | | | | | |
| 授業の目的、概要等 「知と癒しの匠を創造し、人々の幸福に貢献する」という本学の基本理念を中心として、各学生の知的興味、将来の方向性に沿った歯科技工領域研究、あるいは生物学と理工学の融合研究のテーマを検討し、実施に向けて、基本的な研究の進め方および先行研究の検索方法と研究のまとめ方を理解する。 | | | | | | | |
| 授業の到達目標 1. 研究の進め方を理解する。 2. EBM・EBHC の概念と研究者としての倫理観を理解する。 3. 論文の構成を理解する。 4. 理工学研究および生物学研究との融合研究の概念を理解する。 5. 本学の基本理念に沿って、論文の検索と科学的吟味を行い、今日までの知見を整理する。 6. 本学の基本理念を中心に各人の知的興味、将来の方向性に沿った研究テーマを設定する。 7. 研究実施にあたって必要となる倫理的配慮、個人情報保護および動物の扱いを理解する。 8. 結論を導くために必要な統計処理について理解する。 9. 研究テーマ、目的に到達するための研究計画を作成する。 10. 論文検索から参考文献のライブラリー作成作業および RefWorks を使った引用論文表示ができる。 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1-3 | 10/5 | 13:00-15:50 | 第1講義室 | 卒業研究オリエンテーション | 卒業研究の概要、Evidence-based Medicine (EBM)と研究者としての倫理観 生物学研究と理工学研究との融合研究 | 青木 和広 | SBOs:1-4 |
| 4-6 | 10/19 | 13:00-15:50 | 第1講義室 | 理工学研究とキャリアパス | 修士、博士、大学教員となるまでの研究への取り組みを紹介する | 青木 和広 堤 祐介 | SBOs:1-4 |
| 7-10 | 10/26 | 13:00-16:50 | 第1講義室 | 研究成果報告会 | 4 年生研究成果報告会に参加 | 青木 和広 | SBOs:1-9 口腔保健工学専攻教員 |
| 11-13 | 11/2 | 13:00-15:50 | 第1講義室 情報検索室 | 文献検索 1 | 文献検索の実施と論文読解 1 基本理念に沿って、研究テーマを策定し、関連論文を収集する技術を学ぶ | 青木 和広 石井 保志 | SBOs:1-5, 10 図書・雑誌係の澁川穂積主任 |
| 14-16 | 11/9 | 13:00-15:50 | 第1講義室 情報検索室 | 文献検索 2 | 文献検索の実施と論文読解 2 基本理念に沿って、論文を作成するために必要な参考文献の引用方法について学ぶ | 青木 和広 石井 保志 | SBOs:1-5, 10 図書・雑誌係の澁川穂積主任 |
| 17-19 | 11/16 | 13:00-15:50 | 第1講義室 | 文献検索 3、研究テーマの検討 | 文献検索の実施がサポートなしでできるまで訓練する。基本理念に沿った研究テーマの検討 | 青木 和広 | SBOs:1-6, 10 自分のPCを持参すること |
| 20-25 | 12/14 | 09:00-15:50 | 第1講義室 特別講堂 | 研究実施の流れ 研究テーマの検討 | 研究計画の立て方、倫理的配慮・個人情報の管理等の留意点等について研究テーマの検討 OH 卒 | 青木 和広 | SBOs:1.2, 6-8 |

| | | | | | | | |
|-------|-------|-------------|-------------|----------------------|--|----------------|--|
| | | | | | 研究発表会参加 | | |
| 26-30 | 12/21 | 09:00-14:50 | 第1講義室 | 特別研修報告 | 特別研修 2年生海外研修報告会に参加、その後 高齢者施設、障がい者施設訪問の発表会 | 青木 和広 | SBOs:2, 6 |
| 31-33 | 1/9 | 09:00-11:50 | 第1講義室 | 研究計画に関する情報収集 | 4年生卒業作品発表会に参加 | 青木 和広 | SBOs:1, 4, 5, 6 口腔保健工学専攻教員 |
| 34-39 | 1/11 | 09:00-15:50 | 特別講堂 | 研究テーマの絞り込み | 研究テーマの検討と絞り込み、関連文献の検索 4年生卒業研究発表会に参加 | 青木 和広 | SBOs:1-8 口腔保健工学専攻教員 |
| 40-42 | 1/18 | 13:00-15:50 | 第1講義室 | 研究計画書作成 | 研究計画書作成、研究テーマの設定と研究デザイン、データ処理の方法、研究計画書について | 青木 和広 | SBOs:9, 10 口腔保健工学専攻教員 |
| 43-45 | 1/23 | 09:00-11:50 | 第1講義室 | 研究計画書作成 | 研究計画書作成 | 青木 和広 | SBOs:9, 10 口腔保健工学専攻教員 |
| 46-48 | 1/25 | 13:00-15:50 | 第1講義室 情報検索室 | RefWorksを使った研究計画書の作成 | 研究計画書作成 | 青木 和広 | SBOs:1-10 図書・雑誌係の澁川穂積主任 RefWorksで作業するためのワードファイルと文献関連ファイルを準備をしてくる。必要に応じ自分のPCを持参すること。 |
| 49-51 | 1/30 | 09:00-11:50 | 第1講義室 | 卒業研究の実際 | 各指導者の下に実験の準備、倫理審査書類、動物実験計画書などの申請 | 青木 和広 | SBOs:1-10 口腔保健工学専攻教員 |
| 52-54 | 2/1 | 13:00-15:50 | 第1講義室 | 卒業研究の実際 | 各指導者の下に実験の準備、倫理審査書類、動物実験計画書などの申請 | 青木 和広 | SBOs:1-10 口腔保健工学専攻教員 |
| 55-57 | 2/6 | 09:00-11:50 | 第1講義室 | 統計その1 | 卒業研究に用いる統計手法の概要 | 青木 和広 池田 正臣 | SBOs:8 |
| 58-60 | 2/8 | 13:00-15:50 | 第1講義室 | 統計その2 | 4年生の研究に具体的に使われた統計手法の概説 | 青木 和広 池田 正臣 | SBOs:8 |

授業方法

反転授業を取り入れる。

成績評価の方法

出席状況、授業への取り組みや授業態度(10点)、課題提出内容(20点)、研究計画書(70点)から総合的評価を行う。

準備学習などについての具体的な指示

事前の資料配付および e-learning 上へのアップロードがあった場合には、予習をして授業に臨むこと。

e-learning(Web Class)を連絡だけでなく、反転授業のためにも利用するので、チェックを怠らず、指示に従って課題および予習を行うこと。

試験の受験資格

4分の3の出席が単位取得の最低条件。(各指導者の下で研究を始めた場合、卒業研究Iの時間の居場所を指導教員に必ず明らかにしておく、やむを得ぬ事情の時以外は、始めるとき、終わるときを直接指導教員に会って知らせること。臨床実習の時間に卒業研究を当てる場合も考えられるが、カードだけでなく、はじめと終わりを指導教員に報告すること。報告がない場合は、卒業研究でも臨床実

習でも欠席したものとみなす。また、就職活動により欠席する場合は、以下の2つの条件が満たされることにより、就職活動による欠席を出席扱いとすることは周知事項に記載してあるとおりである：1. 事前に担当教員に行き先を伝え許可を得る。2. 就職活動後に説明担当者名、連絡先、配布された資料、日時が記載された登録票や予約メールなどを担当教員に見せること。）

参考書

保健・医療のための研究法入門：発想から発表まで／Diana M.Bailey 著、朝倉隆司 監訳、朝倉京子 [ほか]訳、協同医書出版社、2001

Excelによる統計入門：Excel 2007 対応版／縄田和満 著、朝倉書店、2007

歯科衛生研究の進め方・論文の書き方／金澤紀子、武井典子、合場千佳子、岩久正明 編、医歯薬出版、2007

SPSSによるやさしい統計学／岸学 著、オーム社開発局 企画編集、オーム社、2012

SPSSによるやさしいアンケート分析／小木曾道夫 著、オーム社開発局 企画編集、オーム社、2012

アット・ザ・ベンチ／Kathy Barker 著 中村 敏一（訳）、メディカル・サイエンス・インターナショナル、2005

履修上の注意事項

・本学の基本理念に常に立ち返り、主体的に卒業研究に取り組み、英語論文も積極的に検索、読解するよう心掛けること。 ・常に研究指導教員と密接な連絡をとり、助言を得ながら調査、研究を進めること。

備考

青木の部屋の連絡先：03-5803-4641

連絡先

青木 和広 kazu.hpha@tmd.ac.jp

オフィスアワー

青木 和広 随時(必ず事前に連絡を入れること)2号館2階 217号室(口腔基礎工学分野)

| | | | | | |
|--|-----------------|------|-----|-----|---|
| 時間割番号 | 023558 | | | | |
| 科目名 | 口腔保健工学エクスターンシップ | | | | |
| 担当教員 | | | | | |
| 開講時期 | 1.5 通年(秋) | 対象年次 | 3~4 | 単位数 | 1 |
| 海外研修プログラムを履修した学生に、自由選択科目(卒業要件以外)の単位として1単位を認定する。 | | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| それぞれの海外研修プログラムの責任者が、学生の研修内容等を総合的に判定して可否をつけ、口腔保健学科教育委員会において承認を受けた後、教授会で最終判定を行う。 | | | | | |
| 単位の取り扱いについては『口腔保健学科口腔保健工学専攻専門科目「口腔保健工学エクスターンシップ」に関する単位認定の取扱い』を参照のこと。 | | | | | |
| 準備学習などについての具体的な指示 | | | | | |
| 外国での生活に支障をきたさないように語学の事前準備を行うこと。 | | | | | |
| 以下の履修上の注意事項に従うこと。 | | | | | |
| 試験の受験資格 | | | | | |
| ○単位認定条件 | | | | | |
| 1) 海外研修奨励制度による研修プログラム | | | | | |
| (1) 語学能力(英語) | | | | | |
| 語学検定における所定の点数の取得(TOEFL500 点以上)、もしくは事前の海外派遣英語準備コース(歯科英語)を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の2つの中から、どちらかの基準をクリアすること。 | | | | | |
| (2) 海外渡航時の注意事項、危機管理に関する研修(講義)の履修 | | | | | |
| (3) 研修報告書の提出 | | | | | |
| 日本語および英語(詳細は別に定める) | | | | | |
| (4) 研修報告会における発表 | | | | | |
| 研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う。 | | | | | |
| (5) 本学および海外の担当教員による学生評価の成績(可以上) | | | | | |
| 2) その他の海外研修プログラム(口腔保健学科教育委員会が認めたもの) | | | | | |
| (1) 語学能力(英語) | | | | | |
| 語学検定における所定の点数の取得(TOEFL500 点以上)、もしくは事前の海外派遣英語準備コース(歯科英語)を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の2つの中から、どちらかの基準をクリアすること。 | | | | | |
| (2) 研修特別コースの履修 | | | | | |
| 研修内容によって、特別に提供されるコースの履修(詳細は別に定める) | | | | | |
| (3) 海外における生活上の注意、危機管理に関する研修(講義)の履修 | | | | | |
| (4) 研修報告書の提出 | | | | | |
| 日本語および英語(詳細は別に定める) | | | | | |
| (5) 研修報告会における発表 | | | | | |
| 研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う。 | | | | | |
| (6) 本学および海外の担当教員による学生評価の成績(可以上) | | | | | |
| 履修上の注意事項 | | | | | |
| 1. 海外研修プログラムを履修した学生に、自由選択科目(卒業要件以外)の単位として1単位を認定する。 2. 単位認定の対象となる海外研修プログラムは以下のプログラムとする。各プログラムにおける単位認定条件は別に定める。 1) 大学海外研修奨励制度(事前研修を含む。) 2) その他の海外研修プログラム(口腔保健学科教育委員会が認めたもの) 3. 所定のプログラムを終了した学生に対し、口腔保健学科教育委員会の議を経て、歯学部教授会が単位を認定する。但し、同一年次・年度で認定できる単位は1単位を上限とする。また、「その他の海外研修プログラム」に該当するプログラムで認定できる単位は、プログラムの内容・年次・年度・回数に限らず、在学期間を通じて1単位とする。 | | | | | |

第4学年
履修科目・ユニット

| 時間割番号 | 023519 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---------------------|-------------|-------|------------------|--|-------|--------------|----|----|-----|------|------|------|----|-----|------|-------------|-------|------------|---|-------|------------|-----|------|-------------|-------|------------------|--|-------|-------------|-----|------|-------------|-------|-----------------|---------------|-------|--------------|-------|-----|-------------|-------|------------------|------------------------------|-------|--------------|-------|-----|-------------|-------|------------|----------------------|-------|-------------|
| 科目名 | 画像解析学 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 担当教員 | 高橋 英和, 吉野 教夫, 木村 健二 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 4 | 単位数 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 科目名: 画像解析学概論 時間数: 15時間 授業形態: 講義, 討論 選択 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 主な講義場所 2号館 第2講義室 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 授業の目的、概要等 放射線の性質や、顎顔面口腔領域で利用される画像検査法の種類、特徴および適応を理解する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 授業の到達目標 <ol style="list-style-type: none"> 1. 顔面頭蓋部撮影画像を基に PC 上で加工ができる。 2. 放射線の種類、性質、測定法、単位を説明できる。 3. エックス線の発生と画像形成の原理を説明できる。 4. エックス線フィルムおよび増感紙の構造と性質を説明できる。 5. エックス線写真処理の原理と方法を説明できる。 6. デジタルラジオグラフィーの原理および特徴を説明できる。 7. 口内法エックス線撮影の種類を列挙し、それぞれの方法および適応を説明できる。 8. パノラマエックス線撮影の原理、方法および適応を説明できる。 9. 顔面頭蓋部撮影の種類を列挙し、それぞれの方法および適応を説明できる。 10. 歯科用コーンビーム CT、CT、MRI、超音波検査の原理と顎顔面口腔領域における適応を説明できる。 11. 歯科用インプラントのためのステント作成とそのステントを用いる CT について説明できる。 12. 各種画像に見られる顎顔面口腔領域の正常像について説明できる。 13. 各種画像に見られる顎顔面口腔領域の異常所見を指摘できる。 14. 放射線の人体に対する影響を説明できる。 15. がんの放射線治療とその補助装置を説明できる。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-3</td> <td>4/11</td> <td>13:00-15:50</td> <td>第3講義室</td> <td>エックス線写真の原理</td> <td>放射線の種類と性質 エックス線画像形成の原理 エックス線写真処理の原理 デジタルラジオグラフィーの原理</td> <td>吉野 教夫</td> <td>SBO's: 1-5</td> </tr> <tr> <td>4-6</td> <td>4/18</td> <td>13:00-15:50</td> <td>第3講義室</td> <td>歯科用エックス線撮影の種類と原理</td> <td>口内法エックス線撮影の種類 パノラマエックス線撮影の原理 顔面頭蓋部撮影の種類 歯科用コーンビーム CT ほか インプラントのためのステントと CT</td> <td>吉野 教夫</td> <td>SBO's: 6-10</td> </tr> <tr> <td>7-9</td> <td>4/25</td> <td>13:00-15:50</td> <td>第3講義室</td> <td>顎顔面口腔領域の正常像と異常像</td> <td>画像診断 正常像と異常所見</td> <td>吉野 教夫</td> <td>SBO's: 11,12</td> </tr> <tr> <td>10-12</td> <td>5/2</td> <td>13:00-15:50</td> <td>第3講義室</td> <td>放射線の人体への影響と放射線治療</td> <td>放射線の人体に対する影響 がんの放射線治療とその補助装置</td> <td>吉野 教夫</td> <td>SBO's: 13,14</td> </tr> <tr> <td>13-15</td> <td>5/9</td> <td>13:00-15:50</td> <td>第3講義室</td> <td>画像を用いた歯科技工</td> <td>歯科技工と画像とデジタルデンティストリー</td> <td>木村 健二</td> <td>SBO's: 1,11</td> </tr> </tbody> </table> | | | | | | | 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 | 1-3 | 4/11 | 13:00-15:50 | 第3講義室 | エックス線写真の原理 | 放射線の種類と性質 エックス線画像形成の原理 エックス線写真処理の原理 デジタルラジオグラフィーの原理 | 吉野 教夫 | SBO's: 1-5 | 4-6 | 4/18 | 13:00-15:50 | 第3講義室 | 歯科用エックス線撮影の種類と原理 | 口内法エックス線撮影の種類 パノラマエックス線撮影の原理 顔面頭蓋部撮影の種類 歯科用コーンビーム CT ほか インプラントのためのステントと CT | 吉野 教夫 | SBO's: 6-10 | 7-9 | 4/25 | 13:00-15:50 | 第3講義室 | 顎顔面口腔領域の正常像と異常像 | 画像診断 正常像と異常所見 | 吉野 教夫 | SBO's: 11,12 | 10-12 | 5/2 | 13:00-15:50 | 第3講義室 | 放射線の人体への影響と放射線治療 | 放射線の人体に対する影響 がんの放射線治療とその補助装置 | 吉野 教夫 | SBO's: 13,14 | 13-15 | 5/9 | 13:00-15:50 | 第3講義室 | 画像を用いた歯科技工 | 歯科技工と画像とデジタルデンティストリー | 木村 健二 | SBO's: 1,11 |
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1-3 | 4/11 | 13:00-15:50 | 第3講義室 | エックス線写真の原理 | 放射線の種類と性質 エックス線画像形成の原理 エックス線写真処理の原理 デジタルラジオグラフィーの原理 | 吉野 教夫 | SBO's: 1-5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4-6 | 4/18 | 13:00-15:50 | 第3講義室 | 歯科用エックス線撮影の種類と原理 | 口内法エックス線撮影の種類 パノラマエックス線撮影の原理 顔面頭蓋部撮影の種類 歯科用コーンビーム CT ほか インプラントのためのステントと CT | 吉野 教夫 | SBO's: 6-10 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7-9 | 4/25 | 13:00-15:50 | 第3講義室 | 顎顔面口腔領域の正常像と異常像 | 画像診断 正常像と異常所見 | 吉野 教夫 | SBO's: 11,12 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10-12 | 5/2 | 13:00-15:50 | 第3講義室 | 放射線の人体への影響と放射線治療 | 放射線の人体に対する影響 がんの放射線治療とその補助装置 | 吉野 教夫 | SBO's: 13,14 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 13-15 | 5/9 | 13:00-15:50 | 第3講義室 | 画像を用いた歯科技工 | 歯科技工と画像とデジタルデンティストリー | 木村 健二 | SBO's: 1,11 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成績評価の方法 <ul style="list-style-type: none"> ・提出レポート、期末の客観試験で総合的評価を行う。 ・出席状況、授業態度を総合的評価に加味する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

準備学習などについての具体的な指示

事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

参考書

歯科放射線学／岡野友宏, 小林馨, 有地榮一郎 編集: 医歯薬出版, 2013

歯科臨床における画像診断アトラス／日本歯科放射線学会 編: 医歯薬出版, 2008

| | | | | | | | |
|---|--------------------------|-------------|-------------------|--------------------------|---|----------------------|----------|
| 時間割番号 | 023532 | | | | | | |
| 科目名 | スポーツ歯科工学 | | | | | | |
| 担当教員 | 大木 明子, 上野 俊明, 中禮 宏, 矢野 顕 | | | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 4 | 単位数 | 1 | | |
| 選択科目 | | | | | | | |
| 主な講義場所 口腔保健工学専攻 第3講義室、第2実習室、総合実習室、重合・鋳造室 | | | | | | | |
| 授業の目的、概要等 スポーツと歯科保健医療、特にマウスガードの構造と製法を理解する。 | | | | | | | |
| 授業の到達目標 1. 顎口腔領域のスポーツ外傷とその特徴を説明する。 2. 顎口腔領域のスポーツ外傷の予防について説明する。 3. マウスガードの目的、種類、特徴について説明する。 4. マウスガードの材料について説明する。 5. マウスガードの構造と製法について説明する。 6. フェイスガードの構造と製法について説明する。 7. 顎口腔系機能と身体運動機能の関連について説明する。 8. スポーツ選手における顎口腔系の状態とその健康管理について説明する。 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1-3 | 5/24 | 13:00-15:50 | 第3講義室 | スポーツ歯科工学概論 | スポーツ外傷の特徴と予防、顎口腔系機能と身体運動機能の関連、スポーツ選手の健康管理 | 上野 俊明 | SBOs:1-4 |
| 4-6 | 5/31 | 13:00-15:50 | 第3講義室 | マウスガードの製法 | マウスガードの目的、種類、材料、製法 | 上野 俊明 | SBOs:5-7 |
| 7-9 | 6/7 | 13:00-15:50 | 第3講義室 第2実習室 総合実習室 | フェイスガードの製法 マウスガードの製作1 | フェイスガードの目的、構造、製法 模型調整・咬合器装着(実習) | 大木 明子, 中禮 宏, 矢野 顕 | SBOs:5-8 |
| 10-12 | 6/14 | 13:00-15:50 | 第2実習室 総合実習室 | マウスガードの製作2 | EVAシート製マウスガードの製作(実習) | 大木 明子, 中禮 宏, 矢野 顕 | SBOs:5-7 |
| 13-15 | 6/21 | 13:00-15:50 | 第2実習室 総合実習室 | マウスガードの製作3 | ポリオレフィンシート製マウスガードの製作、マウスガードの完成(実習) | 大木 明子, 中禮 宏, 矢野 顕 | SBOs:5-7 |
| 授業方法 講義、実習 | | | | | | | |
| 成績評価の方法 マウスガード2種の評価(各10点ずつ合計20点) 期末試験(80点) 出席状況、授業態度を加味し、総合的に評価し合否を判定する。 | | | | | | | |
| 準備学習などについての具体的な指示 事前に資料が配布またはWebClassにアップされた場合は予習してから講義に出席すること。9~15回はマウスガード製作について実習を行うので、教科書1の本のスポーツマウスガードの製作をよく読んでから出席すること。 | | | | | | | |
| 試験の受験資格 3分の2以上の出席 | | | | | | | |
| 教科書 要説スポーツ歯科医学/石上恵一, 上野俊明, 川良美佐雄, 前田芳信, 安井利一 編集:医学情報社, 2015 | | | | | | | |

実践スポーツマウスガード：製作・調整と競技別サポート／大山喬史 監修,上野俊明 編集,：医学情報社, 2014

参考書

スポーツ歯科入門ハンドブック：健康スポーツ歯科をめざして／安井利一, 杉山義祥 編著, 姫野かつよ [ほか]著,：医学情報社, 2009

履修上の注意事項

事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。 9～15 回には実習も行うので、インスツルメント器材を準備しておくこと。

| | | | | | | | |
|--|--------------------|-------------|-------------|-------------------|--|--------------|--------|
| 時間割番号 | 023533 | | | | | | |
| 科目名 | オーラルアプライアンス工学 | | | | | | |
| 担当教員 | 鈴木 哲也, 秀島 雅之, 西山 暁 | | | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 4 | 単位数 | 1 | | |
| 主な講義場所 | | | | | | | |
| 2号館3階 第3講義室 | | | | | | | |
| 2号館4階 第2実習室 | | | | | | | |
| 授業の目的、概要等 | | | | | | | |
| 顎関節症、睡眠時無呼吸症などの治療に用いるスプリットの意義と製作法を修得する。 | | | | | | | |
| 授業の到達目標 | | | | | | | |
| 1. 睡眠時無呼吸症候群(Sleep Apnea Syndrome: SAS)の症状について説明する。 | | | | | | | |
| 2. SAS の治療法について説明する。 | | | | | | | |
| 3. SAS に用いるスリープスプリット(Oral Appliance: OA)の製作法について説明する。 | | | | | | | |
| 4. 顎関節症の症状について説明する。 | | | | | | | |
| 5. 顎関節症の治療法について説明する。 | | | | | | | |
| 6. 顎関節症に用いるスプリットの製作法について説明する。 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1-2 | 4/10 | 09:00-10:50 | 第3講義室 | 睡眠時無呼吸症候群(SAS)とは | SAS の医学的背景 医科との連携と歯科での対応 | 鈴木 哲也, 秀島 雅之 | SBOs 1 |
| 3-5 | 4/17 | 09:00-11:50 | 第3講義室 第2実習室 | SAS の治療法 | SAS の治療法 SAS 用スプリット(OA)の種類と材料, 設計 | 秀島 雅之 | SBOs 2 |
| 6-8 | 4/24 | 09:00-11:50 | 第2実習室 総合実習室 | SAS 用 OA の製作法 | OA 作製に用いる模型 OA の印象, 咬合採得 OA の設計と作製・調整法 | 秀島 雅之 | SBOs 3 |
| 9-10 | 5/10 | 09:00-10:50 | 第3講義室 | 顎関節症の症状 | 顎関節症の臨床症状 顎関節症の原因 | 西山 暁 | SBOs 4 |
| 11-12 | 5/17 | 09:00-10:50 | 第3講義室 第2実習室 | 顎関節症の治療法 | 顎関節症の治療法 スタビライゼーションスプリット その他のスプリット | 西山 暁 | SBOs 5 |
| 13-15 | 5/24 | 09:00-11:50 | 第2実習室 総合実習室 | 顎関節症に用いるスプリットの製作法 | スタビライゼーションスプリットの作製 スタビライゼーションスプリットの調整 | 西山 暁 | SBOs 6 |
| 授業方法 | | | | | | | |
| 講義、実習 | | | | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | | | |
| 筆記試験(70点)、製作物(10点)に出席状況(10点)、授業態度(10点)を加味して評価する。 | | | | | | | |
| 準備学習などについての具体的な指示 | | | | | | | |
| 参考書 | | | | | | | |
| 写真でマスターする顎関節症治療のためのスプリットのつくり方・つかい方／鱒見進一, 皆木省吾 編著, ヒューロン・パブリッシャーズ, 2011 | | | | | | | |
| 履修上の注意事項 | | | | | | | |
| 事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。 | | | | | | | |
| 備考 | | | | | | | |
| 担当教員のオフィスアワー | | | | | | | |
| 鈴木哲也 教授 メールにて日時を相談 suzuki.peoe@tmd.ac.jp | | | | | | | |

秀島雅之 准教授 メールにて日時を相談 m.hideshowipro@tmd.ac.jp

西山 暁 講師 メールにて日時を相談 anishi.tn@tmd.ac.jp

| | | | | | | | |
|---|-----------------------------------|-------------|-----------------|------------------------|-------------------------------------|----------------------------------|--------------|
| 時間割番号 | 023547 | | | | | | |
| 科目名 | CAD/CAM システム工学実習 | | | | | | |
| 担当教員 | 上條 真吾, 池田 正臣, 瓜生 博伺, 平澤 龍一, 渡邊 健一 | | | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 対象年次 | 4 | 単位数 | 1 | | |
| 科目名: CAD/CAM システム工学実習 時間数: 45 時間 必修 1 単位 授業形態: 実習 | | | | | | | |
| 主な講義場所 2 号館 4 階 CAD/CAM 実習室, 第 2 実習室 2 号館 3 階 CAD/CAM 演習室 | | | | | | | |
| 授業の目的、概要等 CAD/CAM 機器による補綴装置製作の流れを理解し、オーダー作成から実際の補綴装置製作に関する知識及び技術について修得する。 | | | | | | | |
| 授業の到達目標 1. 歯科用 CAD/CAM システムの基礎知識を身につける。 2. オーダーの作成を行う。 3. 模型のスキャニングを行う。 4. クラウンブリッジデータの作成を行う。 5. インプラントデータの作成を行う。 6. パーシャルデンチャーのメタルフレームを設計する。 7. 総義歯を設計する。 8. STL データの出力を行う。 9. CAM 工程の基本操作を説明する。 10. 歯科用 CAD/CAM システムの一連の操作を行う。 11. 医用画像処理ソフトを操作する。 12. ハンディ型 3D スキャナーによるスキャニングを行う。 13. ハプティックデバイスを用いた 3D モデリングを実施する。 14. 三次元積層造形を行う。 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1-3 | 4/9 | 13:00-15:50 | CAD/CA M 演習室 | 歯科用 CAD/CAM システムの概要 | 歯科用 CAD/CAM システムの基礎と可能性 一般用三次元装置の説明 | 池田 正臣 上條 真吾 瓜生 博伺 | SBOs 1 |
| 4-6 | 4/16 | 13:00-15:50 | CAD/CA M 演習室 | CAD 工程 1 | クラウンデータの作成 ブリッジデータの作成 | 池田 正臣 上條 真吾 平澤 龍一 渡邊 健一 | SBOs 2-4 |
| 7-9 | 4/23 | 13:00-15:50 | CAD/CA M 演習室 | CAD 工程 2 | インプラントデータの作成 PD、FD データの作成 | 池田 正臣 上條 真吾 平澤 龍一 渡邊 健一 | SBOs 2,3,5-7 |
| 10-12 | 5/7 | 13:00-15:50 | CAD/CA M 演習室 | 医用画像処理ソフト 3D 触感モデリング 1 | 手術支援モデル製作 ハプティックデバイスの操作 | 池田 正臣 上條 真吾 平澤 龍一 渡邊 健一 | SBOs 11,13 |
| 13-15 | 5/14 | 13:00-15:50 | CAD/CA M 演習室 | 3D スキャニング 3D 触感モデリング 2 | ハンディ型 3D スキャナーの操作 ハプティックデバイスの操作 | 池田 正臣 上條 真吾 平澤 龍一 渡邊 健一 | SBOs 12,13 |

| | | | | | | | |
|-------|------|-------------|-----------------|------------|--|-----------------|-------------------------------|
| 16-18 | 5/21 | 09:00-11:50 | CAD/CA M 演習室 | 三次元積層造形 | 3D プリンターを用いた造形 | 上條 真吾, 池田 正臣 | SBOs 14 |
| 19-21 | 5/28 | 09:00-11:50 | CAD/CA M 演習室 | 松風 D2000 | クラウンデータ、ブリッジデータ、 インプラントアバットメントデータ、 PD データの作成 | 上條 真吾, 池田 正臣 | SBOs 1-6.8 非 常勤講師:青木亮 — |
| 22-24 | 6/4 | 09:00-11:50 | CAD/CA M 演習室 | CAM 工程 | CAM ソフトの操作 補綴装置の 切削加工 | 上條 真吾, 池田 正臣 | SBOs 8-10 |
| 25-27 | 6/11 | 09:00-11:50 | CAD/CA M 演習室 | 課題演習 1 | 課題データの作成 | 上條 真吾, 池田 正臣 | SBOs 1-10 |
| 28-30 | 6/18 | 09:00-11:50 | CAD/CA M 演習室 | 課題演習 2 | 課題データの作成 | 上條 真吾, 池田 正臣 | SBOs 1-10 |
| 31-33 | 6/25 | 09:00-11:50 | CAD/CA M 演習室 | 課題演習 3 | 課題データの作成 | 上條 真吾, 池田 正臣 | SBOs 1-10 |
| 34-36 | 7/2 | 09:00-11:50 | CAD/CA M 演習室 | 課題演習 4 | 課題データの作成 | 上條 真吾, 池田 正臣 | SBOs 1-10 |
| 37-39 | 7/9 | 09:00-11:50 | CAD/CA M 演習室 | 3.4 年生合同実習 | CAD による補綴デザイン ハン ディ型 3D スキャナーの操作 3D 触感モデリング | 上條 真吾, 池田 正臣 | SBOs 1-12 |
| 40-42 | 7/10 | 13:00-15:50 | CAD/CA M 演習室 | 3.4 年生合同実習 | CAD による補綴デザイン ハン ディ型 3D スキャナーの操作 3D 触感モデリング | 上條 真吾, 池田 正臣 | SBOs 1-12 |
| 43-45 | 7/17 | 13:00-15:50 | CAD/CA M 演習室 | 3.4 年生合同実習 | 3 年生/三次元積層造形 4 年生/ 課題データ提出 | 上條 真吾, 池田 正臣 | SBOs 1-12 |

授業方法

実習

成績評価の方法

・提出課題データの評価(上顎 Cr25 点、下顎 Cr25 点、Bri30 点、PD20 点)、および出席状況、実習態度を総合的に評価する。

準備学習などについての具体的な指示

・事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

参考書

CAD/CAM デンタルテクノロジー／日本歯科 CAD CAM 学会, 全国歯科技工士教育協議会 監修,末瀬一彦, 宮崎隆 編:医歯薬出版, 2012

基礎から学ぶ CAD/CAM テクノロジー／日本デジタル歯科学会, 全国歯科技工士教育協議会 監修,末瀬一彦, 宮崎隆 編:医歯薬出版, 2017

履修上の注意事項

メールにて面談の日程を調整すること。

連絡先

上條 真吾 s-kamijoh.itoe@tmd.ac.jp

オフィスアワー

上條 真吾メールにて面談の日程を調整すること

| | | | | | | | |
|---|---------------------------|-------------|-------------|-------------------|--------------------------|------|----------|
| 時間割番号 | 023553 | | | | | | |
| 科目名 | 再建工学包括臨床実習Ⅱ | | | | | | |
| 担当教員 | 安江 透, 大木 明子, 池田 正臣, 上條 真吾 | | | | | | |
| 開講時期 | 通年 | 対象年次 | 4 | | 単位数 | 10 | |
| 科目名:再建工学包括臨床実習Ⅱ 時間数:450時間 授業形態:実習、演習 | | | | | | | |
| 主な講義場所 第2実習室、総合実習室、ポーセレン室、硬質レジン室 | | | | | | | |
| 授業の目的、概要等 患者本位の歯科医療を実施するうえで必要となる、各種補綴装置および矯正装置等の製作、ならびに修理に関する知識・技能を習得する。 | | | | | | | |
| 授業の到達目標 1. 医療人としての倫理観を身につける。 2. 多職種医療スタッフとの連携に必要な事項を列挙する。 3. 臨床実習に必要な基本的歯科技工技術を確実に身につける。 4. 歯学部附属病院の診療システムおよび各診療科の特徴を理解する。 5. 歯学部附属病院各診療科の担当医の診療スタンスを理解する。 6. 当該実習日における最も効率的な作業計画を立案する。 7. 使用する材料の理工学的特長を理解し、効率的かつ確実性が高い技工作業を行う。 8. 症例に応じた補綴デザインを選択し、高品質な補綴物を製作する。 9. 医療人としての多職種連携の重要性および必要性について理解し、実践する。 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1-3 | 4/9 | 09:00-11:50 | 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ | 臨床実習オリエンテーション、ケース配当、臨床実習 | 安江 透 | SBOs:1-8 |
| 4-7 | 4/10 | 11:00-15:50 | 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ | 臨床実習 | 安江 透 | SBOs:1-8 |
| 8-10 | 4/11 | 09:00-11:50 | 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ | 臨床実習 | 安江 透 | SBOs:1-8 |
| 11-16 | 4/12 | 09:00-15:50 | 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ | 臨床実習 | 安江 透 | SBOs:1-8 |
| 17-19 | 4/16 | 09:00-11:50 | 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ | 臨床実習 | 安江 透 | SBOs:1-8 |
| 20-22 | 4/17 | 13:00-15:50 | 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ | 臨床実習 | 安江 透 | SBOs:1-8 |
| 23-25 | 4/18 | 09:00-11:50 | 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ | 臨床実習 | 安江 透 | SBOs:1-8 |
| 26-31 | 4/19 | 09:00-15:50 | 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ | 臨床実習 | 安江 透 | SBOs:1-8 |
| 32-34 | 4/23 | 09:00-11:50 | 第2実習室 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 安江 透 | SBOs:1-8 |

| | | | | | | | |
|-------|------|-------------|--|-----------------------|-----------------------|-----------------|----------|
| | | | 室 総合 実習室 | PhaseIV | | | |
| 35-37 | 4/24 | 13:00-15:50 | 第2実習 室 総合 実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 安江 透 | SBOs:1-8 |
| 38-40 | 4/25 | 09:00-11:50 | 第2実習 室 総合 実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 安江 透 | SBOs:1-8 |
| 41-46 | 4/26 | 09:00-15:50 | 第2実習 室 総合 実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 安江 透 | SBOs:1-8 |
| 47-52 | 5/1 | 09:00-15:50 | 第2実習 室 総合 実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 安江 透 | SBOs:1-8 |
| 53-55 | 5/2 | 09:00-11:50 | 第2実習 室 総合 実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 安江 透 | SBOs:1-8 |
| 56-58 | 5/7 | 09:00-11:50 | 第2実習 室 総合 実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 安江 透 | SBOs:1-8 |
| 59-64 | 5/8 | 09:00-15:50 | 第2実習 室 総合 実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 安江 透 | SBOs:1-8 |
| 65-67 | 5/9 | 09:00-11:50 | 第2実習 室 総合 実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 安江 透 | SBOs:1-8 |
| 68-71 | 5/10 | 11:00-15:50 | 第2実習 室 総合 実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 安江 透 | SBOs:1-8 |
| 72-74 | 5/14 | 09:00-11:50 | 第2実習 室 総合 実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 安江 透 | SBOs:1-8 |
| 75-80 | 5/15 | 09:00-15:50 | 第2実習 室 総合 実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 安江 透 | SBOs:1-8 |
| 81-86 | 5/16 | 09:00-15:50 | 第2実習 室 総合 実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 安江 透 | SBOs:1-8 |
| 87-90 | 5/17 | 11:00-15:50 | 第2実習 室 総合 実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 安江 透 | SBOs:1-8 |
| 91-92 | 5/21 | 13:00-14:50 | CAD/CA M 演習 室 第2 実習室 総合実習 室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習(D6との合同CAD実 習) | 上條 真吾, 池田 正臣 | SBOs:1-8 |
| 93-98 | 5/22 | 09:00-15:50 | 第2実習 室 総合 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 安江 透 | SBOs:1-8 |

| | | | | | | | |
|---------|------|-------------|-------------------------|--------------------|-----------------------|----------------|----------|
| | | | 実習室 | | | | |
| 99-104 | 5/23 | 09:00-15:50 | 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 安江 透 | SBOs:1-8 |
| 105-106 | 5/28 | 13:00-14:50 | CAD/CAM 演習室 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 (D6 との合同 CAD 実習) | 上條 真吾 池田 正臣 | SBOs:1-8 |
| 107-112 | 5/29 | 09:00-15:50 | 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 安江 透 | SBOs:1-8 |
| 113-118 | 5/30 | 09:00-15:50 | 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 安江 透 | SBOs:1-8 |
| 119-121 | 5/31 | 09:00-11:50 | 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs:1-8 |
| 122-123 | 6/4 | 13:00-14:50 | CAD/CAM 演習室 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 (D6 との合同 CAD 実習) | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs:1-8 |
| 124-129 | 6/5 | 09:00-15:50 | 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs:1-8 |
| 130-135 | 6/6 | 09:00-15:50 | 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs:1-8 |
| 136-138 | 6/7 | 09:00-11:50 | 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs:1-8 |
| 139-140 | 6/11 | 13:00-14:50 | CAD/CAM 演習室 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 (D6 との合同 CAD 実習) | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs:1-8 |
| 141-146 | 6/12 | 09:00-15:50 | 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs:1-8 |
| 147-152 | 6/13 | 09:00-15:50 | 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs:1-8 |
| 153-155 | 6/14 | 09:00-11:50 | 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs:1-8 |

| | | | | | | | |
|---------|------|-------------|------------------------|--------------------|-------------------|----------------|----------|
| 156-157 | 6/18 | 13:00-14:50 | CAD/CAM演習室 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習(D6との合同CAD実習) | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs:1-8 |
| 158-163 | 6/19 | 09:00-15:50 | 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs:1-8 |
| 164-169 | 6/20 | 09:00-15:50 | 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs:1-8 |
| 170-172 | 6/21 | 09:00-11:50 | 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs:1-8 |
| 173-174 | 6/25 | 13:00-14:50 | CAD/CAM演習室 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習(D6との合同CAD実習) | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs:1-8 |
| 175-180 | 6/26 | 09:00-15:50 | 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs:1-8 |
| 181-183 | 6/27 | 09:00-11:50 | 第3講義室 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 医歯学融合教育準備 | 大木 明子 | SBOs:9 |
| 184-186 | 6/27 | 13:00-15:50 | 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs:1-8 |
| 187-189 | 6/28 | 09:00-11:50 | 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs:1-8 |
| 190-192 | 7/2 | 13:00-15:50 | 第3講義室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 医歯学融合教育準備 | 大木 明子 | SBOs:9 |
| 193-198 | 7/3 | 09:00-15:50 | 鈴木章夫記念講堂 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 医歯学融合教育 | 大木 明子 | SBOs:9 |
| 199-204 | 7/4 | 09:00-15:50 | 鈴木章夫記念講堂 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 医歯学融合教育 | 大木 明子 | SBOs:9 |
| 205-207 | 7/5 | 09:00-11:50 | 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs:1-8 |
| 208-210 | 7/9 | 13:00-15:50 | 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs:1-8 |
| 211-213 | 7/10 | 09:00-11:50 | 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs:1-8 |

| | | | 実習室 | | | | |
|-------------|-------|-------------|-------------|--------------------|------|----------------------------|----------|
| 214- 219 | 7/11 | 09:00-15:50 | 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs:1-8 |
| 220- 222 | 7/12 | 09:00-11:50 | 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs:1-8 |
| 223- 225 | 7/17 | 09:00-11:50 | 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs:1-8 |
| 226- 231 | 7/18 | 09:00-15:50 | 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs:1-8 |
| 232- 234 | 7/19 | 09:00-11:50 | 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs:1-8 |
| 235- 240 | 10/1 | 09:00-15:50 | 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 池田 正臣 上條 真吾, 安江 透 | SBOs:1-8 |
| 241- 246 | 10/2 | 09:00-15:50 | 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 池田 正臣 上條 真吾, 安江 透 | SBOs:1-8 |
| 247- 251 | 10/3 | 09:00-14:50 | 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 池田 正臣 上條 真吾, 安江 透 | SBOs:1-8 |
| 252- 257 | 10/9 | 09:00-15:50 | 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 池田 正臣 上條 真吾, 安江 透 | SBOs:1-8 |
| 258- 262 | 10/10 | 09:00-14:50 | 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 安江 透, 池 田 正臣, 上 條 真吾 | SBOs:1-8 |
| 263- 268 | 10/15 | 09:00-15:50 | 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 池田 正臣 上條 真吾, 安江 透 | SBOs:1-8 |
| 269- 274 | 10/16 | 09:00-15:50 | 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 池田 正臣 上條 真吾, 安江 透 | SBOs:1-8 |
| 275- 279 | 10/17 | 09:00-14:50 | 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 安江 透, 池 田 正臣, 上 條 真吾 | SBOs:1-8 |
| 280- 285 | 10/22 | 09:00-15:50 | 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 安江 透, 池 田 正臣, 上 條 真吾 | SBOs:1-8 |
| 286- 291 | 10/23 | 09:00-15:50 | 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 池田 正臣 上條 真吾, 安江 透 | SBOs:1-8 |
| 292- 296 | 10/24 | 09:00-14:50 | 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 安江 透, 池 田 正臣, 上 條 真吾 | SBOs:1-8 |

| | | | | | | | |
|---------|-------|-------------|-------------|--------------------|------|------------------------|----------|
| 297-302 | 10/29 | 09:00-15:50 | 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 池田 正臣 上條 真吾 安江 透 | SBOs:1-8 |
| 303-308 | 10/30 | 09:00-15:50 | 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 安江 透 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs:1-8 |
| 309-313 | 10/31 | 09:00-14:50 | 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs:1-8 |
| 314-319 | 11/5 | 09:00-15:50 | 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 池田 正臣 上條 真吾 安江 透 | SBOs:1-8 |
| 320-325 | 11/6 | 09:00-15:50 | 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 安江 透 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs:1-8 |
| 326-330 | 11/7 | 09:00-14:50 | 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 池田 正臣 上條 真吾 安江 透 | SBOs:1-8 |
| 331-336 | 11/12 | 09:00-15:50 | 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 池田 正臣 上條 真吾 安江 透 | SBOs:1-8 |
| 337-342 | 11/13 | 09:00-15:50 | 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 安江 透 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs:1-8 |
| 343-347 | 11/14 | 09:00-14:50 | 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 安江 透 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs:1-8 |
| 348-353 | 11/19 | 09:00-15:50 | 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 安江 透 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs:1-8 |
| 354-359 | 11/20 | 09:00-15:50 | 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 安江 透 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs:1-8 |
| 360-364 | 11/21 | 09:00-14:50 | 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 安江 透 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs:1-8 |
| 365-370 | 11/26 | 09:00-15:50 | 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 安江 透 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs:1-8 |
| 371-375 | 11/28 | 09:00-14:50 | 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 安江 透 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs:1-8 |
| 376-381 | 12/3 | 09:00-15:50 | 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 安江 透 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs:1-8 |
| 382-387 | 12/4 | 09:00-15:50 | 第2実習室 総合実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 安江 透 池田 正臣 上條 真吾 | SBOs:1-8 |
| 388- | 12/5 | 09:00-14:50 | 第2実習室 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 安江 透 池 | SBOs:1-8 |

| | | | | | | | |
|-------------|-------|-------------|---------------------|-----------------------|------|--------------------------|----------|
| 392 | | | 室 総合 実習室 | PhaseIV | | 田 正臣 上 條 真吾 | |
| 393- 398 | 12/10 | 09:00-15:50 | 第2実習 室 総合 実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 安江 透 池 田 正臣 上 條 真吾 | SBOs:1-8 |
| 399- 404 | 12/11 | 09:00-15:50 | 第2実習 室 総合 実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 安江 透 池 田 正臣 上 條 真吾 | SBOs:1-8 |
| 405- 409 | 12/12 | 09:00-14:50 | 第2実習 室 総合 実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 安江 透 池 田 正臣 上 條 真吾 | SBOs:1-8 |
| 410- 415 | 12/17 | 09:00-15:50 | 第2実習 室 総合 実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 安江 透 池 田 正臣 上 條 真吾 | SBOs:1-8 |
| 416- 420 | 12/19 | 09:00-14:50 | 第2実習 室 総合 実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 安江 透 池 田 正臣 上 條 真吾 | SBOs:1-8 |
| 421- 423 | 1/7 | 09:00-11:50 | 第2実習 室 総合 実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 安江 透 池 田 正臣 上 條 真吾 | SBOs:1-8 |
| 424- 426 | 1/10 | 09:00-11:50 | 第2実習 室 総合 実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 安江 透 池 田 正臣 上 條 真吾 | SBOs:1-8 |
| 427- 429 | 1/15 | 09:00-11:50 | 第2実習 室 総合 実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 安江 透 池 田 正臣 上 條 真吾 | SBOs:1-8 |
| 430- 432 | 1/16 | 09:00-11:50 | 第2実習 室 総合 実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 安江 透 池 田 正臣 上 條 真吾 | SBOs:1-8 |
| 433- 435 | 1/17 | 09:00-11:50 | 第2実習 室 総合 実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 安江 透 池 田 正臣 上 條 真吾 | SBOs:1-8 |
| 436- 438 | 1/18 | 09:00-11:50 | 第2実習 室 総合 実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 安江 透 池 田 正臣 上 條 真吾 | SBOs:1-8 |
| 439- 441 | 1/21 | 09:00-11:50 | 第2実習 室 総合 実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 安江 透 池 田 正臣 上 條 真吾 | SBOs:1-8 |
| 442- 444 | 1/22 | 09:00-11:50 | 第2実習 室 総合 実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 安江 透 池 田 正臣 上 條 真吾 | SBOs:1-8 |
| 445- 447 | 1/23 | 09:00-11:50 | 第2実習 室 総合 実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 安江 透 池 田 正臣 上 條 真吾 | SBOs:1-8 |
| 448- 450 | 1/24 | 09:00-11:50 | 第2実習 室 総合 実習室 | 再建工学包括臨床実習 PhaseIV | 臨床実習 | 安江 透 池 田 正臣 上 條 真吾 | SBOs:1-8 |

授業方法
実習、演習

成績評価の方法

- ・配当された臨床ケースへの取り組み、提出物を総合的に評価する。
- ・出席状況、授業態度を評価に加味する。
- ・再建工学包括臨床実習の最終成績判定は、ユニット「再建工学包括臨床実習Ⅰ」および「再建工学包括臨床実習Ⅱ」の評価を総合して行う。

準備学習などについての具体的な指示

実習予定表および実習書を事前に確認し、当日行う実習内容を把握しておく。

Web Class に資料がアップされているときには、事前に確認しておく。

履修上の注意事項

事前に資料の配付、Web Class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

備考

授業担当教員

- ・安江 透
- ・池田正臣
- ・上條真吾
- ・口腔保健工学専攻教員
- ・歯学部教員
- ・歯科技工部職員

連絡先

安江 透 yasue.fpo@tmd.ac.jp

オフィスアワー

安江 透 随時

| | | | | | | | |
|--|--------|-------------|-------|--------------|----------------------------|-------|---------------------|
| 時間割番号 | 023556 | | | | | | |
| 科目名 | 卒業研究Ⅱ | | | | | | |
| 担当教員 | 青木 和広 | | | | | | |
| 開講時期 | 通年 | 対象年次 | 4 | 単位数 | 3 | | |
| 科目名:卒業研究Ⅱ 時間数:90 時間 授業形態:実習 | | | | | | | |
| 主な講義場所 口腔保健工学専攻研究室、2号館3階 第3講義室 | | | | | | | |
| 授業の目的、概要等 「知と癒しの匠を創造し、人々の幸福に貢献する」という本学の基本理念を中心に、各学生の科学的興味、将来の方向性に沿って決定したテーマについて、計画・立案に基づき研究を実施する。さらに、結果を整理分析し、論文にまとめ、発表することにより、研究への理解と意欲を培う。 | | | | | | | |
| 授業の到達目標 1. 本学の基本理念を中心に策定した研究テーマについて、卒業研究Ⅰで策定した研究計画に基づき研究を実施できる。 2. EBM・EBHC の概念と研究者としての倫理観を理解する。 3. 不測の事態が起こった場合に、指導教員と相談しながら、研究計画の変更ならびに立案を行うことができる。 4. 実験・調査などのデータを整理分析し、統計学的に解析できる。 5. 結果に基づき、新たな問題点と課題を抽出、提起できる。 6. 一連の研究成果を論文にまとめることができる。 7. 自身の研究内容について、制限時間を考慮したわかりやすい口頭発表ができる。 8. 論文の抄録を英語で表現できる。 9. 最後まで粘り強く立てた仮説を実証するために、やりぬく精神力を培う。 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1-5 | 4/13 | 09:00-14:50 | 第3講義室 | 研究計画の確認・研究実施 | 研究計画の確認・研究計画に基づく研究実施 | 青木 和広 | 口腔保健工学専攻教員 SBOs:1-5 |
| 6-10 | 4/20 | 09:00-14:50 | 第3講義室 | 研究実施 | 研究計画に基づく研究の実施、データ収集 | 青木 和広 | 口腔保健工学専攻教員 SBOs:1-5 |
| 11-15 | 4/27 | 09:00-14:50 | 第3講義室 | 研究実施 | 研究計画に基づく研究の実施、データ収集 | 青木 和広 | 口腔保健工学専攻教員 SBOs:1-5 |
| 16-20 | 5/11 | 09:00-14:50 | 第3講義室 | 研究実施 | 研究計画に基づく研究の実施、データ収集 | 青木 和広 | 口腔保健工学専攻教員 SBOs:1-5 |
| 21-25 | 5/18 | 09:00-14:50 | 第3講義室 | 研究実施 | 研究計画に基づく研究の実施、データ収集 | 青木 和広 | 口腔保健工学専攻教員 |
| 26-30 | 5/25 | 09:00-14:50 | 第3講義室 | 研究実施 | 研究計画に基づく研究の実施、データ収集 | 青木 和広 | 口腔保健工学専攻教員 SBOs:1-5 |
| 31-35 | 6/1 | 09:00-14:50 | 第3講義室 | 研究実施 | 研究計画に基づく研究の実施、データ収集 | 青木 和広 | 口腔保健工学専攻教員 SBOs:1-5 |
| 36-40 | 6/8 | 09:00-14:50 | 第3講義室 | 研究実施 | 研究計画に基づく研究の実施、データの収集・整理・分析 | 青木 和広 | 口腔保健工学専攻教員 SBOs:1-7 |
| 41-45 | 6/15 | 09:00-14:50 | 第3講義室 | 研究実施 | 研究計画に基づく研究の実施、デ | 青木 和広 | 口腔保健工学専 |

| | | | | | | | |
|-------|-------|-------------|-------|---------|------------------------------|-------|----------------------|
| | | | 室 | | 一タの収集・整理・分析 | | 攻教員 SBOs:1-7 |
| 46-50 | 6/22 | 09:00-14:50 | 第3講義室 | 研究実施 | 研究計画に基づく研究の実施、データ収集・整理・分析 | 青木 和広 | 口腔保健工学専攻教員 SBOs:1-7 |
| 51-53 | 6/28 | 13:00-15:50 | 第3講義室 | 研究実施 | 研究計画に基づく研究の実施、データ収集・整理・分析 | 青木 和広 | 口腔保健工学専攻教員 SBOs:1-7 |
| 54-58 | 6/29 | 09:00-14:50 | 第3講義室 | 研究実施 | 研究計画に基づく研究の実施、データ収集・整理・分析 | 青木 和広 | 口腔保健工学専攻教員 SBOs:1-7 |
| 59-61 | 7/5 | 13:00-15:50 | 第3講義室 | 研究実施 | 研究計画に基づく研究の実施、データ収集・整理・分析 | 青木 和広 | 口腔保健工学専攻教員 SBOs:1-7 |
| 62-66 | 7/6 | 09:00-14:50 | 第3講義室 | 研究実施 | 研究の継続実施、研究データの収集・整理・分析 | 青木 和広 | 口腔保健工学専攻教員 SBOs:1-7 |
| 67-69 | 7/12 | 13:00-15:50 | 第3講義室 | 研究実施 | 研究の継続実施、研究データの収集・整理・分析 | 青木 和広 | 口腔保健工学専攻教員 SBOs:1-7 |
| 70-74 | 7/13 | 09:00-14:50 | 第3講義室 | 研究実施 | 検討結果に基づく研究の実施、研究データの収集・整理・分析 | 青木 和広 | 口腔保健工学専攻教員 SBOs:1-7 |
| 75-77 | 7/19 | 13:00-15:50 | 第1講義室 | 中間発表 | 中間発表 | 青木 和広 | 口腔保健工学専攻教員 SBOs:1-7 |
| 78-80 | 7/20 | 11:00-14:50 | 第3講義室 | 研究実施 | 検討結果に基づく研究の実施、研究データの収集・整理・分析 | 青木 和広 | 口腔保健工学専攻教員 SBOs:1-10 |
| 81-84 | 10/26 | 13:00-16:50 | 第1講義室 | 研究成果報告会 | 研究成果報告会 | 青木 和広 | 口腔保健工学専攻教員 SBOs:1-10 |
| 85-90 | 1/11 | 09:00-15:50 | 特別講堂 | 発表会 | 発表会 | 青木 和広 | 口腔保健工学専攻教員 SBOs:1-10 |

成績評価の方法

- ・卒業研究中間報告会での発表により中間評価を行う。
- ・平成 30 年 10 月 26 日に開催する研究成果報告会において最終発表に近い形で発表を行い、卒業論文完成に向かう。
- ・研究成果報告会における反省を踏まえ、平成 31 年 1 月 11 日に開催する卒業研究発表会において最終的に研究をとりまとめた発表を行う。
- ・研究成果報告会および卒業研究発表会の発表は、口腔保健工学専攻全教員による評価を行う。
- ・単位認定(3 単位)は、研究成果報告会(20 点)および卒業研究発表会(50 点)のプレゼンテーションに対する教員評価(合計 70 点)と卒業研究論文の評価(20 点)および各指導教員からの評価(10 点)を加味して行う。
- ・各課題の WebClass 等への提出状況も評価に加味する。

準備学習などについての具体的な指示

卒業研究の授業時間だけでは研究時間が足りないので、課外時間も利用して文献検索、研究実施、データ処理等を行うこと。

試験の受験資格

原則 4 分の 3 の出席で中間発表会、研究成果報告会、および卒業研究発表会において、発表することができる。

(各指導者の下で研究を始めた場合、卒業研究Ⅱの時間の居場所を指導教員に必ず明らかにしておき、やむを得ぬ事情の時以外

は、始めるとき、終わるときを直接指導教員に会って知らせること。臨床実習の時間に卒業研究を当てる場合も考えられるが、カードだけでなく、はじめと終わりを指導教員に報告すること。報告がない場合は、卒業研究でも臨床実習でも欠席したものとみなす。また、就職活動により欠席する場合は、以下の2つの条件が満たされることにより、就職活動による欠席を出席扱いとすることは周知事項に記載してあるとおりである；1. 事前に担当教員に行き先を伝え許可を得る。2. 就職活動後に説明担当者名、連絡先、配布された資料、日時が記載された登録票や予約メールなどを担当教員に見せること。）

参考書

保健・医療のための研究法入門：発想から発表まで／Diana M.Bailey 著、朝倉隆司 監訳、朝倉京子 [ほか]訳：協同医書出版社、2001
Excelによる統計入門：Excel 2007 対応版／縄田和満 著、朝倉書店、2007
歯科衛生研究の進め方・論文の書き方／金澤紀子、武井典子、合場千佳子、岩久正明 編：医歯薬出版、2007
SPSSによるやさしい統計学／岸学 著、オーム社開発局 企画編集：オーム社、2012
SPSSによるやさしいアンケート分析／小木曾道夫 著、オーム社開発局 企画編集：オーム社、2012
アット・ザ・ベンチ／Kathy Barker 著 中村 敏一（訳）：メディカル・サイエンス・インターナショナル、2005

履修上の注意事項

・常に指導教官と密接な連絡をとり、助言・指導を得ながら研究を進めること。 ・毎研究実施日には実施した内容を実験ノートに詳細に記録すること。 ・実験ノートの記載は、あとから他の人が読み返しても理解できるように記載すること。 ・実験ノートは、卒業までに指導教員に渡すこと。必要があれば、コピーをとること。 ・平成30年12月21日までに卒業研究論文(A4/6枚)をWebClass上で提出すること。 ・論文の書式はWebClass上に掲示する。 ・卒業研究発表会における質問を受けて改訂する場合は、平成31年1月25日までに青木まで提出すること。 ・研究論文を協力いただいた方に配布すること。

備考

青木の連絡先:03-5803-4641

連絡先

kazu.hpha@tmd.ac.jp

オフィスアワー

随時(必ず事前に連絡を入れること)2号館2階 217号室(口腔基礎工学分野)

| 時間割番号 | 023557 | | | | | | |
|---|--------|-------------|-------|-------------|------------------|-------|----------|
| 科目名 | 卒業製作 | | | | | | |
| 担当教員 | 上條 真吾 | | | | | | |
| 開講時期 | 後期 | 対象年次 | 4 | 単位数 | 3 | | |
| 科目名 : 卒業製作 時間数 : 135 時間 必修 3 単位 授業形態 : 実習 | | | | | | | |
| 主な講義場所 2 号館 4 階 第 2 実習室、総合実習室、重合鑄造室、硬質レジン実習室、CAD/CAM 実習室、2 号館 3 階 CAD/CAM 演習室、第 3 講義室 | | | | | | | |
| 授業の目的、概要等 各学生が歯科技工物に関するテーマを設定し、これまで習得した知識および技術を応用して、歯科技工を適切に行う能力を養成する。 | | | | | | | |
| 授業の到達目標 1. 製作上に必要な情報を取得し、整理する。 2. 症例に応じた設計および補綴デザインを選択する。 3. 歯科技工に関する基本的な知識および技術を確実にする。 4. 歯科技工の基礎技術を応用する能力を身につける。 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1-2 | 7/20 | 09:00-10:50 | 第3講義室 | 特論Ⅱ(卒業作品)概要 | 実習内容説明 | 上條 真吾 | SBOs 1 |
| 3-8 | 10/4 | 09:00-15:50 | 第2実習室 | 作品テーマの検討 | 症例検討、情報の収集、製作計画 | 上條 真吾 | SBOs 1,2 |
| 9-14 | 10/5 | 09:00-15:50 | 第2実習室 | 作品テーマの検討 | 製作計画報告、補綴デザイン、設計 | 上條 真吾 | SBOs 1-4 |
| 15-20 | 10/11 | 09:00-15:50 | 第2実習室 | 卒業作品製作実習 | 製作実習 | 上條 真吾 | SBOs 1-4 |
| 21-26 | 10/18 | 09:00-15:50 | 第2実習室 | 卒業作品製作実習 | 製作実習 | 上條 真吾 | SBOs 1-4 |
| 27-33 | 10/19 | 09:00-16:50 | 第2実習室 | 卒業作品製作実習 | 製作実習 | 上條 真吾 | SBOs 1-4 |
| 34-39 | 10/25 | 09:00-15:50 | 第2実習室 | 卒業作品製作実習 | 製作実習 | 上條 真吾 | SBOs 1-4 |
| 40-42 | 10/26 | 09:00-11:50 | 第2実習室 | 卒業作品製作実習 | 製作実習 | 上條 真吾 | SBOs 1-4 |
| 43-48 | 11/1 | 09:00-15:50 | 第2実習室 | 卒業作品製作実習 | 製作実習 | 上條 真吾 | SBOs 1-4 |
| 49-54 | 11/2 | 09:00-15:50 | 第2実習室 | 卒業作品製作実習 | 製作実習 | 上條 真吾 | SBOs 1-4 |
| 55-60 | 11/8 | 09:00-15:50 | 第2実習室 | 卒業作品製作実習 | 製作実習 | 上條 真吾 | SBOs 1-4 |
| 61-66 | 11/9 | 09:00-15:50 | 第2実習室 | 卒業作品製作実習 | 製作実習 | 上條 真吾 | SBOs 1-4 |
| 67-72 | 11/15 | 09:00-15:50 | 第2実習室 | 卒業作品製作実習 | 製作実習 | 上條 真吾 | SBOs 1-4 |
| 73-78 | 11/16 | 09:00-15:50 | 第2実習室 | 卒業作品製作実習 | 製作実習 | 上條 真吾 | SBOs 1-4 |

| | | | | | | | |
|---------|-------|-------------|-------|---------------------------|-----------------|-------|----------|
| 79-84 | 11/22 | 09:00-15:50 | 第2実習室 | 卒業作品製作実習 | 製作実習 | 上條 真吾 | SBOs 1-4 |
| 85-90 | 11/29 | 09:00-15:50 | 第2実習室 | 卒業作品製作実習 | 製作実習 | 上條 真吾 | SBOs 1-4 |
| 91-96 | 11/30 | 09:00-15:50 | 第2実習室 | 卒業作品製作実習 | 製作実習 | 上條 真吾 | SBOs 1-4 |
| 97-102 | 12/6 | 09:00-15:50 | 第2実習室 | 卒業作品製作実習 | 製作実習 | 上條 真吾 | SBOs 1-4 |
| 103-108 | 12/7 | 09:00-15:50 | 第2実習室 | 卒業作品製作実習 | 製作実習 | 上條 真吾 | SBOs 1-4 |
| 109-114 | 12/13 | 09:00-15:50 | 第2実習室 | 卒業作品製作実習 | 製作実習 | 上條 真吾 | SBOs 1-4 |
| 115-120 | 12/14 | 09:00-15:50 | 第2実習室 | 卒業作品製作実習 OH 卒研発表会参加 | 製作実習 OH 卒研発表会参加 | 上條 真吾 | SBOs 1-4 |
| 121-126 | 12/18 | 09:00-15:50 | 第2実習室 | 卒業作品製作実習 | 製作実習 | 上條 真吾 | SBOs 1-4 |
| 127-132 | 12/21 | 09:00-15:50 | 第2実習室 | 卒業作品の完成、発表会 パワーポイントの作成 | 作品完成、パワーポイントの作成 | 上條 真吾 | SBOs 1-4 |
| 133-135 | 1/9 | 09:00-11:50 | 第1講義室 | 卒業作品発表会 | 卒業作品発表会 | 上條 真吾 | SBOs 1-4 |

授業方法

実習

成績評価の方法

・提出作品 70 点、作品発表 30 点、および出席状況、実習態度を総合的に評価する。

準備学習などについての具体的な指示

- ・各自のテーマに必要な知識および技術を十分に理解して製作に臨むこと。
- ・製作計画および製作工程に不十分な点がある場合には、各自入念に準備しておくこと。
- ・事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

連絡先

s-kamijoh.itoe@tmd.ac.jp

オフィスアワー

メールにて面談の日程を調整すること

| | | | | | |
|--|-----------------|------|-----|-----|---|
| 時間割番号 | 023558 | | | | |
| 科目名 | 口腔保健工学エクスターンシップ | | | | |
| 担当教員 | | | | | |
| 開講時期 | 1.5 通年(秋) | 対象年次 | 3~4 | 単位数 | 1 |
| 海外研修プログラムを履修した学生に、自由選択科目(卒業要件以外)の単位として1単位を認定する。 | | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| それぞれの海外研修プログラムの責任者が、学生の研修内容等を総合的に判定して可否をつけ、口腔保健学科教育委員会において承認を受けた後、教授会で最終判定を行う。 | | | | | |
| 単位の取り扱いについては『口腔保健学科口腔保健工学専攻専門科目「口腔保健工学エクスターンシップ」に関する単位認定の取扱い』を参照のこと。 | | | | | |
| 準備学習などについての具体的な指示 | | | | | |
| 外国での生活に支障をきたさないように語学の事前準備を行うこと。 | | | | | |
| 以下の履修上の注意事項に従うこと。 | | | | | |
| 試験の受験資格 | | | | | |
| ○単位認定条件 | | | | | |
| 1) 海外研修奨励制度による研修プログラム | | | | | |
| (1) 語学能力(英語) | | | | | |
| 語学検定における所定の点数の取得(TOEFL500 点以上)、もしくは事前の海外派遣英語準備コース(歯科英語)を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の2つの中から、どちらかの基準をクリアすること。 | | | | | |
| (2) 海外渡航時の注意事項、危機管理に関する研修(講義)の履修 | | | | | |
| (3) 研修報告書の提出 | | | | | |
| 日本語および英語(詳細は別に定める) | | | | | |
| (4) 研修報告会における発表 | | | | | |
| 研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う。 | | | | | |
| (5) 本学および海外の担当教員による学生評価の成績(可以上) | | | | | |
| 2) その他の海外研修プログラム(口腔保健学科教育委員会が認めたもの) | | | | | |
| (1) 語学能力(英語) | | | | | |
| 語学検定における所定の点数の取得(TOEFL500 点以上)、もしくは事前の海外派遣英語準備コース(歯科英語)を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の2つの中から、どちらかの基準をクリアすること。 | | | | | |
| (2) 研修特別コースの履修 | | | | | |
| 研修内容によって、特別に提供されるコースの履修(詳細は別に定める) | | | | | |
| (3) 海外における生活上の注意、危機管理に関する研修(講義)の履修 | | | | | |
| (4) 研修報告書の提出 | | | | | |
| 日本語および英語(詳細は別に定める) | | | | | |
| (5) 研修報告会における発表 | | | | | |
| 研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う。 | | | | | |
| (6) 本学および海外の担当教員による学生評価の成績(可以上) | | | | | |
| 履修上の注意事項 | | | | | |
| 1. 海外研修プログラムを履修した学生に、自由選択科目(卒業要件以外)の単位として1単位を認定する。 2. 単位認定の対象となる海外研修プログラムは以下のプログラムとする。各プログラムにおける単位認定条件は別に定める。 1) 大学海外研修奨励制度(事前研修を含む。) 2) その他の海外研修プログラム(口腔保健学科教育委員会が認めたもの) 3. 所定のプログラムを終了した学生に対し、口腔保健学科教育委員会の議を経て、歯学部教授会が単位を認定する。但し、同一年次・年度で認定できる単位は1単位を上限とする。また、「その他の海外研修プログラム」に該当するプログラムで認定できる単位は、プログラムの内容・年次・年度・回数に限らず、在学期間を通じて1単位とする。 | | | | | |